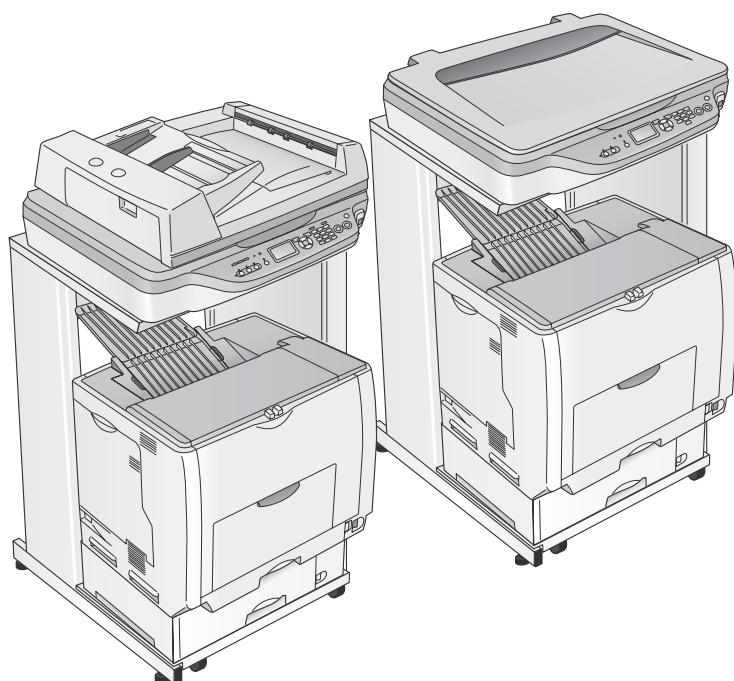
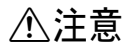
LP-M5600シリーズ

活用ガイド

- 本機だけでコピーする方法、ファクスの送受信方法と、スキャンしたデータをコンピュータや USB フラッシュメモリに保存する手順について説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体やソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。必ず守ってお使いください。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

本書では、Windows オペレーティングシステムの各バージョンを「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。
なお、本製品は Windows XP、Windows Server 2003 ともに 32bit 版、64bit 版に対応していますが、それらも「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。
本書に記載されていない OS については、エプソンのホームページでご確認ください。<http://www.epson.jp/>

Mac OS の表記

本製品が対応している Mac OS のバージョンは Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4.x です。
本書中では、上記オペレーティングシステムをまとめて、「Mac OS X」と表記していることがあります。
またアップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Mac OS」と表記していることがあります。

マニュアル構成

本製品には、以下の説明書が添付されています。

📖	開梱作業を行われる方へ	本機を開梱する際に必ずお読みください。
	セットアップガイド	本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。 必ずお読みいただき、本機を正しくセットアップしてください。
	活用ガイド（本書）	コピー、ファクス、本機の操作パネルからローカルおよびネットワーク PC へのスキャンの方法とメンテナンスおよび困ったときの対処方法を説明しています。必ずお読みいただき、本機を正しくご使用ください。
CD-ROM	ソフトウェア機能ガイド for Windows（PDF）	Windows から印刷、スキャンする方法を説明しています。
	ソフトウェア機能ガイド for Mac OS（PDF）	Mac OS から印刷、スキャンする方法を説明しています。
	ネットワーク設定ガイド（PDF）	ネットワーク印刷時の詳細情報とネットワークユーティリティの情報を説明しています。

説明で使用しているイラスト

本書では、LP-M5600F のイラストを使用して各種手順を説明しています。

説明で使用している用語

本書では、本製品の製品名を下記のように呼んでいます。

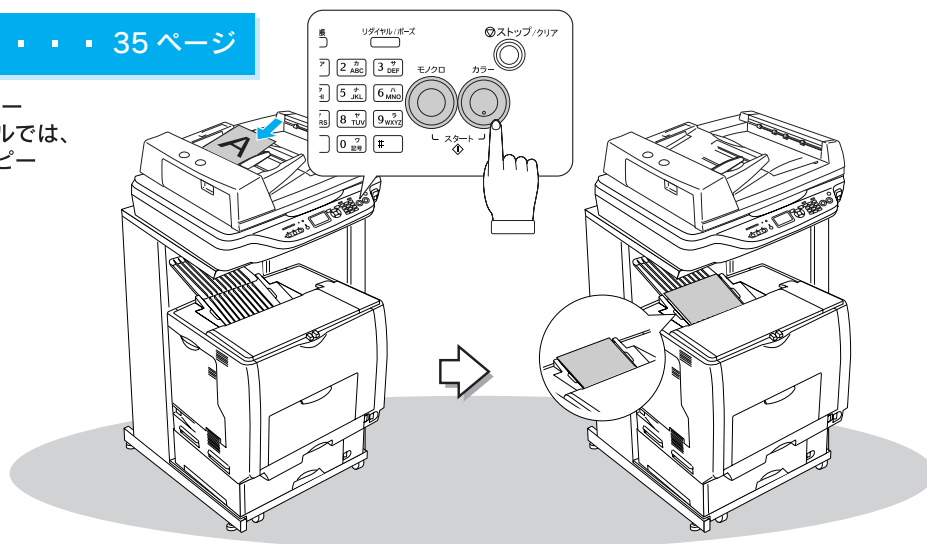
- LP-M5600：ベースモデル
- LP-M5600A：ADF モデル
- LP-M5600F：FAX モデル

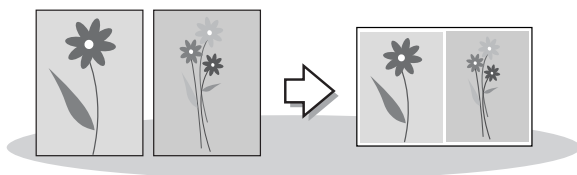
商標およびご注意

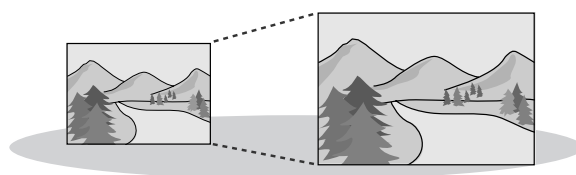
EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

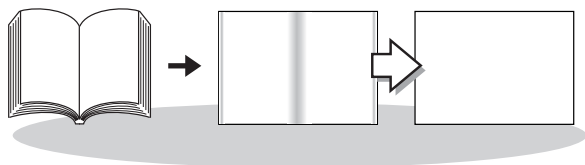
こんなことができます

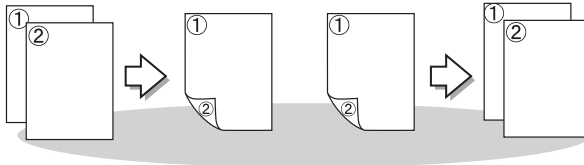
基本のコピー・・・・・・・35 ページ

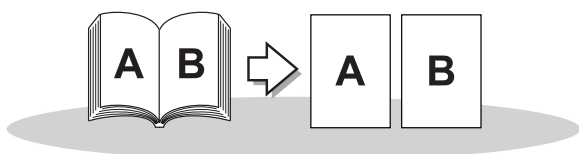
最大A3サイズの印刷用紙にコピーできます。ADFモデル/FAXモデルでは、最大100 枚の原稿を連続してコピーできます。

割り付けコピー・・・・ 42 ページ

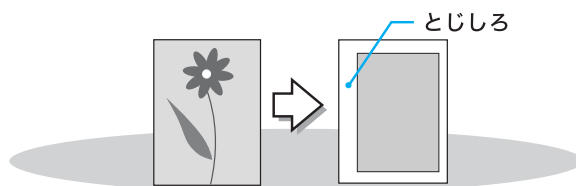
1枚の用紙に原稿2枚分を割り付けてコピーできます。

拡大/縮小コピー・・・・ 37 ページ

原稿を拡大/縮小してコピーできます。

影消しコピー・・・・・ 45 ページ

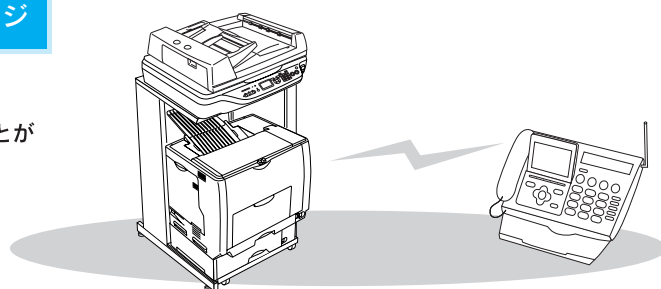
厚い本をコピーしたときにできる影を白く消すことができます。

両面コピー・・・・・・ 40 ページ

片面原稿→両面コピー、両面原稿→片面コピーなど読み取りも印刷も両面対応です。

ページ連写コピー・・・・50 ページ

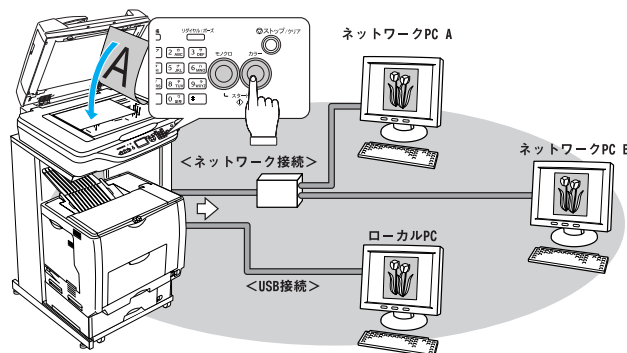
見開きの左右のページを別々の印刷用紙にコピーできます。

とじしろコピー・・・・・48 ページ

用紙を綴じるための余白を設定することができます。

ファクス機能（FAXモデルのみ）

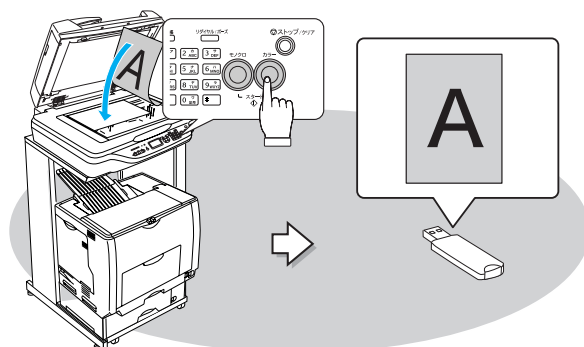
59 ページ

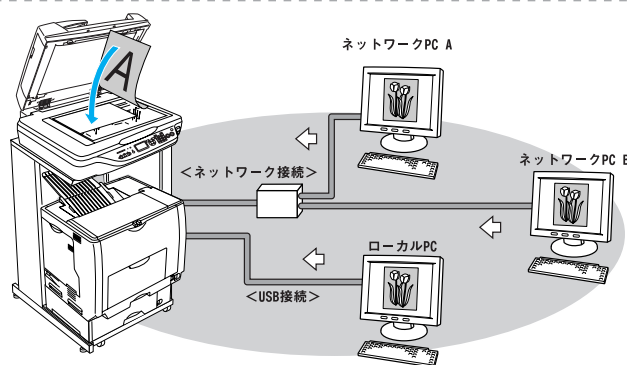
カラー原稿、モノクロ原稿をファクス送信、または受信できます。
クイックダイヤルに最大12件の送信先を登録することができます。

操作パネルからのスキャン

95 ページ

原稿をスキャンして電子データ化し、指定のコンピュータに指定の形式で保存することができます。

スキャンデータをメモリに保存

109 ページ

本機前面右には、USBフラッシュメモリをセットできるコネクタがあります。スキャンしたデータをセットしたUSBフラッシュメモリに保存することができます。

コンピュータからのスキャン

コンピュータからスキャンを実行して、データを保存することができます。コンピュータからのスキャンについては『ソフトウェア機能ガイド』(PDF) をご覧ください。

印刷

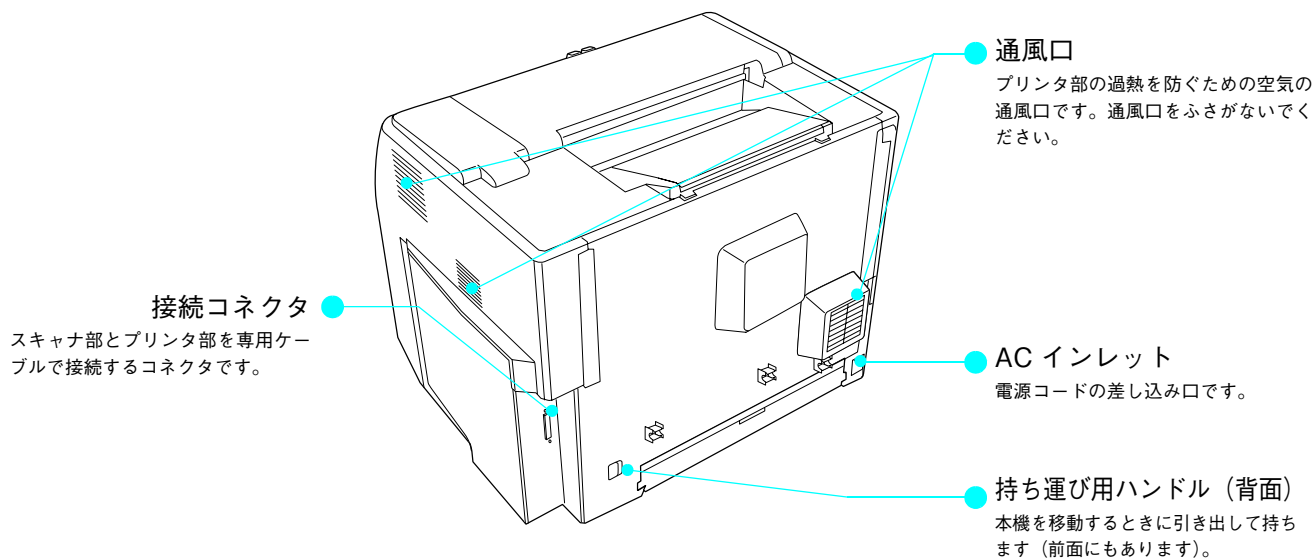
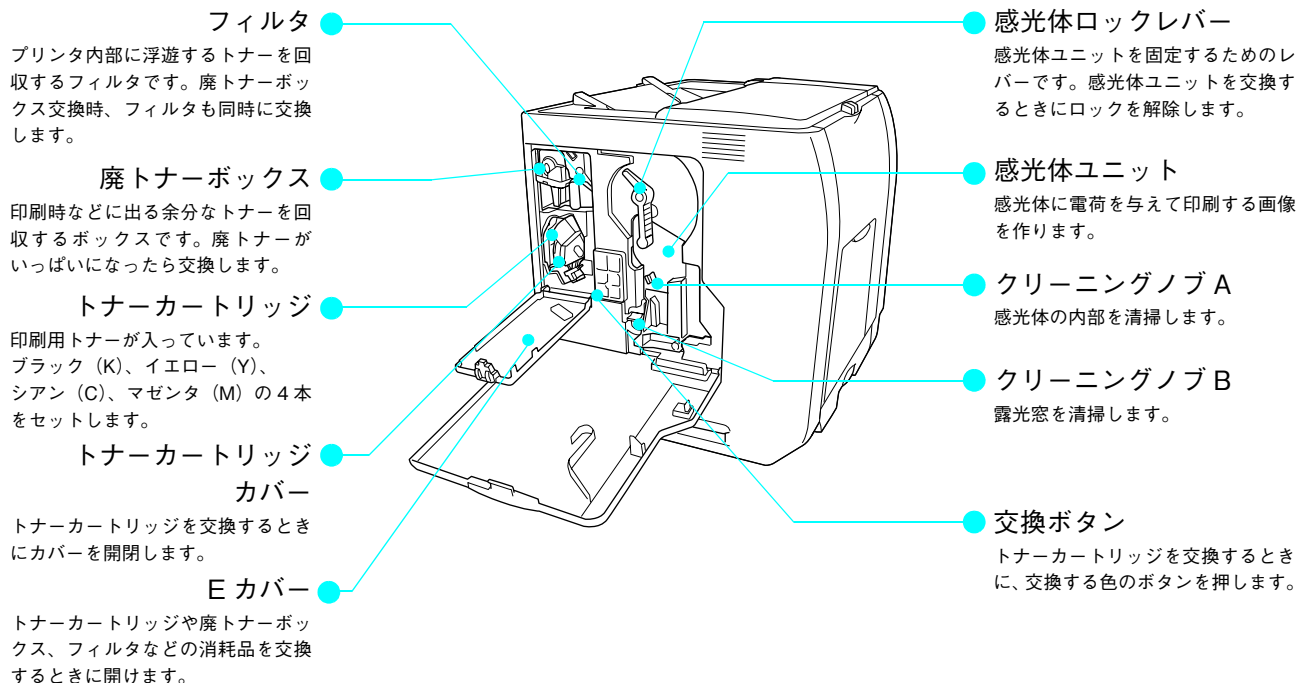
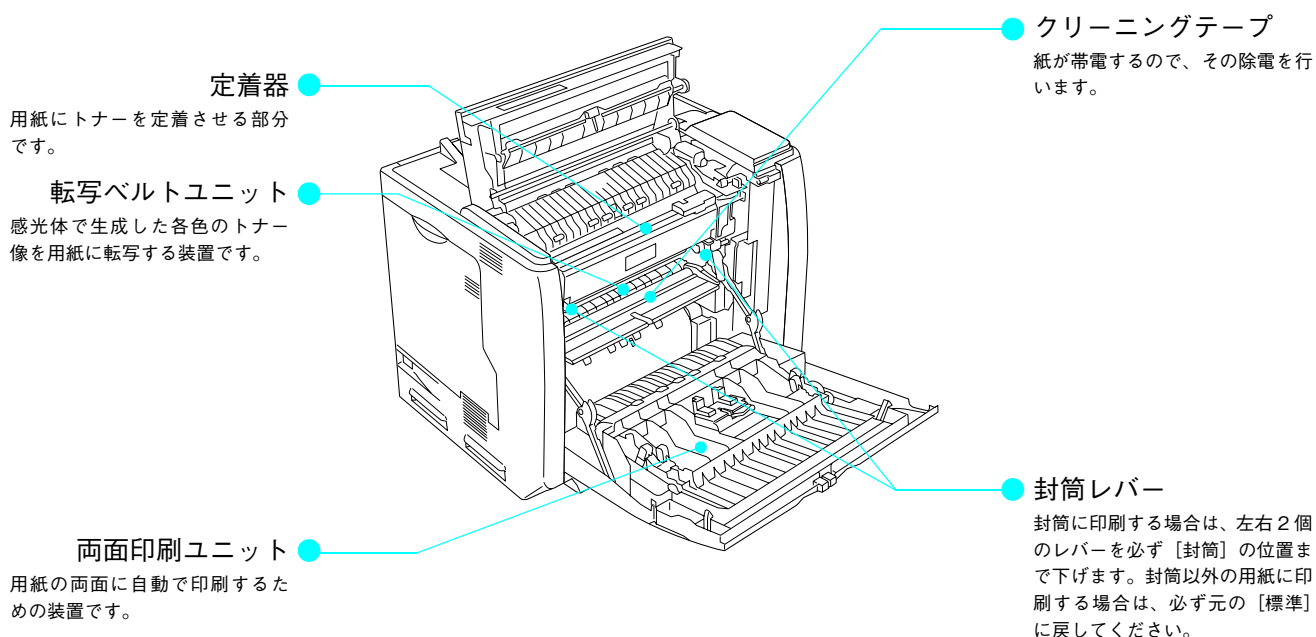
添付のプリンタドライバを使用して印刷すれば、割り付け印刷やスタンプマーク印刷などさまざまな機能をご利用いただけます。
本機前面右のフラッシュメモリコネクタにUSBフラッシュメモリをセットして、画像ファイル（TIFF/JPEG）を直接印刷することもできます。

目次

付録 199

各部の名称と役割

■ プリンタ部前面 / 左側面

■ プリンタ部背面 / 右側面

プリンタ部側面 / 左側面

プリンタ部正面 / 内部

スキャナ部 / 前面

原稿カバー
原稿をコピー・スキャンするときは、閉じて外部の光を遮ります。

キャリッジ
原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いています。読み取り時に移動します。

原稿台
原稿の取り込みたい面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示す目盛りが付いています。

操作パネル
本機の状態を示す液晶ディスプレイやランプ、本機の機能を設定するときなどに押すボタンがあります。

フラッシュメモリコネクタ
USB フラッシュメモリを接続するためのコネクタです。

オートドキュメントフィーダ
連続して原稿を読み取るための装置です。

オートドキュメントフィーダカバー
オートドキュメントフィーダカバー内で用紙が詰まった場合に開けます。

スキャナユニット / 背面

電話機コード接続端子
［LINE］と刻印されている側に電話回線（アナログ）を接続します。
［EXT.］と刻印されている側に外付け電話機を接続します。

USB インターフェイスコネクタ
コンピュータと本機を USB インターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

背面カバー
オプションの増設メモリを装着する際にこのカバーを開けます。

接続コネクタ
スキャナ部とプリンタ部を専用ケーブルで接続するコネクタです。

輸送用固定レバー
輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのレバーです。
スキャナ使用時はロックを解除してください。ロックされているとキャリッジが固定されるため、スキャナが動作しません。

オートドキュメントフィーダコネクタ
オートドキュメントフィーダ（ADF）を接続するコネクタです。

ネットワークインターフェイスコネクタ
本機をネットワークインターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

操作パネル

エラーランプ

エラーが発生したときに点滅または点灯します。

データランプ

印刷データが残っているときや処理中に点滅します。

クイックダイヤル

あらかじめ登録したファクス送付先の番号を呼び出します。

［リセット / 節電］ボタン

設定した項目を標準値に戻します。
3秒以上押すと節電モードになります。

［上下左右］ボタン

設定項目や設定値を選択します。

［拡張］ボタン

プリントモード時は USB メモリプリントメニューへの切り替え、コピーモード時は設定値の確認、ファクスモード時は拡張メニューの表示や文字入力の切り替えをします。

［電話帳］ボタン

あらかじめ登録されている短縮番号を呼び出します。

［リダイヤル / ポーズ］ボタン

最後の送付先の番号を呼び出します。
ダイヤル番号入力中は、" –"（ハイフン）を入れます。

［ストップ / クリア］ボタン

実行中の動作を中止します。

［モード］ボタン / ランプ

プリント / コピー/ ファクス / スキャンモードを切り替えます。選択されているモードのランプが点灯します。
プリント：
コンピュータから印刷するプリントモード
コピー：
原稿をコピーするコピーモード
ファクス：
原稿をファクスするファクスモード
スキャン：
原稿をスキャンしてコンピュータや USB フラッシュメモリに保存するスキャンモード

［各種設定］ボタン / ランプ

以下の設定ができます。
・プリンタ設定
・ホスト I/F 設定
・ファクス設定
・コピー設定
・管理者設定

液晶ディスプレイ

本機の状態や、設定メニューなどを表示します。

MP トレイの用紙サイズと用紙残量（4 段階）を表示します。

トナー残量（11 段階）を表示します。左から K,C,M,Y の順です。

用紙カセットの用紙サイズと用紙残量（4 段階）を表示します。

［スタート］ボタン

カラー：
カラーでコピー / ファクス / スキャンします。
モノクロ：
モノクロでコピー / ファクス / スキャンします。

テンキー
（ダイヤルボタン）

ファクスの宛先番号や、コピー枚数などを入力します。

LP-M5600/LP-M5600A 操作パネル

ソフトウェアのご案内

本機に添付のいくつかのソフトウェアをご紹介します。

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』収録のソフトウェア

ソフトウェア名称	説明
EPSON Scan	本機のスキャナを使用して、コンピュータに画像を取り込むためのソフトウェアです。
プリンタドライバ	コンピュータから本機に印刷するために必要なソフトウェアです。
EPSON ステータスモニタ	コンピュータから本機の状態を確認することができるソフトウェアです。
ソフトウェア機能ガイド for Windows/for Mac OS	本機をコンピュータ上からお使いいただくための情報とプリンタドライバ、EPSON Scan の機能を説明した PDF 形式の取扱説明書です。
ネットワーク設定ガイド	本機をネットワーク環境でお使いいただくための情報を説明したPDF形式の取扱説明書です。
FAX 宛先登録ツール EPSON Speed Dial Utility (Windows のみ)	FAXモデルのファクス送信用の短縮ボタンに送信先を登録するためのソフトウェアです。発信元情報の文字登録にも使用します。
EPSON Web-To-Page (Windows のみ)	ホームページを用紙の幅に納まるように自動的に縮小して印刷することができるソフトウェアです。インストールすると Microsoft Internet Explorer のツールバーに追加されます。
EPSON Creativity Suite	印刷機能、スキャン機能を活用するための機能を集めたソフトウェアです。
ユーザー登録「MyEPSON」 アシスタント	インターネットを通じてユーザー登録していただくためのソフトウェアです。

上記以外にも各種ユーティリティなどが『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。収録されているソフトウェアの名称については、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』表面の記載をご覧ください。

『PageManager For EPSON CD-ROM』収録のソフトウェア

PageManager For EPSON (Windows のみ)	紙媒体の書類をデジタル化するなどして情報の整理と共有が簡単にできるソフトウェアです。また、本機の操作パネルを操作してスキャンしたデータをコンピュータに送信するためにも使用されます。

EPSON Web-To-Page について

システム条件

対象 OS　　：Windows 98/Me/2000/XP
対象ブラウザ：Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 以降

ネットワーク接続時のご注意

使用可能な接続形態は、LPR 接続、EpsonNet Print、Windows 共有接続のみです。ただし、Windows 共有接続で Windows 98/Me に直接接続されたプリンタを共有し、Windows 2000/XP から共有プリンタを使用したとき、印刷できない場合があります。

1 印刷

印刷機能の概要について説明します。

印刷機能のご紹介

本機に搭載されている印刷機能の中から、よく使うと思われる機能や便利な機能をご紹介します。

さまざまな種類の用紙に印刷

定形の普通紙、再生紙などのほかに、以下のような用紙にも印刷できます。本書では、これらの用紙をまとめて「特殊紙」と記載しています。

はがき	郵便はがき、往復郵便はがき
封筒	洋形０号、長形３号
厚紙	用紙厚 91 ～ 163 g /m^2 の用紙
ラベル紙	A4 サイズのレーザープリンタ用またはコピー機用ラベル紙
OHP シート	EPSON カラーレーザープリンタ専用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）
定形紙以外の用紙	用紙幅 98.5 ～ 297mm、用紙長 148.0 ～ 431.9mm の用紙

印刷できる用紙の詳細は以下のページを参照してください。

☞ 本書 17 ページ「印刷用紙について」

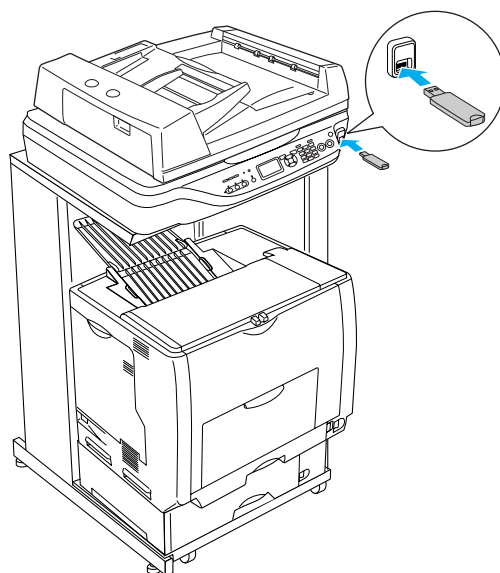
印刷方法は以下を参照してください。

☞『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）

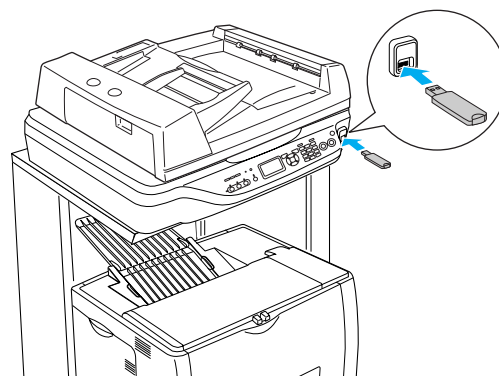
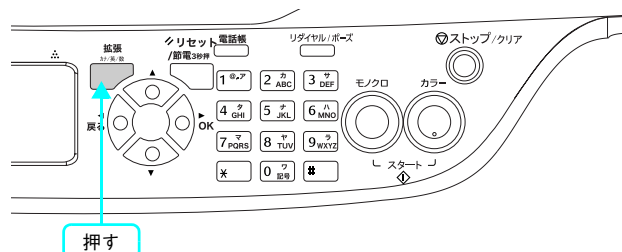
USB メモリからの直接印刷

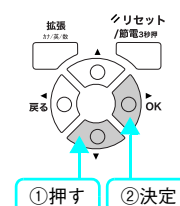
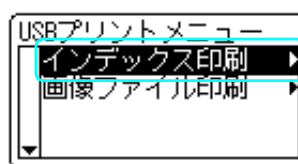
本機に USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）を接続すると、コンピュータを介さずにプリンタから直接印刷できます。

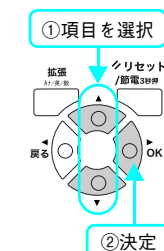
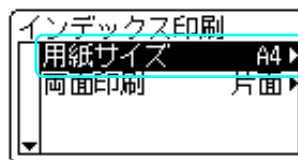
- インデックス印刷
  USBフラッシュメモリに保存されているJPEGまたはTIFF形式の画像ファイルの一覧を印刷します。
  ☞ 本書 13 ページ「インデックス印刷」
- 画像ファイル印刷
  JPEG、TIFF 形式の画像を印刷します。
  ☞ 本書 14 ページ「画像ファイル印刷」

USB メモリに保存されている画像ファイルが多いと、読み込みに時間がかかることがあります。

インデックス印刷

1 画像ファイル(JPEG または TIFF 形式)を保存した USB フラッシュメモリを、本機のフラッシュメモリコネクタに取り付けます。

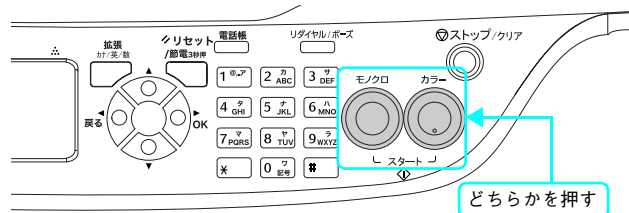
参考
使用できる USB フラッシュメモリについては、エプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/ ＞

2 ［拡張］ボタンを押します。

3 ［インデックス印刷］が表示されていることを確認して、［ ▶ ］ボタンを押します。

4 印刷に必要な設定項目（用紙サイズ、両面）の設定値を選択します。

① ［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して設定項目の表示を切り替えます。
② ［ ▶ ］ボタンを押します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

設定項目	設定値	説明
用紙サイズ	A4（初期設定）、A3、B4、B5	インデックス印刷時の用紙サイズを設定します。
両面印刷	片面（初期設定）	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。

③ ［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して設定値を選択して、［ ▶ ］ボタンを押して決定します。
［ ▶ ］ボタンを押すと②の画面に戻ります。

5 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、印刷を開始します。

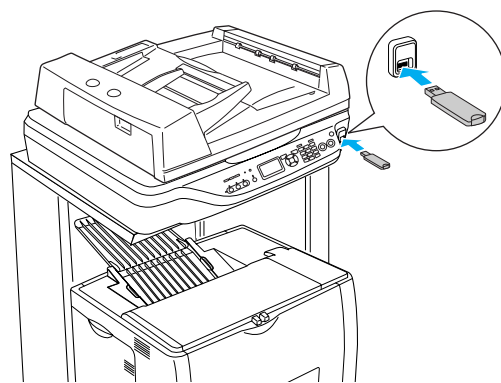
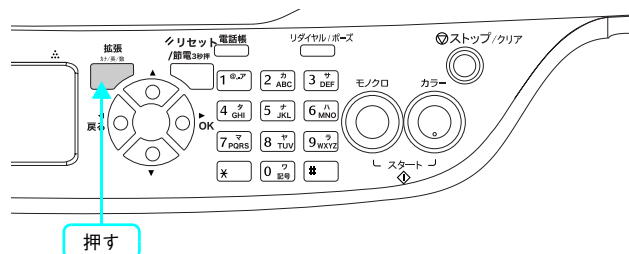
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

6 印刷が終了したら、USB メモリを本機から取り外します。

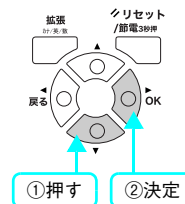
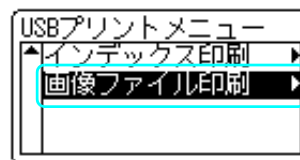
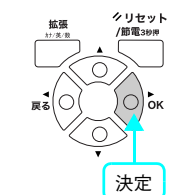
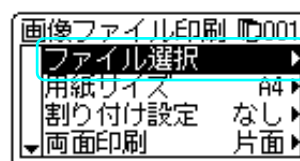
以上でインデックス印刷は終了です。

画像ファイル印刷

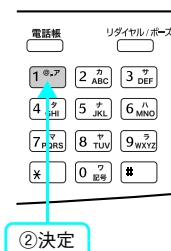
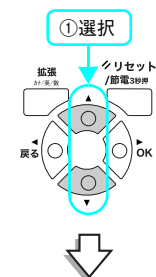
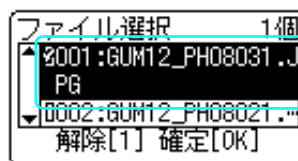
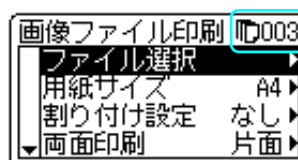
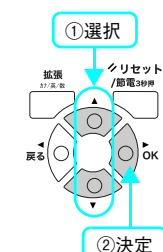
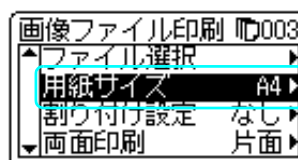
1 画像ファイル（JPEG または TIFF 形式）を保存した USB フラッシュメモリを、本機のフラッシュメモリコネクタに取り付けます。

参考

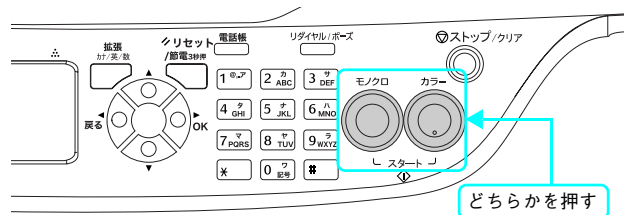
使用できる USB フラッシュメモリについては、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/ >

2 ［拡張］ボタンを押します。

3 ［▼］ボタンを押して［画像ファイル印刷］を選択して、［▶］ボタンを押します。

4 ［ファイル選択］が表示されていることを確認して［▶］ボタンを押します。

5 印刷するファイルを選択します。

① [▲] または [▼] ボタンを押して印刷したいファイル名を選択して、テンキーの［1］ボタンで決定します。
② 印刷するファイルが複数ある場合は、①の操作を繰り返します。
② 印刷するファイルを選択し終えたら、[▶] ボタンを押して確定します。

- 選択したファイルを解除するためには、［1］ボタンを再度押します。
- ［全部選択］を選択して［1］ボタンを押すと、USB メモリ内のすべての画像データを選択します。
- ［全選択解除］を選択して［1］ボタンを押すと、選択したファイルをすべて解除します。

6 テンキーで印刷部数を設定します。

7 必要に応じて画像ファイルの印刷設定を行います。

設定項目	設定値	説明
用紙サイズ	A4（初期設定）、A3、B4、B5	画像ファイル印刷時の用紙サイズを設定します。
割り付け設定	なし（初期設定）	割り付け印刷しません。
	2 面	1 ページに 2 面割り付け印刷します。
	4 面	1 ページに 4 面割り付け印刷します。
	8 面	1 ページに 8 面割り付け印刷します。
両面印刷	片面（初期設定）	片面印刷します。
	両面長辺とじ	長辺をとじるように両面印刷します。
	両面短辺とじ	短辺をとじるように両面印刷します。
ファイル名印刷	する	ファイル名を印刷します。
	しない（初期設定）	ファイル名を印刷しません。

8 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、印刷を開始します。

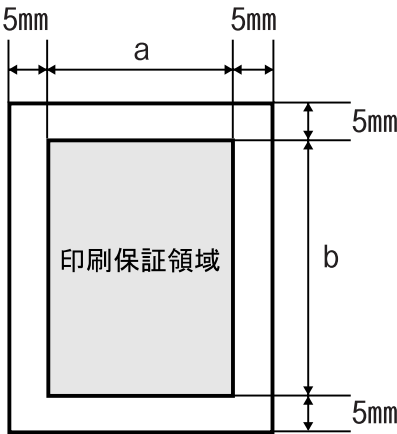
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

9 印刷が終了したら、USB メモリを本機から取り外します。

以上で画像ファイル印刷は終了です。

印刷用紙について

本機を使用してコピーまたはファクス受信を行うときの印刷用紙について説明します。

印刷用紙サイズと印刷保証領域

印刷用紙サイズと印刷保証領域は次の通りです。印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。

用紙サイズ	印刷保証領域サイズ［単位 mm］	
	a	b
はがき＜ 100 × 148mm ＞	90	138
A5 ＜ 148 × 210mm ＞	138	200
B5 ＜ 182 × 257mm ＞	172	247
A4 ＜ 210 × 297mm ＞	200	287
B4 ＜ 257 × 364mm ＞	247	354
A3 ＜ 297 × 420mm ＞	287	410

コンピュータからの印刷時には、以下のサイズの用紙もセットできます。
A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Half-Letter、Legal、Government Letter、Government Legal、Ledger、Executive、F4、はがき、往復はがき、封筒（洋形 0 号、長形 3 号）、
不定形紙 幅 98.5 ～ 297.0mm ×長さ 148.0 ～ 431.9mm

使用できる印刷用紙の種類

EPSON 製の用紙

次の EPSON 製用紙が、コピーまたはファクス受信を行うときの印刷用紙として使用できます。

使用可能な用紙		型番（サイズ）	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA4（A4） LPCPPB4（B4） LPCPPA3（A3）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることできる上質普通紙です。 MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。

! 注意　上記以外の EPSON 純正の用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙がコピーまたはファクス受信を行うときの印刷用紙として使用できます。これ以外の用紙は使用しないでください。

使用可能な一般の用紙		説明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。紙厚は 64 ～ 105g/ ㎡の範囲内のものが使用可能です。MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
	上質紙	紙厚は 64 ～ 90g/ ㎡の範囲内のものが使用可能です。 MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
	再生紙*	紙厚は 64 ～ 90g/ ㎡の範囲内のものが使用可能です。 MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。

* 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

- 印刷面の指定がない用紙も、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

印刷できない用紙

給紙ローラ、感光体、定着器の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙：スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、郵便はがき（インクジェット紙）など
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（164g/m^2 を超える）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

耐熱温度約 200 度以下で変質、変色する用紙

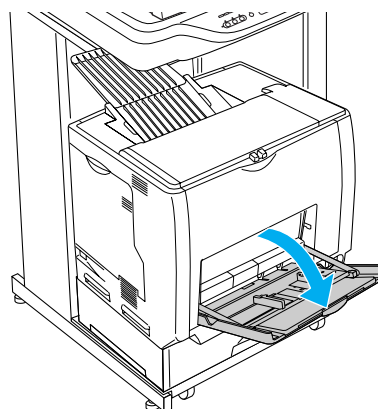
- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

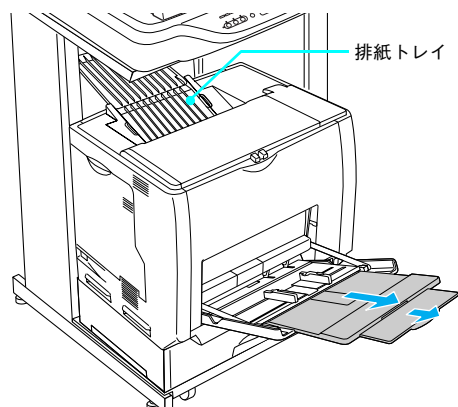
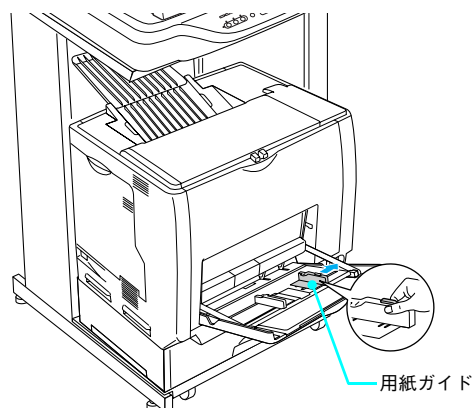
用紙のセット

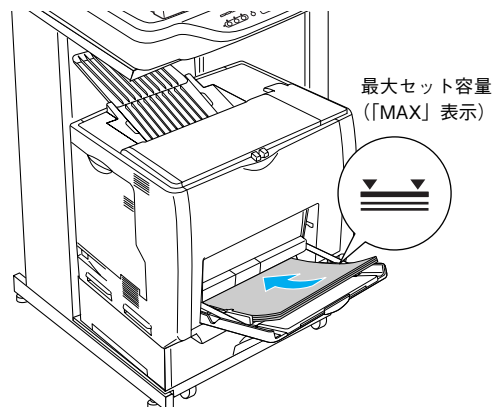
ここでは、用紙を本機にセットする手順を説明します。

MP トレイに用紙をセットする

MP トレイは、本機で印刷可能なすべての用紙をセットできる MP トレイ（マルチパーパストレイ）です。

1 **MP トレイを開きます。**

2 **A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、MP トレイの先端を引き延ばします。**

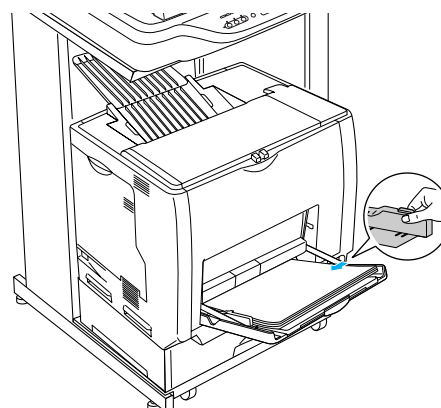
排紙トレイが開いていない場合は、開いてください。

3 **用紙ガイドのツマミ部分をつまんだまま外側へずらします。**

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして用紙をセットします。

- セットする方向は下表を参照してください。
- 用紙は最大150枚(EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙64g/㎡)までセットできます。用紙ガイド内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

	MP トレイ通常時	MP トレイ引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	−
用紙を縦長にセット	A5、はがき	A3、B4

⚠注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

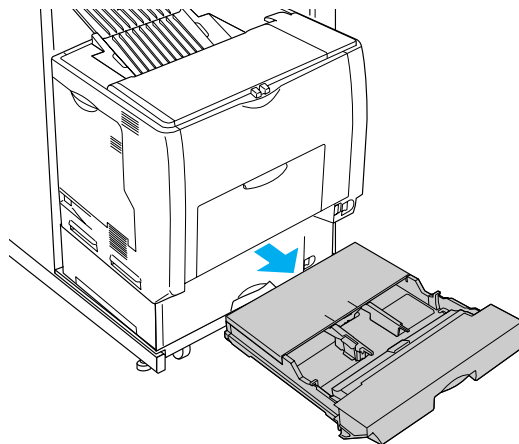
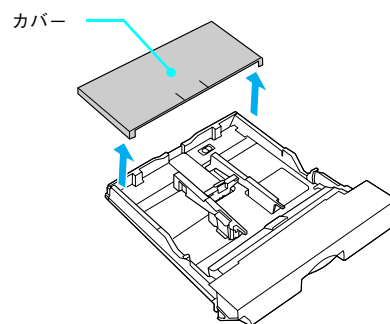
5 用紙ガイドのツマミをつまんで用紙の端に合わせます。

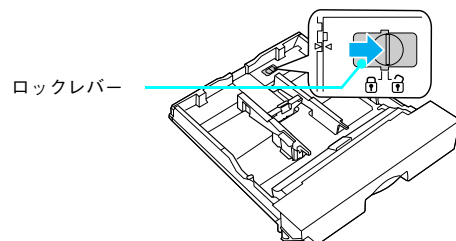
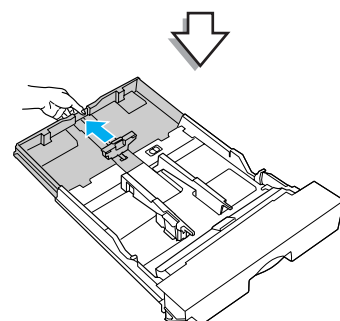
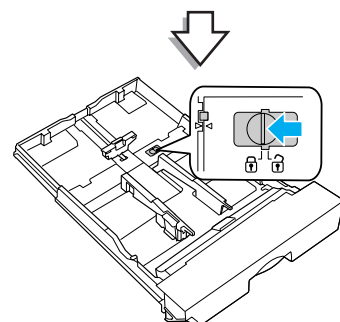
!注意

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙サイズ関連のエラーが発生する可能性があります。

以上でMPトレイへの用紙のセットは終了です。

MPトレイにセットする用紙のサイズを変更した場合は、操作パネルで用紙サイズを設定してください。
☞ 本書28ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する(MPトレイのみ)」

用紙カセット（標準カセット 1）に用紙をセットする

1 **用紙カセットを引き出します。**

2 **用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。**

3 **A3、B4 サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。**

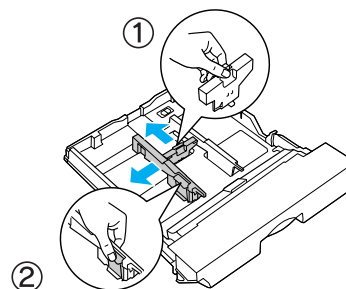
① 用紙カセットのロックレバーを図の位置まで移動し、ロックを解除します。

② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。

③ ロックレバーを図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

参考

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。
② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

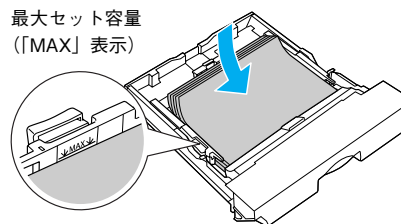
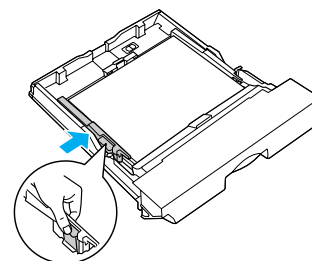
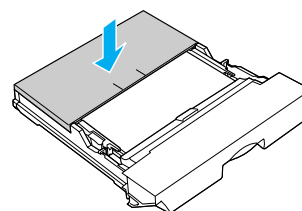
	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	−
用紙を縦長にセット	−	A3、B4

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

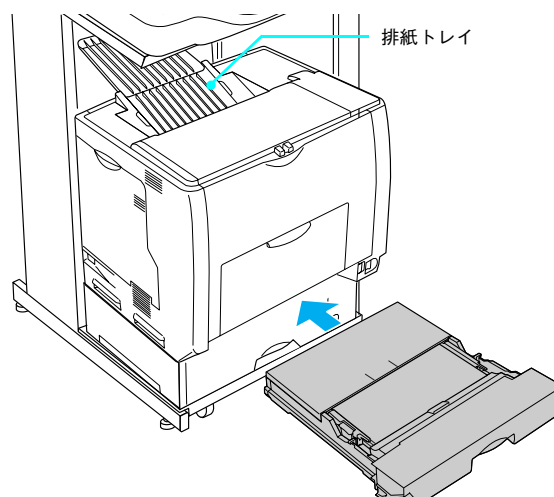
5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

- セットする方向は手順4の表を参照してください。
- 用紙は最大250枚(EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙 64g/ ㎡）までセットできます。用紙ガイド(横)内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

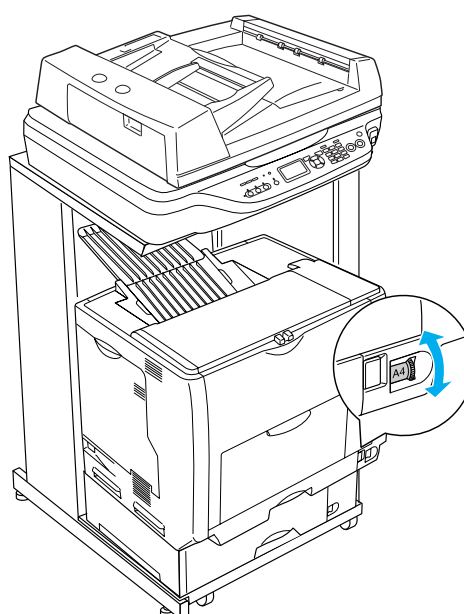
6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

！注意
用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

8 用紙カセットを本機にセットします。

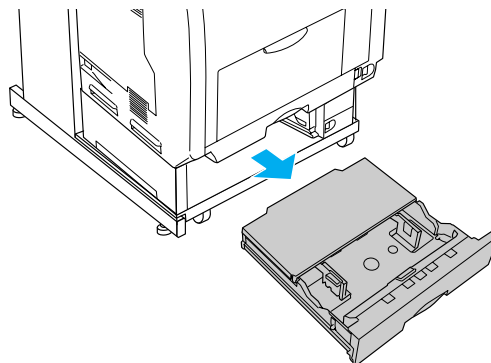
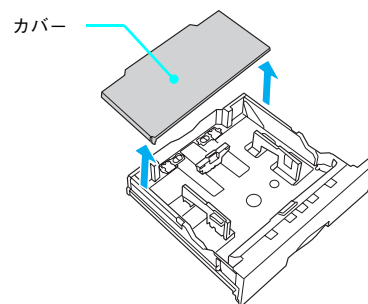
A3、B4 サイズをセットした場合は、排紙トレイが開いているか確認してください。

9 [用紙サイズ設定] ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

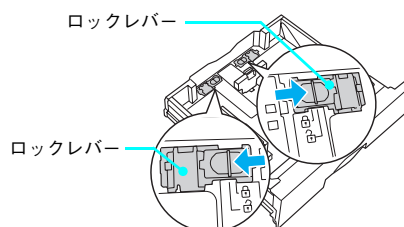
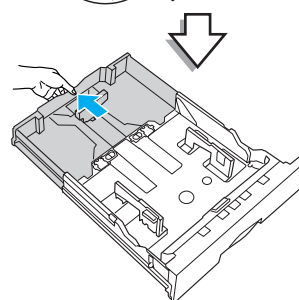
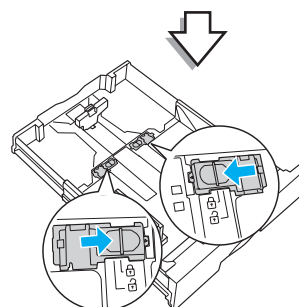
！注 意

- [用紙サイズ設定] ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。
- コピーまたは印刷中は [用紙サイズ設定] ダイヤルを操作しないでください。

以上で標準用紙カセット 1 への用紙のセットは終了です。

用紙カセット（増設カセット 2 ～ 4）に用紙をセットする

本機には標準装備されている用紙カセット 1 のほかに用紙カセットを 3 段まで増設できます。
ここでは、プリンタのすぐ下に装着した増設カセットユニット（用紙カセット 2）を例に説明します。用紙カセット 3 ～ 4 の場合も、同様の手順で用紙をセットしてください。

1 **用紙カセットを増設カセットユニットから引き出します。**

2 **用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。**

3 **A3、B4 サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。**

① 用紙カセットのロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動し、ロックを解除します。

② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。

③ ロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。

② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	–
用紙を縦長にセット	–	A3、B4

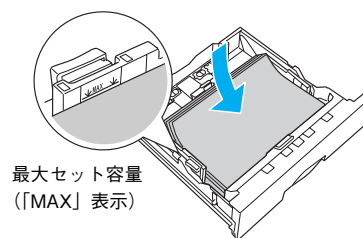
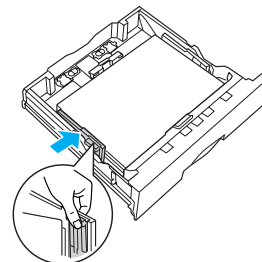
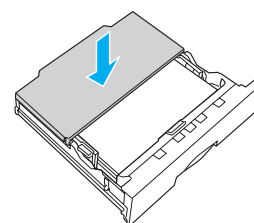
⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

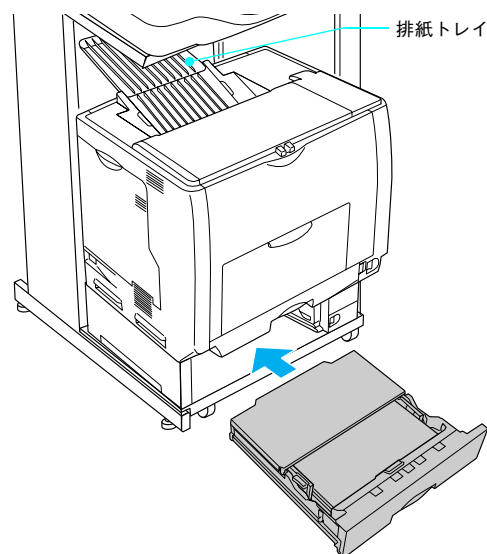
5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

- セットする方向は手順4の表を参照してください。
- 用紙は最大500枚（EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙 64g/ ㎡）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

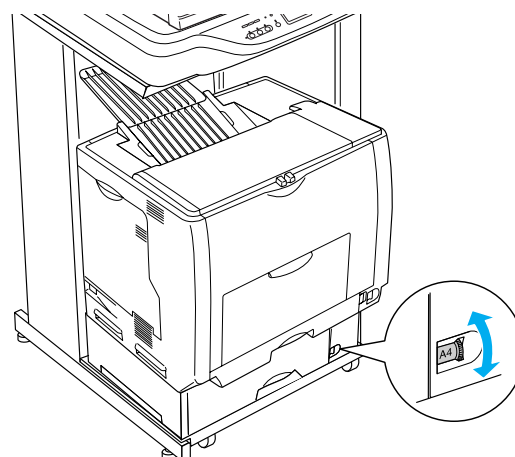
6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

!注意

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

8 用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。

A3、B4 サイズの用紙をセットしたときは、排紙トレイが開いているか確認してください。

9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

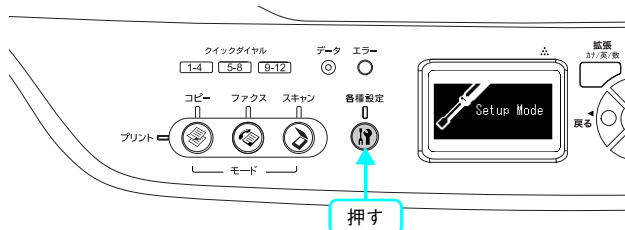
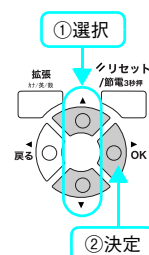
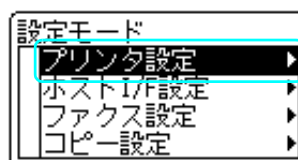
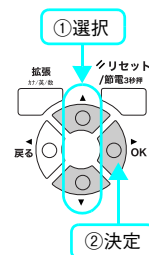
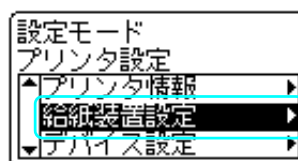
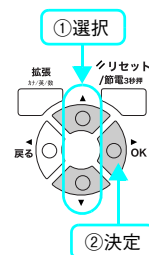
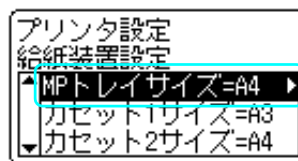
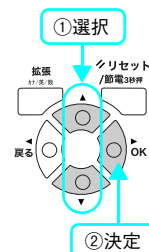
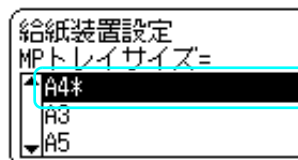
！注意

- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。
- コピーまたは印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。

以上で用紙カセット（増設カセット 2 ～ 4）への用紙のセットは終了です。

操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）

MP トレイにセットした用紙のサイズを変更した（初期設定は A4）場合は、次の手順に従って用紙サイズを設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

1 **［各種設定］ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

2 **［▼］または［▲］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択し、［▶］ボタンを押します。**

3 **［▼］または［▲］ボタンを押して［給紙装置設定］を選択し、［▶］ボタンを押します。**

4 **［▼］または［▲］ボタンを押して［MP トレイサイズ］を選択し、［▶］ボタンを押します。**

5 **［▼］または［▲］ボタンを押して本機にセットしてある用紙のサイズを選択し、［▶］ボタンを押します。**

6 **操作パネルの［各種設定］ボタンを押します。**

操作パネルの表示が［プリントモード］になります。

以上で用紙サイズ設定の手順は終了です。

原稿のセット

原稿台に原稿をセットする

セットできる原稿

原稿台には、最大 A3 サイズまでの原稿がセットできます。サイズ検知ができる用紙サイズは次の通りです。

自動検知可能原稿サイズ	A5 縦 / 横、B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3

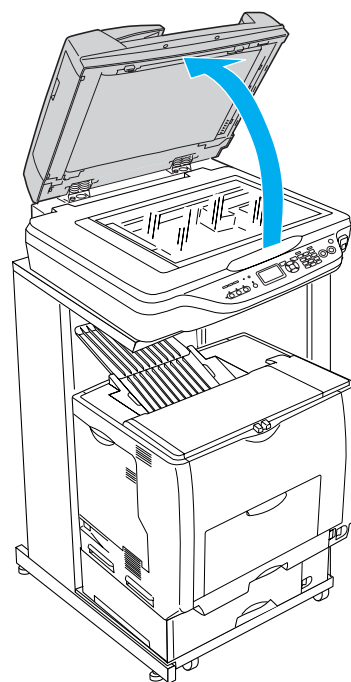
！注意

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

原稿のセット方法

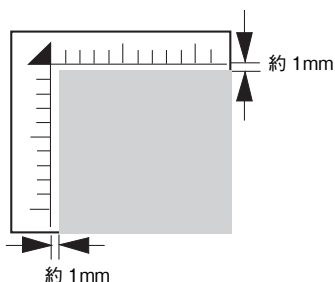
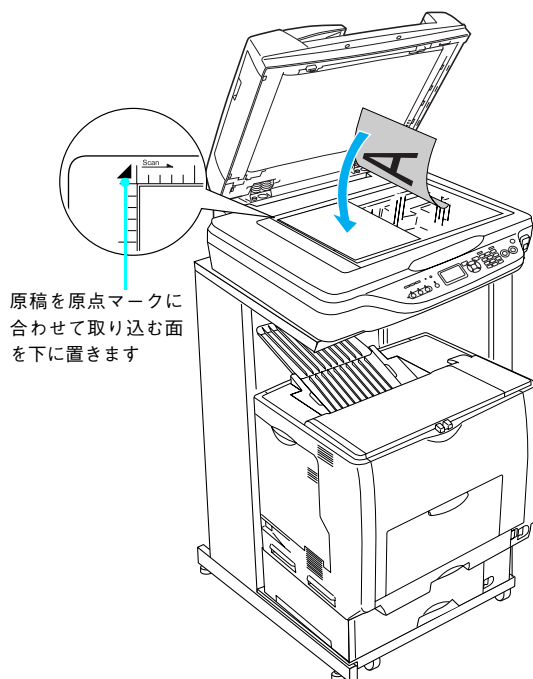
1 原稿カバーを開けます。

参考

原稿カバーは右図のように、しっかりと開けてください。原稿カバーをしっかりと開けない状態で原稿をセットすると、オートドキュメントフィーダから給紙する際に「原稿台の原稿を取り除いてください」というエラーメッセージが表示され、給紙されない場合があります。

2 原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。

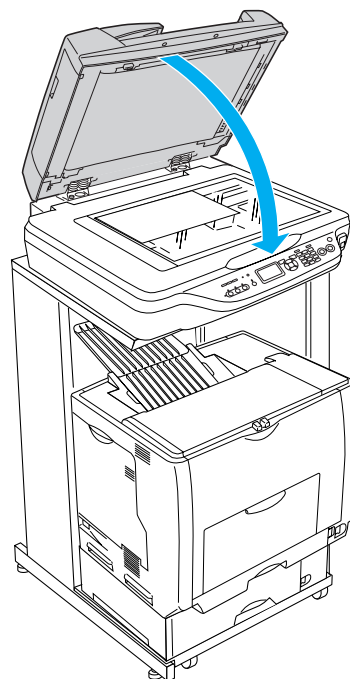
A4、B5、A5、はがきサイズは縦、横どちらでもセットできます。

参考

- 原稿台の上端から最大 1mm、右端から 1mm の範囲はスキャンできません。

- 原稿は、コピー時は横置き（右図）、ファクス時は縦置きにセットしてください。

3 原稿カバーを閉じます。

原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

！注意

- 原稿カバーは、原稿台から 45° のところで一旦止まるようにできています。ただし、上から勢いよく閉じると 45° のところで止まらないことがあるのでご注意ください。
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けないでください。強く押さえ付けると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

以上で原稿台への原稿のセットは終了です。

オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする

セットできる原稿

オートドキュメントフィーダにセットできる用紙は次の通りです。

原稿サイズ	A3、Ledger（約 280 × 432mm）、B4、Legal（216 × 356mm）、A4、Letter（216 × 279mm）、B5
セット可能枚数	100 枚（A4：80g/ ㎡） （用紙ガイドの目盛りを超えてセットしないこと）
紙質	普通紙、上質紙、リサイクル紙、レーザープリンタ専用紙、インクジェットプリンタ専用紙
紙厚（連量）	50 ～ 127g/ ㎡

！注意 写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

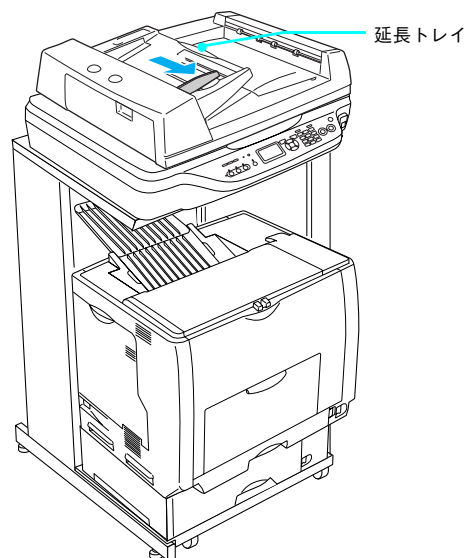
セットできない原稿

次の用紙は、オートドキュメントフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはオートドキュメントフィーダの故障などの原因になります。

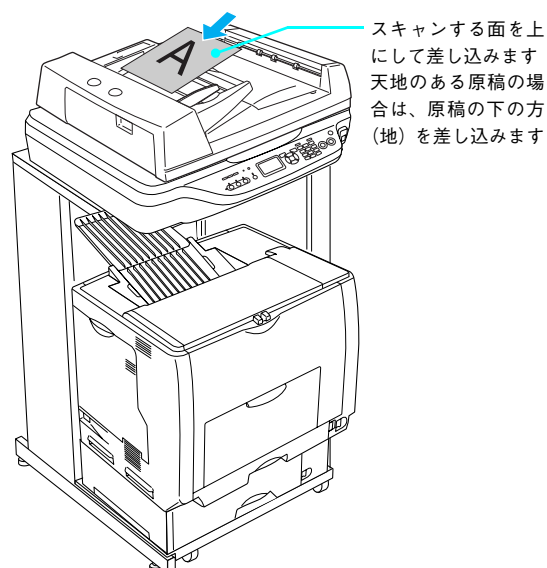
- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

原稿のセット方法

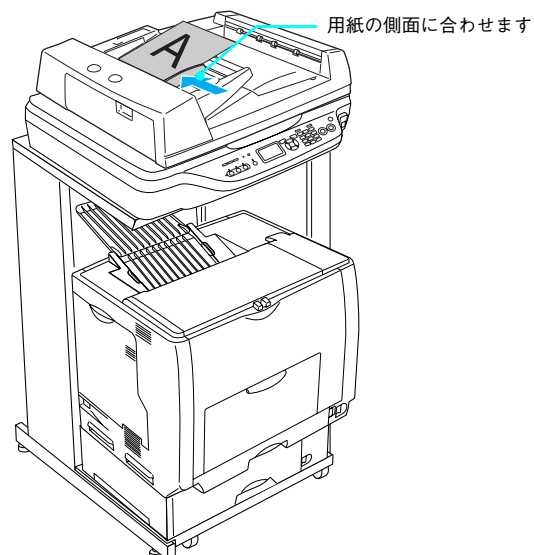
1 **用紙ガイドをセットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。**

B4 以上のサイズをセットするときは、延長トレイを引き出します。

2 **原稿をセットします。**

原稿のスキャンする面を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。
A4、B5 サイズは、縦、横どちらでもセットできます。

> **参考**
> 両面原稿の場合は、表面を上に向けてセットしてください。1 番上の原稿から給紙されます。

3 **用紙ガイドを原稿の側面に合わせます。**

以上でオートドキュメントフィーダへの原稿のセットは終了です。

> **参考**
> スキャンされた原稿は、オートドキュメントフィーダ下段の排紙トレイに排出されます。

2 コピー

コピー機能について説明します。

コピーの前に

コピーをする前に、セットできる原稿サイズや印刷用紙サイズをご確認ください。

セットできる原稿

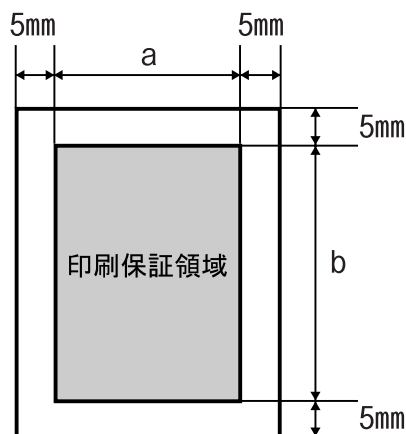
セットできる原稿サイズは、次の通りです。

- A4 横 / 縦＜ 210 × 297mm ＞
- B5 横 / 縦＜ 182 × 257mm ＞
- A5 横 / 縦＜ 148 × 210mm ＞
- A3 ＜ 297 × 420mm ＞
- B4 ＜ 257 × 364mm ＞
- はがき横 / 縦＜ 100 × 148mm ＞

■ 紙幣偽造防止装置

紙幣のコピーを防止する機能で、本機のカラーコピーのすべての機能に対して作動します。
紙幣を読み取った場合、コピーは自動的にキャンセルされ、何も印刷されません。

印刷保証領域

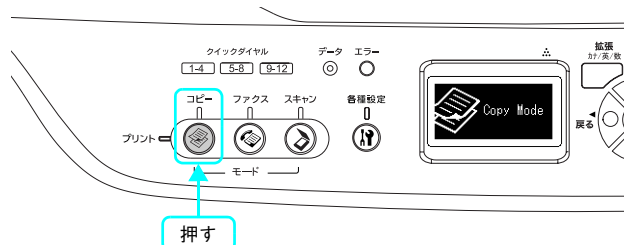
印刷用紙サイズと印刷保証領域は次の通りです。印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。

原稿の各端面から 5mm の範囲はコピーされません。ただし、［全面コピー］機能を使用すると、原稿サイズ全体が保証領域内に納まるように、自動的に縮小してコピーします。

コピーに使用できる印刷用紙の種類

コピーに使用できる印刷用紙の種類は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 18 ページ「使用できる印刷用紙の種類」

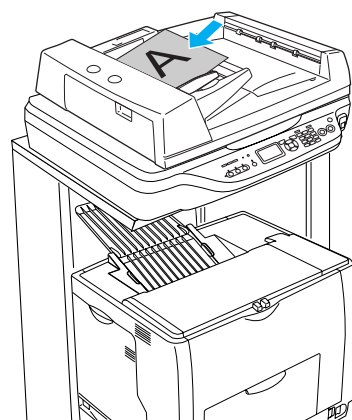
基本コピー（カラー/モノクロ）

コピーの基本操作を説明します。

1　［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2　原稿をセットします。

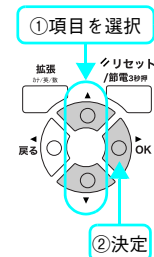
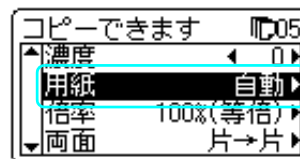
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

3　テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

4 給紙装置を選択します。

① [▲] または [▼] ボタンを押して［用紙］を選択して、[▶] ボタンを押します。
② [▲] または [▼] ボタンを押して給紙装置を選択して、[▶] ボタンで決定します。

［用紙］の選択が［自動］の場合は、読み取った原稿サイズと一致するサイズの用紙が、自動的に給紙装置から給紙されます。

設定	説明
［自動］	セットした原稿が A4 縦 / 横、B5 縦 / 横、B4、A3 のときに、読み取った原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
［MP XX］	MP トレイから給紙します。MP トレイにセットしている用紙サイズに合わせて選択してください。
［CX XX］	選択した用紙カセットから給紙します。

! 注 意

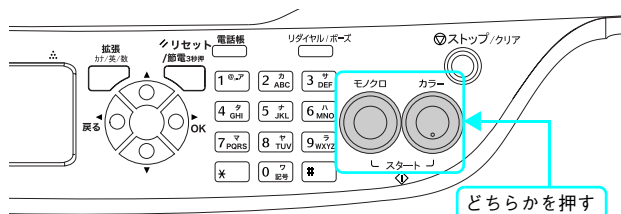
- 用紙カセットにコピーできないサイズの用紙がセットされている場合、操作パネルの［用紙］に［CX - - ］が表示されます。[CX - - ］を選択してコピーをすると、エラーが発生してコピーできません。A3/B4/A4/B5 サイズの用紙をセットしてください。
- 用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルの設定が間違っていても上記のエラーが発生します。［用紙サイズ設定］ダイヤルの設定も確認してください。
本書 22 ページ「用紙カセット（標準カセット 1）に用紙をセットする」

5 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したい場合

［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

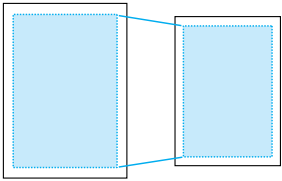
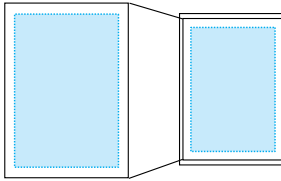
応用コピー

ここでは、本機の機能を利用した各種コピーの方法を説明します。

拡大･縮小してコピーする

拡大・縮小コピーには、原稿サイズと印刷用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小する［定形倍率］と、任意に倍率を設定できる［任意倍率］、原稿と出力する用紙のサイズに合わせて自動で拡大 / 縮小する［自動倍率］があります。

［全面コピー］機能を使用すると、原稿の全面を印刷用紙サイズの印刷保証領域に納めることができます。

印刷保障領域は、原稿の各端面から 5mm 内側に設定されます。

■ 倍率

設定項目	設定値		拡大 / 縮小率
定形倍率	A3→A4/B4→B5	A3サイズの原稿をA4サイズに納まるように縮小コピーします。 B4サイズの原稿をB5サイズに納まるように縮小コピーします。	70%
	B4 → A4	B4サイズの原稿をA4サイズに納まるように縮小コピーします。	81%
	A3→B4/A4→B5	A3サイズの原稿をB4サイズに納まるように縮小コピーします。 A4サイズの原稿をB5サイズに納まるように縮小コピーします。	86%
	100%	等倍でコピーします。	等倍
	B4→A3/B5→A4	B4サイズの原稿をA3サイズに納まるように拡大コピーします。 B5サイズの原稿をA4サイズに納まるように拡大コピーします。	115%
	A4 → B4	A4サイズの原稿をB4サイズに納まるように拡大コピーします。	122%
	A4→A3/B5→B4	A4サイズの原稿をA3サイズに納まるように拡大コピーします。 B5サイズの原稿をB4サイズに納まるように拡大コピーします。	141%
任意倍率		コピー倍率を任意で設定できます。1%単位で設定します	25 ～ 400%
自動倍率		出力する用紙に合わせて自動で設定されます。	–

［用紙選択］で［自動］を選択しているときに［自動倍率］の設定を行うと、操作パネルに「倍率を自動倍率にしたため用紙の設定を変更しました」と表示され、［用紙選択］が［自動］以外に設定されます。

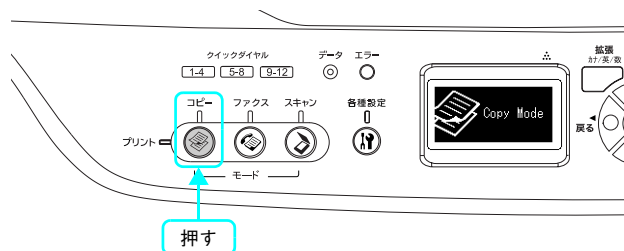
全面コピー

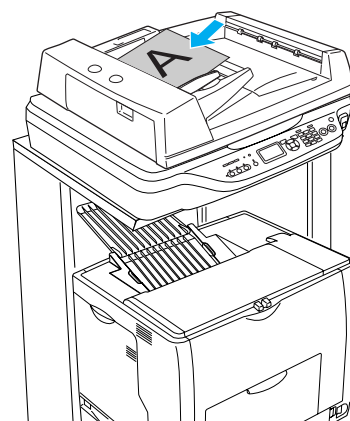
全面コピー	しない	する
仕上がりイメージ	原稿サイズ　印刷用紙サイズ	原稿サイズ　印刷用紙サイズ
	［全面コピー］機能を［しない］にすると、印刷保証領域を考慮せずコピーしますので、原稿の各端面から5mmの範囲はコピーされません。	［全面コピー］機能を［する］にすると、原稿サイズ全体が保証領域内に納まるように、自動的に拡大・縮小してコピーします。

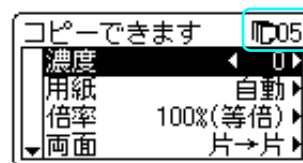
［倍率］で［任意倍率］を選択しているときは［全面コピー］機能は使用できません。コピーは実行できますが、［全面コピー］機能なしで処理されます。

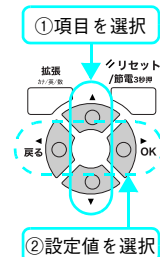
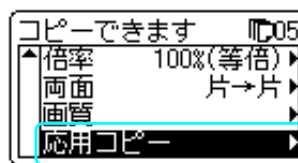
設定方法

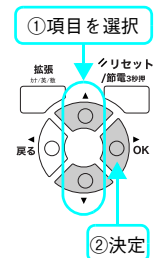
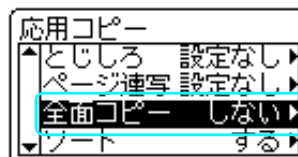
1 **［コピー］ボタンを押します。**

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**

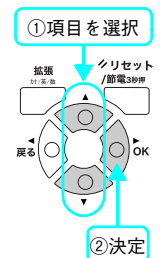
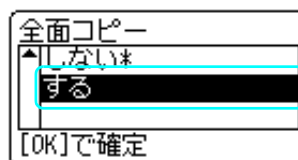
- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**

設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

4 ［応用コピー］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［応用コピー］を選択し、［▶］ボタンを押します。

5 ［全面コピー］を選択します。

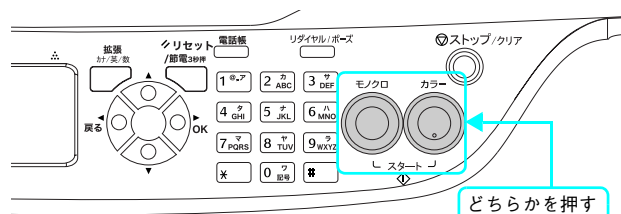
［▲］または［▼］ボタンを押して［全面コピー］を選択し、［▶］ボタンを押します。

6 ［全面コピー］機能を使用する場合は、［全面コピー］を［する］にします。

①［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択します。

②［▶］ボタンで決定します。

参考

［倍率］を任意で設定した場合、［全面コピー］機能を使用することはできません。

7 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

「倍率の指定と原稿サイズが一致しません」とエラー表示された場合

［倍率］で選択した定形倍率と、本機にセットされている用紙サイズが一致しない場合に表示されます。セットされている用紙を定形倍率で選択したサイズの用紙に変更してください。

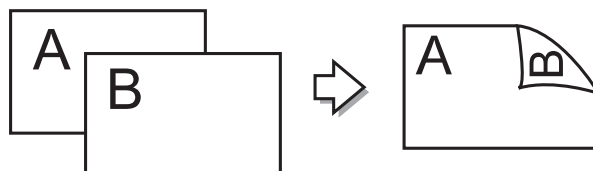
コピーを中断したい場合

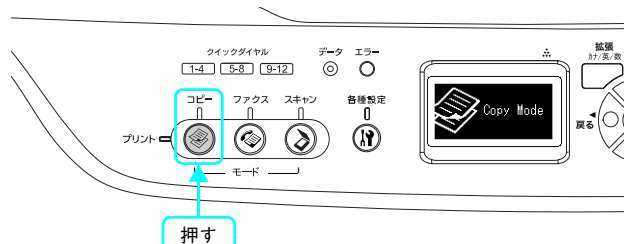
［ストップ／クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

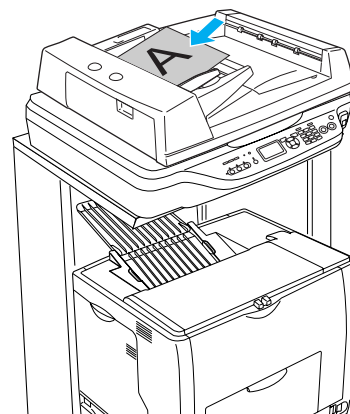
コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

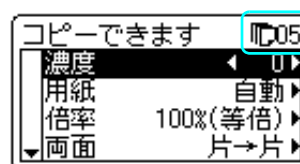
用紙の両面にコピーする / 両面原稿をコピーする

2 枚の原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーしたり、両面に印刷された 1 枚の原稿の裏表を 2 枚の用紙の片面にコピーすることができます。

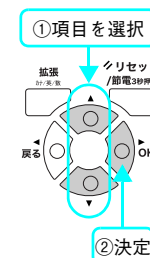
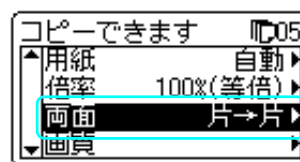
両面コピーの種類と説明については、手順 4 を参照してください。

1 ［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

- 原稿台を使用する場合は、1 枚目の原稿をセットします。
  本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダを使用する場合は、コピーするすべて（最大 100 枚）の原稿をセットします。
  本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

4 両面コピーの種類を選択します。

①［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［両面］を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します。

②［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して両面印刷の種類を選択して、［ ▶ ］ボタンで決定します。

両面コピーの種類については次ページの表を参照してください。

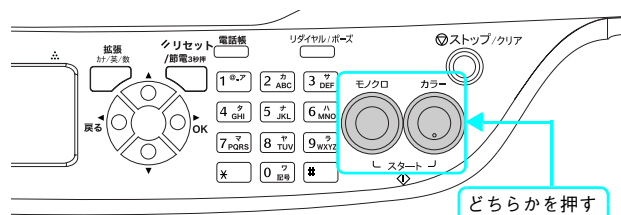
両面コピーの種類	説明	仕上がりイメージ
片面→片面	通常のコピー方法です。原稿の片面を用紙の片面にコピーします。	
片面→両面	2 枚の原稿の片面を、1 枚の用紙の表と裏にコピーします。 とじ位置を右または左にしたいときに選択します。	
両面→片面	両面印刷（とじ位置が右または左）された原稿の表と裏を、用紙の片面にコピーします。	
両面→両面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の両面にコピーします。	
片面→両面上とじ	2 枚の原稿の片面を、1 枚の用紙の表と裏にコピーします。偶数ページは 180 度回転してコピーされます。とじ位置を上にしたいときに選択します。	
両面上とじ→片面	両面印刷（とじ位置が上）された原稿の表と裏を、用紙の片面にコピーします。偶数ページは 180 度回転してコピーされます。	

5 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

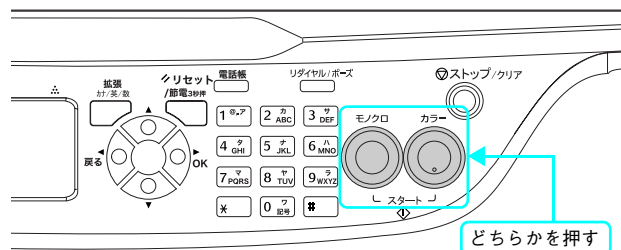
コピーを中断したい場合

［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

6 右のメッセージが表示されたら、原稿台に 2 枚目の原稿をセットします。

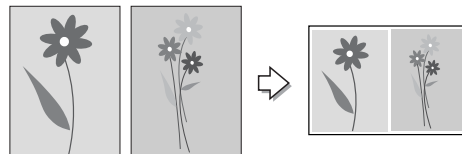
原稿台を使用した場合は、一枚ごとに原稿をセットする必要があります。
表示パネルに右の画面が表示されたら、次の原稿をセットして、［カラー］または、［モノクロ］ボタンを押してコピーを実行します。

参考

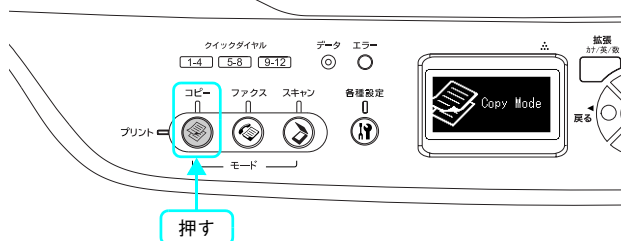
オートドキュメントフィーダを使用する場合

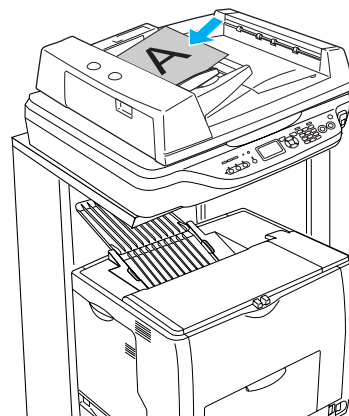
片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

割り付けコピーをする

2 枚の原稿を、1 枚の用紙に割り付けてコピーします。
以下の原稿サイズと印刷用紙サイズの組み合わせができます。

原稿サイズ	印刷用紙サイズ			
	A4	B5	A3	B4
A4 横 / 縦	○	○	○	○
B5 横 / 縦	○	○	○	○
A3	○	○	○	○
B4	○	○	○	○

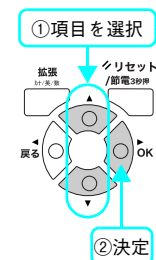
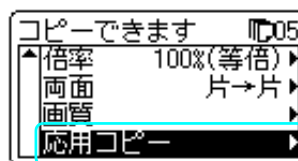
1 ［コピー］ボタンを押します。

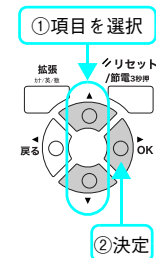
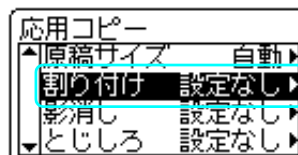
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

- 原稿台を使用する場合は、1 枚目の原稿をセットします。
  ☞ 本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダを使用する場合は、コピーするすべて(最大100枚)の原稿をセットします。
  ☞ 本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

4 ［応用コピー］を選択します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［応用コピー］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

5 割り付けコピーの設定を行います。

① ［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［割り付け］を選択します。
② ［ ▶ ］ボタンを押します。
③ もう一度［ ▶ ］ボタンを押します。
④ ［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［する］を選択します。
⑤ ［ ▶ ］ボタンで決定します。

6 必要に応じてその他の設定を行います。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して設定項目を選択してから［ ◀ ］または［ ▶ ］ボタンで設定画面を表示します。
設定画面では、［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して設定項目を選択し、［ ▶ ］ボタンで決定します。

設定項目	説明
割り付け順序	原稿の 1 枚目（奇数ページ）と 2 枚目（偶数ページ）を、1 枚の用紙に割り付ける順番を指定できます。 1→2ページ 2→1ページ
原稿サイズ	セットした原稿のサイズと向きを選びます。（A3 、B4 、A4 、A4 、B5 、B5 ）
偶数回転	［偶数回転］を［する］にすると、偶数ページが180 度回転して印刷されます。

7 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

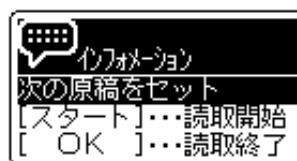
コピーを中断したい場合

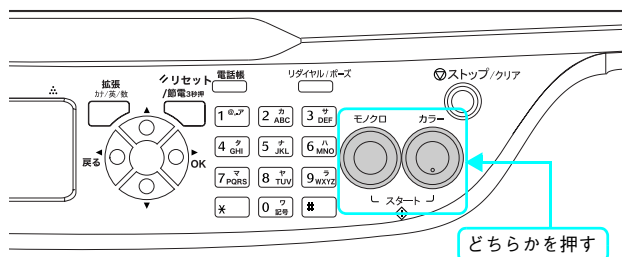
［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

8 右のメッセージが表示されたら、原稿台に 2 枚目の原稿をセットします。

原稿台を使用した場合は、1 枚ごとに原稿をセットする必要があります。

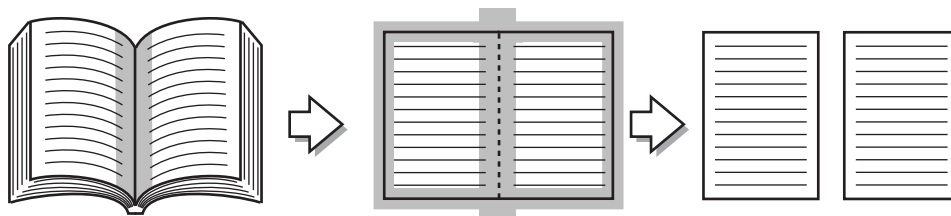
表示パネルに右のメッセージが表示されたら、次の原稿をセットして、［カラー］または、［モノクロ］ボタンを押してコピーを実行します。

参考

オートドキュメントフィーダを使用する場合

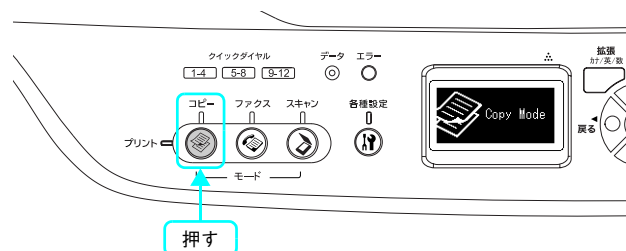
- 片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。
- セットされている原稿が奇数枚の場合は、最終ページを白ページとしてコピーします。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

影を消して(取り込まない範囲を指定して)コピーする

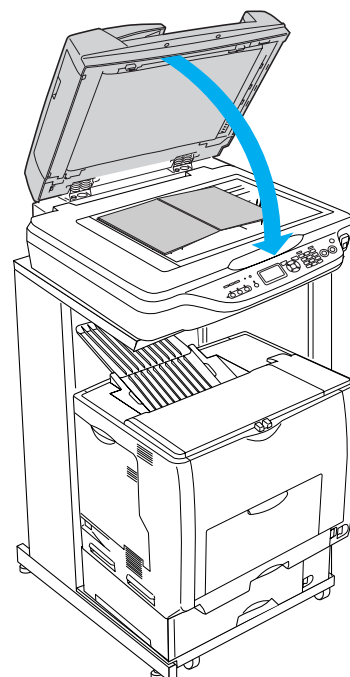
原稿の中央や周囲に取り込まない範囲を設定してコピーする機能です。
厚い本などを見開き状態でコピーすると、ページの中央や左右に影が生じたり、ページの周囲に他のページが枠のようにコピーされる場合があります。このような影・枠が生じないように、範囲を設定してコピーします。

原稿サイズ	A3/B4/A4/B5

参考　用紙の中央や周囲に生じる影や枠は、原稿とする本の厚さや開くページで異なります。
影消しコピーは、原稿の中央と周囲をコピーしないようにする機能のため、設定値を大きくするとコピーされない箇所が生じる場合があります。
設定される場合は、少しずつ設定値を変更されることをお勧めします。

1 ［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿（本など）をセットします。

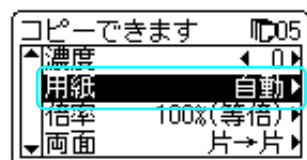
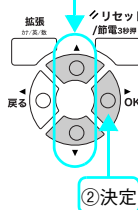
原稿サイズを自動検知する場合は、原稿カバーをしっかり閉じてください。
☞ 本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」

参考
原稿カバーをしっかり閉じないと、原稿サイズを自動検知できません。厚みのある本などをセットするときは、手順 4 の［用紙］で原稿のサイズを指定してください。

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

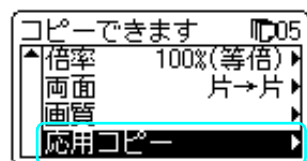
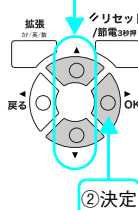
4 セットした原稿のサイズの用紙がセットされた給紙装置を選択します。

①［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［用紙］を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します

②［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して原稿サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置を選択して、［ ▶ ］ボタンで決定します。

参考

［用紙］に［自動］を選択すると、A3、B4、A4、B5 サイズの原稿を自動検知して、原稿サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置から給紙されます。厚みのある本などで、自動検知されない場合は、［用紙］を選択してください。

5 ［応用コピー］を選択します。

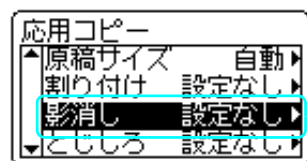
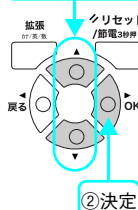
［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［応用コピー］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

6 影消しコピーの設定を行います。

①［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［影消し］を選択します。

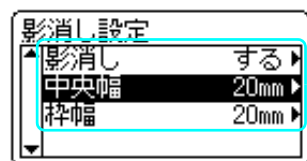
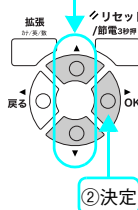
②［ ▶ ］ボタンを押します。

③もう一度［ ▶ ］ボタンを押します。

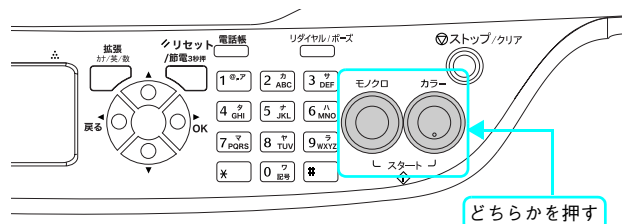
④［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［する］を選択します。

⑤［ ▶ ］ボタンで決定します。

7 中央幅と周囲枠の影消し幅の設定値を選択します。

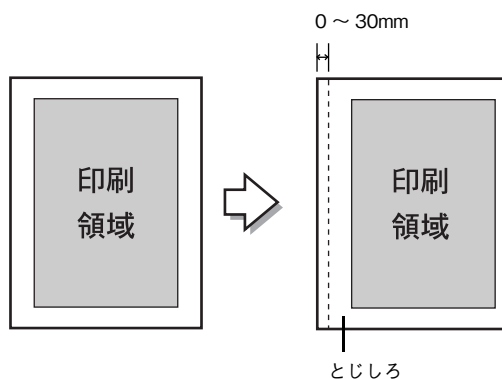
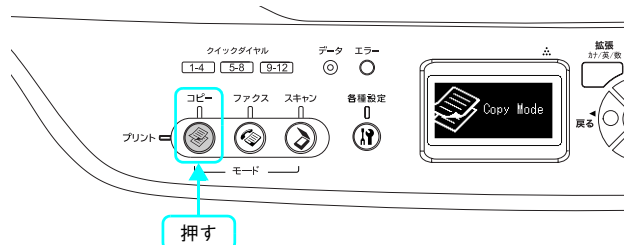
［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［中央幅］または［枠幅］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。
設定画面では、テンキーか［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンで設定値を選択し、［ ▶ ］ボタンを押します。

- 影消し中央幅の設定値は 0 ～ 40mm です。
- 影消し周囲枠幅の設定値は 0 ～ 40mm です。

8 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

> **参考**
>
> **コピーを中断したい場合**
>
> ［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

とじしろを設定してコピーする

用紙の端の上・下・左・右にとじしろ領域を設けてコピーします。

1 ［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

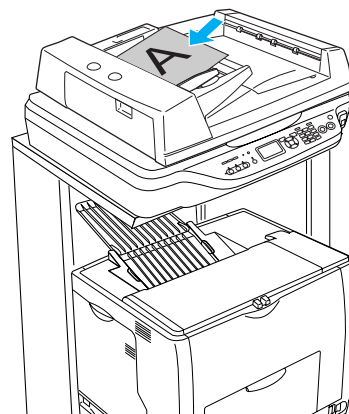
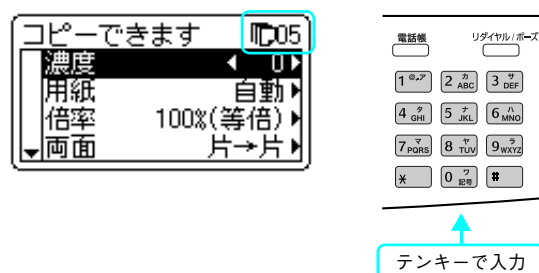
2 原稿をセットします。

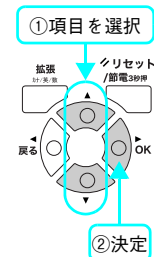
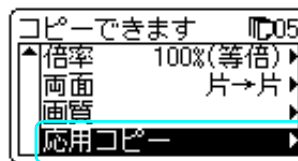
- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

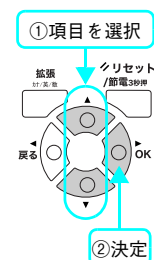
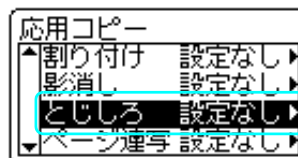
3 テンキーでコピー枚数を設定します。

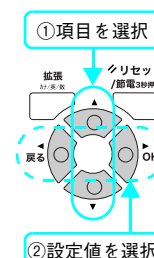
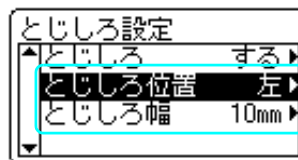
設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

コピーできます 05
濃度 0
用紙 自動
倍率 100%(等倍)
両面 片→片

テンキーで入力

4 ［応用コピー］を選択します。

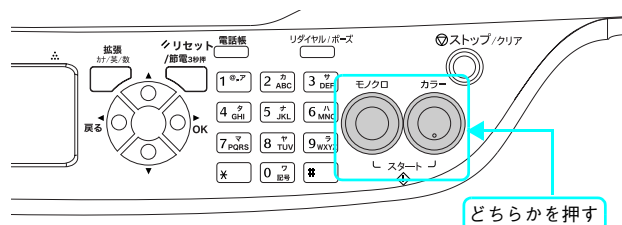
［▲］または［▼］ボタンを押して［応用コピー］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 とじしろの設定を行います。

① ［▲］または［▼］ボタンを押して［とじしろ］を選択します。
② ［▶］ボタンを押します。
③ もう一度［▶］ボタンを押します。
④ ［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択します。
⑤ ［▶］ボタンで決定します。

6 とじしろの位置と幅の設定値を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［とじしろ位置］または［とじしろ幅］を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで設定画面を表示します。
設定画面では、テンキーか［▲］または［▼］ボタンで設定値を選択し、［▶］ボタンを押します。

設定項目	説明
とじしろ位置	原稿の上、下、左、右のいずれかにとじしろ領域を設けます。
とじしろ幅	とじしろ幅の設定値は、0 ～ 30mm です。

参考

本機の仕様により、用紙の端から 5mm 以内にコピーすることはできません。このため、とじしろを 5mm 以下に設定しても、実際には 5mm の余白が生じます。

7 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

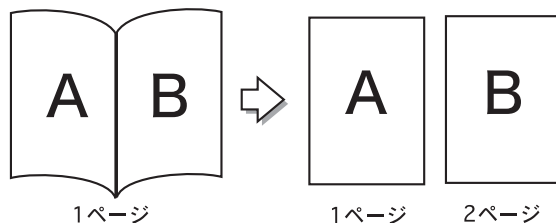
どちらかを押す

コピーを中断したい場合

［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

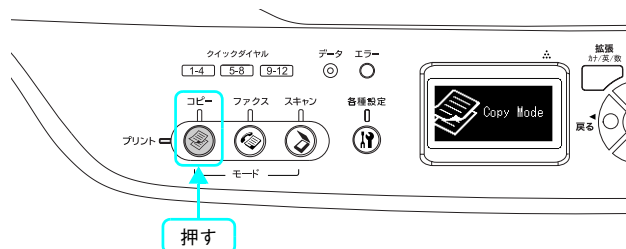
コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

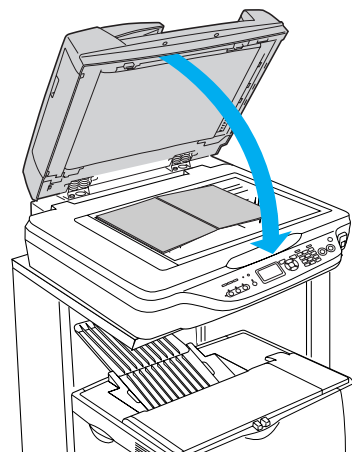
見開きの原稿を左右別々にコピーする

見開きの本や 1 枚の原稿を左右または上下に分けて、別々の用紙にコピーする機能です。
右開き / 左開きのどちらの本でもページ順にコピーができます。

原稿サイズと出力用紙のサイズ / 方向は、次の組み合わせのみ可能です。

原稿サイズ（見開き）	出力用紙サイズ	コピー倍率
A3 （横）	A4	A4 → A4
	B5	A4 → B5
B4 （横）	A4	B5 → A4
	B5	B5 → B5
A4 （横）	A4	A5 → A4
	B5	A5 → B5
B5 （横）	A4	B6 → A4
	B5	B6 → B5

1 ［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿（本など）をセットします。

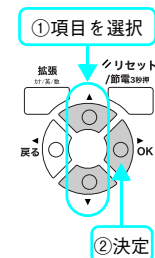
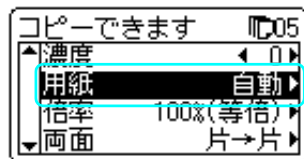
原稿台を使用するときは、原稿カバーをしっかり閉じてください。

本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

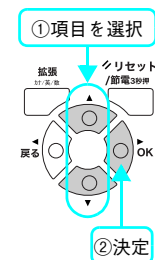
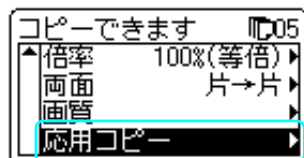
4 給紙装置を選択します。

① [▲] または [▼] ボタンを押して [用紙] を選択して、[▶] ボタンを押します。

② [▲] または [▼] ボタンを押して原稿サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置を選択して、[▶] ボタンで決定します。

参考

[ページ連写] 機能を使用するときは、[用紙] で [A4] または [B5] を選択してください。その他の給紙装置を選択すると、エラーメッセージが表示されコピーされません。

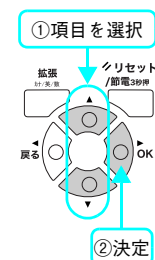
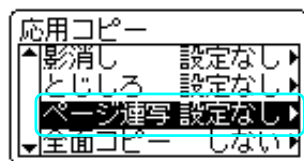
5 [応用コピー] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [応用コピー] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

6 ページ連写コピーの設定を行います。

① [▲] または [▼] ボタンを押して [ページ連写] を選択します。

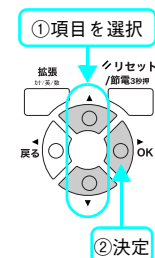
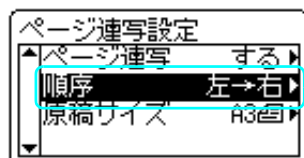
② [▶] ボタンを押します。

③ もう一度 [▶] ボタンを押します。

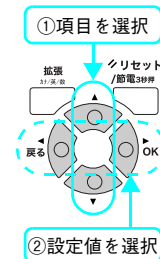
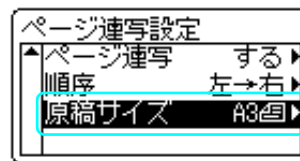
④ [▲] または [▼] ボタンを押して [する] を選択します。

⑤ [▶] ボタンで決定します。

7 セットしている原稿に合わせて左開きか右開きを選択します。

① [▲] または [▼] ボタンを押して [順序] を選択して、[▶] ボタンを押します。

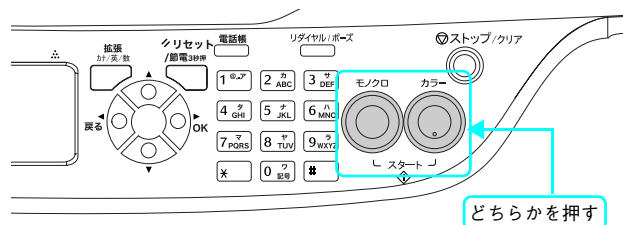
② [▲] または [▼] ボタンを押して設定値を選択して、[▶] ボタンで決定します。

8 セットしている原稿のサイズを選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［原稿サイズ］を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで設定します。

原稿サイズは見開き状態のサイズです。

9 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

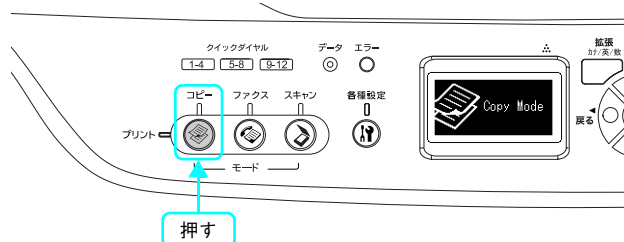
コピーを中断したい場合

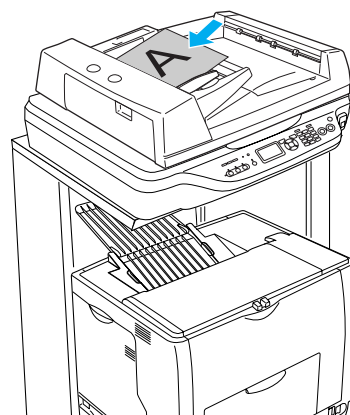
［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

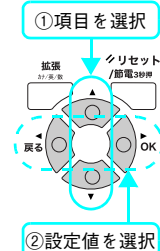
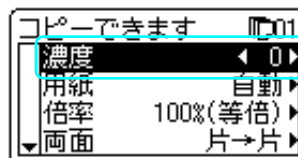
原稿に合わせてコピーの品質を変更する

よりきれいにコピーをするために、原稿のタイプに合わせてコピーの設定を行います。

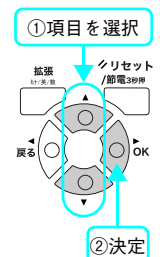
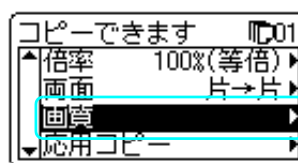
1 **［コピー］ボタンを押します。**

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

3 **［濃度］を選択します。**

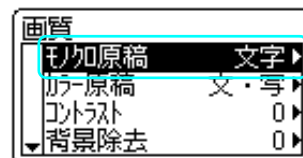
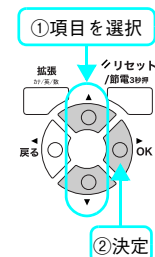
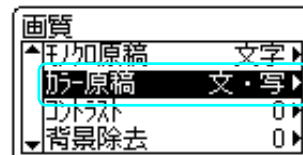
［▲］または［▼］ボタンを押して［濃度］を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで、コピー濃度を設定します。
［濃度］は 7 段階あります。

設定値	説明
-3 ～ 0 ～ 3	• 数値が小さくなるほど（マイナス）、濃度の差がなくなり、全体的に薄い画像になります。 • 数値が大きくなるほど（プラス）、濃度の差がはっきりして、全体的に濃い画像になります。

4 **［画質］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［画質］を選択して、［▶］ボタンを押します。

5 ［モノクロ原稿］または、［カラー原稿］を選択して、原稿タイプを選択します。

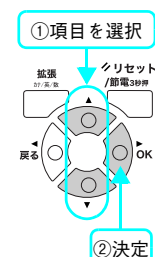
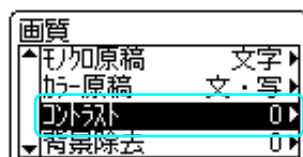
①［▲］または［▼］ボタンで［モノクロ原稿］または［カラー原稿］を選択して、［▶］ボタンを押します。
②［▲］または［▼］ボタンで原稿タイプを選択して、［▶］ボタンで決定します。

- ［モノクロ原稿］：黒トナーだけでコピーするときに設定します。
- ［カラー原稿］：フルカラーでコピーするときに設定します。

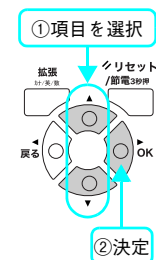
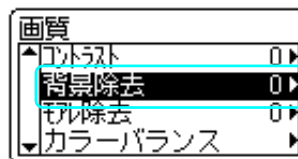
■モノクロ原稿

■カラー原稿

原稿タイプ	説明
文字	文字原稿に適しています。黒い文字をくっきりとコピーすることができます。背景除去（原稿の色）を除去したいときにも有効です。
文字・写真	モアレ（網目状の陰影）除去、輪郭の強調を有効にしてコピーします。雑誌やカタログなどで、モアレ除去をし、背景を白くしたいときなどに適しています。
写真	銀塩写真（現像写真）をコピーするときに適しています。薄い色から濃い色まで忠実に再現し、同時にモアレ除去も行います。
高精細	小さい文字や図面、細線などが含まれる原稿に適しています。モアレ除去と背景除去を同時に行います。 コピー速度は遅くなりますが、より細密なコピーが得ることができます。

6 ［コントラスト］の調整をします。

①［▲］または［▼］ボタンを押して［コントラスト］を選択して、［▶］ボタンを押します。
②［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［▶］ボタンで決定します。

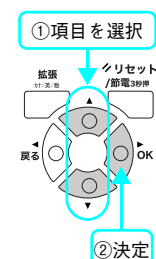
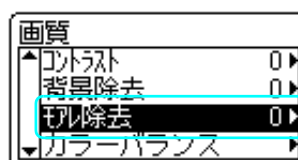
［コントラスト］は 7 段階あります。

設定値	説明
-3 ～ 0 ～ 3	• 数値が小さくなるほど（マイナス）、明暗の差がなくなり、全体的に暗い印象の画像になります。 • 数値が大きくなるほど（プラス）、明暗の差がはっきりして、全体的に明るい印象の画像になります。

7 ［背景除去］の調整をします。

①［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［背景除去］を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します。
②［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して設定値を選択して、［ ▶ ］ボタンで決定します。

背景除去の機能の強弱を 5 段階で調整します。

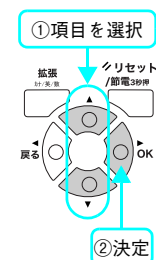
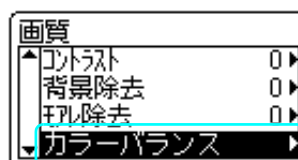
設定値	説明
-2 ～ 0 ～ 2	コピー濃度を上げたことにより原稿自体の色までコピーされる（背景が白にならない）ときや、裏写りのある原稿をコピーするときに背景除去のレベルを選択します。数値が大きくなるほど背景除去レベルが上がります。

8 ［モアレ除去］の調整をします。

①［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［モアレ除去］を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します。
②［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して設定値を選択して、［ ▶ ］ボタンで決定します。

モアレ除去の機能の強弱を 5 段階で調整します。

設定値	説明
-2 ～ 0 ～ 2	モアレ（網目状の陰影）が出るときにモアレ除去レベルを選択します。数値が大きくなるほどモアレ除去レベルが上がります。

9 ［カラーバランス］の調整をします。

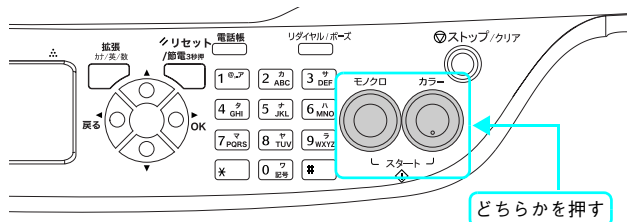
①［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンで［カラーバランス］を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します。
②［R バランス］、［G バランス］、［B バランス］のうち調整したい項目を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します。
③［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンで設定値を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します。

設定項目	設定値	説明
R バランス	-3 ～ 0 ～ 3	R（赤）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、赤が弱まり、青が強調されます。
G バランス	-3 ～ 0 ～ 3	G（緑）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、緑が弱まり、赤紫が強調されます。
B バランス	-3 ～ 0 ～ 3	B（青）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、青が弱まり、黄色が強調されます。

10 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

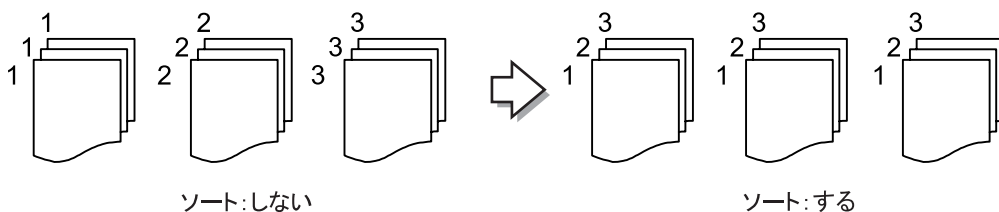
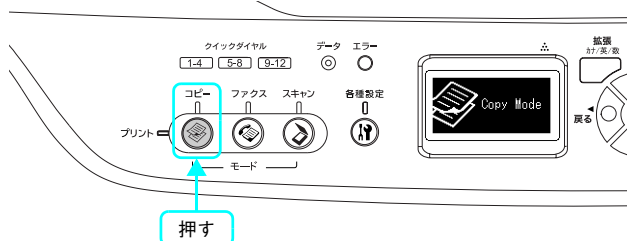
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

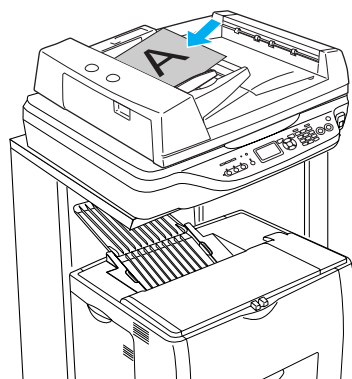
コピーを中断したい場合

［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

部単位でコピーする（ソート）

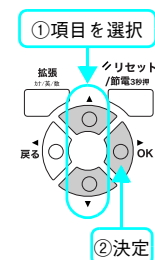
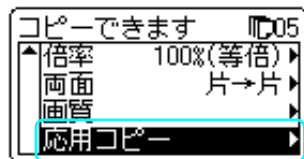
1 部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。

1 ［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

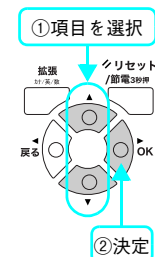
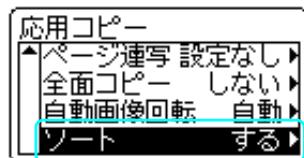
- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

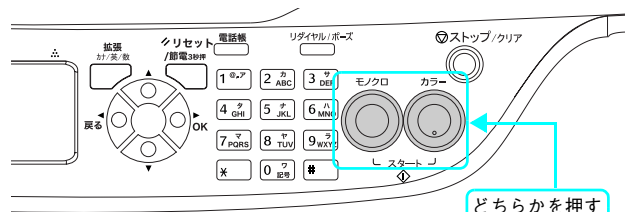
設定できるコピー枚数は 1 ～ 99 です。

4 ［応用コピー］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［応用コピー］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 ソートの設定を行います。

①［▲］または［▼］ボタンを押して［ソート］を選択して、［▶］ボタンを押します。

②［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、［▶］ボタンで決定します。

6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

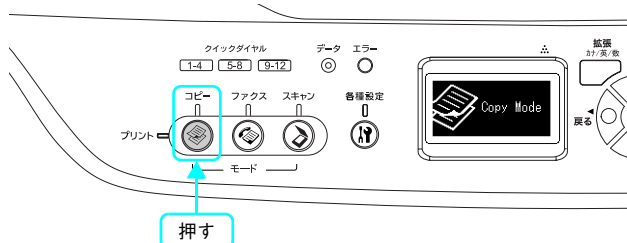
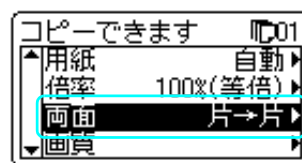
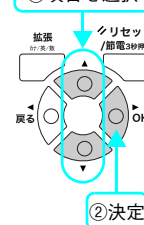
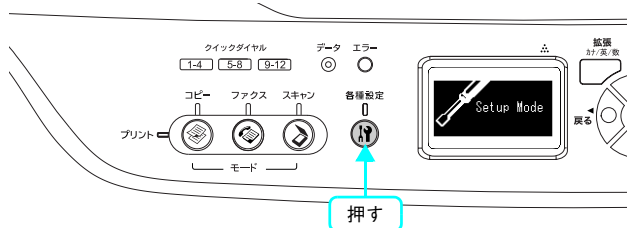
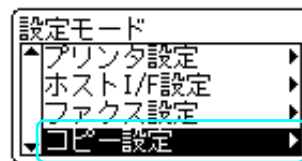
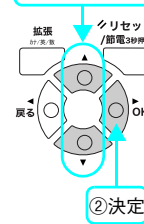
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中止したい場合

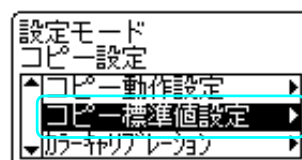
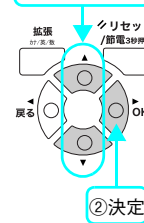
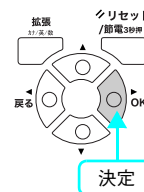
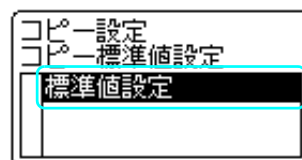
［ストップ / クリア］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

よく使う設定を標準値設定として登録する（コピー標準値設定）

両面コピーや部単位コピーなど、ひんぱんに使用するコピー設定を標準値（コピーモードにしたときに表示される設定）として登録することができます。
コピー標準値設定を登録しておくと、コピーするたびに設定を変更する必要がないため便利です。

1 **［コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **コピー設定を行います。**

3 **［各種設定］ボタンを押します。**
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

4 **［コピー設定］を選択します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー設定］を選択して、［▶］ボタンを押します。

①項目を選択

②決定

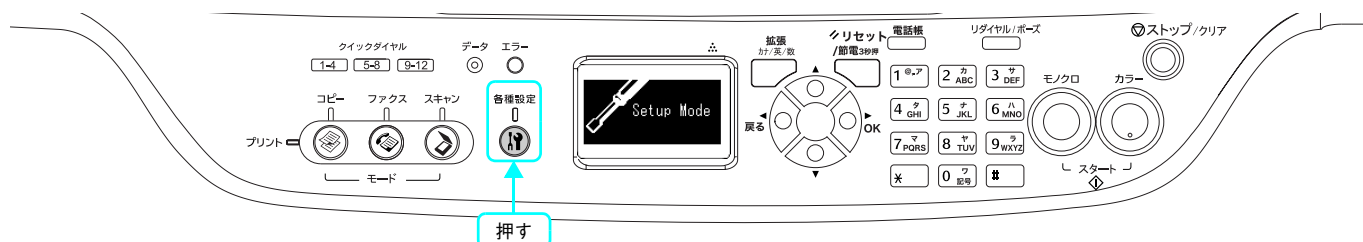
5 **［コピー標準値設定］を選択します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー標準値設定］を選択して、［▶］ボタンを押します。

6 **画面に［標準値設定］が表示されていることを確認して［▶］ボタンを押します。**

以上でコピー標準値設定の登録は終了です。

3 ファクス機能（FAX モデルのみ）

ファクス機能について説明します。

ファクスを使う前に

ファクスの設定を確認する

ファクスを送受信する前に必要となる項目が正しく設定されているか確認してください。
設定の内容は、操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、［設定モード］で確認します。

ファクスを使用する際に、次の項目の設定を必ず行ってください。
［設定モード］-［ファクス設定］の［基本設定］で設定状況が確認できます。

設定項目		内容
回線種別		お使いの電話回線に合わせて設定してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能の初期設定」
ダイヤル種別		お使いの電話回線に合わせて選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能の初期設定」
自局設定	名称	添付の EPSON Speed Dial Utility を使用して登録します。 本書 77 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」
	番号	テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号を入力します（20 桁まで入力可能）。 ［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力できます。 設定方法については、以下のページを参照してください。 『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能の初期設定」

その他の送受信に関する設定（オートリダイヤル回数、発信元記録、受信モードなど）については、以下のページを参照してください。
本書 205 ページ「ファクス設定の項目一覧」

発信元情報の印字について

- 発信元情報（送信したファクスに日付、時刻、送信者名、自局番号が印字される機能）は、原稿に対して上書きされるため、発信元情報が原稿に重なって印字される場合があります。このようなときは、原稿の上端に 3mm 以上（モノクロファクスで画質が標準の場合は、6mm 以上）の余白を設定してください。
- 発信元情報の印字をしたくない場合は、以下のページを参照して［発信元記録］を［しない］に設定してください。
  本書 205 ページ「ファクス設定の項目一覧」-［送信設定］

ファクス送信

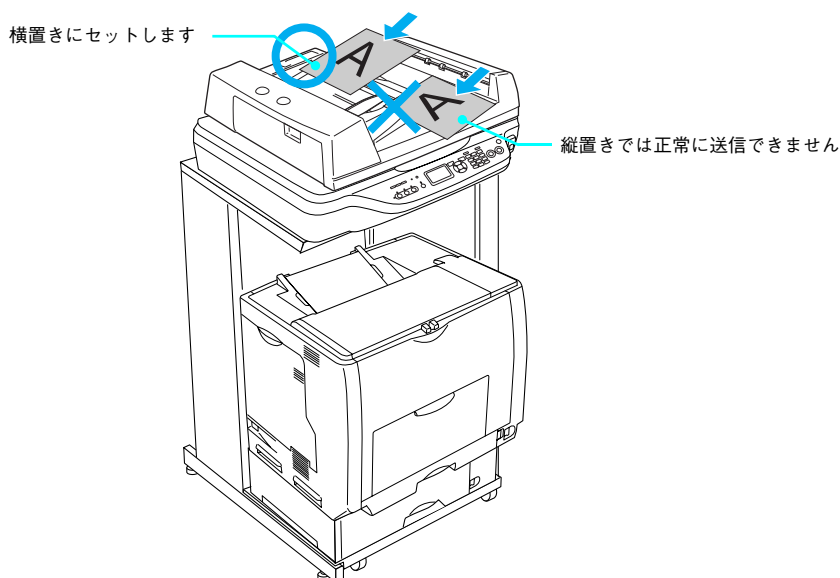
送信できる原稿サイズ

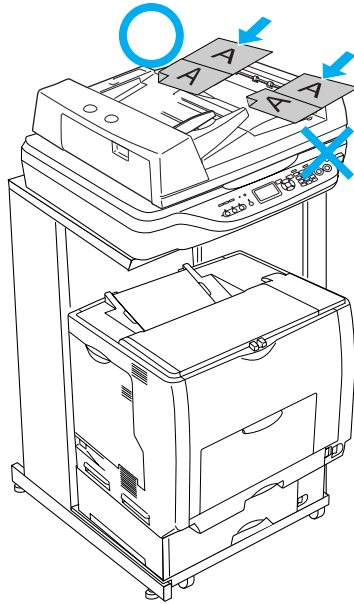
送信できる原稿サイズ

- B5 ＜ 182 × 257mm ＞
- A4 ＜ 210 × 297mm ＞
- B4 ＜ 257 × 364mm ＞
- A3 ＜ 297 × 420mm ＞

- ファクス送信では、原稿が A4 以下の場合、A4 縦に変換して送信します。
  このように、送信側の処理によって出力結果が原稿のサイズと異なる場合があります。
- 原稿サイズが A3 または B4 で、カラーファクス送信するときは、読み取り時に A4 に自動縮小して送信されます。
- B5 サイズの原稿を読み取ることは可能ですが、送信されると次のようになります。

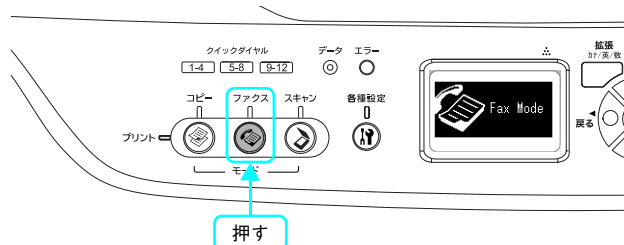
原稿のセット方向について

［原稿サイズ］が［自動］のとき、原稿は横置きにセットしてください。縦置きでは、正常に送信されません。

異なるサイズの原稿を同時にセットする場合の注意

原稿の幅がそろうようにセットしてください。原稿の幅がそろっていないと、原稿が傾いたり、サイズを正しく認識できません

ファクス番号を入力して送信する

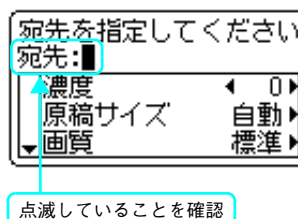
操作パネル上のテンキー（ダイヤルボタン）で送付先の番号を入力してファクスを送信する方法を説明します。

1 ［ファクス］ボタンを押します。

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 原稿をセットします。

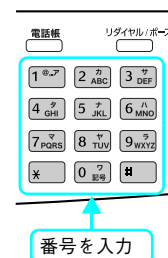
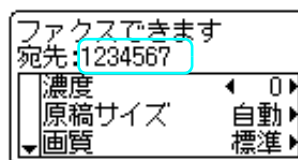
原稿を原稿台にセットして送信することもできます。

3 ［宛先］を入力します。

［宛先］の右横 "▮" マークが点滅していることを確認します。点滅していない場合は、［ ▲ ］ボタンを押して［宛先］を選択します。

4 送付先のファクス番号を入力します。

テンキー（ダイヤルボタン）を使って、番号を入力します。

入力する番号を間違えた場合は、［ ◀ ］ボタンで戻るか［ストップ］ボタンで消去して戻ります。［リセット］ボタンを押すと、入力した番号がすべて消去されます。

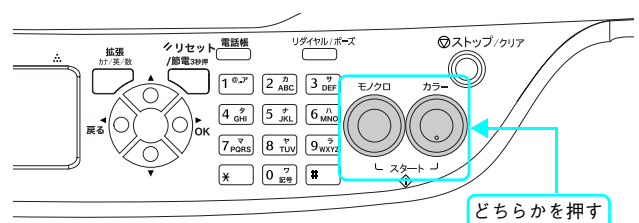
［＊］キーを押すと「＊」、［＃］キーを押すと「＃」を入力します。

5 必要に応じて設定を行います。

濃度を設定する場合は、［▲］または［▼］ボタンで選択して［◀］または［▶］ボタンで設定値を選択します。
濃度以外を設定する場合は、［▲］または［▼］ボタンで選択して［▶］ボタンを押して、［▲］または［▼］ボタンで設定値を選択して、［▶］ボタンで決定します。

設定項目	説明 / 設定値
濃度	ファクスのコピー濃度を 7 段階で指定します。 文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。
	-3 ～ 0 ～ 3
原稿サイズ	送信する原稿サイズを指定します。
	自動、A3、B4、A4、A4、B5、B5
画質*	モノクロ原稿を送信する際の画質を指定します。
	ドラフト、標準、高精細、写真
ADF 両面	オートドキュメントフィーダ（ADF）を使用して送信する場合に、原稿の読み取り面を片面、両面を設定できます。
	片面、両面
ポーリング受信	ポーリング受信する際［する］にします。 ポーリング受信の詳細については、以下のページを参照してください。 本書 74 ページ「ポーリング受信する」
	しない、する
海外送信モード	海外に送信する際［する］にします。 海外にデータを送付するのに必要な通信回線の確立時間を確保するため、送信開始を通常より遅くします。
	しない、する

＊ カラーで送信する場合、設定を変更しても画質は［標準］で送信されます。

6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファクスされます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

短縮ダイヤルで送信する

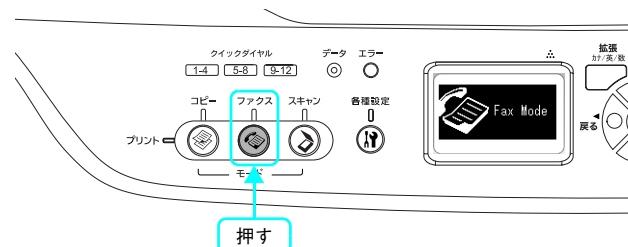
ここでは、「短縮ダイヤル」（最大 200 件）または「クイックダイヤル」（最大 12 件）に登録されている宛先に送付する方法と、短縮ダイヤルに登録されている複数の宛先に、同報送信するグループダイヤルを説明します。

「短縮ダイヤル」、「クイックダイヤル」、「グループダイヤル」を使用するには事前に登録が必要です。登録方法は、以下のページを参照してください。

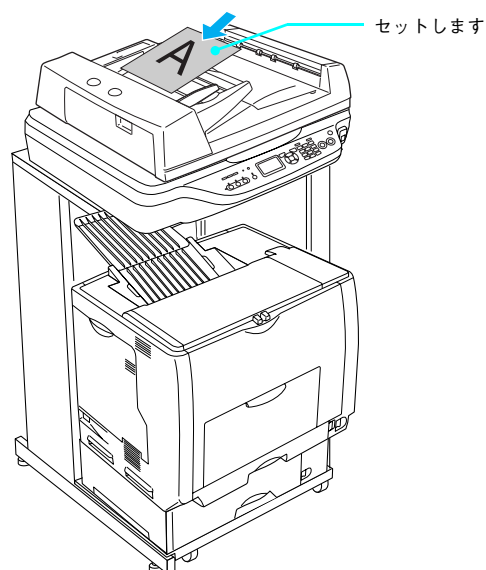
- 操作パネルから「短縮ダイヤル」/「クイックダイヤル」を登録する
  ☞ 本書 77 ページ「宛先の登録方法」
- 添付のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」から「短縮ダイヤル」/「クイックダイヤル」/「グループダイヤル」を登録する
  ☞ 本書 77 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

短縮ダイヤル

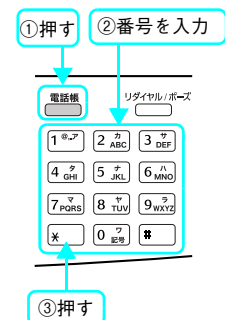
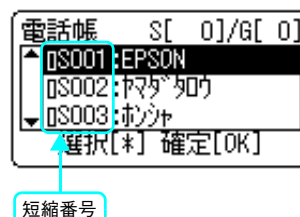
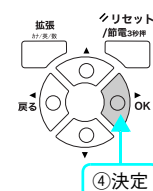
1 ［ファクス］ボタンを押します。

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 原稿をセットします。

参考

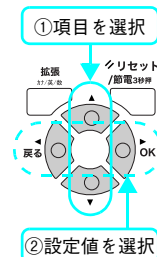
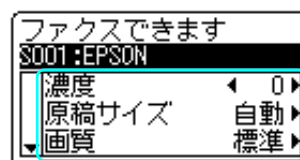
原稿を原稿台にセットして送信することもできます。

3 短縮番号を入力します。

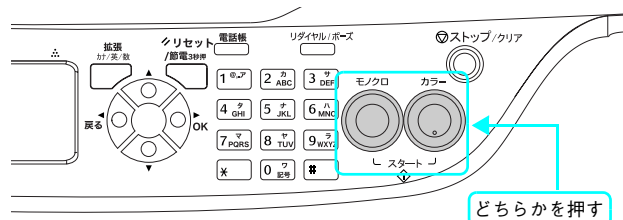
① [電話帳] ボタンを押します。
② テンキー（ダイヤルボタン）を使って短縮番号を入力するか、[▲] または [▼] ボタンで登録されている短縮番号を選択します。
③ [∗] ボタンを押して送信する短縮番号を設定して、[▶] ボタンで短縮番号指定を終了します。

複数の短縮番号にファクス送信をしたい場合は、短縮番号を選択して [∗] ボタンを押す作業を繰り返してから [▶] ボタンを押します。

4 必要に応じて品質の設定を行います。

[▲] または [▼] ボタンを押して設定する項目を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで設定値を選択します。

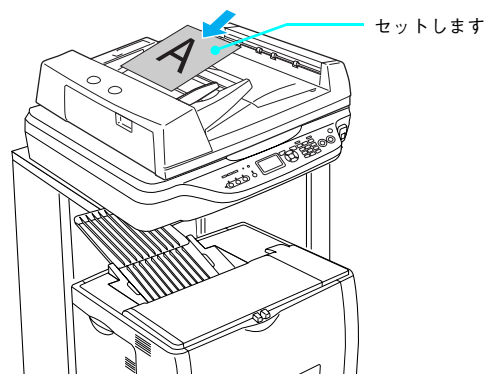
各設定の詳細については、以下のページを参照してください。

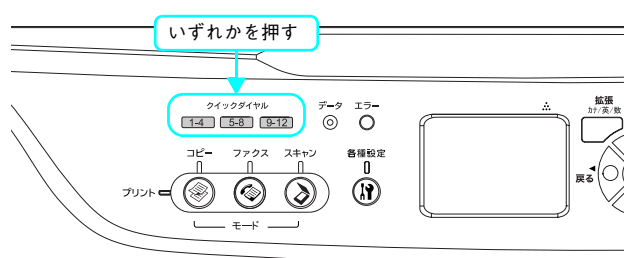
本書 63 ページ「ファクス番号を入力して送信する」の手順 5

5 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、原稿を送信します。

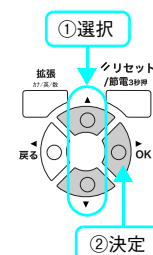
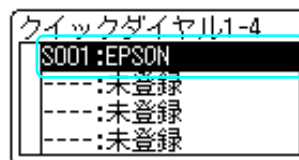
[カラー] ボタンを押すとカラーで、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロでファクスされます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

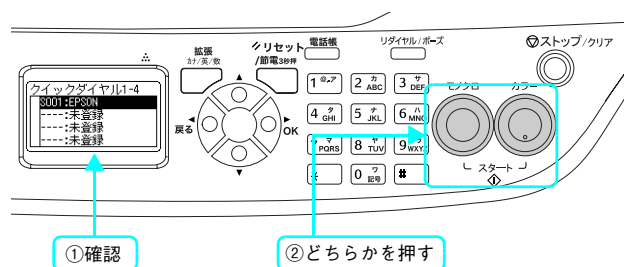
クイックダイヤル

1　原稿をセットします。

参考
原稿を原稿台にセットして送信することもできます。

2　［クイックダイヤル］ボタンを押します。

参考
コピー中やスキャン中に、［クイックダイヤル］ボタンを押しても設定が有効になりません。

3　送信先を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して送付先を選択してから、［▶］ボタンを押して決定します。

4　登録した宛先が操作パネルに表示されていることを確認して、［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して原稿を送信します。

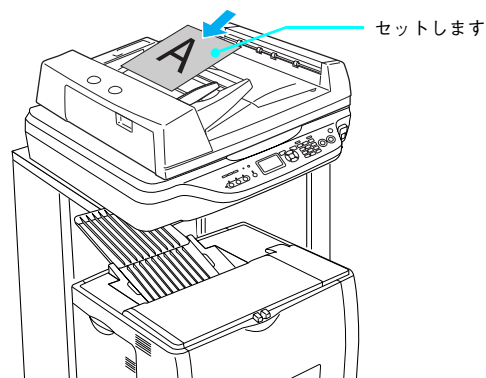
［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファクスされます。送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

同じ宛先にもう一度送信（リダイヤル）する

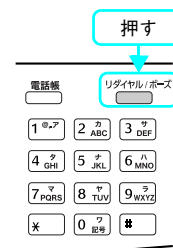
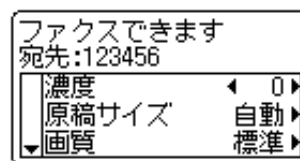
最後に送信した同じ宛先に、もう一度送信する方法（リダイヤル）を説明します。

- ファクス送信後に［モード］ボタンを押してモードの切り替えを行うと、リダイヤルのデータが消去されるため、リダイヤル送信は利用できません。
- ファクス送信後3分間何も操作しないと本機のモードがプリントモードに切り替わり、リダイヤルのデータが消去されるため、リダイヤル送信は利用できません。

1 **原稿をセットします。**

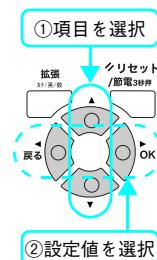
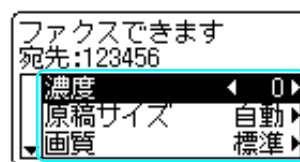
原稿を原稿台にセットして送信することもできます。

2 **［リダイヤル / ポーズ］ボタンを押します。**

前回ファクスを送付した宛先が表示されます。

［リダイヤル / ポーズ］ボタンを押してから 3 分間何も操作しないと、画面は［プリント］モードに戻ります。

3 **必要に応じて品質の設定を行います。**

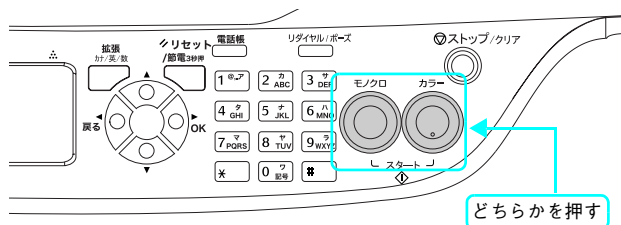
［▲］または［▼］ボタンを押して設定する項目を選択してから、［◀］または［▶］ボタンで設定値を選択します。

各設定の詳細については、以下のページを参照してください。

本書 63 ページ「ファクス番号を入力して送信する」の手順 5

4 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファクスされます。

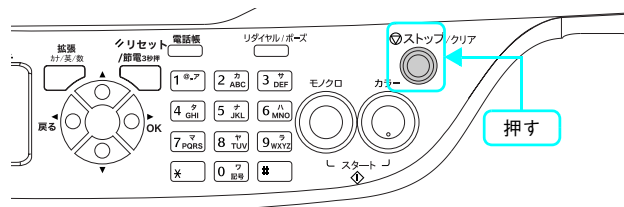
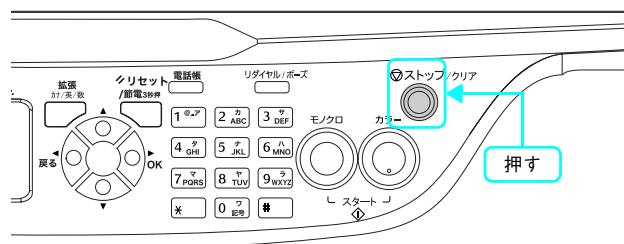
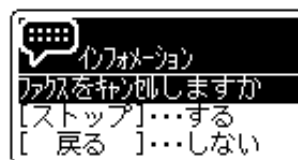
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

送信を中止する

送信を中止する方法と、本機に蓄積されている送信ジョブをキャンセルする方法について説明します。

■ 読み取り中に中止する

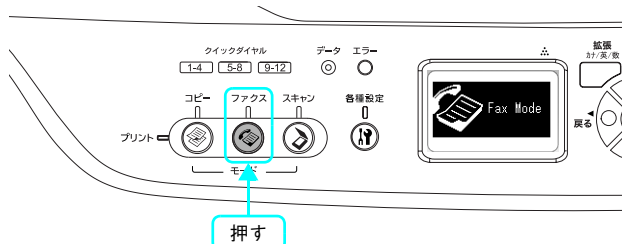
原稿の読み取り中には、［ストップ / クリア］ボタンを押して中止します。

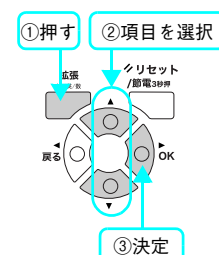
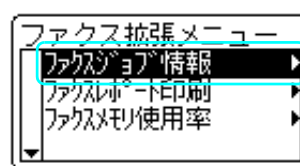
1 ［ストップ / クリア］ボタンを押します。

2 表示されるメッセージを確認して、もう一度［ストップ / クリア］ボタンを押します。

以上で送信が中止されました。

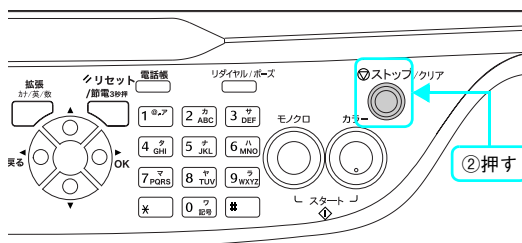
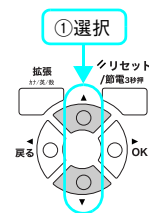
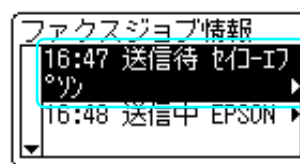
送信待ち / 送信中のジョブを削除する

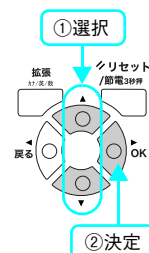
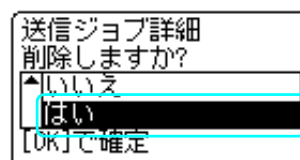
本機に蓄積されている送信待ち / 送信中のジョブを確認してから、削除します。

1 **［ファクス］ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **［拡張］ボタンを押してから、［ファクスジョブ情報］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクスジョブ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 **一覧の中から削除する項目を選択してから、［ストップ］ボタンを押します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して削除する項目を選択してから、［ストップ］ボタンを押します。

4 **［はい］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［はい］を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

以上で送信ジョブの削除は終了です。

ファクス受信

ここでは、ファクス受信の方法を説明します。

受信モードについて

本機には、ファクスを受信する際の受信モードが 3 種類用意されています。受信モードは、［各種設定］ボタン -［ファクス設定］-［受信設定］-［受信モード］で変更できます。

☞ 本書 205 ページ「ファクス設定の項目一覧」

受信モード	説明
自動切替 （初期設定）	受信すると、外付け電話機の呼び出し音を指定秒数鳴らした後、本機が応答して送付されてきたファクスデータを受信します。
ファクス専用	本機が自動的に応答して、送付されてきたファクスデータを受信します。 外付け電話機が接続されている場合は、呼び出し音が１～２回鳴った後にファクス受信を開始します。
電話専用	受信すると、外付け電話機の呼び出し音を鳴らします。
TAM	留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替わる機能です。

ファクスを受信して印刷する（自動受信）

本機の電源が入っているときに、ファクスデータを受信するとファクスユニットの内蔵メモリにデータが蓄積され、受信が終わると自動的に印刷されます。自動受信の時、以下の優先順位で給紙用紙の選択が行われます。

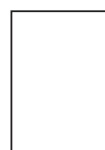
1）用紙がある給紙装置から選択します。
2）受信データに応じて最適な用紙サイズが選択されます。
3）カセット 1 ＞カセット 2 ＞カセット 3 ＞カセット 4 ＞ MP トレイの順。

すべてのファクス送信後にファクス受信を行うため、送信中の受信はできません。

受信できる原稿サイズ

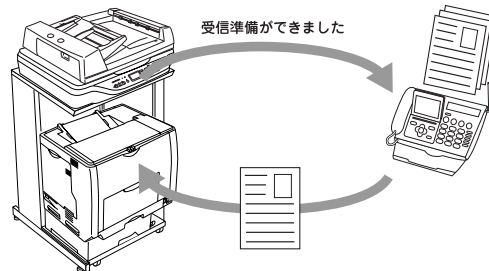
ファクス受信データのサイズが、本機にセットしている用紙と異なる場合、自動的に分割・縮小して印刷されます。
受信データの分割・縮小は、以下の表を参照してください。

受信データの原稿サイズと向き ／ 印刷用紙サイズ	受信データの原稿サイズ				
	A3 ←	B4 ←	A4 ←	A4 ←	B5 ←
A3					
B4	※縮小			※縮小	
A4 横	※回転・縮小	※回転・縮小	※回転		
B5 縦	※縮小・分割	※分割	※分割	※分割	

※回転：90 度回転して印刷する
※分割：2 ページに分割して印刷する
※縮小：印刷用紙サイズに合わせて縮小して印刷する

ファクス情報サービスを利用してファクス受信する

ここでは、ファクス情報サービスを利用してファクス受信を行う方法について説明します。ファクス情報サービスとは、相手側のファクスにあらかじめ蓄積された原稿を、受信側のファクスの操作によって取り出すサービスです。

ファクス情報サービスを利用してファクス受信する方法は、手動受信とポーリング受信の 2 通りの方法があります。

ファクス情報サービスの種類に応じて、手動受信またはポーリング受信でファクス受信を行ってください。

- ファクス情報サービスを利用してファクス受信をするためには、本機に外付け電話機が接続されている必要があります。
- ファクス情報サービスを利用してファクス受信を行う場合、通信料金は本機側の負担となります。

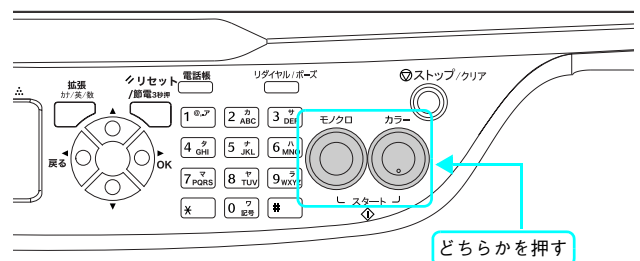
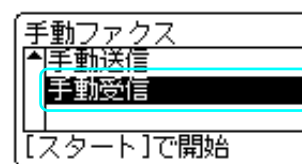
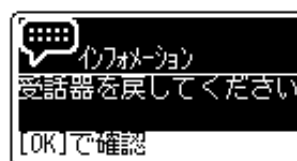
手動受信する

1 **［ファクス］ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **外付け電話機の受話器を上げて、相手先に電話をかけます。**

本機の操作パネルのテンキーから宛先の入力はできません。

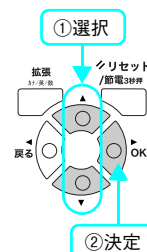
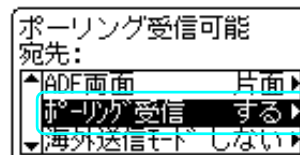
3 **ファクス通信を確認後、［カラー］または［モノクロ］ボタンのどちらかを押し、右の画面が表示されたら［手動受信］を選択して［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。**

4 **右の画面が表示されたら、外付け電話機の受話器を元に戻します。**

以上で手動受信は終了です。

ポーリング受信する

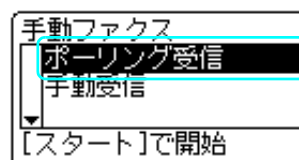
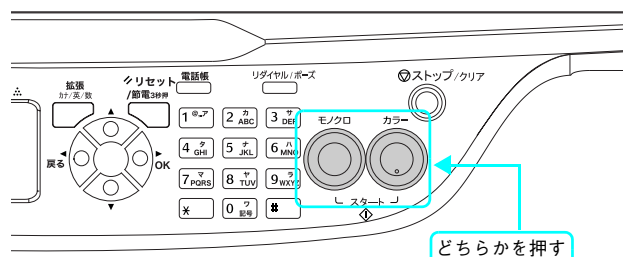
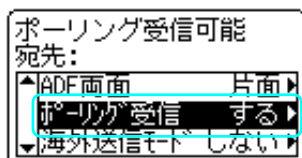
1 **［ファクス］ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

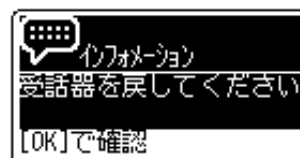
2 **［ポーリング受信］を［する］にします。**

①［▲］または［▼］ボタンを押して［ポーリング受信］を選択してから、［▶］ボタンを押します。
②［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 **外付け電話機の受話器を上げて、相手先に電話をかけます。**

本機の操作パネルのテンキーから宛先の入力はできません。

4 **ファクス通信を確認後、［カラー］または［モノクロ］ボタンのどちらかを押し、右の画面が表示されたら［ポーリング受信］を選択して［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。**

手順 2 で［ポーリング受信］を［する］にしてから 1 分以内に［カラー］または［モノクロ］ボタンを押さないと、下記の画面に切り替わり、ポーリング受信が行えません。この場合、再度［ポーリング受信］を［する］に設定してください。

5 **右の画面が表示されたら、外付け電話機の受話器を元に戻します。**

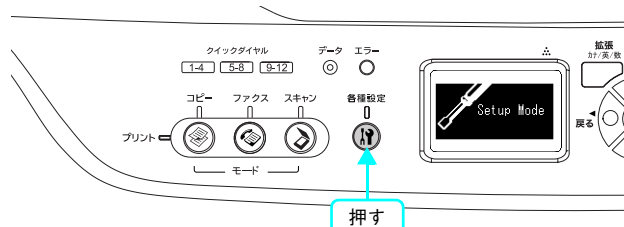
参考

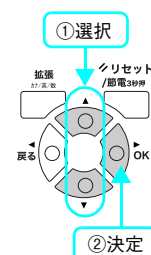
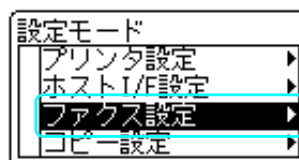
ポーリング受信がうまく動作しない場合は、手順 4 で［手動受信］を選択して受信を行ってみてください。

以上でポーリング受信は終了です。

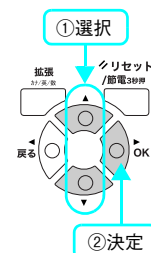
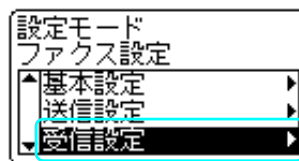
外付け電話機の留守録応答中にファクス受信に切り替える（TAM 受信）

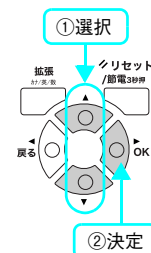
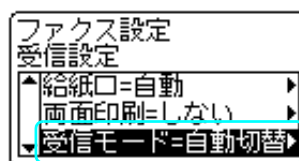
本機に接続された外付け電話機が留守番電話に設定されていた場合、留守録応答中に着信したファクス信号を検出して自動的にファクス受信に切り替えることができます（TAM 受信）。
ここでは、TAM 受信への切り替え方法を説明します。

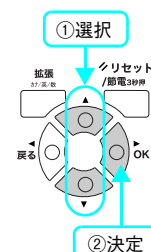
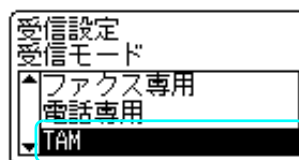
1 ［各種設定］ボタンを押します。

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［ファクス設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［受信設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［受信設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［受信モード］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［受信モード］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 ［TAM］を選択します。

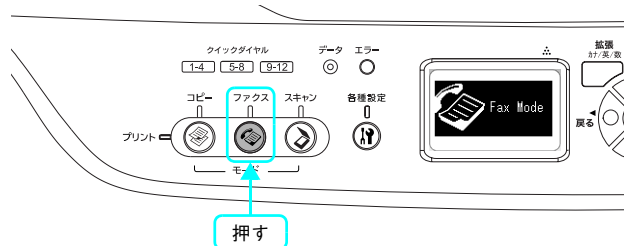
［▲］または［▼］ボタンを押して［TAM］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

以上で TAM 受信への切り替えは終了です。

外付け電話機が留守番電話に設定されていない場合は、着信があってから 1 回受話器を取らないとファクス受信に切り替わりません。受話器を取ってファクス発信音（「ポー」音）が聞こえたら、受話器を置かずにそのままお待ちいただくと、ファクス受信に切り替わります。

受信を中止する

受信を中止したり、本機に蓄積されている受信ジョブをキャンセルする方法を説明します。

受信ジョブを削除する

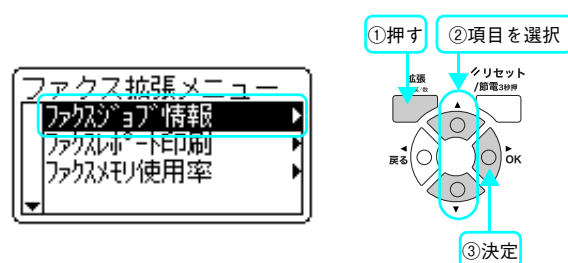
本機に蓄積されている受信ジョブ（印刷待ちジョブ）を確認してから、削除します。

1 ［ファクス］ボタンを押します。

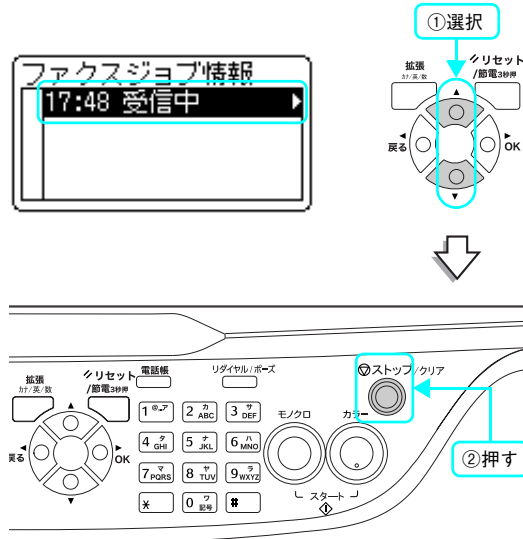
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

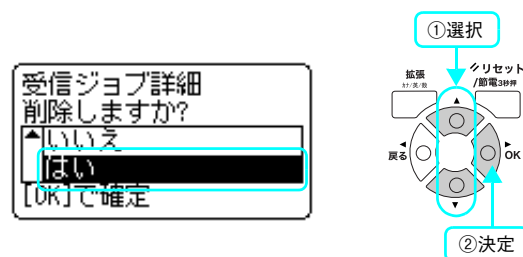
2 ［拡張］ボタンを押してから、［ファクスジョブ情報］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクスジョブ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

ファクス拡張メニュー
ファクスジョブ情報
ファクスレポート印刷
ファクスメモリ使用率

①押す　②項目を選択　③決定

3 一覧の中から削除する項目を選択してから、［ストップ / クリア］ボタンを押します。

［▲］または［▼］ボタンを押して削除する項目を選択してから、［ストップ / クリア］ボタンを押します。

4 ［はい］を選択し、ジョブを削除します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［はい］を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

以上で受信ジョブの削除は終了です。

宛先の登録方法

［短縮ダイヤル］、［グループダイヤル］、［クイックダイヤル］の宛先の番号登録には、コンピュータ（Windows 環境のみ）のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」から登録する方法と、操作パネルから登録する方法があります。

!注意 ファクス操作中（ファクスモード、各種設定モード）は、宛先を変更しないでください。

EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する

「EPSON Speed Dial Utility」は、［発信元情報］、［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］、［グループダイヤル］の宛先の登録ができるアプリケーションソフトです。通常は、プリンタドライバなどと一緒にコンピュータにインストールされます。
ここでは、アプリケーションソフトのインストール方法と自局（発信元）の名前を登録する方法を説明します。
短縮ダイヤル、グループダイヤル、クイックダイヤルの名前の登録方法については、［EPSON Speed Dial Utility］のヘルプを参照してください。

■ システム条件

使用可能なコンピュータ	• Windows 98 Second Edition（SE）/98/Me/2000/XP • Windows 98 以降の OS がインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ
CPU	Pentium II 233Mhz 以上
メモリ	128MB 以上
表示	800 × 600 ドット以上 256 色以上

■ インストール方法

Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

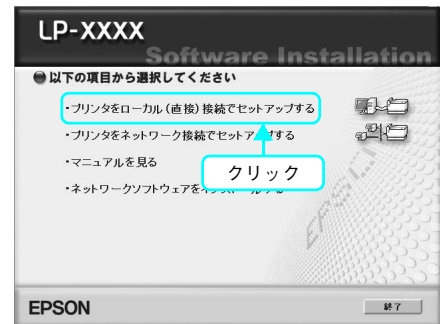
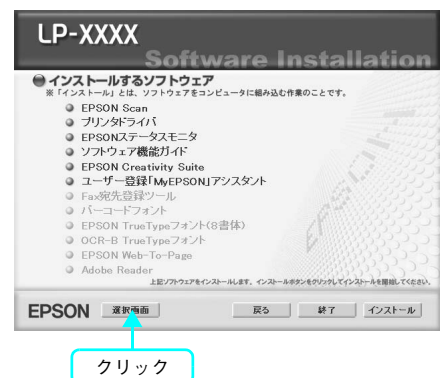
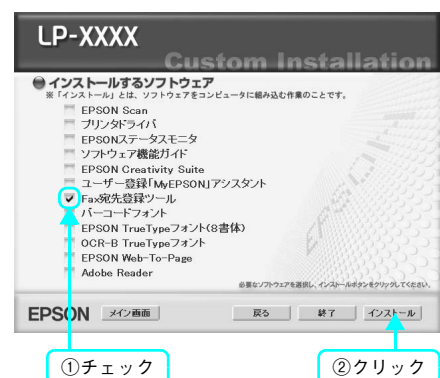
2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

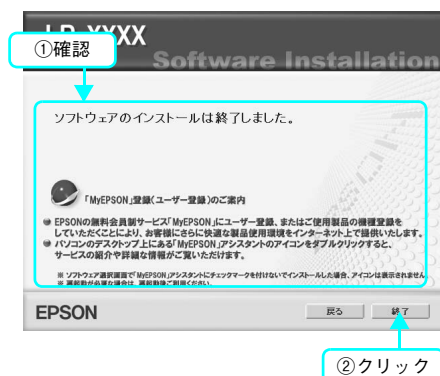
3 **しばらくして右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 1 からやり直します。

右の画面が表示されないときは
［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

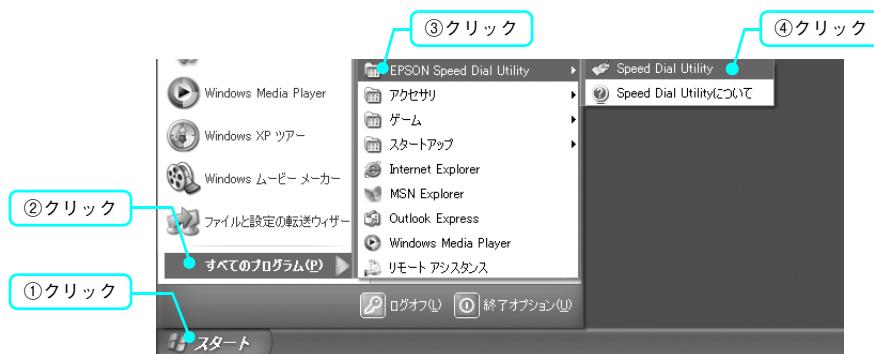
4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して、［同意する］をクリックします。

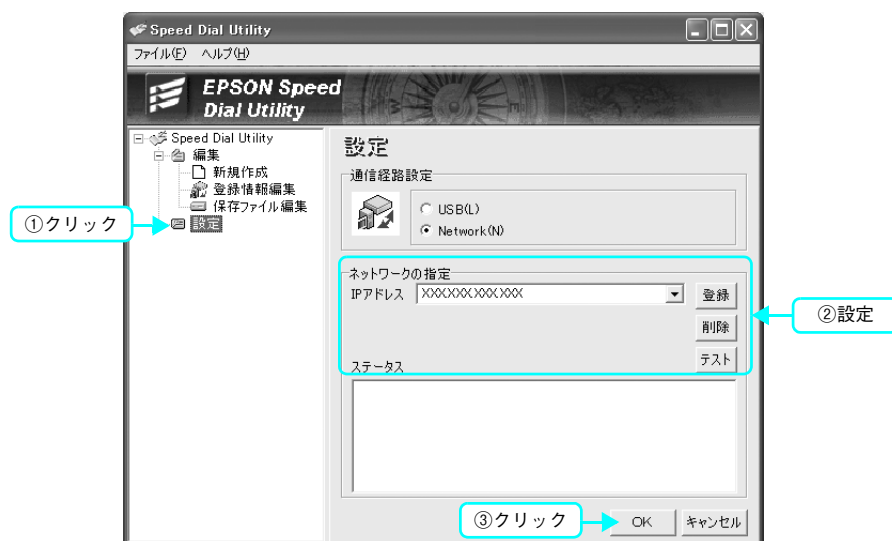
5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。

6 ［選択画面］をクリックします。

7 ［FAX 宛先登録ツール］のみにチェックを付け、［インストール］をクリックします。

8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

9 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［終了］をクリックします。

以上で EPSON Speed Dial Utility のインストールは終了です。

起動の仕方

「EPSON Speed Dial Utility」は以下のように起動します。

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Speed Dial Utility］－［Speed Dial Utility］をクリックします。

設定の確認

ネットワーク接続で使用する場合は、［設定］の［通信経路設定］を［Network］に変更してから、［IP アドレス］を指定してください。

使用上の注意

- ファクス操作中（ファクスモード、各種設定モード）は、EPSON Speed Dial Utility を使って宛先を変更しないでください。
- 通信中（データのアップロード / ダウンロード）は、コンピュータから印刷を行わないでください。
- EPSON ステータスモニタが起動している場合は、EPSON ステータスモニタを終了してください。

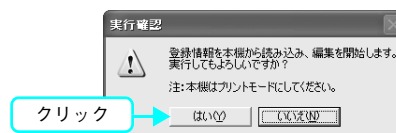
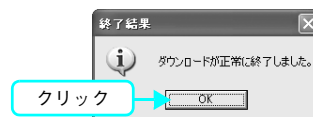
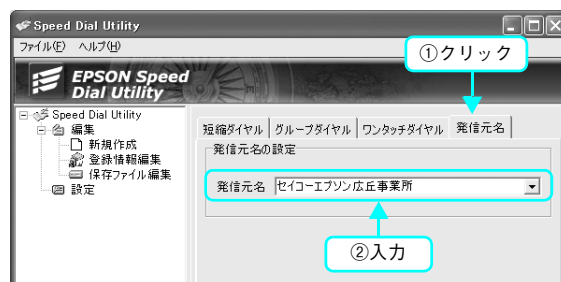
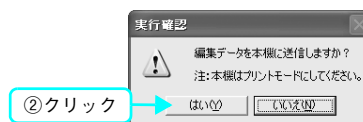
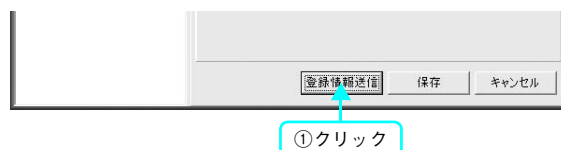
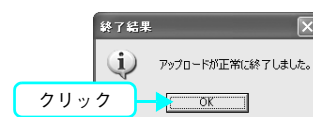
発信元名の登録方法

送信ファクスに印字される発信元名を登録します。

1 ［登録情報編集］をクリックします。

［ファイル］メニュー［編集］－［登録情報編集］をクリックしても編集領域が表示されます。

2 ［はい］をクリックします。

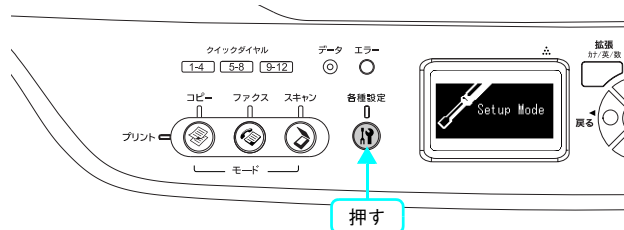
本機に登録されているデータを、コンピュータにダウンロードします。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［発信元名］タブをクリックして、発信元名を入力します。

5 内容を確認して［登録情報送信］をクリックし、［はい］をクリックします。

6 ［OK］をクリックします。

以上で、発信元名の登録は終了です。
［各種設定］ボタン -［ファクス設定］-［基本設定］-［自局設定］-［名称］で発信元名が登録されているか確認してください。

操作パネルから宛先を登録する

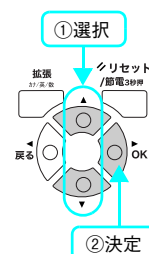
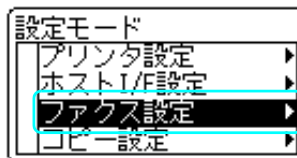
操作パネルから［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］を登録する方法を説明します。

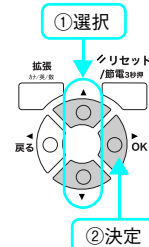
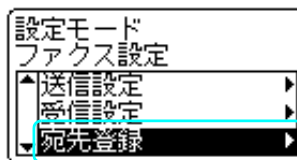
短縮ダイヤルの登録

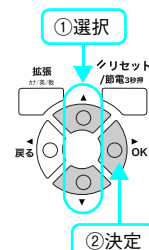
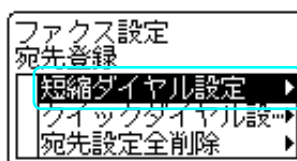
短縮ダイヤルは、最大 200 件登録することができます。

1 **［各種設定］ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

2 **［ファクス設定］を選択します。**

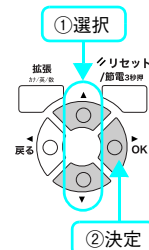
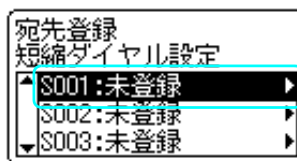
［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 **［宛先登録］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 **［短縮ダイヤル設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 **［未登録］と表示されている番号を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［未登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

［未登録］と表示されない場合は、すべての短縮ダイヤルが登録済みです。不要な短縮ダイヤルを削除してください。

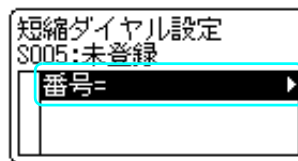
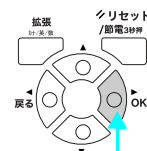
☞ 本書 88 ページ「選択して削除」

登録済みの短縮ダイヤルを変更することができます。

☞ 本書 84 ページ「短縮ダイヤルの変更」

6 電話番号を入力します。

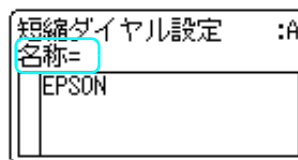
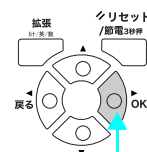
① ［番号＝］を選択して、［ ▶ ］ボタンを押します。
② テンキー（ダイヤルボタン）で番号を入力します。
入力が終了したら、［ ▶ ］ボタンを押します。
［未登録］と表示されていたところに、入力した番号が表示されます。

短縮ダイヤル設定
S005:未登録
番号=

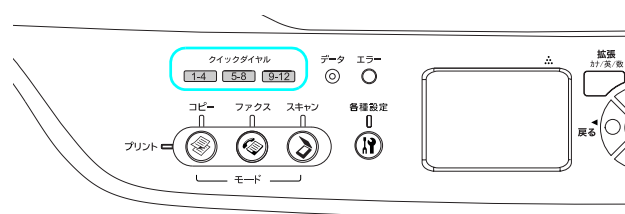
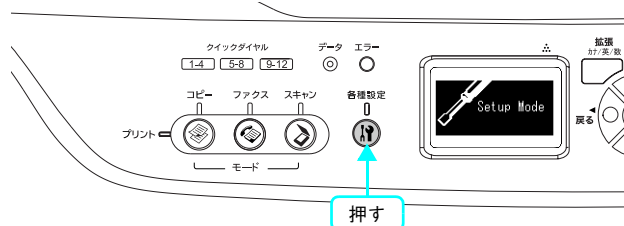
> **参考**
> - 番号を入力しないと、名称と読み仮名の項目が表示されず設定できません。
> - 消去するには、［ストップ / クリア］ボタンを押します。
> - ［＊］キーを押すと「＊」、［#］キーを押すと「#」を入力します。

7 名称を入力します。

① ［ ▼ ］ボタンで［名称＝］を選択して［ ▶ ］ボタンを押します。
② テンキー（ダイヤルボタン）で名称を入力します。
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、［拡張］ボタンを押します。
③ 入力が終了したら、［ ▶ ］ボタンを押します。電話番号が表示されていたところに、入力した名称が表示されます。

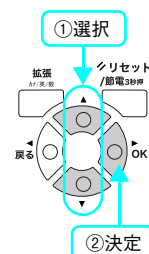
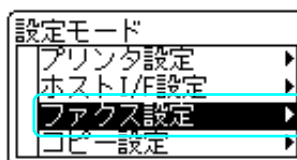
短縮ダイヤル設定　:A
名称=
EPSON

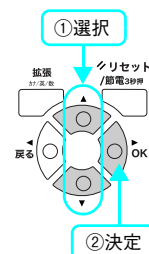
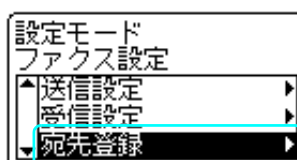
> **参考**
> - ［名称］は半角で 16 文字まで入力できます。全角で登録するには、コンピュータから EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使って登録してください。
> ☞ 本書 77 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」
> - 消去するには、［ストップ / クリア］ボタンを押します。
> - 名称を入力すると、読み仮名も入力されます。

以上で短縮ダイヤルの登録は終了です。

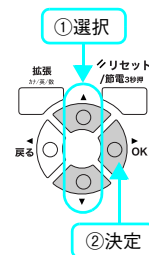
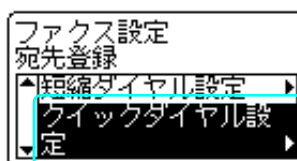
■ クイックダイヤルの登録

クイックダイヤルは、操作パネル上の［1-4］、［5-8］、［9-12］ボタンにすでに登録されている短縮ダイヤルを割り当てることができます。

1 ［各種設定］ボタンを押します。

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［ファクス設定］を選択します。

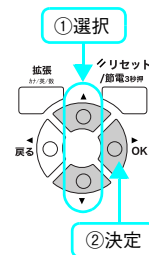
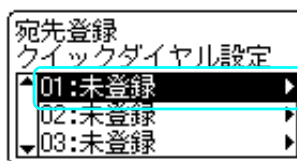
［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［宛先登録］を選択します。

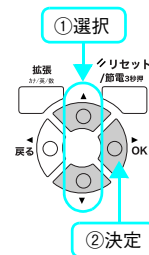
［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［クイックダイヤル設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［クイックダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 ［未登録］のクイックダイヤルを選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［未登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

登録済みのクイックダイヤルを変更することができます。

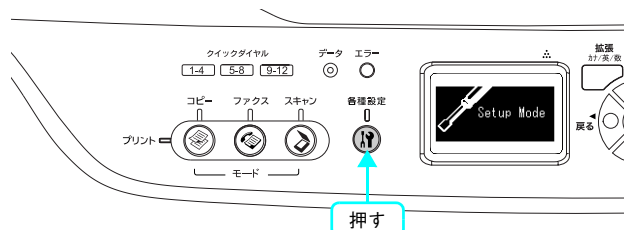
本書 86 ページ「クイックダイヤルの変更」

6 短縮ダイヤル一覧から、クイックダイヤルに登録する番号を選択します。

登録する番号を選択して、［▶］ボタンを押します。

以上でクイックダイヤルの登録は終了です。

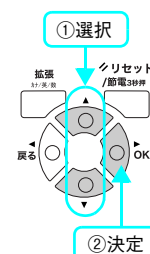
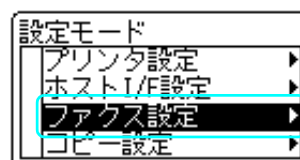
操作パネルから短縮ダイヤルの登録内容を変更する

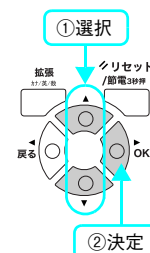
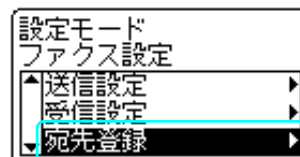
操作パネルから［短縮ダイヤル］の登録内容を変更する方法を説明します。

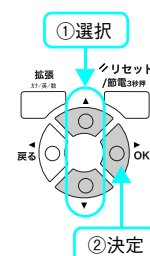
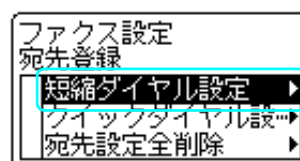
短縮ダイヤルの変更

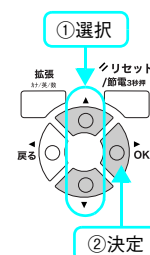
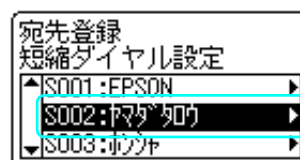
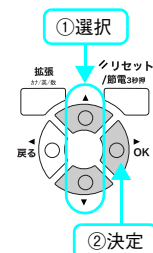
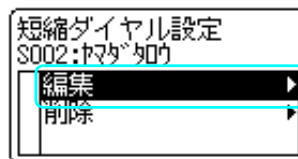
1 ［各種設定］ボタンを押します。

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

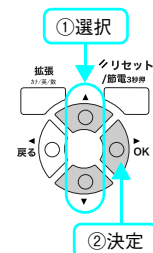
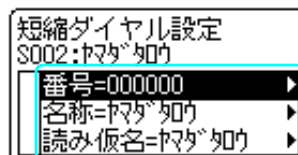
2 ［ファクス設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［宛先登録］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［短縮ダイヤル設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 変更する短縮ダイヤルを選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して変更する登録を選択してから、［▶］ボタンを押します。

6 ［編集］を選択します。

7 ［読み仮名］または［名称］、［番号］を選択します。

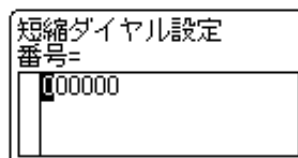
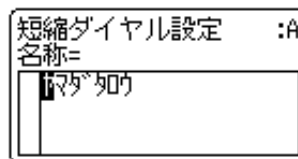
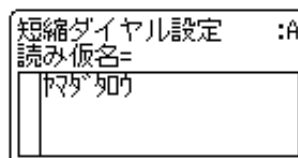
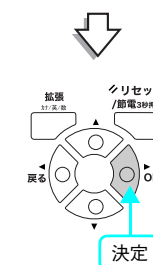
［▲］または［▼］ボタンを押して［番号］、［名称］または［読み仮名］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

8 登録内容を変更します。

［◀］または［▶］ボタンを押して変更する文字を選択して新しい文字を入力するか、［ストップ / クリア］ボタンで消去します。（選択した文字は上書きで変更されます。）

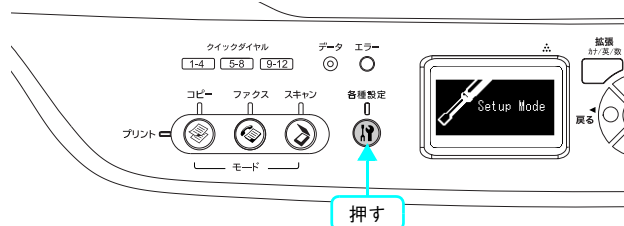
入力が終了したら、［▶］ボタンを押します。

参考

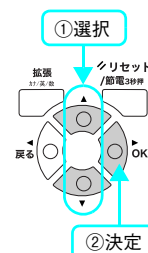
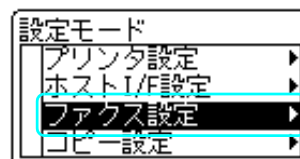
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、［拡張］ボタンを押します。

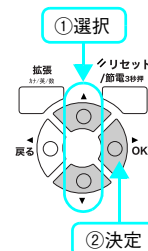
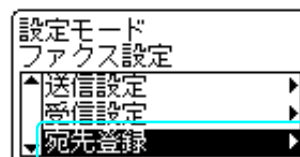
■番号変更時

■名称変更時

■読み仮名変更時

短縮ダイヤル設定 :A
読み仮名=
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ

以上で短縮ダイヤルの変更は終了です。

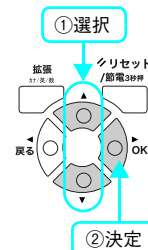
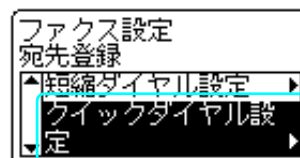
クイックダイヤルの変更

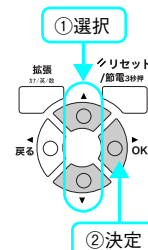
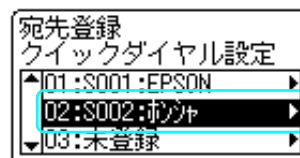
1 ［各種設定］ボタンを押します。

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

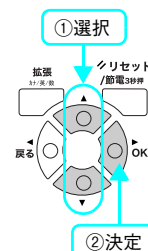
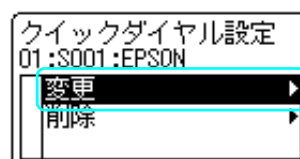
2 ［ファクス設定］を選択します。

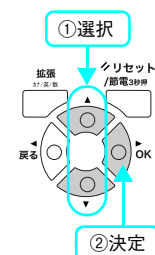
［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［宛先登録］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［クイックダイヤル設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［クイックダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 変更するクイックダイヤルを選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して変更するクイックダイヤルを選択してから、［▶］ボタンを押します。

6 ［変更］を選択します。

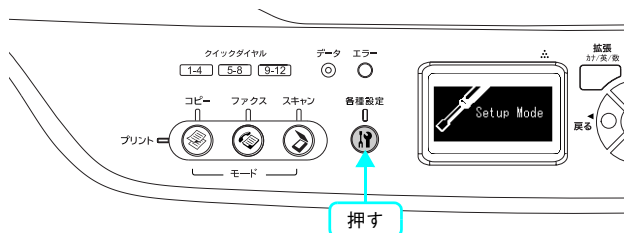
［▲］または［▼］ボタンを押して［変更］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

7 **短縮ダイヤル一覧から、クイックダイヤルに登録する番号を選択します。**

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して登録する番号を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

以上でクイックダイヤルの変更は終了です。

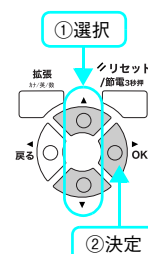
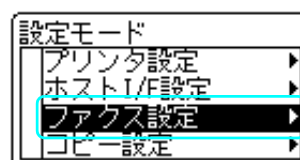
操作パネルから宛先を削除する

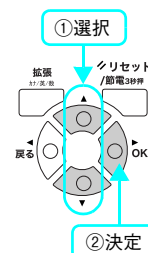
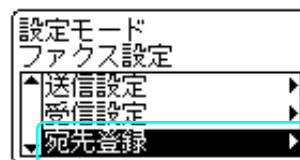
操作パネルから［短縮ダイヤル］、［グループダイヤル］、［クイックダイヤル］を削除する方法を説明します。
削除方法には、宛先を選択して削除する方法と、登録されているファクス宛先をすべて削除する方法があります。

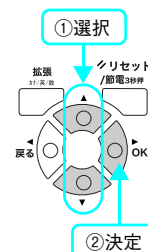
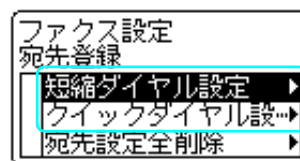
選択して削除

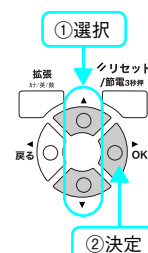
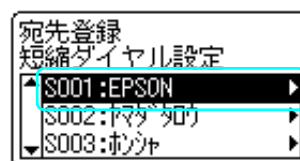
1 ［各種設定］ボタンを押します。

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

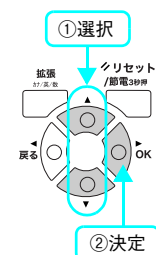
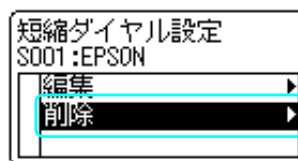
2 ［ファクス設定］を選択します。

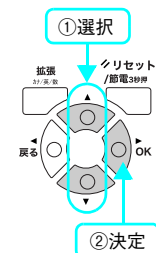
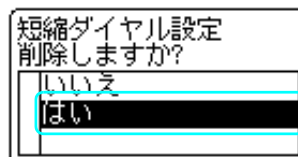
［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［宛先登録］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先登録］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［短縮ダイヤル設定］または［クイックダイヤル設定］を選択します。

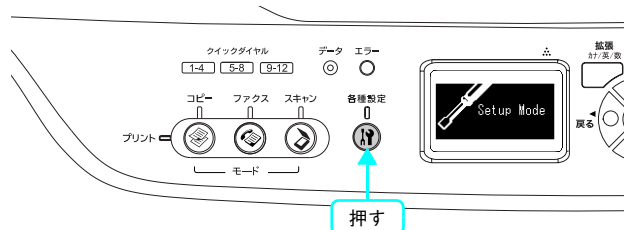
［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］または［クイックダイヤル設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 削除する宛先を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して削除する宛先を選択してから、［▶］ボタンを押します。

6 ［削除］を選択します。

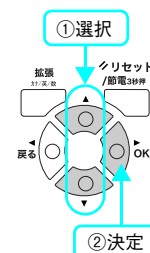
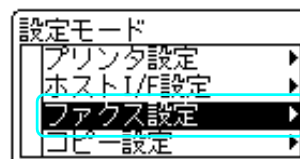
［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［削除］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

7 ［はい］を選択し、削除します。

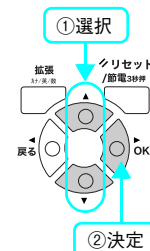
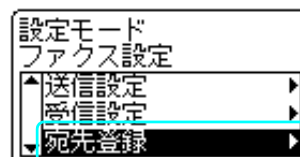
［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［はい］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

以上で選択した宛先の削除は終了です。

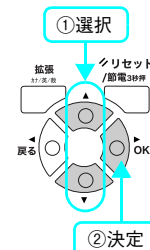
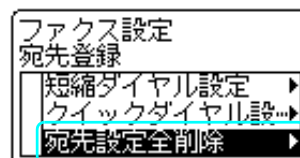
すべて削除

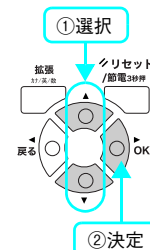
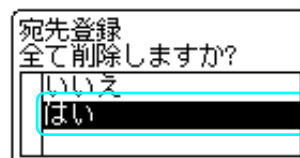
1 ［各種設定］ボタンを押します。

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［ファクス設定］を選択します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

3 ［宛先登録］を選択します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［宛先登録］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

4 ［宛先設定全削除］を選択します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［宛先設定全削除］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

5 ［はい］を選択し、短縮ダイヤルに登録されているすべての番号を削除します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［はい］を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

以上ですべての宛先の削除は終了です。

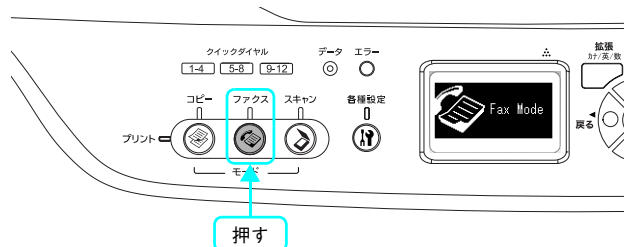
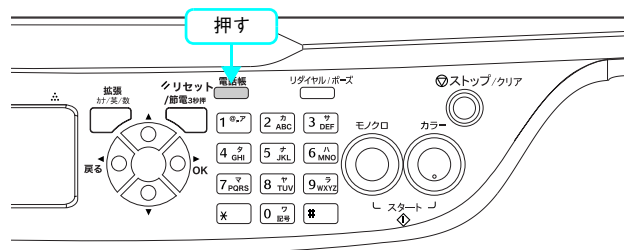
電話帳機能を使う

電話帳機能を使うと、リストの一覧に表示される短縮ダイヤルやグループダイヤルを登録名またはファクス番号に切り替えて表示させることができます（ただし、グループダイヤルの場合は登録名での検索はできません）。
読み仮名を登録してある場合は、読み仮名から登録した短縮ダイヤルを検索することもできます。

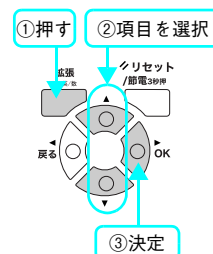
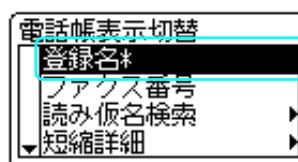
登録名表示にする

参考　初期設定では、登録名表示になっています。

1 ［ファクス］ボタンを押します。

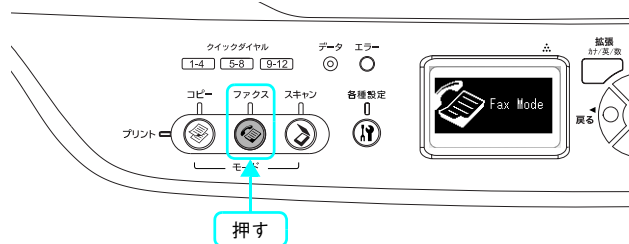
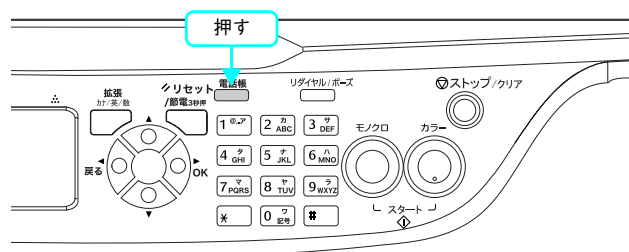
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 ［電話帳］ボタンを押します。

3 ［拡張］ボタンを押してから、［登録名］を選択します。

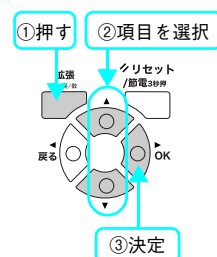
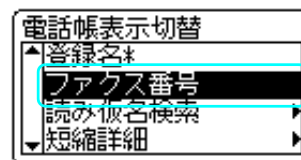
［▲］または［▼］ボタンを押して［登録名］を選択してから、［▶］ボタンを押します。
短縮ダイヤルとグループダイヤルが登録番号順に登録名で表示されます。

以上で登録名の表示は終了です。

ファクス番号表示にする

1 ［ファクス］ボタンを押します。

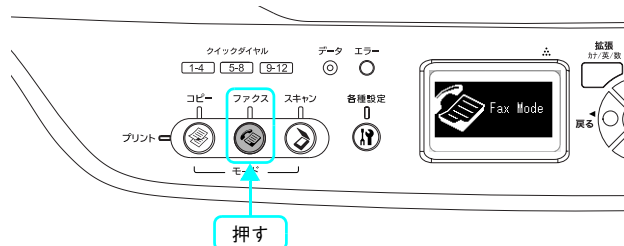
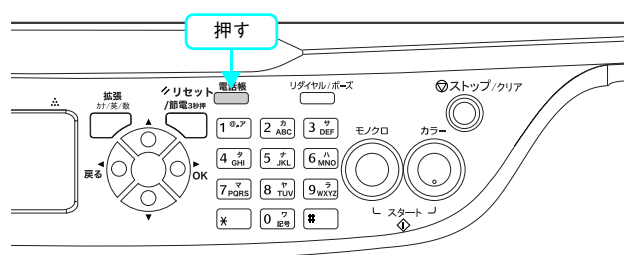
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 ［電話帳］ボタンを押します。

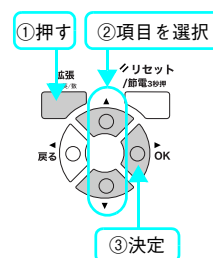
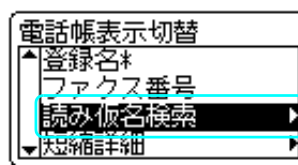
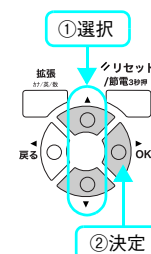
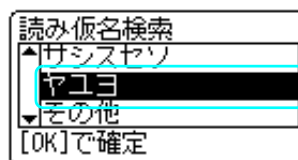
3 ［拡張］ボタンを押してから、［ファクス番号］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス番号］を選択してから、［▶］ボタンを押します。
短縮ダイヤルとグループダイヤルが登録番号順にファクス番号で表示されます。

以上でファクスの番号表示は終了です。

読み仮名から短縮ダイヤルを検索する

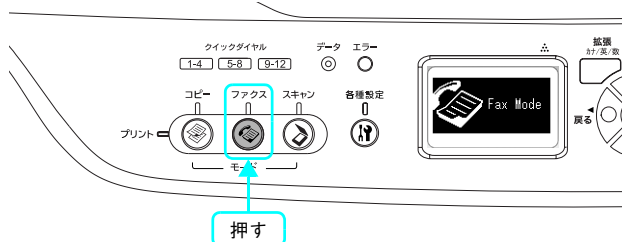
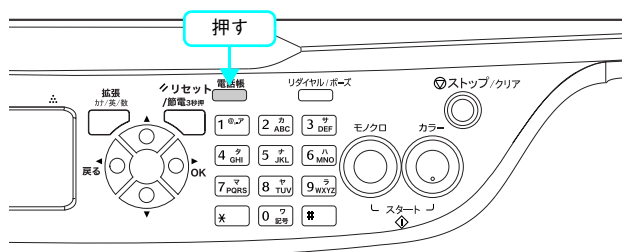
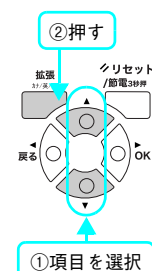
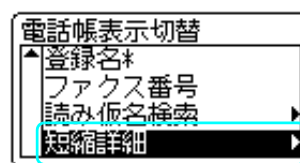
1 **［ファクス］ボタンを押します。**

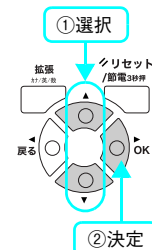
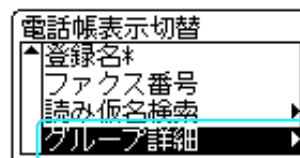
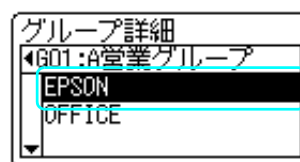
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **［電話帳］ボタンを押します。**

3 **［拡張］ボタンを押してから、［読み仮名検索］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［読み仮名検索］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して、検索したい読み仮名の先頭の文字が含まれる行（例：「ヤマダタロウ」を検索したい場合は、「ヤユヨ」と表示されている行）を選択して［▶］ボタンを押します。**

以上で読み仮名からの短縮ダイヤルの検索は終了です。

登録した短縮ダイヤル / グループダイヤルの情報を見る

1 **［ファクス］ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **［電話帳］ボタンを押します。**

3 **登録情報を見たい短縮ダイヤルまたはグループダイヤルを選択して［拡張］ボタンを押します。**

4 **［短縮詳細］（短縮ダイヤルを選択した場合）または［グループ詳細］（グループダイヤルを選択した場合）を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して選択項目を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 **登録した短縮ダイヤルまたはグループダイヤルの情報が表示されます（画面はグループダイヤルのものです）。**

以上で短縮ダイヤル / グループダイヤルの情報表示は終了です。

4 スキャン

スキャン機能について説明します。

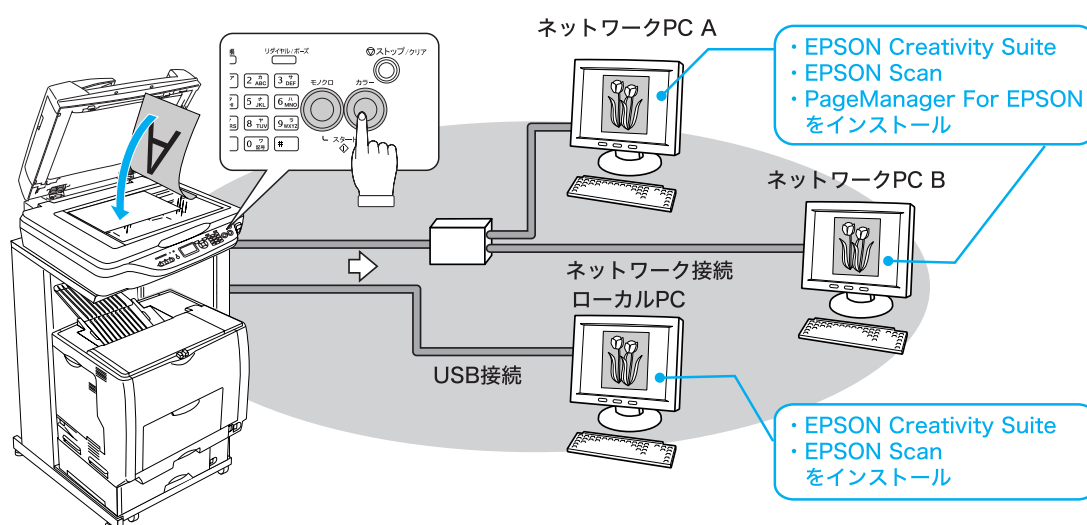
操作パネルでスキャンする前に

スキャン方法は、操作パネルの操作でスキャンする方法と、コンピュータ上の EPSON Scan（TWAIN 規格のスキャナドライバ）からスキャンする 2 通りの方法があります。本書では、操作パネルからスキャンする方法を説明します。

コンピュータからスキャンする方法については、以下を参照してください。

『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）

操作パネルでスキャンするために

本機の原稿台またはオートドキュメントフィーダにセットされた原稿を、Windows 環境または Mac OS X 環境のコンピュータにデータとして保存できます。

操作パネルで、スキャンデータを保存するコンピュータを選択します。

操作パネルからスキャンするためには、Windows 環境または Mac OS X 環境のコンピュータに必ずアプリケーションソフト「EPSON Creativity Suite」と「EPSON Scan（スキャナドライバ）」がインストールされている必要があります。また、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用する場合は、上記の他に「PageManager For EPSON」が必要となります。

アプリケーションをインストールする

通常「EPSON Creativity Suite」は、EPSON Scan（スキャナドライバ）やプリンタドライバなどと一緒にコンピュータにインストールされます。ただし、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用する場合に必要な「PageManager For EPSON」は、同梱の CD-ROM からインストールする必要があります。

ここでは、「EPSON Creativity Suite」のみを選択してインストールする方法と、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用するための「PageManager For EPSON」のインストール方法を説明します。

本書 97 ページ「「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Windows）」
本書 99 ページ「「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Mac OS X）」
本書 101 ページ「「PageManager For EPSON」のインストール方法（Windows）」

システム条件

Windows	• Windows 98 Second Edition（SE）/98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ • Windows 98 以降の OS がインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ
Mac OS X	Mac OS X v10.2.8 以降がインストールされているコンピュータ

「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Windows）

Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

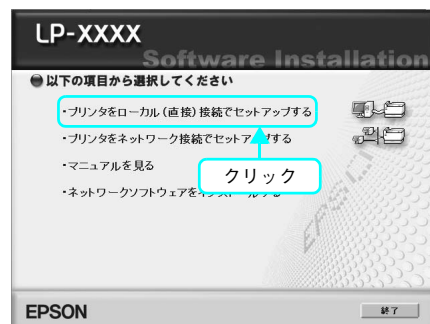
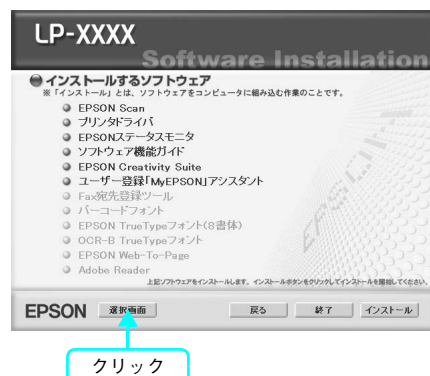
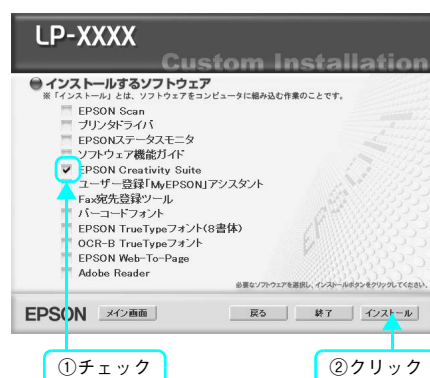
2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

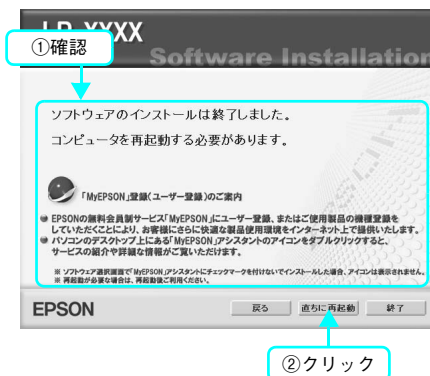
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 1 からやり直します。

右の画面が表示されないときは
［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認してから、［同意する］をクリックします。**

5 ［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。

6 ［選択画面］をクリックします。

7 ［EPSON Creativity Suite］にチェックを付け、［インストール］をクリックします。

8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

9 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［直ちに再起動］をクリックします。

［直ちに再起動］が表示されない場合は、［終了］をクリックしてください。

以上で EPSON Creativity Suite のインストールは終了です。

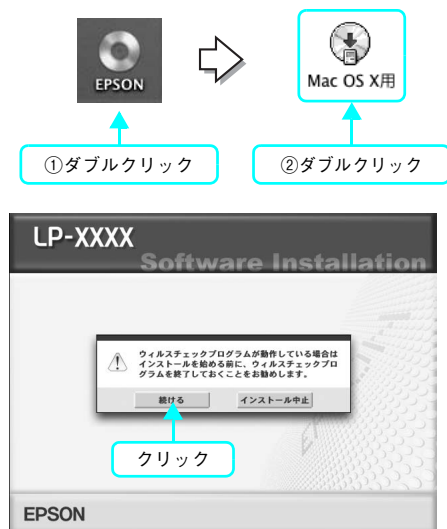
「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Mac OS X）

管理者権限をお持ちの方がインストールを行ってください。

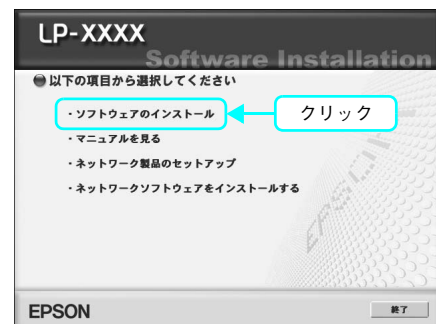
1 **インストールするドライブが HFS+ 形式でフォーマットされたドライブか確認します。**
UNIX ファイルシステム（UFS）形式のドライブにはインストールできません。

2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

4 **インストーラ（Mac OS X 用）を起動します。**

5 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 3 からやり直します。

6 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認してから、［同意する］をクリックします。**

7 **［ソフトウェアのインストール］をクリックします。**

8 ［選択画面］をクリックします。

9 ［EPSON Creativity Suite］にチェックを付け、［インストール］をクリックします。

10 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

11 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［再起動］をクリックします。

［再起動］が表示されない場合は、［終了］をクリックしてください。

以上で EPSON Creativity Suite のインストールは終了です。

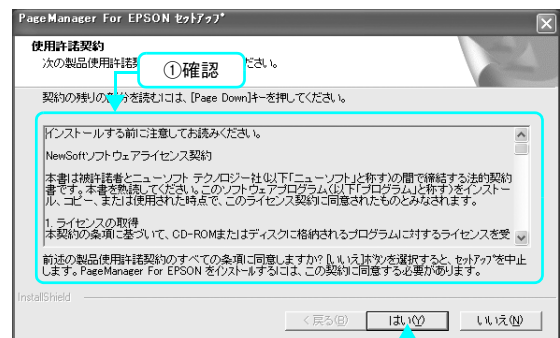
「PageManager For EPSON」のインストール方法（Windows）

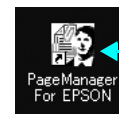
「PageManager For EPSON」は、ネットワーク接続（Windows 環境のみ）で使用するために必要なアプリケーションです。
Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『PageManager For EPSON』が収録された CD-ROM をセットします。**

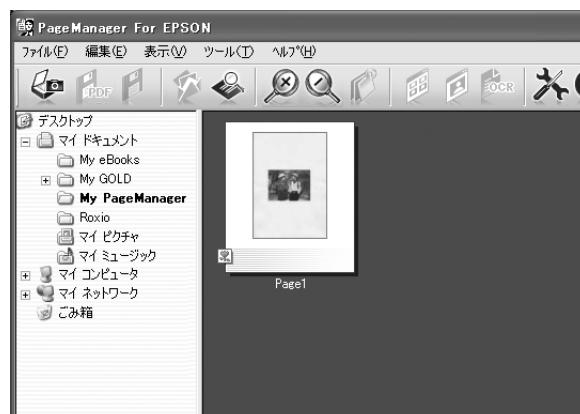
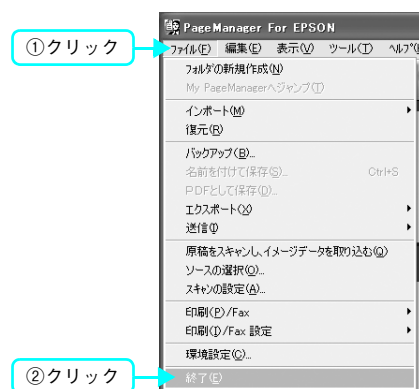
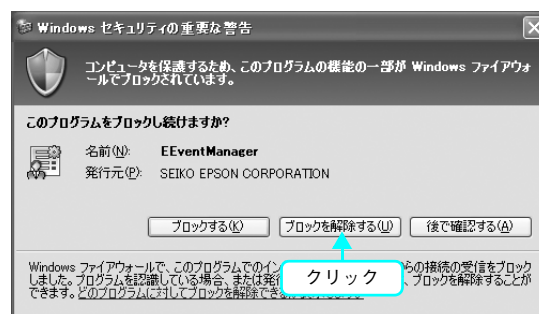
3 **自動的に使用許諾契約書が表示されます。内容を確認して、［はい］をクリックします。**

> **参考**
> **インストールが自動で始まらないときは**
> ［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックして、［SETUP.EXE］をダブルクリックしてください。

［PageManager For EPSON セットアップ］画面が閉じたら、インストール終了です。

4 **PageManager For EPSON を起動します。**
デスクトップの［PageManager For EPSON］アイコンをダブルクリックします。

5 **右の画面が表示されたら、ライセンスシリアル番号を入力して、［OK］をクリックします。**
ライセンスシリアル番号は、PageManager をインストールするコンピュータごとにそれぞれ異なった番号を入力する必要があります。
ライセンスシリアル番号は、同梱されている『PageManager 7 For EPSON』のシートに記載されています。

> **参考**
> 購入時では、3 ライセンスが付与されています。4 台以上のコンピュータに PageManager をインストールする場合は、シリアルライセンス番号が記入されているシートの連絡先を参照して、追加分のライセンスを購入してください。

「Windows XP Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境で、右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックします。

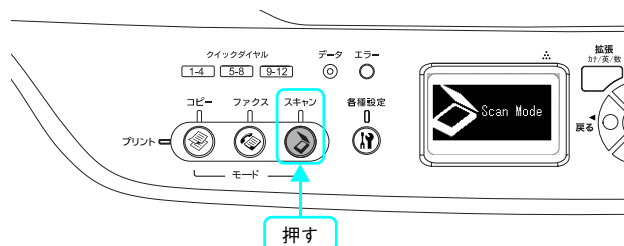
6 PageManager For EPSON が起動したことを確認します。

7 PageManager For EPSONを終了させ、コンピュータを再起動させます。

8 再起動後、「Windows XP Service Pack2セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境の場合右の画面が表示されます。［ブロックを解除する］をクリックします。

以上で PageManager For EPSON のインストールは終了です。

操作パネルでスキャン

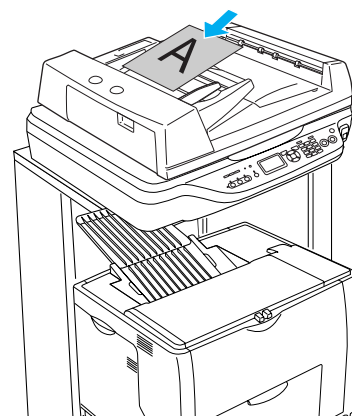
ネットワーク接続の場合は、操作パネルで設定するだけでコンピュータにスキャンした画像を保存できます。
ローカル接続の場合は、スキャンするためのアプリケーションソフトが起動できます。

ネットワーク接続でスキャンする（Windows）

1　［スキャン］ボタンを押します。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

2　原稿をセットします。

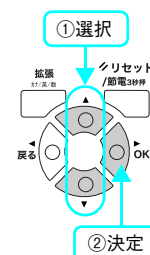
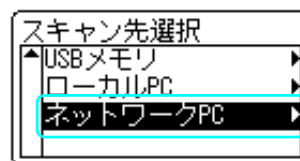
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 29 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 31 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿をセットする」

A4 以下の原稿をセットするとき、原稿の「天 / 地」が、原稿台とオートドキュメントフィーダ（ADF）で異なります。以下の表を参照してください。

	説明	原稿をセットする向き
原稿台	左側に「天」がくるように原稿台に原稿をセットしてください。	天　A　地
ADF	左側に「地」がくるようにオートドキュメントフィーダに原稿をセットしてください。	地　A　天

A4 以上の原稿で「天 / 地」を合わせられない場合は、一旦、TIFF もしくは JPEG 形式でスキャンしてから PageManager For EPSON で回転させてください。

3 ［ネットワーク PC］を選択します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して［ネットワーク PC］を選択してから、［ ▶ ］ボタンで決定します。

4 保存先のネットワーク上のコンピュータを選択します。

一覧には、スキャンデータを保存できる条件を満たした、同一セグメント*内のコンピュータを最大 10 台まで表示します。表示名は、各コンピュータで設定されているコンピュータ名を表示します。

＊　セグメント：Ethernet ケーブルで接続された機器のまとまり。セグメントとセグメントを接続するためには、ルータやブリッジなどの機器が必要。

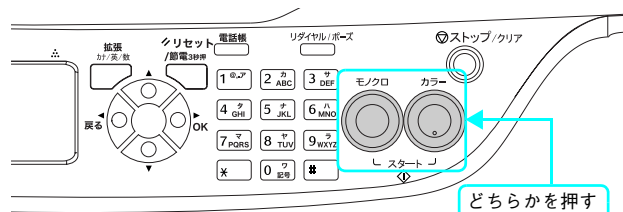
5 スキャン設定を行います。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して項目を選択してから、［ ▶ ］ボタンで設定します。
項目は以下の通りです。

項目	選択 / 設定値	説明
ファイル形式	TIFF	TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。
	JPEG	JPEG 形式：取り込みデータのサイズを小さくしたい場合に適しています。
	PDF	PDF 形式：文書原稿などに適しています。
原稿サイズ	A4、A3、B4、A4、B5、B5	原稿のサイズを選択します。
ADF 両面	片面、両面	オートドキュメントフィーダ（ADF）が装着されている時、原稿の読み取りの片面、両面が選べます。

6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿をスキャンします。

［カラー］ボタンはカラー、［モノクロ］ボタンはモノクロでスキャンします。

7 保存先のコンピュータの画面にアプリケーションソフトが表示されます。

PageManager For EPSON が起動します。
取り込まれた原稿のサムネイルが表示されます。
ファイル名は、取り込んだ順に、“Page1”、“Page2”のように表示されます。

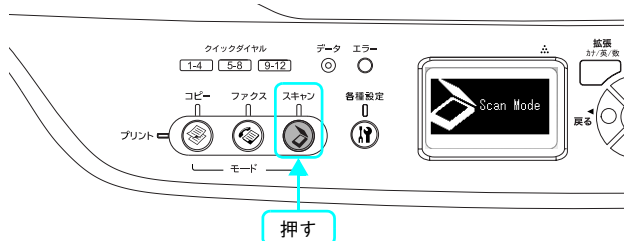
スキャンが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

意図する結果で取り込めない場合は、コンピュータ上の EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードで詳細を指定してから取り込んでください。
『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）-「スキャンの基本手順」

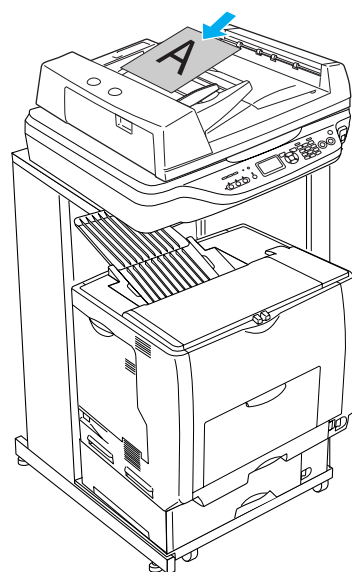
ローカル接続でスキャン用アプリケーションソフトを起動する

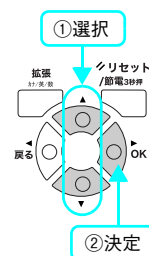
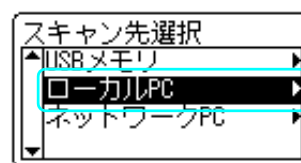
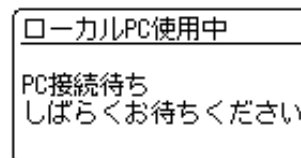
本機をコンピュータとローカル接続している場合、操作パネルのボタンを押すことにより、コンピュータ上のアプリケーションソフトを起動することができます。

1 ［スキャン］ボタンを押します。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

2 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

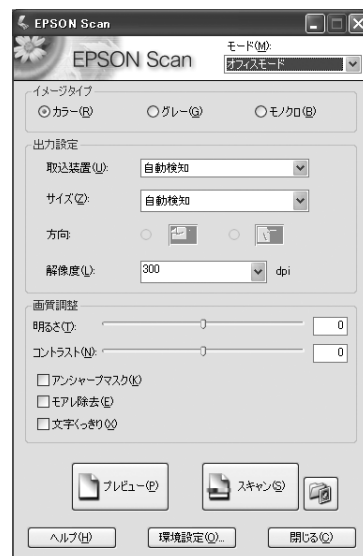
☞ 本書 103 ページ「ネットワーク接続でスキャンする（Windows）」の手順 2

3 ［ローカル PC］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ローカル PC］を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

［PC 接続待ち］のメッセージが表示されます。

4 EPSON Scan が起動します。

EPSON Scan からスキャンを実行します。
EPSON Scanでスキャンを実行する方法については、EPSON Scan の［ヘルプ］メニューをクリックするか、『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）を参照してください。

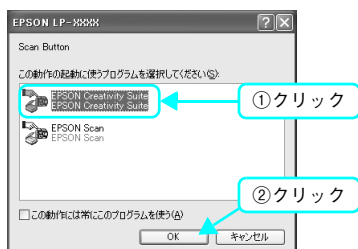
「EPSON Scan が起動できません。」エラーが発生する場合

原稿を読み取る際、EPSON Scan（スキャナドライバ）を使用します。［EPSON Scan の設定］で接続方法が「ネットワーク接続」になっている場合は、「ローカル接続」に変更してください。

☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「スキャン機能の接続先を設定します」

5 「EPSON File Manager」が起動します。

「EPSON File Manager」は「EPSON Creativity Suite」に含まれているアプリケーションソフトです。

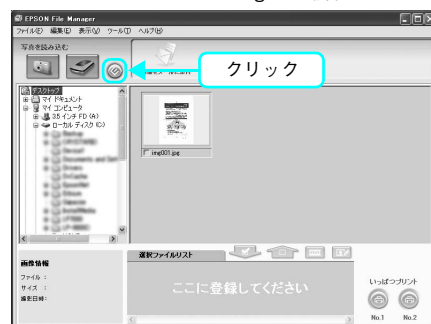
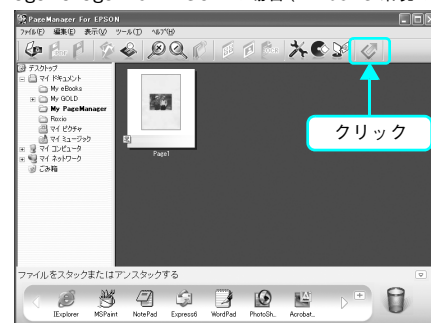
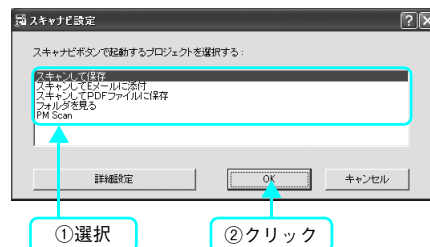
参考

Windows 環境で以下の画面が表示された場合は、［EPSON Creativity Suite］を選択して、［OK］をクリックしてください。

EPSON File Manager の操作方法については、［ヘルプ］メニュー -［チュートリアル］または［ヘルプ］をクリックして、オンラインヘルプを参照してください。

起動するアプリケーションソフトを変更する

操作パネルのボタンを押したときに起動するアプリケーションを変更するには、次の手順で変更してください。

1 ［スキャナビ設定］ボタンをクリックします。

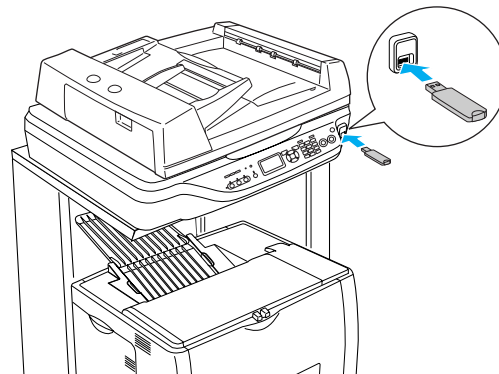
EPSON File Manager の場合

PageManager For EPSON の場合（Windows 環境のみ）

2 操作パネルのボタンを押したときの動作を選択して、［OK］をクリックします。

項目	説明
スキャンして保存	EPSON Scan が起動します。スキャンを実行すると EPSON File Manager が起動して画像が保存されます。
スキャンして E メールに添付	EPSON Scan が起動します。スキャンを実行すると EPSON Attach To Email が起動します。
スキャンして PDF ファイルに保存	EPSON Scan が起動します。スキャンを実行すると EPSON File Manager が起動して画像が PDF ファイルとして保存されます。
フォルダを見る	EPSON File Manager が起動します。
PM Scan（Windows のみ）	PageManager For EPSON が起動して、自動的に画像を保存します。

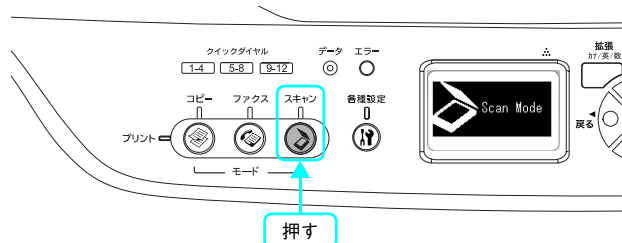
次回操作パネルの操作時から、上記で選択したアプリケーションが起動します。

スキャンデータを USB フラッシュメモリに保存する

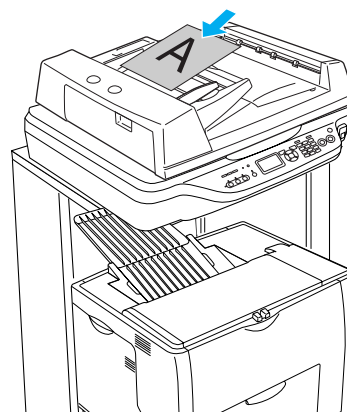
本機正面右側のコネクタに接続した USB フラッシュメモリにスキャンしたデータを保存する手順を説明します。

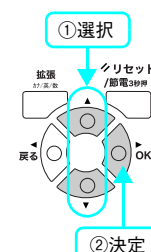
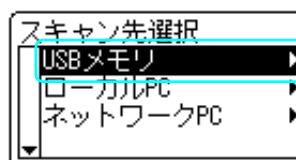
1 **画像ファイル(JPEG または TIFF 形式)を保存した USB フラッシュメモリを、本機のフラッシュメモリコネクタに取り付けます。**

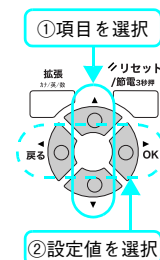
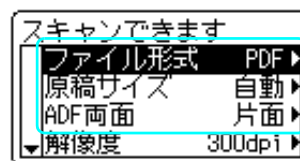
> **参考**
> 使用できる USB フラッシュメモリについては、エプソンのホームページをご覧ください。
> ＜ http://www.epson.jp/ ＞

2 **［スキャン］ボタンを押します。**

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

3 **原稿をセットします。**

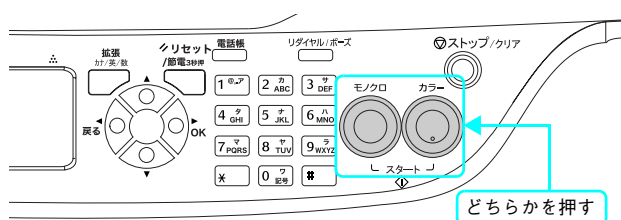
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 103 ページ「ネットワーク接続でスキャンする（Windows)」の手順 2

4 **［USB メモリ］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［USB メモリ］を選択してから、［▶］ボタンで決定します。

5 スキャン設定を行います。

［▲］または［▼］ボタンを押して項目を選択してから、［▶］ボタンで設定します。
項目は以下の通りです。

項目	選択 / 設定値	説明
ファイル形式	PDF	PDF 形式：文書原稿などに適しています。
	TIFF	TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。
	JPEG	JPEG 形式：取り込みデータのサイズを小さくしたい場合に適しています。
原稿サイズ	自動、A3、B4、A4、A4、B5、B5	原稿のサイズを選択します。
ADF 両面	片面、両面	オートドキュメントフィーダ（ADF）が装着されている時、原稿の読み取りの片面、両面が選べます。
解像度	96dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi	解像度が高いほど精妙なスキャン結果が得られますが、読み取りに時間がかかったり、ファイルサイズが重くなります。
原稿タイプ	文字	黒文字を多く含む書類を原稿にする場合に選択します。
	文字・写真	オフィスなどで通常使用されるカラー画像や文字が混在する書類を原稿にする場合に選択します。
	写真	カラー写真（銀塩写真、印刷物写真）を原稿にする場合に選択します。
濃度	-3～0～3	• 数値が小さくなるほど（マイナス）、濃度の差がなくなり、全体的に薄い画像になります。 • 数値が大きくなるほど（プラス）、濃度の差がはっきりして、全体的に濃い画像になります。

6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿をスキャンします。

- ［カラー］ボタンはカラー、［モノクロ］ボタンはモノクロでスキャンします。
- 取り込まれた原稿は、USB フラッシュメモリ内の以下のフォルダに保存されます。
  LP-M5600_xxxxxxxxxx
  （xxxxxxxxxxx はシリアル番号）
- ファイル名は、取り込んだ順にEpson_xxxx_y.拡張子で保存されます（xxxx は 0001 からの連番、y は JPEG のみ 1 からの連番）。

［モノクロ］ボタンを押した場合、通常はグレー（8bit）でスキャンしますが、［ファイル形式］が［TIFF］で［原稿タイプ］が［文字］の場合は、モノクロ（白黒２値）でスキャンします。

スキャンが終了したら、セットした原稿と USB フラッシュメモリを本機から取り除いてください。

5 オプションと消耗品

オプションと消耗品を説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は 2007 年 1 月現在のものです。

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル

接続方法は『セットアップガイド』（紙マニュアル）を参照してください。

LAN ケーブル

本機のネットワークインターフェイスを使用する場合は、市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

増設メモリ

内部メモリ（標準搭載メモリ容量 ベースモデル 128MB、ADF モデル /FAX モデルが 192MB）を最大 576MB まで増設することができます。メモリを増設することにより、高解像度でコピー / 印刷できるようになります。
使用できるメモリの詳細については、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/ ＞

取り付け方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 119 ページ「増設メモリを取り付ける」

専用ラック

本機のプリンタ部とスキャナ部をすっきり収納することのできる専用ラックです。

型番	商品名	備考
LPMRACK2	専用ラック	オプションの増設カセットユニットなし、または増設 1 段カセットユニット装着時にご使用いただけるラックです。
CSCBN8A	専用スキャナスタンド	オプションの増設カセットユニット 2 段以上を装着されている時にご使用いただけるスタンドです。
LPMPD2	プリンタ台	専用ラック（LPMRACK2）と、増設カセットユニットなしの組み合わせでお使いの場合に、プリンタ部の下に設置することで排紙された用紙などを取りやすくします。

増設カセットユニット

用紙カセットが 1 段装備されたユニットです。本機の下に最大 3 段まで増設することができます。これにより、標準搭載されている用紙カセットを含めて最大で 4 段にすることができます。

型番	商品名	備考
LPA3CZ1CU2	増設カセットユニット 用紙カセット（容量 500 枚）× 1 段	使用できる用紙サイズ： A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger
LPA3CZ1CT2	増設 1 段カセットユニット＊1 （転倒防止付 /2 段目用）	
LPA3CZ1CC2	増設カセットユニットキャスタ付き＊2 用紙カセット（容量 500 枚）× 1 段	

*1 転倒防止用の脚付きの増設カセットユニットは、1 段目または 2 段目（最下段のみ）に 1 機しか取り付けることができません。
*2 キャスタ付きの増設カセットユニットは、1 ～ 3 段目の最下段に 1 機しか取り付けることができません。

増設カセットユニットを増設する場合の組み合わせは以下の通りです。

	型番					
増設	増設 1 段			増設 2 段		増設 3 段
1 段目	LPA3CZ1CU2	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2		LPA3CZ1CU2
2 段目	－	－	－	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2
3 段目	－	－	－	－	－	LPA3CZ1CC2

取り付け方法については、以下のページを参照してください。
本書 123 ページ「増設カセットユニットを取り付ける」

用紙カセット

標準用紙カセットの代わりにプリンタセットすることのできる用紙カセットと、増設カセットユニットにセットすることのできる用紙カセットです。

型番	商品名	備考
LPA3CYC3	本体用用紙カセット	使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：250 枚
LPA3CYC2	増設カセットユニット用用紙カセット	使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：500 枚

用紙カセット 1 への用紙セット方法については、以下のページを参照してください。
本書 22 ページ「用紙カセット（標準カセット 1）に用紙をセットする」

増設カセットユニット（用紙カセット 2 ～ 4）への用紙セット方法については、以下のページを参照してください。
本書 25 ページ「用紙カセット（増設カセット 2 ～ 4）に用紙をセットする」

オートドキュメントフィーダ

原稿連続取り込み装置です。スキャナ部に取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書のコピーや取り込みに威力を発揮します。両面取り込みも可能です。

☞ 本書 129 ページ「オートドキュメントフィーダを取り付ける」

型番	商品名	備考
LPA3ADF2	オートドキュメントフィーダ	使用できる原稿サイズ：最大 A3

専用紙

本機では、以下の EPSON 製専用紙を使用できます。

型番（サイズ）	商品名	備考
LPCPPA3（A3）	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。MP トレイ、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
LPCPPA4（A4）		
LPCPPB4（B4）		
LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。 コンピュータからの印刷時、MP トレイからのみ給紙できます。

上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。内部での紙詰まりや故障の原因となります。

参考

EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

トナーカートリッジ

トナーカートリッジは、トナーの色によって 4 種類あり、最大印刷可能枚数によって型番が異なります。本機で使用可能なトナーカートリッジは次の通りです。

型番	商品名（色）	寿命
LPCA3ETC5K *	ET カートリッジ（ブラック）	各色約 6,000 ページ（A4、画占率 5%）
LPCA3ETC5C	ET カートリッジ（シアン）	
LPCA3ETC5M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC5Y	ET カートリッジ（イエロー）	
LPCA3ETC4C	ET カートリッジ（シアン）	各色約 2,000 ページ（A4、画占率 5%）
LPCA3ETC4M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC4Y	ET カートリッジ（イエロー）	

* LPCA3ETC5K の 2 本セット品（LPCA3ETC5P）もあります。

1 つのトナーカートリッジで 2,000 ページまたは 6,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合* 1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷* 2）によりトナー消費量は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。アプリケーションから 1 ページのドキュメントをコピー / 部単位機能を使用せずに複数回印刷を行う場合、コピー / 部単位機能を使用した場合と比較してトナー消費量が異なります。

交換方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書 136 ページ「トナーカートリッジを交換する」

感光体ユニット

感光体ユニットには、感光体ユニット（感光体、感光体クリーナ、帯電器）と廃トナーボックス、フィルタが同梱されています。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA3KUT5	感光体ユニット	モノクロ印刷 約 40,000 ページ カラー印刷 約 10,000 ページ

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合* 1）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷* 2）により異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

交換方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書 141 ページ「感光体ユニットを交換する」

廃トナーボックス

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。フィルタも廃トナーボックスに同梱されています。

型番	商品名	寿命
LPCA3HTB3	廃トナーボックス	モノクロ印刷 約 40,000 ページ カラー印刷 約 10,000 ページ

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合＊[1]）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷＊[2]）により廃トナーの回収状況は異なります。

＊1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。

＊2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

交換方法については以下のページを参照してください。
本書 145 ページ「廃トナーボックスとフィルタを交換する」

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効利用と地球環境保全のために

エプソン純正トナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

回収については、カートリッジの梱包箱と添付の説明書をご確認ください

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法は、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細は、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。
また、エプソンのホームページでもご確認いただけます。
< http://www.epson.jp/ >

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は使用済みのトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。

学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。

この活動により資源の有効活動と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。

詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/products/toner/）をご覧ください。

通信販売（消耗品/オプション品）のご案内

エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください。
詳しくは、本書巻末の一覧表をご覧ください。

オプションの装着方法

ここではオプションの増設メモリと増設カセットユニットの取り付け作業を説明します。

⚠警告	指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

増設メモリを取り付ける

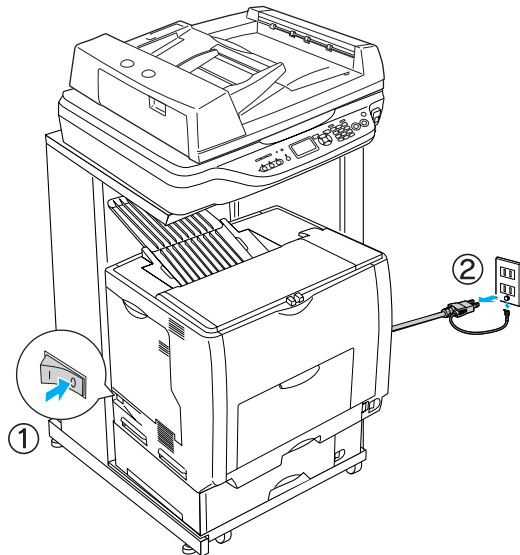
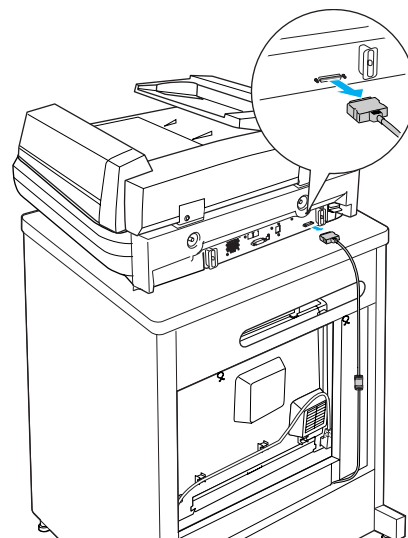
⚠注意	増設メモリの取り付けは、電源コードを取り外した状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

内部メモリを最大 576MB まで増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

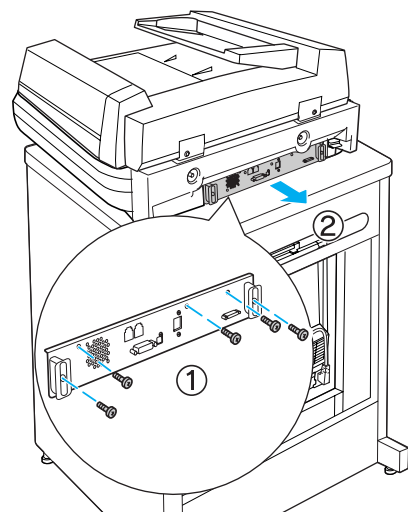
参考	使用できるメモリの詳細は、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください。 ＜ http://www.epson.jp/ ＞

取り付けは次の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

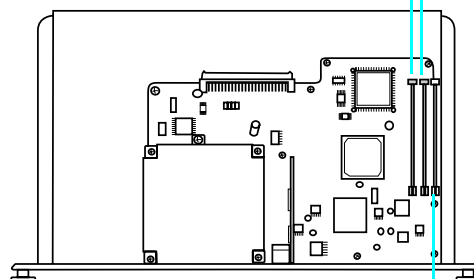
	増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 **①本機の電源を切って、②電源コードをコンセントから抜きます。**

2 接続されている専用ケーブルやインターフェイスケーブルを取り外します。

3 背面カバーのネジ（5 本）を外して、背面カバーを取り外します。

① ネジ（5 本）を外します。

② カバー両端の取っ手を持って手前に引き抜きます。

⚠注意 作業に必要のない場所には触れないようにしてください。感電や火傷の原因となります。

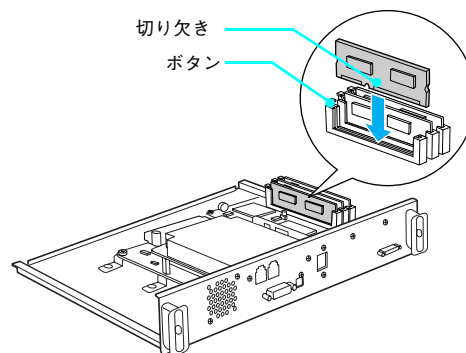
4 増設メモリ用ソケットの位置を確認します。

最大 576MB まで増設するには、標準搭載メモリ（ベースモデルは 64MB、ADF/FAX モデルは 128MB）を取り外す必要があります。

5 増設メモリを取り付けます。

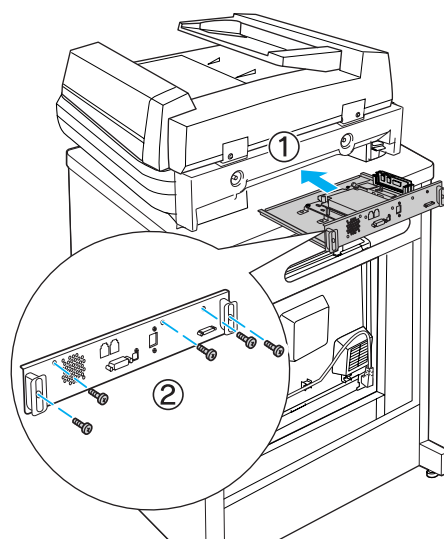
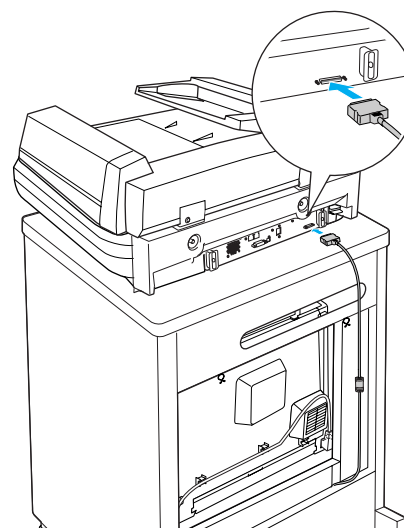
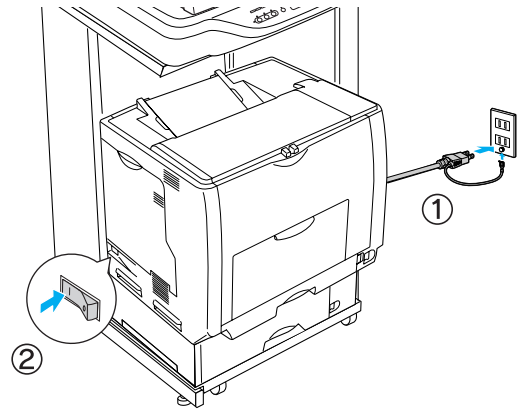
①増設メモリの切り欠きがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケットの外枠にメモリを差し込みます。

②ソケット端のボタンが飛び出すまで増設メモリの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

!注意

- 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。

6 背面カバーをスキャナ部に取り付けてから、ネジ（5本）で固定します。

①スキャナ部側のレールに合わせ、静かに差し込みます。

②ネジ（5本）を取り付けます。

7 取り外したケーブル類を接続します。

8 **①取り外した電源コードを元通りに取り付けて、②本機の電源を入れます。**

以上で増設メモリの取り付けは終了です。

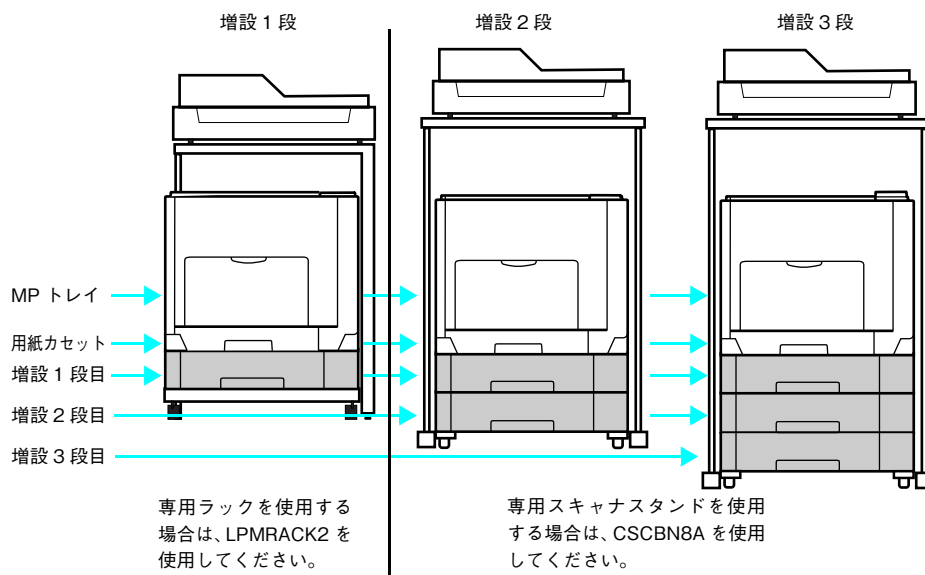
増設カセットユニットを取り付ける

ここでは 1 段目の増設カセットユニットを装着する手順を説明します。2、3 段目の増設カセットユニットを取り付ける手順も同様の手順としてお読みください。

⚠注意

- 本機を持ち上げる際は必ず 2 人以上で作業を行ってください。プリンタ部の質量は、約 46kg（標準用紙カセット 1 および消耗品を含み、オプションを除く）です。プリンタ部を持ち上げる場合は、必ずプリンタ部正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタ部の落下によるけがの原因となります。また本体に無理な力がかかるため、損傷の原因となります。
- プリンタ部を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタ部の破損の原因となります。
- プリンタ部に増設カセットユニットを２段増設する場合は、一番下に必ず増設１段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）または増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
- プリンタ部に増設カセットユニットを３段増設する場合は、一番下に必ず増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
- プリンタ部を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ部を増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスタ（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスタを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタ部の損傷の原因となります。

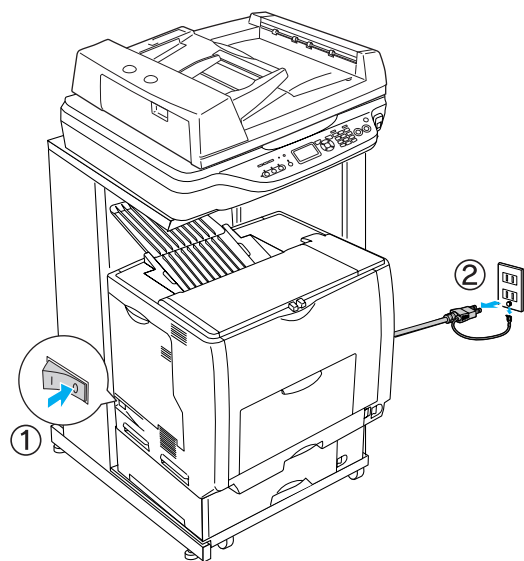
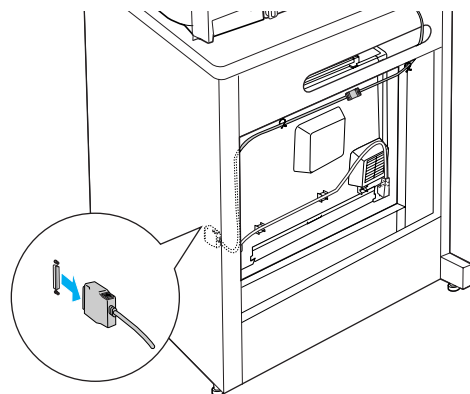
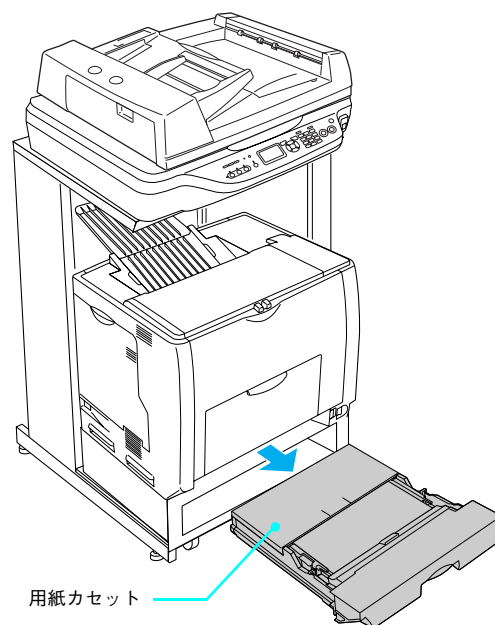
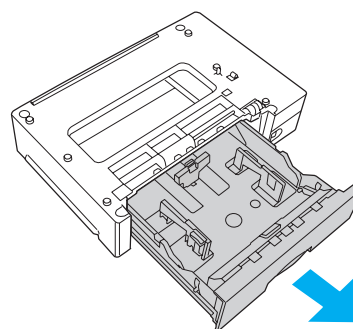
増設カセットの組み合わせ図

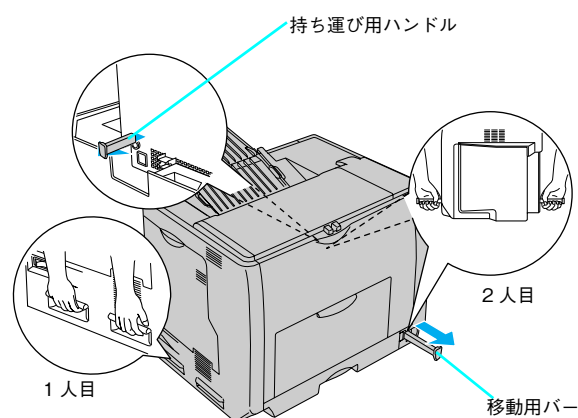
増設カセットユニットは以下の組み合わせで取り付けてください。

	型番					
増設	増設 1 段			増設 2 段		増設 3 段
1 段目	LPA3CZ1CU2	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2		LPA3CZ1CU2
2 段目	−	−	−	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2
3 段目	−	−	−	−	−	LPA3CZ1CC2

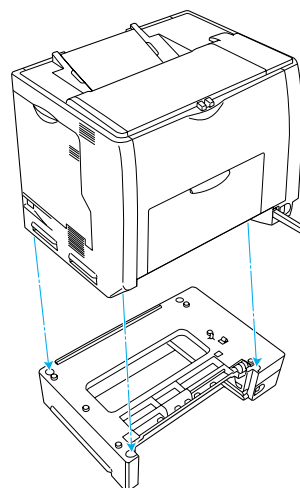
- 増設 1 段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）は上記の組み合わせで増設してください。
- 増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）は最下段に 1 台しか装着できません。
- 増設 1 段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）と増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）を組み合わせて装着することはできません。

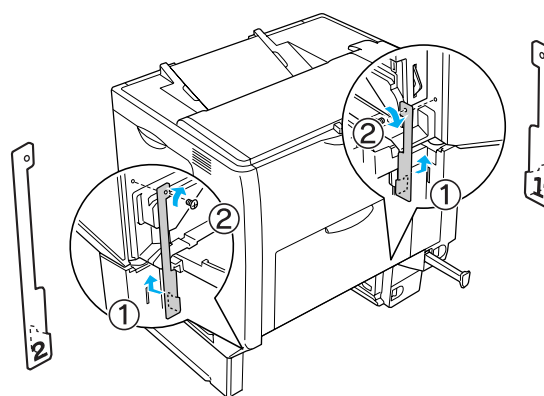
ここでは、専用ラック（LPMRACK2）と専用プリンタ台（LPMPD2）を使用している場合の手順を説明します。
取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

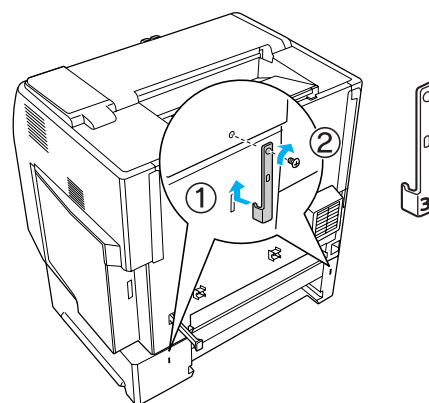
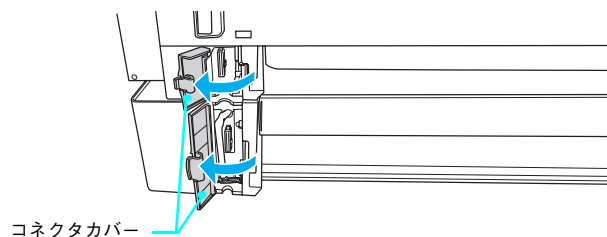
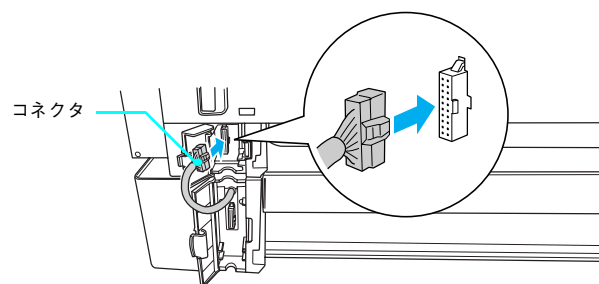
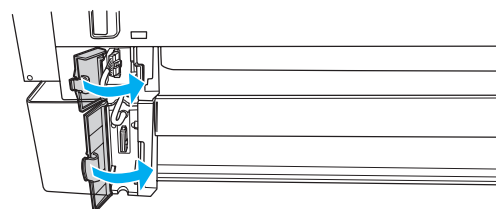
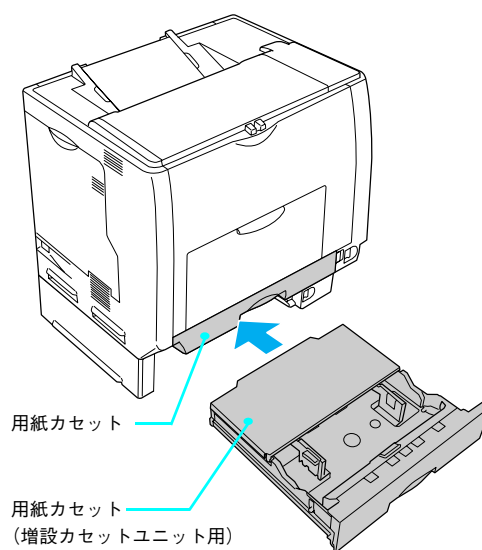
1 **増設するオプションを用意します。**
取り付け前に、損傷のないことを確認してください。また増設カセットに添付されている取扱説明書を参照して、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

2 **①本機の電源を切って、②電源コードをコンセントから抜きます。**

3 **接続されている専用ケーブルを取り外します。**

4 用紙カセットを引き出して取り外します。

5 増設するカセットユニットを水平な場所に置き、用紙カセットを引き出して取り外します。

6 図のように２人で本機を持ち上げ、水平に保ちます。

プリンタ部前面と背面にある持ち運び用ハンドルを引き出します。

7 増設カセットユニットの上にプリンタ部を置きます。

プリンタ部の前面と増設カセットユニットの前面を図のように合わせ、増設カセットユニットのピンとプリンタ部底面の穴が合うようにします。

8 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの前面（2 箇所）を固定板とネジで固定します。

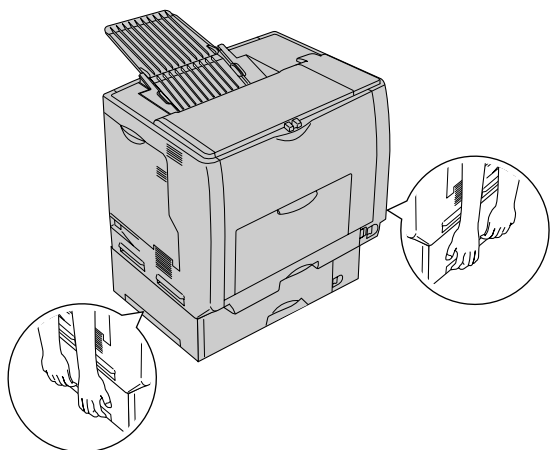
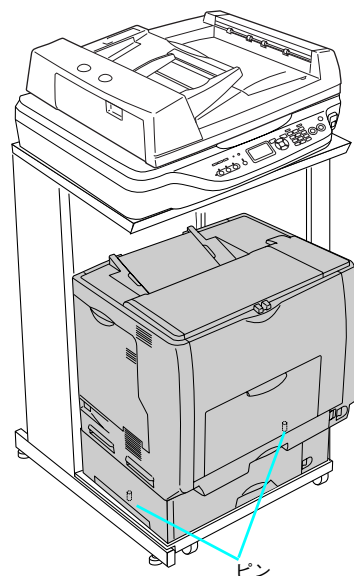
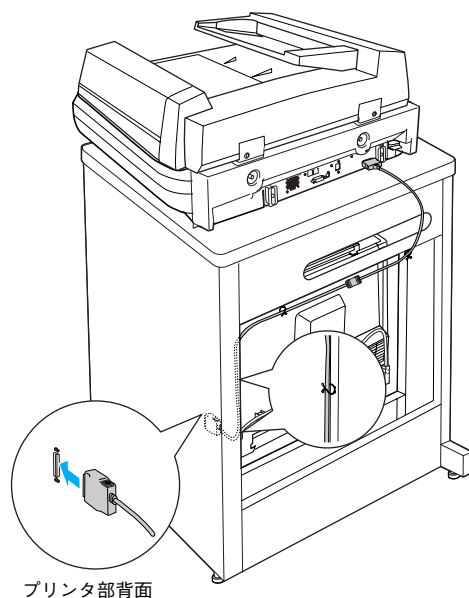
固定板を取り付けてネジ穴に合わせてから、ネジで固定します。前面（2 箇所）の固定板の形状が異なりますので、形状を確認してから取り付けてください。

9 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの背面（2 箇所）を固定板とネジで固定します。

①固定板を取り付けてネジ穴に合わせてから②ネジで固定します。

10 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニット背面のコネクタカバーを開きます。

11 コネクタの向きを確認して、プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）のソケットにしっかりと接続します。

12 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの背面のコネクタカバーを閉じます。

13 取り外した用紙カセットをセットします。

14 プリンタ部を設置します。

- プリンタ台（LPMPD2）を使用している場合は、取り外します。
- 専用ラック（LPMRACK2）を使用する場合は、専用ラックのキャスタ付きボードにプリンタ部を載せてから、キャスタ付きボードをラックにセットします。

ピン

!注意

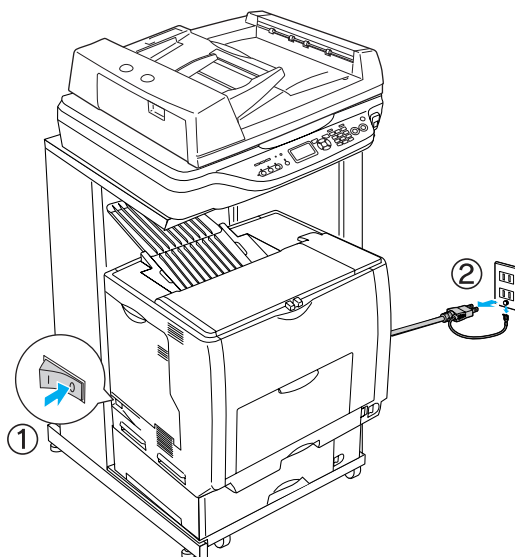
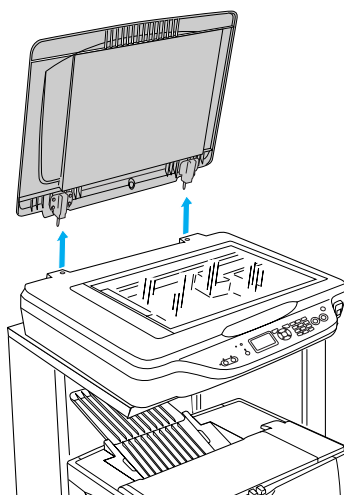
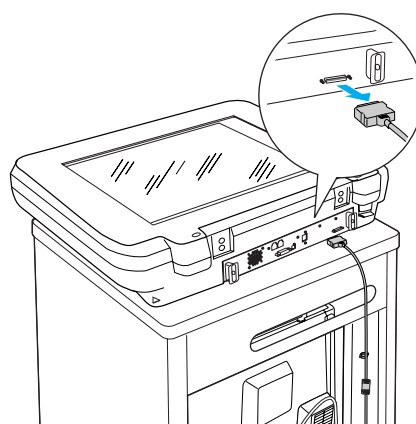
- 増設カセットごとプリンタ部を移動する場合は、プリンタ部をぐらつかせたり、傾けないよう静かに持ち上げてください。

- 電源コードを踏んだり、プリンタ部の下にはさまないように注意してください。

15 取り外した専用ケーブルを接続します。

16 取り外した電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

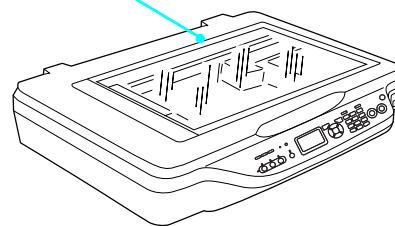
以上で増設カセットユニットの取り付けは終了です。

オートドキュメントフィーダを取り付ける

ここでは、オートドキュメントフィーダの取り付け方法を説明します。

！注意	オートドキュメントフィーダは重く（約 13kg）、取り付け前は不安定ですので、取り付け作業は必ず２人以上で行ってください。１人で行うと、落下によりけがをしたり、オートドキュメントフィーダが破損するおそれがあります。

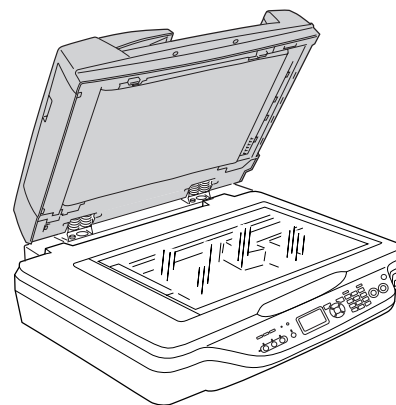
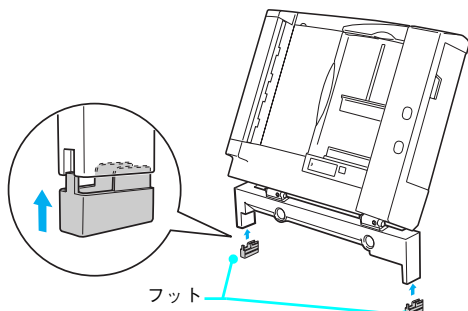
1 ①本機の電源を切って、②電源コードをコンセントから抜きます。

2 原稿カバーを取り外します。

3 接続されている専用ケーブルおよびインターフェイスケーブルを取り外します。

4 スキャナ部の周囲に人が作業できるスペースを確保します。また、できるだけ低い位置に置きます。

オートドキュメントフィーダは、スキャナの背面側から取り付けますので、背面側に、オートドキュメントフィーダを取り付けるための作業スペースを確保してください。

!注意

オートドキュメントフィーダを取り付けるときは、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがやオートドキュメントフィーダの破損が起きないように注意して作業してください。

5 この後は、『セットアップガイド』（紙マニュアル）を参照して、オートドキュメントフィーダを取り付けます。

参考

組み立ての途中で使用する「フット」は、本機に同梱されていたものを使用します。オートドキュメントフィーダに同梱されているものは使用しないでください。

6 スキャナ部を設置して、専用ケーブルを接続します。

7 取り外した電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

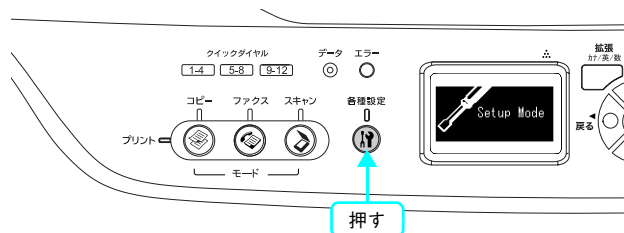
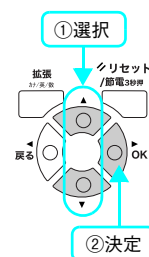
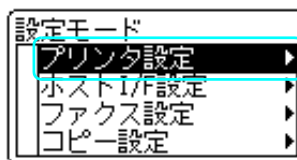
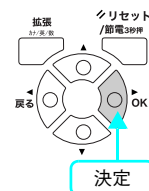
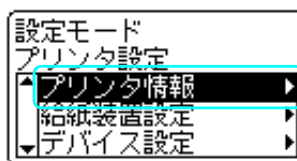
以上でオートドキュメントフィーダの取り付けは終了です。

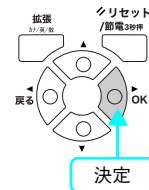
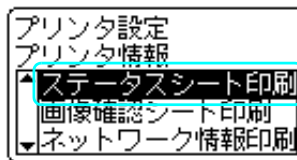
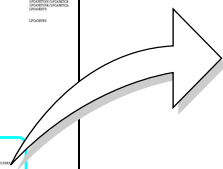
装着オプションの確認（簡易ステータスシートの確認）

ここでは、本機に取り付けたオプションが認識されているかどうかを確かめるために、ステータスシート（簡易版）の印刷と確認方法について説明します。

オートドキュメントフィーダを取り付けてもステータスシートには印字されません。基本的なコピーを実行して給紙されることをご確認ください。

1 ［各種設定］ボタンを押します。

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［設定モード］で［プリンタ設定］が選択されていることを確認して、［▶］ボタンを押します。

3 ［プリンタ情報］が選択されていることを確認して、［▶］ボタンを押します。

4 ［ステータスシート印刷］が選択されていることを確認して、［▶］ボタンを押します。

データランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。

5 ステータスシートが印刷されたか確認します。

次のようなステータスシートが印刷できれば、本機の印刷機能は正常に機能しています。

増設メモリを装着している場合

- ［システムジョウホウ］の［メモリ］の項目に、標準搭載メモリ（ベースモデルの場合は 128MB、ADF モデル / FAX モデルの場合は 192MB）と増設したメモリ容量の合計値が表示されていれば、正しく認識されています。

増設カセットを装着している場合

- ［システムジョウホウ］の［キュウシソウチ］の項目に、［カセット］が表示されていれば、正しく認識されています。

6 メンテナンス

メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項を説明します。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジについて

トナーカートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置です。

型番	商品名（色）	寿命
LPCA3ETC5K*[1]	ET カートリッジ（ブラック）	各色約 6,000 ページ*[2]
LPCA3ETC5C	ET カートリッジ（シアン）	
LPCA3ETC5M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC5Y	ET カートリッジ（イエロー）	
LPCA3ETC4C	ET カートリッジ（シアン）	各色約 2,000 ページ*[2]
LPCA3ETC4M	ET カートリッジ（マゼンタ）	
LPCA3ETC4Y	ET カートリッジ（イエロー）	

*1 LPCA3ETC5K の 2 本セット品（LPCA3ETC5P）もあります。

*2 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

！注意 本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

トナーカートリッジの交換時期

1 つのトナーカートリッジで 2,000 ページまたは 6,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合*[1]）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷*[2]）によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

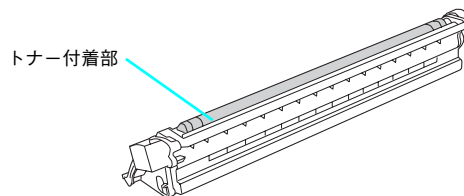
操作パネルでトナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

本書 201 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

トナーカートリッジ交換時の注意

⚠警告	トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠注意	交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- トナーカートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できないなどの原因となるおそれがあります。
- トナーカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のトナーカートリッジを装着してください。
- トナーのなくなったトナーカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- トナーカートリッジのトナー付着部には絶対に手を触れないでください。

トナーカートリッジ保管上の注意

⚠注意	子供の手の届かないところに保管してください。

- トナーカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 〜 35 ℃、湿度範囲 15 〜 85% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

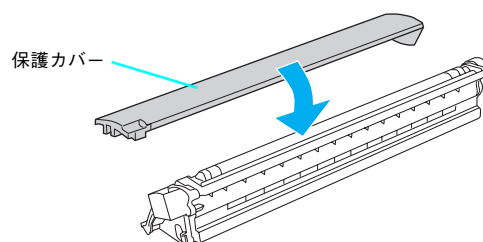
使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シート、または以下のページを参照してください。

☞ 本書 117 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

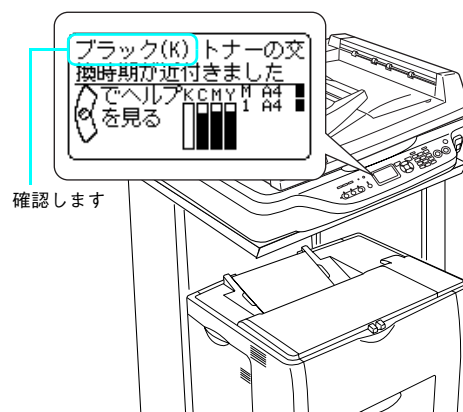
⚠警告	トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

トナーカートリッジは、購入時に取り付けられていたカバーを取り付けて回収または廃棄してください。

トナーカートリッジを交換する

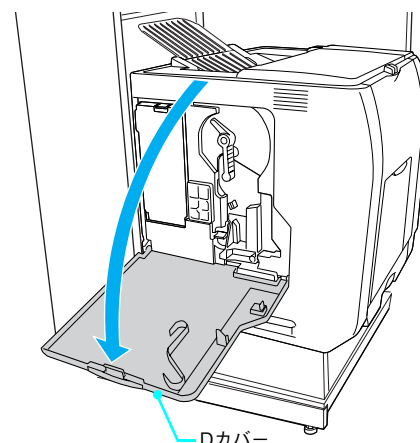
トナーのなくなったトナーカートリッジ（色）は、操作パネルに表示されるメッセージで確認できます。

トナーカートリッジの交換は以下の手順に従ってください。交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

本書 135 ページ「トナーカートリッジ交換時の注意」

1　操作パネルのメッセージを参照して、交換するトナーカートリッジの色を確認します。

2　D カバーを開けます。

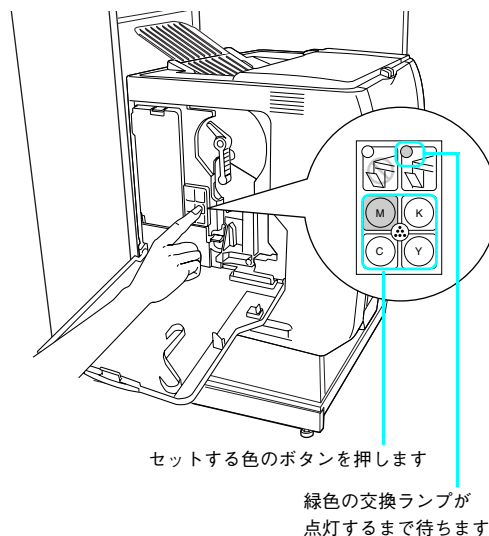
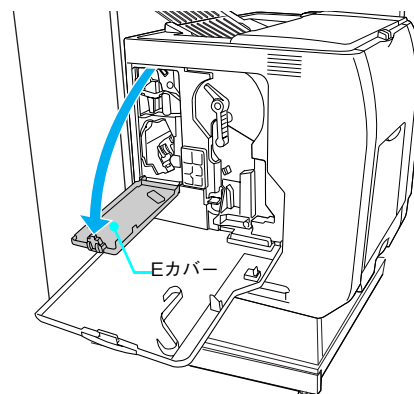
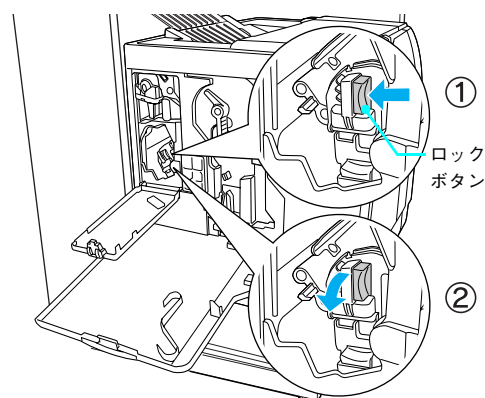
! 注意

電源を入れた直後は、プリンタが停止するまで D カバーを開けないでください。プリンタ部の内部機構が動作していないこと（動作音が聞こえないこと）を確認してから D カバーを開けてください。

3　交換するトナーカートリッジの色のボタンを押し、緑色の交換ランプが点灯するまで待ちます。

取り付ける色の装着口が移動します。

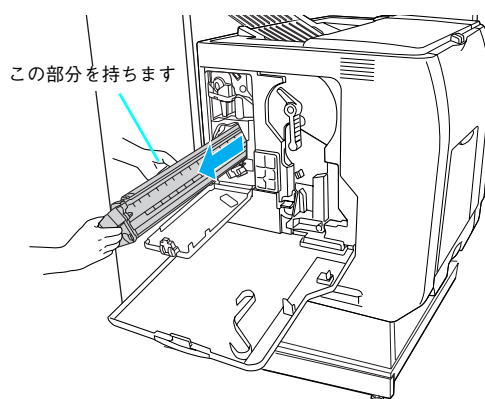
! 注意

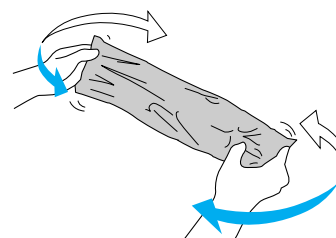
- 赤色の交換ランプが点滅している間は、E カバーを開けないでください。
- 赤色の交換ランプが点滅している間は、感光体ユニットを抜かないでください。

交換ランプが点灯しない場合は、電源が入っているか、感光体ユニットが取り付けられているかを確認してください。

4 Eカバーを開けます。

5 ①ロックボタン（灰色）をつまんで、②トナーカートリッジのセットカバーを手前に開けます。

6 トナーカートリッジ先端のつまみ部分を持って、手前にゆっくり引き抜きます。

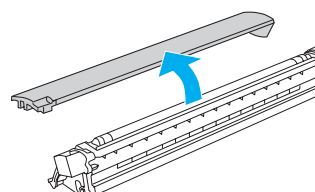
!注意

使用済みのトナーカートリッジについては、以下のページを参照してください。

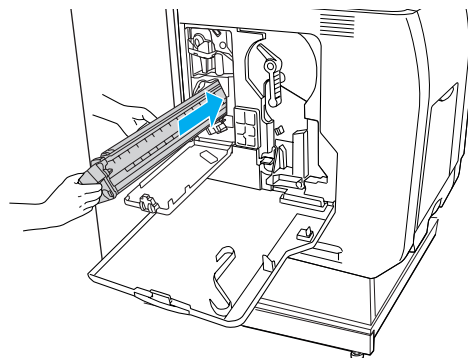
☞ 本書135ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

7 新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出し、袋のまま図のように左右に傾けて7～8回振ります。

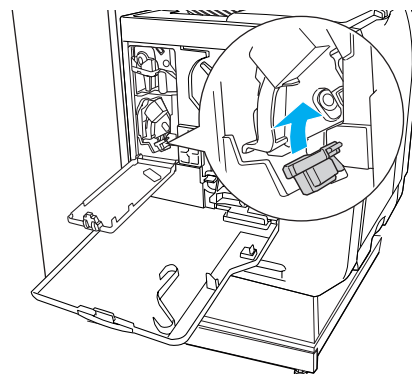
トナーカトリッジ内のトナーが均一な状態になります。

8 新しいトナーカートリッジを袋から取り出し、保護カバーを取り外します。

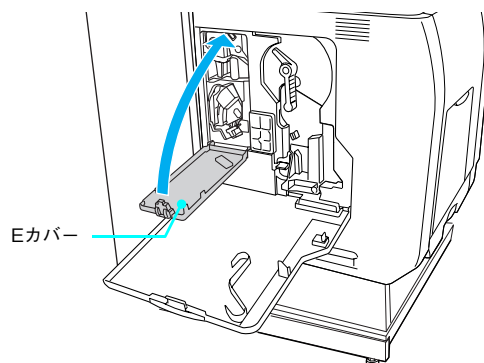
参考

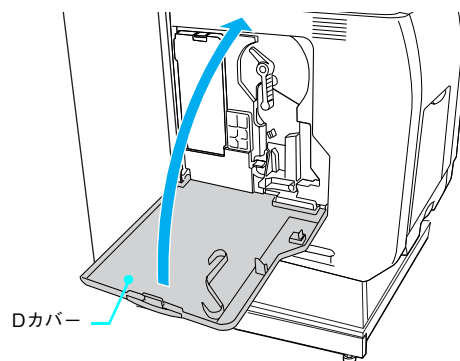
- トナーカートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのトナーカートリッジを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。
- 取り外したカバーは、トナーカートリッジを回収する際に取り付けますので捨てないでください。

9 **トナーカートリッジを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。**

トナーカートリッジの先端を装着口に合わせて、ゆっくり奥まで差し込みます。

> **参考**
>
> トナーカートリッジの保護カバーが取り外されていることを確認してから、プリンタ部に取り付けてください。

10 **トナーカートリッジのセットカバーを起こしてカチッと音がするまで閉じます。**

> **！注意**
>
> トナーカートリッジセットカバーはカチッと音がするまでしっかりと固定してください。正しく固定されていないと、E カバーや D カバーが閉じないため、トナー供給不足やトナー漏れなどの原因となります。

11 **E カバーを閉じます。**

> **参考**
>
> トナーカートリッジをセットしたら、必ず E カバーを閉じてください。

12 **同時に他の色のトナーカートリッジを交換する場合は、手順 3 ～ 11 を繰り返します。**

13 **交換が終了したら、D カバーを閉じます。**

14 **印刷可能な状態になるまで待機します。**

15 **操作パネルに「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。**

>
>
> 操作パネルに「紙をセットしてください xxxxx yyyy」と表示された場合は、用紙をセットしてから「印刷できます」と表示されることを確認してください。

以上でトナーカートリッジの交換は終了です。

感光体ユニットの交換

ここでは、感光体ユニットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。感光体ユニットには、感光体ユニット（感光体、感光体クリーナ、帯電器）、廃トナーボックス、フィルタが同梱されています。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA3KUT5	感光体ユニット	モノクロ印刷 約 40,000 ページ* カラー印刷 約 10,000 ページ*

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。

!注意 本機は純正感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ部の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。

感光体ユニットの交換時期

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合＊1）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷＊2）により異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

操作パネルの［プリンタ情報］メニューで、感光体の寿命の目安を表示することができます。また、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。
本書 201 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、トナーカートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

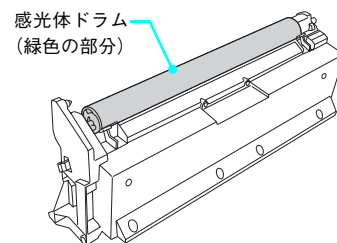
そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

- トナーが十分残っているか確認してください。
  操作パネルの［プリンタ情報］メニューでトナーカートリッジのトナーが十分残っているか確認してください。
  本書 201 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

感光体ユニット交換時の注意

⚠警告	感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠注意	交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 感光体ユニットの感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。
- 感光体ユニットを置く場合は、感光体の表面に傷が付かないよう、平らな机の上に置いてください。
- 感光体ユニットの感光体ドラム（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

保管上の注意

⚠注意	子供の手の届かないところに保管してください。

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：15 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

使用済み感光体ユニットについて

使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

感光体ユニットを交換する

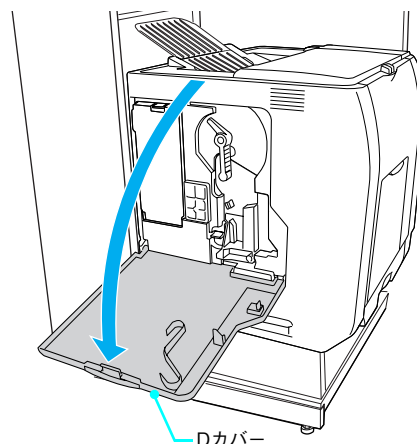
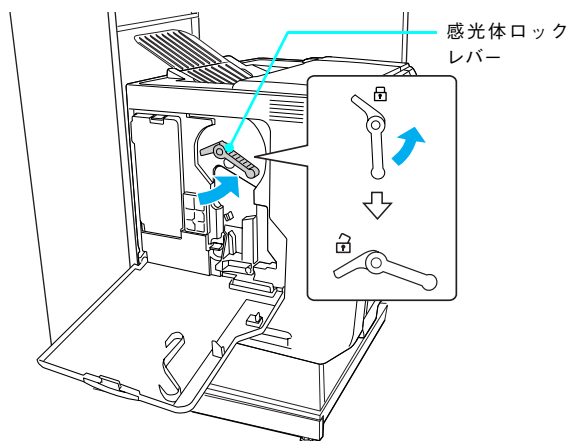
感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

☞ 本書 140 ページ「感光体ユニット交換時の注意」

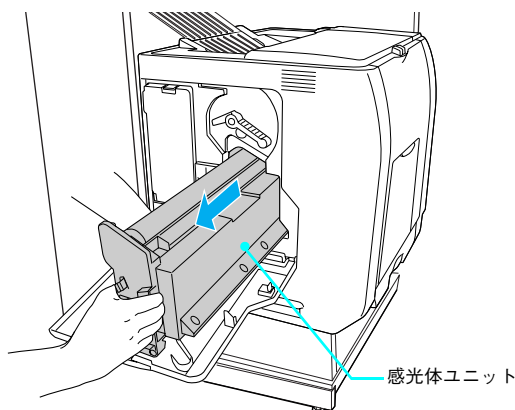
感光体ユニットの交換後は、廃トナーボックスとフィルタも合わせて交換します。廃トナーボックスとフィルタの交換方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 145 ページ「廃トナーボックスとフィルタを交換する」

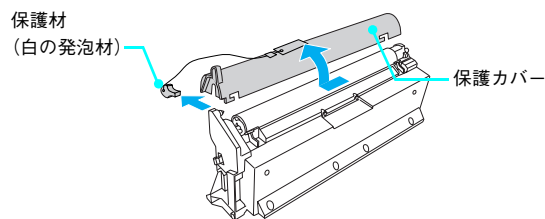
1 **本機の電源を切ります。**

2 **D カバーを開けます。**

3 **感光体ロックレバーを図の位置まで回して、ロックを解除します。**

4 **感光体ユニットを手前に少し引き出してから、感光体ユニット下部に手を添え、ゆっくりと引き抜きます。**

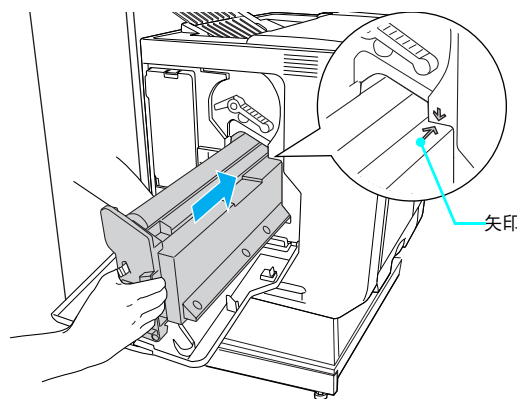
参考

使用済みの感光体ユニットは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。

5 新しい感光体ユニットを梱包箱から取り出し、保護材（白の発泡材）と保護カバーを取り外します。

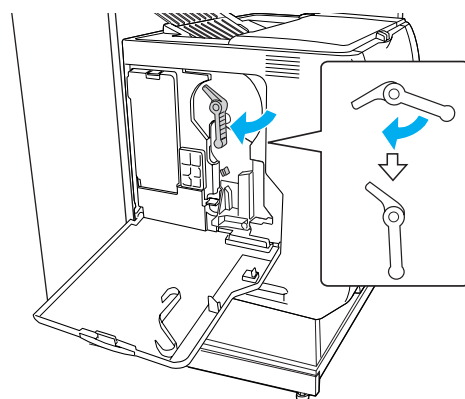
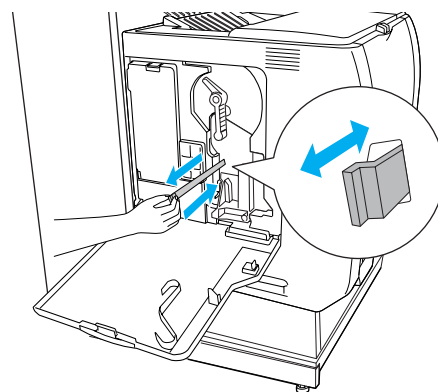
! 注意

- 感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。

6 感光体ユニット下部に手を添え、感光体ユニット上の矢印をプリンタ内部の矢印と合わせて、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

! 注意

感光体（緑色の部分）を他の部品に接触させないよう注意してください。

7 感光体ロックレバーを図の位置まで回して、固定します。

! 注意

ロックレバーが正しくロックされていることを確認してください。

8 クリーニングノブAをゆっくり2、3回手前にいっぱいまで引き出して、元の位置に戻します。

以上で感光体ユニットの交換は終了です。続いて、廃トナーボックスとフィルタを交換してください。
☞ 本書145ページ「廃トナーボックスとフィルタを交換する」

廃トナーボックスとフィルタの交換

廃トナーボックスとフィルタについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。廃トナーボックスの交換時は、フィルタも合わせて交換してください。フィルタは廃トナーボックスに同梱されています。

型番	商品名	寿命
LPCA3HTB3	廃トナーボックス	モノクロ印刷 約 40,000 ページ* カラー印刷 約 10,000 ページ*

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。

!注意　本製品は純正廃トナーボックス使用時に最良の状態で使用できるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ部の故障の原因となったり、本機の性能が発揮できない場合があります。

廃トナーボックスとフィルタは、感光体ユニット（型番：LPCA3KUT5）にも同梱されています。感光体ユニット交換時に、同時に交換してください。

廃トナーボックスとフィルタの交換時期

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合* 1）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン / オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷* 2）により廃トナーの回収状況は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

空き容量が残り少なくなると、操作パネルに交換を促すメッセージが表示されます。すみやかに新しい廃トナーボックスと交換することをお勧めします。

廃トナーボックスとフィルタの交換時の注意

⚠警告　使用済みの廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠注意　交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 使用済みの廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスは、回収した廃トナーがこぼれないように、キャップを確実に取り付けてください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいにふき取ってください。

廃トナーボックスとフィルタの保管上の注意

- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 度
  湿度範囲：15 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済み廃トナーボックスとフィルタについて

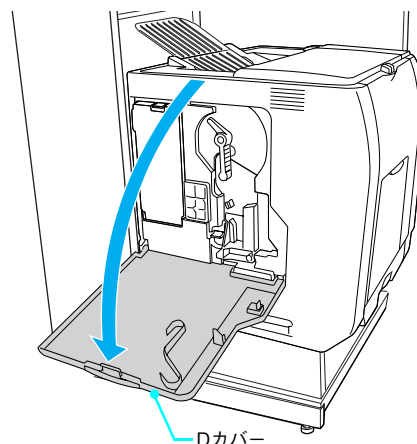
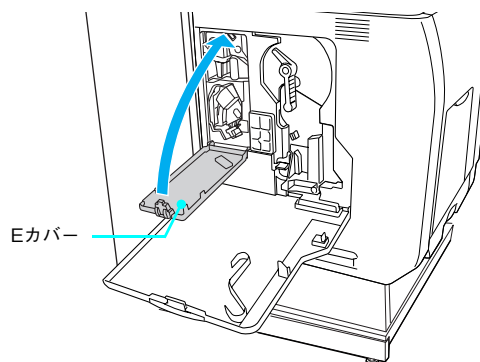
使用済みの廃トナーボックスやフィルタを処分される場合は、ポリ袋などに入れ、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

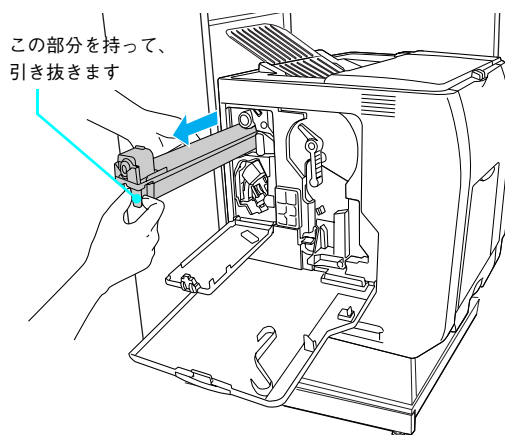
⚠警告　使用済みの廃トナーボックスやフィルタは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

廃トナーボックスとフィルタを交換する

廃トナーボックスの交換時は、フィルタも合わせて交換します。交換の前に必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

☞ 本書 144 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換時の注意」

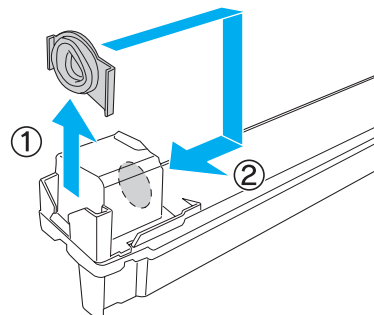
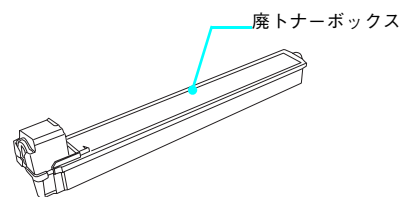
1 **D カバーを開けます。**

2 **E カバーを開けます。**

3 **廃トナーボックスを、図のように手前に引き抜きます。**

> **参考**
>
> 使用済みの廃トナーボックスは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。

4 使用済みの廃トナーボックスにキャップを付けます。

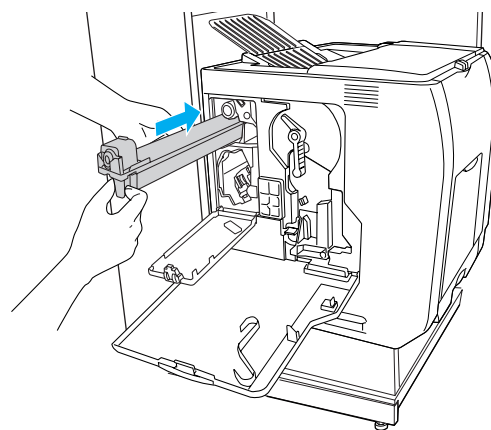
参考

廃トナーボックスにキャップを付けたら、キャップが確実に取り付けられていることを確認してください。

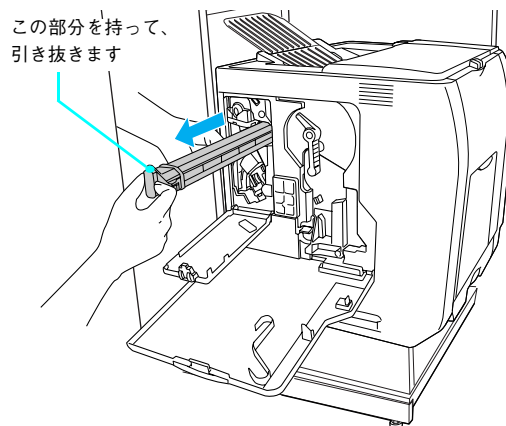
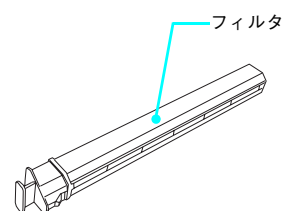
①

②

5 新しい廃トナーボックスを梱包箱から取り出します。

廃トナーボックス

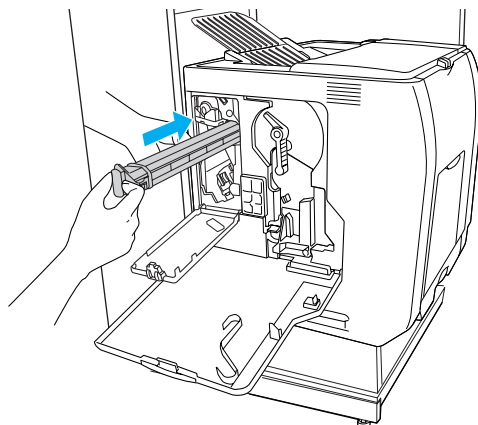
6 廃トナーボックスを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

廃トナーボックスが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。
続いてフィルタを交換します。

7 フィルタを図のように、手前に引き抜きます。

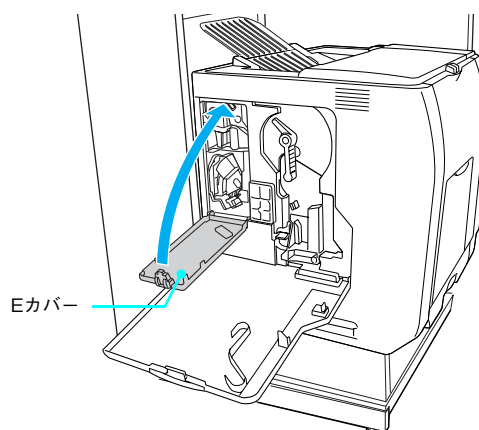
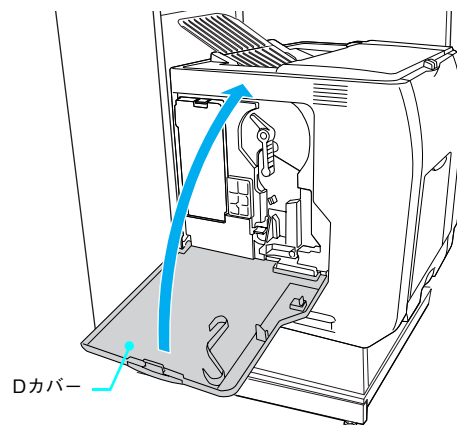
参考

使用済みのフィルタは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。

8 新しいフィルタを梱包箱から取り出します。

フィルタ

9 フィルタを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

フィルタが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。

10 E カバーを閉じます。

参考

フィルタが正しく装着されていないと E カバーを閉じることができません。正しく装着してください。

11 D カバーを閉じます。

12 本機の電源を入れます。

以上で廃トナーボックスとフィルタの交換は終了です。

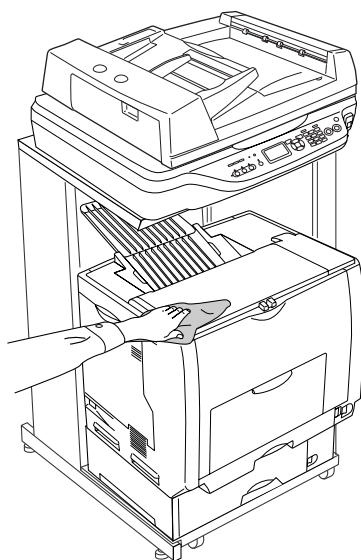
本機の清掃

本機を良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

外装をきれいにする

本機の表面が汚れたときは、水を含ませて固く絞った布で、ていねいにふいてください。

⚠注意	清掃作業は、電源を切ってコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。ケースが変色、変形するおそれがあります。
- 本機を水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースをふかないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

蛍光ランプ

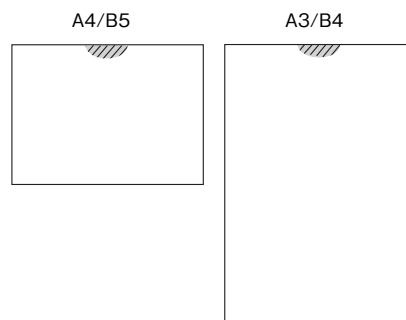
スキャナ部キャリッジの蛍光ランプが切れた時は、交換修理が必要です。お買い求めの販売店か、サービスコールセンターにお問い合わせください。サービスコールセンターの連絡先は本書巻末にあります。

スキャナの原稿台

原稿台のガラス面の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。

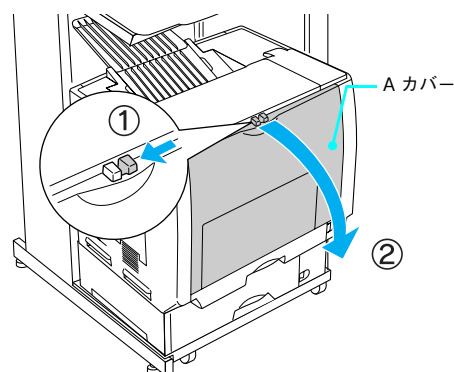
紙センサを清掃する（用紙の上または右横が汚れるとき）

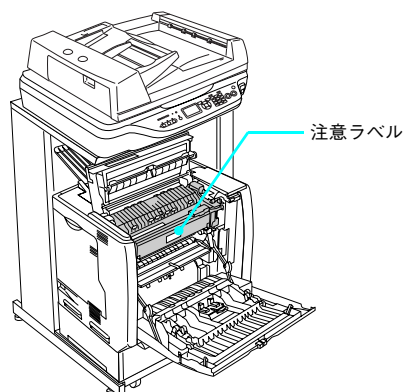
用紙の以下の部分が汚れる場合は、紙センサを清掃してください。

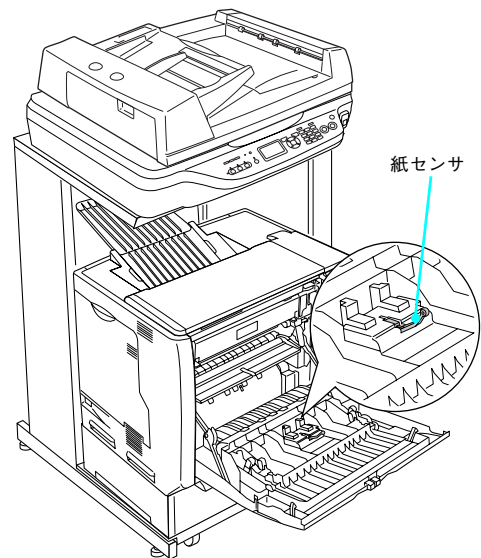
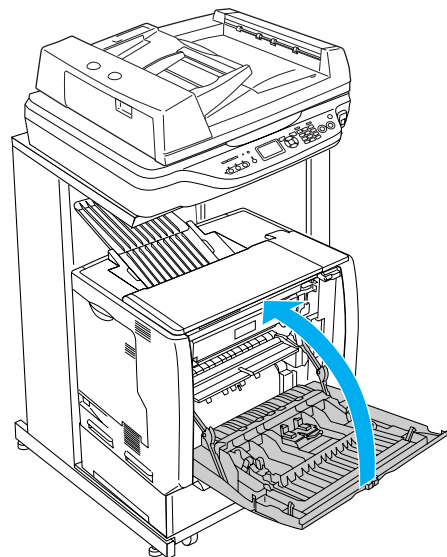
A4/B5　A3/B4

⚠注意	清掃作業は、電源を切ってコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

！注意

- プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などではふかないでください。傷が付くおそれがあります。
- MP トレイに用紙がセットされている場合は､用紙を取り除いて MP トレイを閉めてから A カバーを開けてください。

1 ①ロックを解除して､②Aカバーを開けます。

⚠注意

- A カバーを開けたとき､定着器部分に手を触れないようご注意ください｡内部は高温（約 200 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

2 紙センサを乾いた布でふきます。

3 A カバーを閉じます。

以上で紙センサの清掃は終了です。

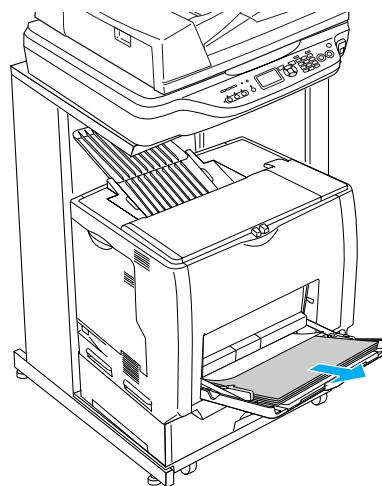
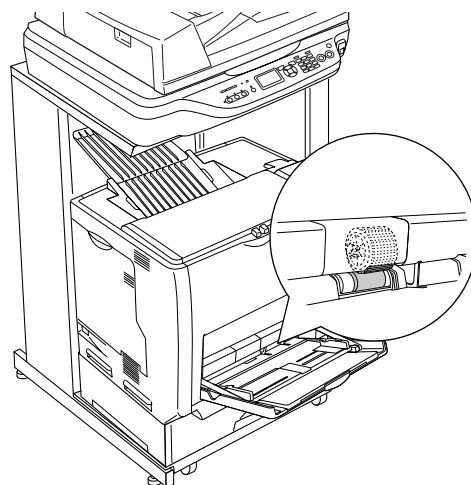
給紙ローラを清掃する（正常に給紙できないとき）

用紙が頻繁に詰まる場合や正常に給紙できない場合は、MP トレイおよび用紙カセットの給紙ローラをクリーニングしてください。

⚠注意	• 作業中は、指示以外の部分に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。 • 清掃作業は、電源を切ってコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

!注意	• 指示以外のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。 • ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。 • プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。 • 固いブラシや布などではふかないでください。傷が付くおそれがあります。

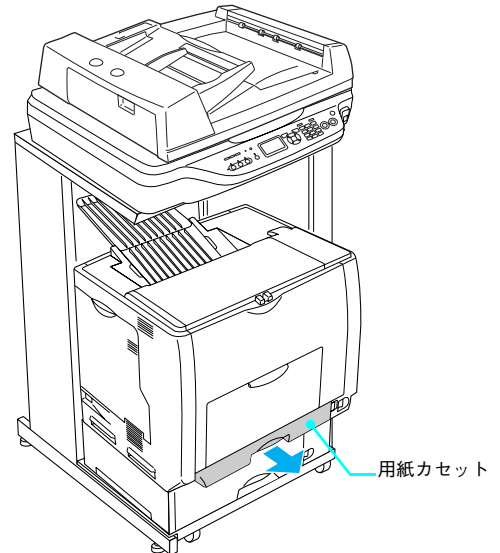
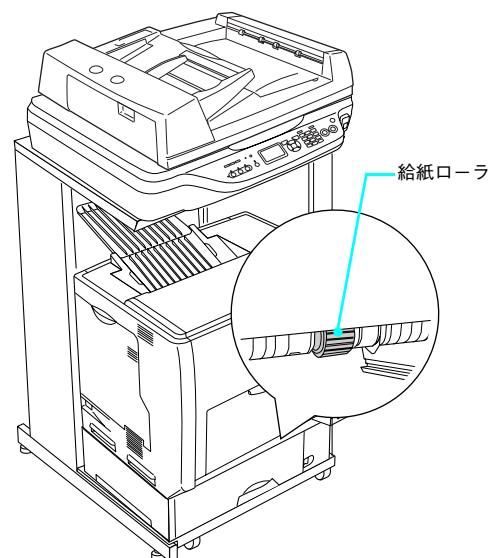
MP トレイの給紙ローラを清掃する

1 **MP トレイにセットしてある用紙を取り除きます。**

2 **給紙ローラのゴム部分（2 箇所）を、乾いた布でていねいにふきます。**

3 **MP トレイに用紙をセットします。**

以上で MP トレイの給紙ローラの清掃は終了です。

用紙カセットの給紙ローラを清掃する

ここでは、標準用紙カセットの給紙ローラを例に説明します。オプションの増設カセットユニットの場合も、同様の手順で清掃してください。

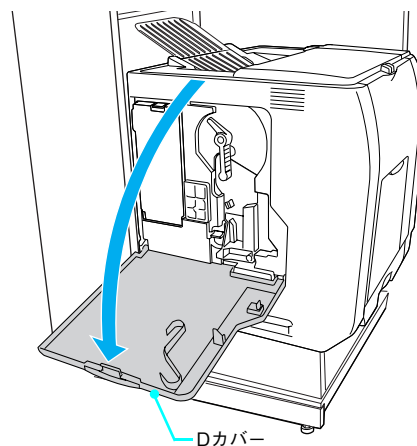
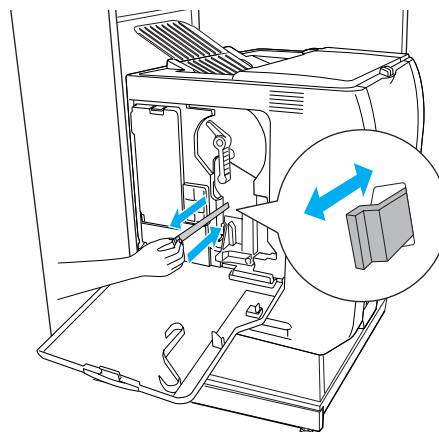
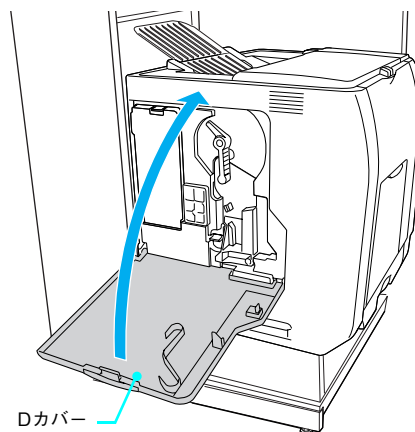
1. **用紙カセットをプリンタから引き出します。**

2. **プリンタ部（または増設カセットユニット）に付いている給紙ローラのゴム部分を、乾いた布でていねいにふきます。**

3. **用紙カセットをプリンタ部にセットします。**

以上で用紙カセットの給紙ローラの清掃は終了です。

帯電ワイヤを清掃する（筋状に印刷が抜けたり、線が印刷されるとき）

感光体ユニット内部の帯電ワイヤにトナーが落ちて付着していると、白く筋状に印刷が抜けたり、黒く筋状の線が印刷されて、きれいに印刷できないことがあります。操作パネルに「清掃してください D」と表示された場合は、帯電ワイヤの清掃をしてください。

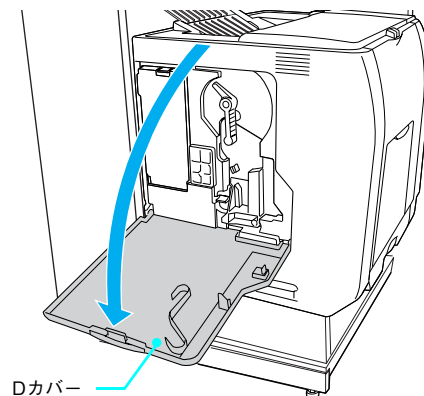
1 **D カバーを開けます。**

> **！注意**
> 帯電ワイヤの清掃中は、［トナーカートリッジ交換］ボタンを押さないでください。帯電ワイヤの清掃時期を管理するカウンタが正しくリセットされません。

2 **クリーニングノブ A をゆっくり 2、3 回手前にいっぱいまで引き出して、元の位置に戻します。**

3 **D カバーを閉じます。**

以上で帯電ワイヤの清掃は終了です。

センサと露光窓を清掃する

良好な印刷品質を保持するため、センサと露光窓の清掃をしてください。操作パネルに「プリンタ調整用センサを清掃してください」と表示された場合は、以下の手順で清掃をしてください。

1 Dカバーを開けます。

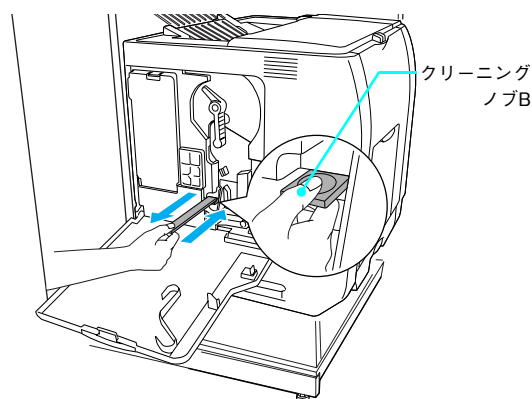
Dカバー

2 クリーニングノブBを、ゆっくりと2、3回前後に動かします。

露光窓が清掃されます。

終了したらクリーニングノブ B を元の位置に戻します。

!注意

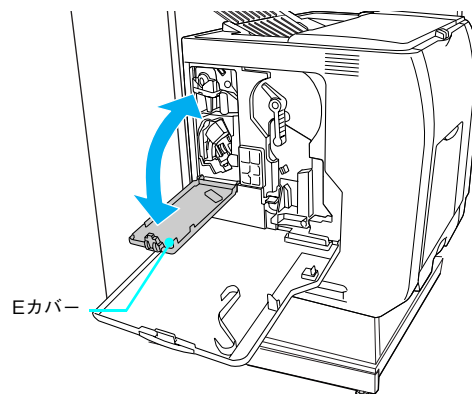
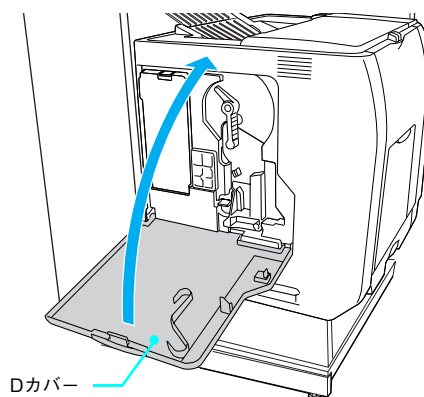
クリーニングノブ B を押し込みすぎないように注意してください。

クリーニングノブB

3 Eカバーをゆっくりと数回、開け閉めします。

センサが清掃されます。

!注意

E カバーを開閉する際、一度確実に押し込んで閉めてから開けてください。最後までしっかりと閉めないで E カバーを上下に動かすだけでは、センサは清掃されません。

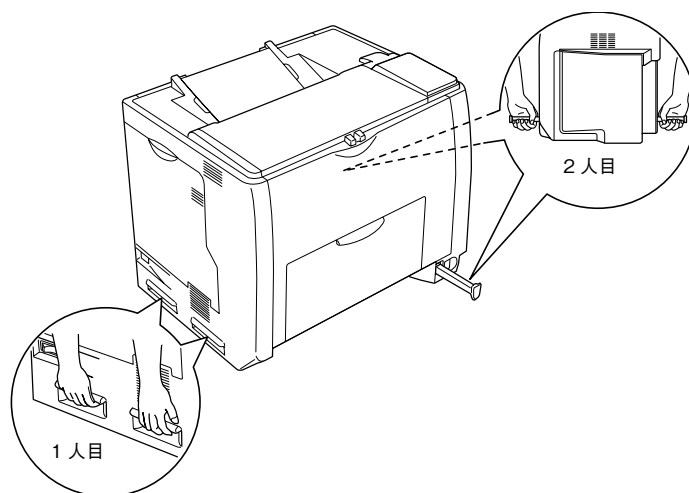
Eカバー

4 Dカバーを閉じます。

以上でセンサと露光窓の清掃は終了です。

Dカバー

本機の輸送と移動

本機を運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

⚠注意

- プリンタ部およびオートドキュメントフィーダを装着したスキャナ部を持ち上げる際は必ず 2 人以上で作業を行ってください。各部の質量は、約 46kg（標準用紙カセット 1 および消耗品を含み、オプションを除く）、スキャナ部 ADF モデル /FAX モデル約 27kg、ベースモデル約 15kg です。プリンタ部を持ち上げる場合は、必ずプリンタ部正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタ部の落下によるけがの原因となります。またプリンタ部に無理な力がかかるため、プリンタ部の損傷の原因となります。

- プリンタ部を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタ部の破損の原因となります。
- プリンタ部を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ部を増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスタ（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスタを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタ部の損傷の原因となります。

近くへの移動

はじめに本機の電源を切って、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- 専用ケーブル
- MP トレイ内の用紙（必ず MP トレイを閉じてください。）
- 用紙カセット（標準 / オプション）内の用紙

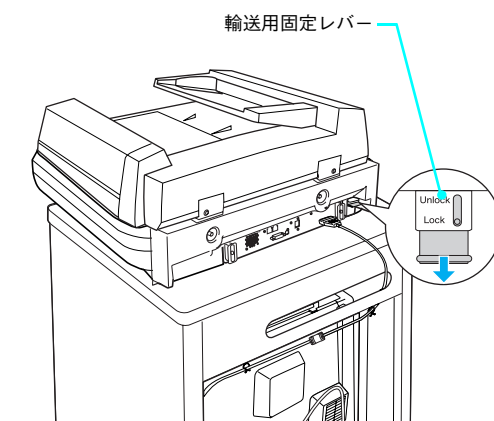
増設カセットユニットキャスタ付きおよび専用ラックを使用している場合

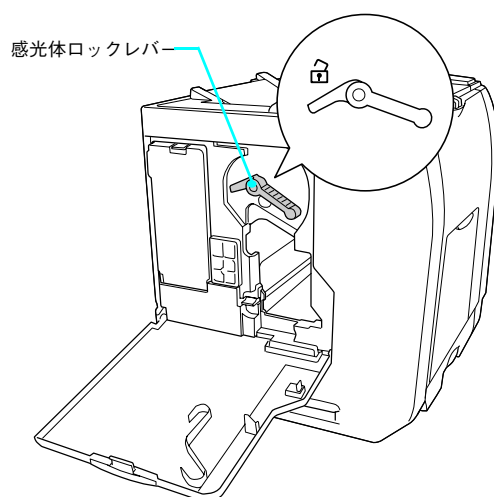
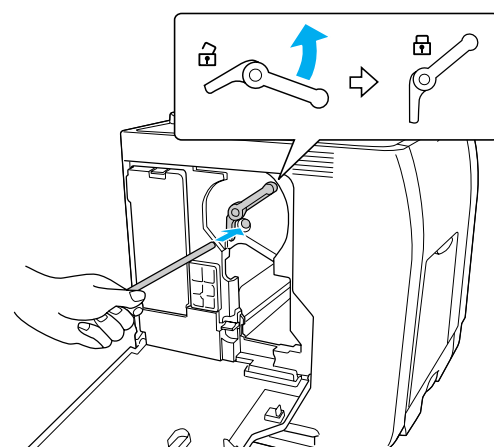
オプションの増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）と専用ラックにはキャスタが付いているため、持ち上げずに移動することができます。ただし、機器に衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前に必ずキャスタの固定を解除してください。

運搬するときは

本機を輸送する場合は以下の手順で準備してください。

1 **取り付けてあるすべての付属品（ただし廃トナーボックスとフィルタを除く）およびオプション品を取り外します。**

2 **スキャナ部の輸送用固定レバーをLockの位置に下げます。**

3 **感光体ロックレバーが図の位置にあることを確認します。**

図の位置にない場合は、感光体ロックレバーを図の位置まで回してください。

4 **図の位置を先の細いもので押したまま、感光体ロックレバーを図の位置まで回します。**

5 **保護材や梱包材を使用して梱包します。**

震動や衝撃から本機を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本機を輸送する場合は、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

7　困ったときは

困ったときの対処方法について説明しています。

操作パネルにメッセージが出る

操作パネルには、ステータスメッセージ、エラーメッセージ、ワーニングメッセージの3種類のメッセージが表示されます。トナー残量（11段階表示）、各給紙装置の用紙サイズと用紙残量（4段階表示）、ファクス受信ジョブ（FAXモデルのみ）も表示されます。
☞ 本書9ページ「操作パネル」

ここでは、コンピュータから本機を使用する際に表示されるメッセージについても併せて記載しています。

ステータスメッセージ

本機が正常に動作している場合は、ステータスメッセージ（現在の状態）を表示します。

メッセージ	説明
PC接続待ち	コンピュータとの接続を待っています。
ROM P 書き込み中 電源オフ禁止	ROMモジュールに書き込み中です。
USBメモリ ファイル確認中 nnn個	USBメモリ接続時に、USBメモリ内の画像ファイルを確認しています。
印刷可能なファイルがありません	USBメモリ接続時に、USBメモリ内に印刷可能な画像ファイルがありません。
印刷できます	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォーミングアップ しばらくお待ちください	ウォーミングアップ中です。
カラーキャリブレーション	カラーキャリブレーション処理中です。中止するには、［ストップ / クリア］ボタンを押します
カラーキャリブレーション実行中	カラーキャリブレーション中です。中止するには、［ストップ / クリア］ボタンを押します。
カラーキャリブレーション パターン印刷	カラーキャリブレーションシートを印刷中です。中止するには、［ストップ / クリア］ボタンを押します。
コピーしています	コピー中です。
しばらく待って印刷実行してください	印刷中です。しばらくすると印刷前の状態に戻りますので、印刷が終了後、再度印刷を実行してください。
ジョブキャンセル中	• 操作パネルの［ストップ / クリア］ボタンを押して、印刷中の処理を中止しました。 • コンピュータ側のプリンタドライバで印刷中の処理を中止しました。
スキャンしています	スキャン中です。
スキャンロック中	本機にネットワーク接続されたコンピュータからスキャナを使用しています。
ステータスシート	ステータスシート、ネットワークステータスシートを印刷中です。
節電中	操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信、またはリセットで解除されます。

メッセージ	説明
全ジョブキャンセル中	操作パネルの［ストップ / クリア］ボタン操作によって印刷処理をすべて中止しました。
ファイルを選択してください	印刷するファイルが選択されていません。しばらくすると印刷前の状態に戻りますので、ファイルを選択してから印刷してください。
ファクススキャン中	ファクスモードで原稿をスキャンしています。
ファクス送信中	ファクスを送付しています。
ファクスツール使用中	本機に接続されたコンピュータで［EPSON Speed Dial Utility］を使用しています。
プリンタ調整中 しばらくお待ちください	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示された場合は、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。
プリンタ冷却中 しばらくお待ちください	連続印刷などで定着器の温度が高くなりました。温度が下がると自動的に印刷を再開します。
プリントしています	本機の内部に残っている印刷データを印刷中です。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。
リセットオール	印刷を中止後、本機の電源を入れた直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。

エラーメッセージ

トラブルが発生した場合に、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

- 用紙が詰まったときの対処については、以下のページを参照してください。
  本書 173 ページ「用紙が詰まったときは」
- 消耗品の交換については、消耗品に添付の取扱説明書または以下のページを参照してください。
  本書 133 ページ「メンテナンス」

メッセージ	説明
A3,B4,A4,B5 に変更してください	［ページ連写］コピーを実行する際に［用紙］の指定が［自動］または A5、はがきのセットされた給紙口になっています。［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。 本書 50 ページ「見開きの原稿を左右別々にコピーする」
N/W モジュールエラー	ネットワークプログラムが正しくありません。お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
Optional RAM Error	メモリを認識できません。 一旦電源を切って、正しいメモリを取り付けてください。
ROM P ライトエラー	書き込み不可の ROM モジュールに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケットに ROM モジュールが装着されていません。
USB メモリエラー	USB フラッシュメモリが故障しています。［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリが装着されていません	USB フラッシュメモリが接続されていません。 ［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリファイル名重複で書き込めません	USB フラッシュメモリ内に保存しようとしたファイル名と同一名のファイルが存在します。USB フラッシュメモリのファイルを移動または削除してください。 ［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリ容量不足で書き込めません	USB フラッシュメモリにデータを保存するための空き容量がありません。 ［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトエラー	USB フラッシュメモリへのデータの保存に失敗しました。［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトプロテクト	USB フラッシュメモリが書込み禁止状態になっています。［カラー］または［モノクロ］ボタンを押すとエラーを解除します。
オーバーランエラー	印刷の途中でプリンタドライバのスプールファイルを削除して、次に別の印刷を実行しました。または、通信エラーで受信したデータに異常があります。 プリンタドライバからスプールファイルを削除してから、［ストップ / クリア］ボタンを押して本機に残っているデータを削除してください。

メッセージ	説明
カセット 1 に用紙を横長に入れてください	用紙カセットから給紙する場合に、給紙方向に対して横長の状態でセットすべき用紙が縦長にセットされます。 次のいずれかの処置を行ってください。 • プリンタドライバで指定した用紙サイズが正しい場合は、用紙カセットから用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定したサイズの用紙を給紙方向に対して正しく横長の状態でセットすると、エラーが解除されて印刷を再開します。 • 用紙カセットにセットしてある用紙サイズが正しい場合は、印刷を中止して、プリンタドライバで正しい用紙サイズを指定し直して印刷します。
＊＊＊カバーを閉じてください	「＊＊」に表示されるカバーが開いています。または確実に閉じていません。 「＊＊」には開いているカバーが表示されます。 A：A カバー（本体前側） D：D カバー（本体左側面） E：E カバー（カバー D の内側） 表示されているカバーを閉じると、エラー状態が解除されます。
紙をセットしてください sssss tttt	以下のような場合に表示されます。 (1) 印刷のために給紙しようとした給紙装置「ssss」に、「tttt」サイズの用紙がセットされていません。 給紙装置「ssss」にサイズ「tttt」の用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。 本書 20 ページ「用紙のセット」 (2) すべての給紙装置に用紙がセットされていません。 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。
紙を取り除いてください ＊＊＊＊＊＊＊	「＊＊＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊＊＊＊」の部分にはパネルに表示可能な範囲まで表示されます。 以下のページを参照して、「＊＊＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 MP：MP トレイ 本書 179 ページ「MP トレイの確認」 C1：標準カセットユニット 1（プリンタ下部） 本書 181 ページ「用紙カセット（標準カセット C1）の確認」 C2：標準カセットユニット 2（上段：増設 1 段目） 本書 182 ページ「用紙カセット（オプション C2 ～ C4）の確認」 C3：標準カセットユニット 3（中段：増設 3 段目） 本書 182 ページ「用紙カセット（オプション C2 ～ C4）の確認」 A：プリンタ内部（A カバー） 本書 175 ページ「プリンタ内部（A カバー）で用紙が詰まった場合は」 B：排紙口（B カバー） 本書 177 ページ「排紙口（B カバー）で用紙が詰まった場合は」 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
カラーキャリブレーションエラー	キャリブレーションが失敗しました。[▶] ボタンを押してエラーを解除した後、再度キャリブレーションを実行してください。

メッセージ	説明
カラーファクスは送信できません	以下のような場合に表示されます。 (1) グループダイヤルを使ったファクス送信で、[カラー] が押された。 グループダイヤルを使ったファクス送信では、カラーでの送信ができません。[モノクロ] ボタンを押してファクスを送信してください。 (2) ファクス受信中にカラーファクスを送信しようとした。 ファクスの受信中はファクス送信ができません。受信終了後に送信してください。
感光体ユニットを交換してください	感光体ユニットの寿命です。 • エラーランプが点灯している場合は、感光体ユニットの交換を行います。取り付け後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 141 ページ「感光体ユニットを交換する」 • エラーランプが点滅している場合は、[▶] ボタンを押すことで一時的にエラーを解除できます（「感光体交換間近」に表示が変わります）。この状態でも印刷できますが、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命が切れると、印刷できなくなります）。
感光体ユニットを取り付けてください	感光体ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。 感光体ユニットの取り付けを行います。取り付け後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 141 ページ「感光体ユニットを交換する」
原稿が異常です	セットされている読み取り原稿が異常です。原稿を確認してセットし直してください。 本書 29 ページ「原稿のセット」
原稿サイズが検知できませんでした	[用紙サイズ] を [自動] に設定してある場合に、セットしてある原稿が B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3 のいずれでもありませんでした。[▶] ボタンを押すとエラーを解除します。ADF モデル /FAX モデルの場合は、オートドキュメントフィーダ上の原稿を排紙します。
原稿台の原稿を取り除いてください	原稿台とオートドキュメントフィーダの両方に原稿があります。原稿台の原稿を取り除いてください。[▶] ボタンを押すとエラーを解除します。
原稿の向きを横置きでセットしてください	[用紙サイズ] を [自動]、[倍率] を [A4 → B4] または [A4 → A3/B5 → B4] に設定してある場合に、A4 または B5 の縦置きの原稿を検出しました。 [▶] ボタンを押すとエラーを解除します。ADF モデル /FAX モデルの場合は、オートドキュメントフィーダ上の原稿を排紙します。
原稿番号が異なります	原稿が正しくセットされていないか、カラーキャリブレーションシートの番号とスキャンした原稿の番号が異なります。原稿カバーを開け、直前に印刷した原稿を正しくセットしてから、[▶] ボタンを押すとエラーを解除します。
原稿を正しく置いてください	原稿が正しくセットされていません。原稿カバーを開け、直前に印刷した原稿を正しくセットしてから、[▶] ボタンを押すとエラーを解除します。
サービスへ連絡ください E ＊＊＊＊ Service Req C ＊＊＊＊	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

メッセージ	説明
指定された用紙は両面印刷できません	両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、両面印刷の実行を中止します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1)［ ▶ ］ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 (2) 印刷を中止する場合は、［ストップ / クリア］ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に片面印刷します。
受信中は送信不可	ファクスの受信中はファクス送信ができません。受信終了後に送信を行ってください。
スキャナエラー	スキャナユニットにエラーが発生しました。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。 スキャナ以外のモードで使用する場合は［ ▶ ］ボタンを押すと、操作が続行できます。
スキャナ ADF エラー	オートドキュメントフィーダとスキャナ部の接続に異常が発生しました。スキャナ部背面のコネクタにオートドキュメントフィーダのケーブルが接続されているか確認して、一旦電源を切って、再度電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
スキャナのカバーを閉じてください	オートドキュメントフィーダのカバーが開いています。オートドキュメントフィーダのカバーを閉じてください。 ☞本書 184 ページ「オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は」
スキャナのロックを解除してください	輸送用固定レバーがロックの位置になっています。輸送用固定レバーを解除の位置に合わせてから、本機の電源を入れ直してください。 ☞本書 8 ページ「スキャナユニット / 背面」
スキャナランプエラー	キャリッジに異常が発生しました。一旦電源を切って、再度電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
詰まった原稿を取り除いてください	オートドキュメントフィーダで読み取る原稿が詰まりました。 ☞本書 184 ページ「オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は」
データに異常があるため印刷できません	印刷データの異常です。 • 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1)［ ▶ ］ボタンを押します。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。 (2)［ストップ / クリア］ボタンを押します。印刷を終了します。 • 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。
定着ユニットを交換してください	定着ユニットの寿命です。 交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。

メッセージ	説明
転写ユニットを交換してください	転写ベルトの寿命です。 交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
＊＊＊＊トナーが故障です	「＊＊＊＊」にはC、M、Y、Kのいずれかが表示され、故障しているトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　　M：マゼンタ Y：イエロー　　K：ブラック 表示された色のトナーカートリッジを正常なものに交換してください。交換後に電源を入れ直してください。 ☞本書136ページ「トナーカートリッジを交換する」
＊＊＊＊トナーを交換してください	• 「＊＊＊＊」にはC、M、Y、Kのいずれかが表示され、交換が必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　　M：マゼンタ Y：イエロー　　K：ブラック • エラーランプが点灯している場合は、表示される色のトナーカートリッジの交換を行います。取り付けた後、Dカバーを閉じるとエラーが解除されます。 ☞ 本書136ページ「トナーカートリッジを交換する」 • エラーランプが点滅している場合は、［ ▶ ］ボタンを押すと一時的にエラーを解除できます（[＊＊＊＊トナーが交換時期（エコ印刷モード)］とワーニングメッセージに変わります)。この状態でも100枚程度印刷できますが、できるだけ速やかにトナーカートリッジを交換してください。
＊＊＊＊トナーを取り付けてください	「＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがセットされていません。 「＊＊」にはC、M、Y、Kのいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　　M：マゼンタ Y：イエロー　　K：ブラック 表示される色のトナーカートリッジの取り付けを行います。取り付けた後、Dカバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞本書136ページ「トナーカートリッジを交換する」
＊＊＊＊トナーカートリッジ異常	「＊＊」に表示される色のトナーカートリッジに何らかの異常があるため使用できません。 新しいトナーカートリッジとの交換をおすすめします。
ネットワーク接続に失敗しました	ネットワークに接続されていないか、必要なアプリケーションがインストールされていません。
廃トナーボックスを交換してください	廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。 廃トナーボックスを交換してください。取り付け後、Dカバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞本書143ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」 操作パネルの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
廃トナーボックスを取り付けてください	廃トナーボックスがセットされていません。または正しくセットされていません。 廃トナーボックスを正しく取り付けてください。取り付け後、Dカバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞本書143ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」 操作パネルの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

メッセージ	説明
倍率の指定と原稿サイズが一致しません	［用紙］が［自動］、［倍率］が定形倍率のときに、定形倍率で指定したサイズの原稿がセットされていません。 ［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。ADF モデル / FAX モデルの場合は、オートドキュメントフィーダ上の原稿を排紙します。
パワーオフレポートがあるため ファクス不可	パワーオフレポートの出力中のため、ファクスの送信ができません。 パワーオフレポートが出力された後にファクス送信を行ってください。 本書 214 ページ「ファクスのレポート機能を設定する」
＊＊＊＊非純正品トナー	非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。 • D カバーを開けて正しいトナーカートリッジに交換し、D カバーを閉じるとエラーは解除されます。 • ［ ▶ ］ボタンを押すと、［非純正品トナーカートリッジ］というワーニング表示に替わります。
非サポート USB デバイス	USB フラッシュメモリ以外の機器が本機前面のコネクタに接続されました。接続している機器を取り外して、［ ▶ ］ボタンを押すとエラーが解除されます。本機に接続可能な USB メモリの詳細については、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）をご覧ください。
ファクスエラー	ファクスユニットにエラーが発生しました。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。 ファクス以外のモードで使用する場合は、［ ▶ ］ボタンを押すと、操作が続行できます。
ファクス通信エラー	ファクスの送受信中にエラーが発生しました。 ［ ▶ ］ボタンを押すことでエラーは解除されます。
ファクスメモリ 2 エラー	ファクスユニットにエラーが発生しました。 ［ ▶ ］ボタンを押して受信中のファクスデータを印刷後、一旦電源を切ります。電源を入れても再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
ファクスメモリ 2 を交換してください	ファクスユニットにエラーが発生しました。 ［ ▶ ］ボタンを押して受信中のファクスデータを印刷後、一旦電源を切ります。電源を入れても再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
プリンタ調整用センサを清掃してください	センサおよび露光窓が汚れているため、プリンタ調整を中止しました。 D カバーを開けて、センサおよび露光窓の清掃をしてください。清掃後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除され、プリンタ部の調整が行われます。 本書 154 ページ「センサと露光窓を清掃する」

メッセージ	説明
メモリ不足で実行できません	処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。 • 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1)［ ▶ ］ボタンを押します。 (2)［ストップ / クリア］ボタンを押します。 • 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 (3) メモリを増設する (4) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メモリ不足で送信できません	処理中にメモリ不足が発生しました。［カラー］または［モノクロ］ボタンを押すとエラーを解除します。
メモリ不足で両面印刷できませんでした	両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。 • 以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) 表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、［ ▶ ］ボタンを押すと片面印刷で印刷を再開します。 (2)［ストップ / クリア］ボタンを押して、印刷を中止します。 • 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 (2) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (3) メモリを増設する。 (4) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
有効な画像領域が設定されていません	［倍率］、［用紙］、［とじしろ］、［影消し］の設定値が正しくないため、スキャンできません。［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。
用紙カセット＊をセットしてください	標準またはオプションの用紙カセットがセットされていません。 「＊」の部分に表示される以下の番号の用紙カセットをセットしてください。 1： 標準カセットユニット 1 2： 増設カセットユニット 2（上段：増設 1 段目） 3： 増設カセットユニット 3（中段：増設 2 段目） 4： 増設カセットユニット 4（下段：増設 3 段目） 表示されている番号の用紙カセットをセットするとエラー状態は解除されます。
用紙サイズ設定エラー 紙を取り除いてください	印刷時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされたため、用紙詰まりが発生しました。 以下のページを参照して、詰まった用紙を取り除いてください。 本書 173 ページ「用紙が詰まったときは」 正しいサイズの用紙をセットし、カバーを閉じるとエラーが解除され、印刷を再開します。

メッセージ	説明
用紙の選択を変更してください	給紙装置の用紙サイズと操作パネルの設定が一致しません。セットされている用紙サイズと操作パネルの設定を確認してください。 ［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。
用紙の選択を A4 か B5 に変更してください	［ページ連写］コピーを実行する際に［用紙］の指定が［自動］または A3、B4、A5、はがきのセットされた給紙口になっています。［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。 本書 50 ページ「見開きの原稿を左右別々にコピーする」
用紙の選択を自動以外に変更してください	［用紙］の指定が［自動］の状態で［任意倍率］コピーまたは［割り付け］コピーが実行されました。［ ▶ ］ボタンを押すとエラーを解除します。 本書 37 ページ「拡大・縮小してコピーする」 本書 42 ページ「割り付けコピーをする」
用紙を交換してください sssss tttt	給紙をしようとした給紙装置（sssss）にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ（tttt）が異なっています。 • 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 3 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) 給紙装置（sssss）にサイズ（tttt）の用紙をセットし、［ ▶ ］ボタンを押して印刷します。 本書 20 ページ「用紙のセット」 (2) 用紙を交換しないで［ ▶ ］ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) 印刷を中止する場合は、［ストップ / クリア］ボタンを押します。 • 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］を［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。
用紙を交換してください MP トレイ tttt	MP トレイにセットされている用紙サイズ（tttt）と、操作パネルの設定が異なっています。 (1) MP トレイにサイズ（tttt）の用紙をセットし、［ ▶ ］ボタンを押して印刷します。 本書 20 ページ「用紙のセット」 (2) 印刷を中止する場合は、［ストップ / クリア］ボタンを押します。
用紙をセットしてください	コピーモードで［用紙］の設定が［自動］の状態で、［ ▶ ］ボタンを押した際に、コピー可能なサイズの用紙（A4/B5/A3/B4）がどの給紙装置にもセットされていません。コピー可能なサイズの用紙をセットしてください。［カラー］または［モノクロ］ボタンを押すとエラーを解除します。
用紙を横長にセットしてください	MP トレイから給紙する場合に、給紙方向に対して横長の状態でセットすべき用紙が縦長にセットされます。 例　A4、B5、Letter（LT）、Government Letter（GLT）、Executive（EXE）サイズの用紙は横長にセットする必要があります。 次のいずれかの処置を行ってください。 • プリンタドライバで指定した用紙サイズが正しい場合は、MP トレイから用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定したサイズの用紙を給紙方向に対して正しく横長の状態でセットすると、エラーが解除されて印刷を再開します。 • MP トレイにセットしてある用紙サイズが正しい場合は、印刷を中止して、プリンタドライバで正しい用紙サイズを指定し直して印刷します。

メッセージ	説明
レポート印刷情報なし	通信管理レポートの印刷を実行しましたが、送受信ファクスの記録がないため通信管理レポートの印刷はできません。
ローカル PC 接続に失敗しました	直接接続されていないか、必要なアプリケーションがインストールされていません。

ワーニングメッセージ

本機に何らかの問題が発生すると、注意を促すワーニングメッセージを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。

パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［プリンタリセット］から［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を実行して消すことができます。［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
本書 172 ページ「ワーニングメッセージを消す」

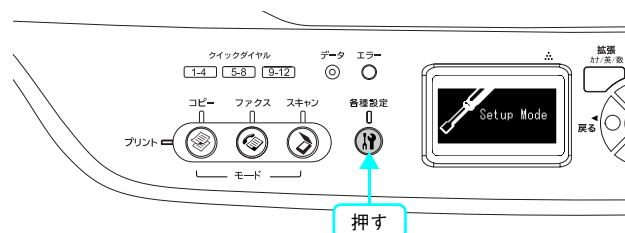
メッセージ	説明・処置
印刷できないデータです	印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。 正しいプリンタドライバから印刷してください。 ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 本書 172 ページ「ワーニングメッセージを消す」
解像度を落として印刷しました	メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。 • 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［ストップ / クリア］ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。 本書 172 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 (3) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。 (4) メモリを増設する。
該当箇所の清掃してください D	帯電ワイヤを清掃してください。 良好な印刷品質を保つために、D カバーを開けてクリーニングノブ A で帯電ワイヤの清掃をしてください。清掃後、D カバーを閉じるとワーニング状態が解除されます。ただし、清掃中は［トナーカートリッジの交換］ボタンを押さないでください（清掃時期を管理するカウンタがリセットされません）。 本書 153 ページ「帯電ワイヤを清掃する（筋状に印刷が抜けたり、線が印刷されるとき）」
カラーマッチングが違います	カラーマッチングに問題があります。 最新のプリンタドライバまたはプリンタのファームウェアに変更してください。 本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
感光体ユニットの交換時期が近付きました	感光体ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに感光体ユニットを交換してください。「感光体ユニット交換」のメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。 本書 141 ページ「感光体ユニットを交換する」

メッセージ	説明・処置
感光体ユニットが交換時期（エコ印刷モード）	「感光体ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示されてエラーランプが点滅している場合に［ ▶ ］ボタンを押すと一時的にエラーが解除され、このワーニングメッセージが表示されます。 この状態でも印刷できますが、画質は保証できません。品質を確認しながら使用してください。また、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命が切れると印刷できなくなります）。 ☞本書 233 ページ「エコ印刷モードのご紹介」
指定と違うサイズの用紙に印刷しました	給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。 • ［ワーニングクリア］を実行します。 ☞本書 172 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［デバイス設定］の［用紙サイズフリー］を［する］に設定すると、「用紙サイズ確認」のメッセージは表示されなくなります。 ☞本書 201 ページ「プリンタ設定の項目一覧」-［プリンタ設定］
指定と違うタイプの用紙に印刷しました	印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 • ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 ☞本書 172 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で設定した用紙タイプを確認してください。 ☞本書 201 ページ「プリンタ設定の項目一覧」-［給紙装置設定］
定着ユニットの交換時期が近付きました	定着ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに定着ユニットを交換してください。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。交換しないまま使い続けると、故障につながります。
転写ユニットの交換時期が近付きました	転写ベルトの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
＊＊＊＊トナーが交換時期（エコ印刷モード）	「＊＊＊＊トナーを交換してください」とエラーメッセージが表示されてエラーランプが点滅しているときに［ ▶ ］ボタンを押すと、一時的にエラーが解除され、このワーニングメッセージが表示されます。 この状態でも印刷できますが、画質は保証できません。品質を確認しながら使用してください。また、できるだけ速やかにトナーカートリッジを交換してください。 ☞本書 233 ページ「エコ印刷モードのご紹介」
＊＊＊＊トナーの交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めにトナーカートリッジを交換してください。「＊トナーを交換してください」のメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。 ☞本書 136 ページ「トナーカートリッジを交換する」

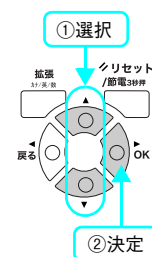
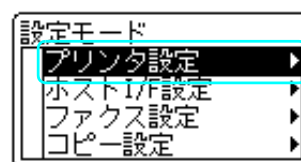
メッセージ	説明・処置
廃トナーボックスの交換時期が近付きました	廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。 • このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに廃トナーボックスを交換してください。 •「廃トナーボックスを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。 本書 143 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」
非純正品トナーカートリッジ	非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。 このまま使用すると、純正品とは異なる印刷品質やトナー残量表示となる場合があります。純正トナーカートリッジとの交換をお勧めします。
ファクス印刷可能な用紙がありません	給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）がセットされていないため、未印刷の受信データがあります。 給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）をセットするとメッセージは自動的に消え、受信データの印刷を開始します。 このワーニングは、［全ワーニングクリア］を実行してもメッセージを消すことはできません。
部数印刷できません	両面印刷時に部単位印刷コピーを実行する際にメモリが足りなくなりました。 • 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［ストップ / クリア］ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。 本書 172 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［標準］に設定する。 (3) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。 (4) メモリを増設する。

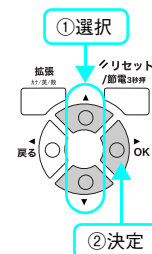
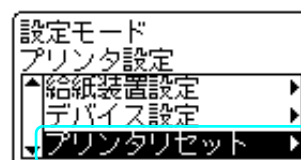
ワーニングメッセージを消す

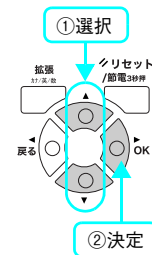
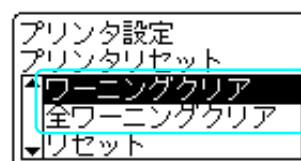
設定項目	説明
［ワーニングクリア］	「ファクス印刷可能な用紙がありません」と消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。
［全ワーニングクリア］	「ファクス印刷可能な用紙がありません」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。

1 ［各種設定］ボタンを押します。

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

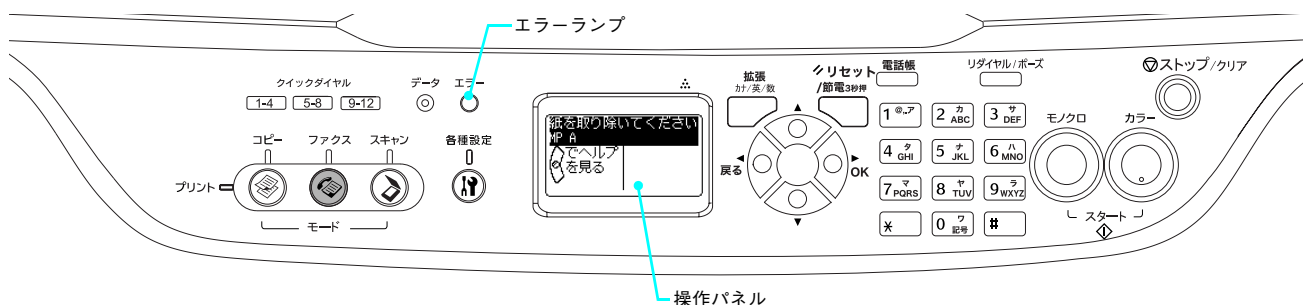
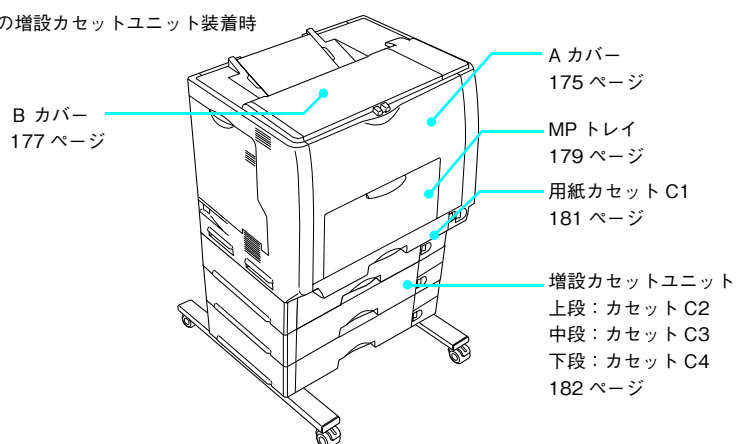
2 ［プリンタ設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［プリンタリセット］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタリセット］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して選択してから、［▶］ボタンを押します。

ワーニングメッセージがクリアされると、操作パネルは［プリントモード］になります。

用紙が詰まったときは

紙詰まりが発生したときは、操作パネルエラーランプが点灯してお知らせします。操作パネルには、「紙を取り除いてください XXXX」のようなメッセージが表示されます。「XXXXX」には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。
本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

次のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。
詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネルの表示で確認できます。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、次の点を確認してください。印刷できない用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 19 ページ「印刷できない用紙」

- 本機が水平に設置されていない
- 用紙ガイドが正しい位置にセットされていない
- MP トレイまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている

  ☞ 本書 151 ページ「給紙ローラを清掃する（正常に給紙できないとき）」

！注意

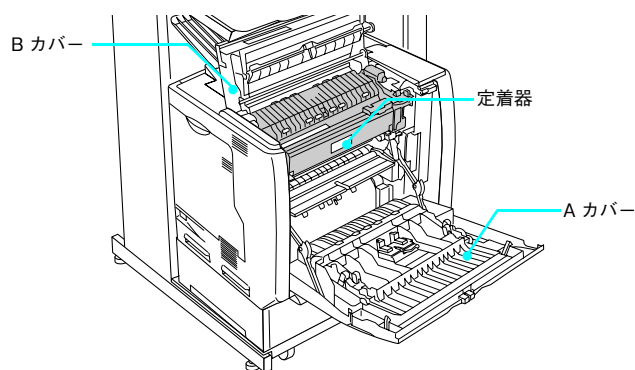
- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

用紙取り出し時の注意

詰まった用紙を取り出すときは、次の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

⚠注意

- プリンタ正面の A カバーや B カバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 200 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- 本機内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

！注意

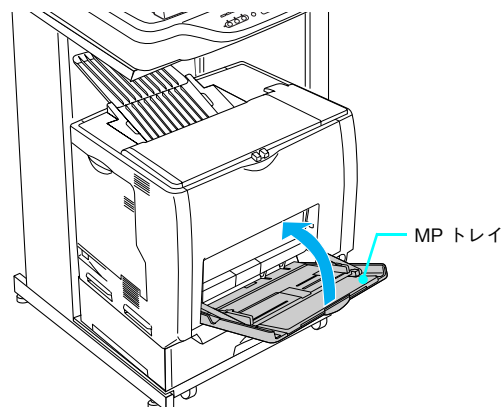
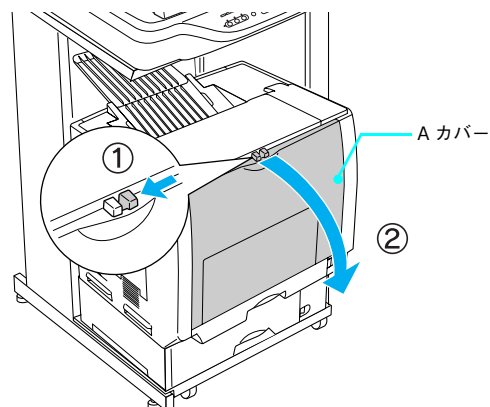
破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはサービスコールセンターへご相談ください。

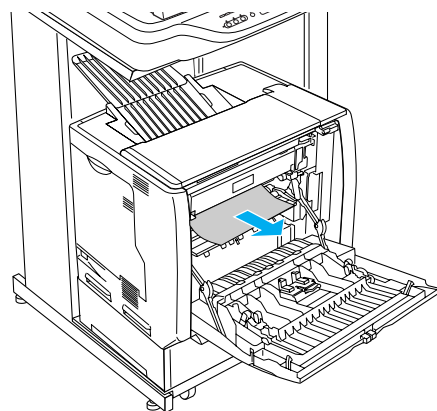
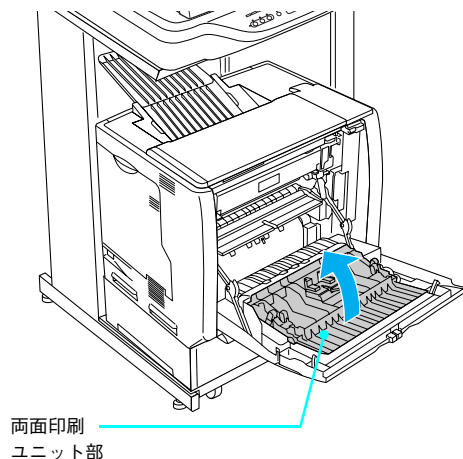
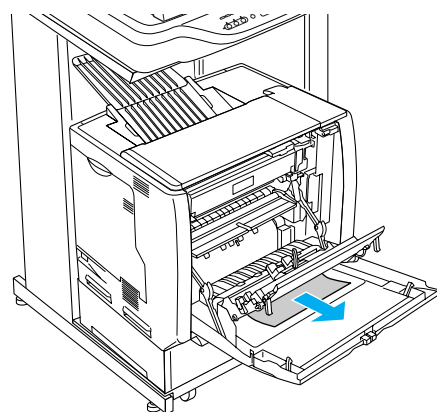
プリンタ内部(A カバー)で用紙が詰まった場合は

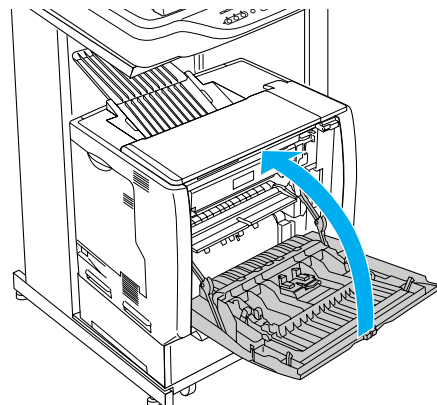
プリンタ内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください A

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。**

2 **①ロックを解除して、② A カバーを開けます。**

3 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

この段階で用紙が取り除けたら、手順 6 へ進みます。

4 A カバーの両面印刷ユニット部を持ち上げます。

5 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

6 A カバーを閉じます。

A カバーを閉じると両面印刷ユニット部も元の位置に戻ります。
用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。

7 MP トレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

！注意

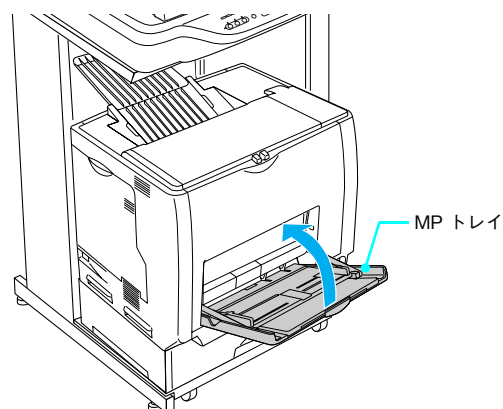
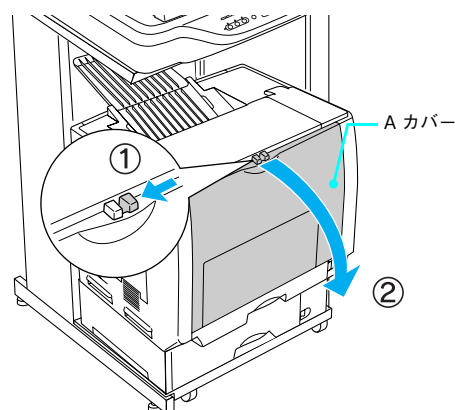
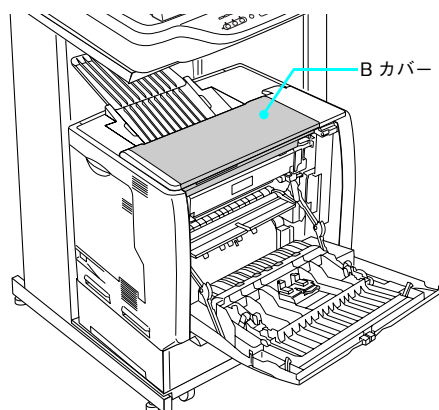
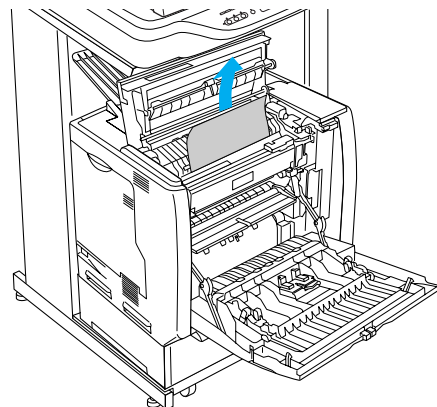
- MP トレイの用紙ガイドが用紙の端に合っているか確認してください。
  ☞ 本書 20 ページ「MP トレイに用紙をセットする」
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。
  A カバーをしっかりと閉じてください。

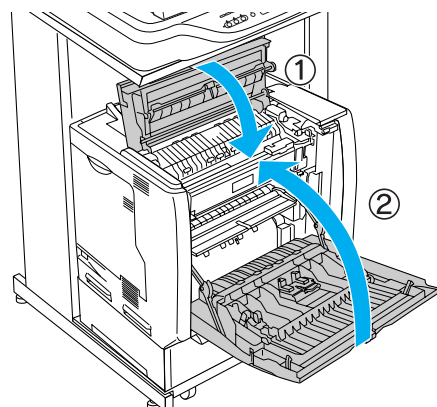
排紙口(B カバー)で用紙が詰まった場合は

本機の排紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください B

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。

2 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

3 B カバーを開けます。

4 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

5 ①Bカバーを閉じてから、②Aカバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A/B カバーを閉じることで解除されます。

6 MP トレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

！注意	A/B カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A/B カバーをしっかりと閉じてください。

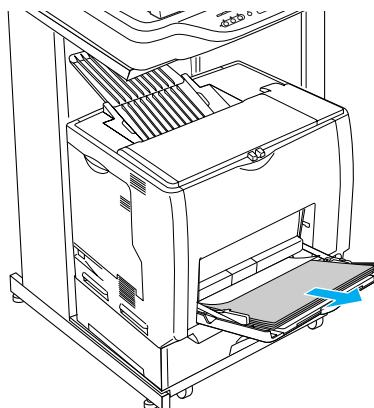
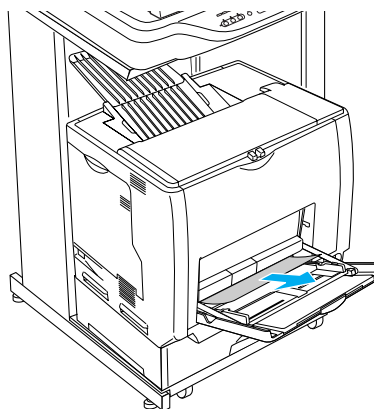
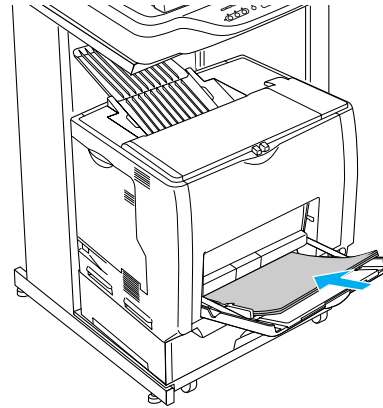
給紙口で用紙が詰まった場合は

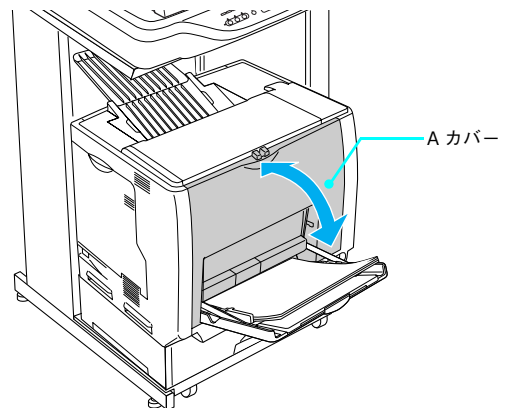
本機の給紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください C1 C2 C3 C4 紙を取り除いてください MP

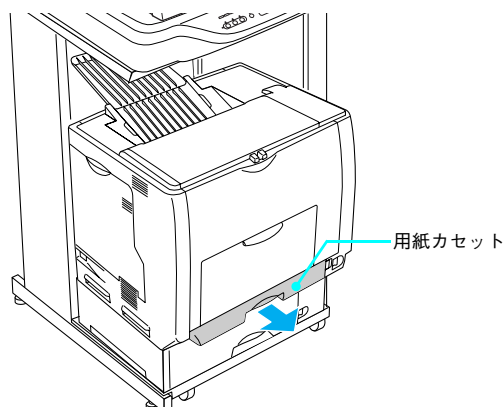
- 「紙を取り除いてください C1」の場合は、標準用紙カセット 1 から用紙を取り除いてください。
  ☞ 本書 181 ページ「用紙カセット（標準カセット C1）の確認」
- 増設カセットユニット（オプション）を装着して「カミヅマリ C2 ～ C4」の場合は、用紙カセットを確認します。
  ☞ 本書 182 ページ「用紙カセット（オプション C2 ～ C4）の確認」
- 「紙を取り除いてください MP」の場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

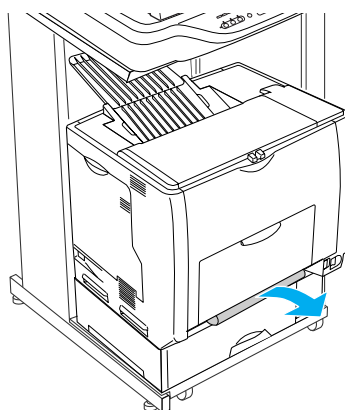
MP トレイの確認

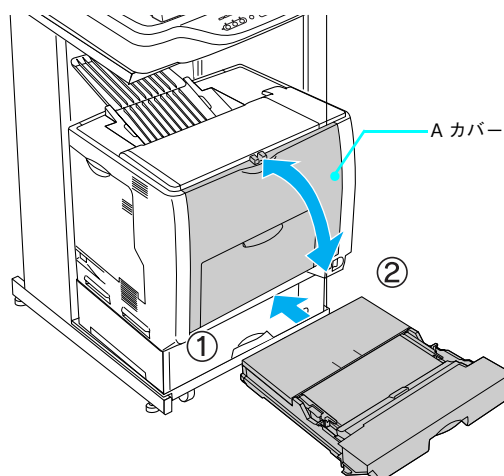
1 MP トレイにセットしてある用紙を取り外します。

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

3 用紙を正しくセットし直します。

4 A カバーを開閉します。

- 詰まった用紙が完全に取り除かれていると、A カバーを開閉することで詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
☞ 本書 183 ページ「プリンタ内部の確認」

!注意 A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

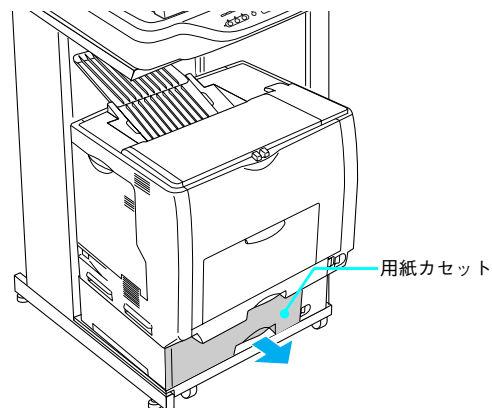
用紙カセット（標準カセット C1）の確認

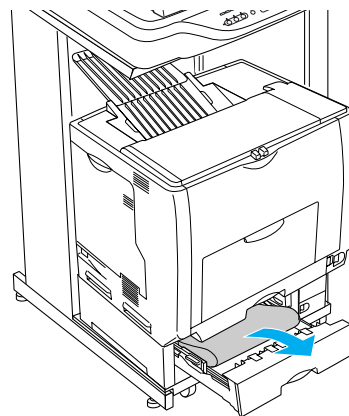
1 **用紙カセットを引き抜きます。**

2 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

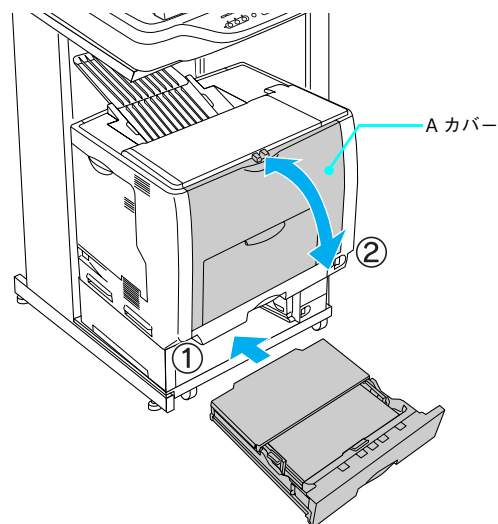
> **!注意**
> エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

3 **①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをセットし、② A カバーを開閉します。**

- 詰まった用紙が完全に取り除かれていると、A カバーを開閉することで詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
☞ 本書 183 ページ「プリンタ内部の確認」

> **!注意**
> MP トレイに用紙をセットしている場合は、A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙カセット(オプションC2 ～ C4)の確認

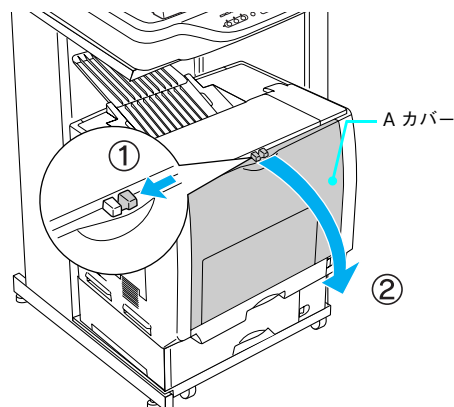
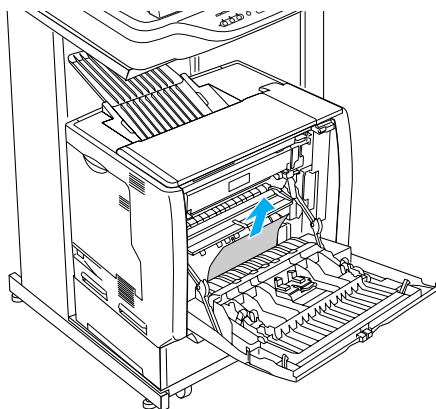
1 **増設カセットユニットから用紙カセットを引き抜きます。**

2 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

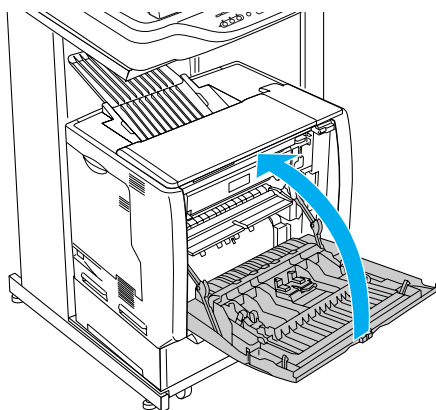
> **!注意**
> エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

3 **①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをセットし、② A カバーを開閉します。**

- 詰まった用紙が完全に取り除かれていると、A カバーを開閉することで詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
本書 183 ページ「プリンタ内部の確認」

> **!注意**
> MP トレイに用紙をセットしている場合は、A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

プリンタ内部の確認

!注意 MP トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いて MP トレイを閉めてから A カバーを開けてください。

1 **①ロックを解除して、②Aカバーを開けます。**

2 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

3 **A カバーを閉じます。**

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

!注意

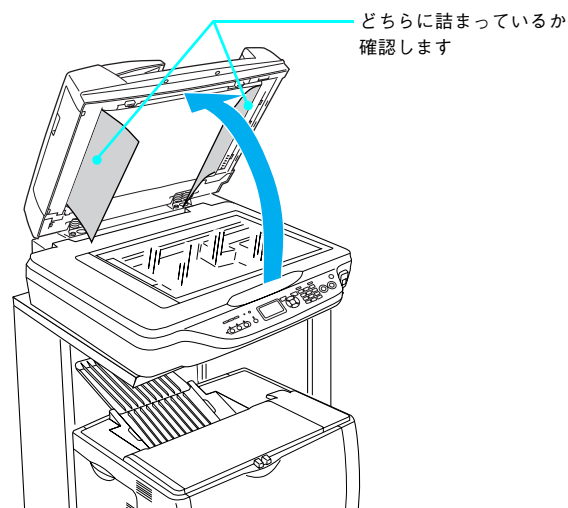
- 用紙カセットをしっかりセットしていないと、操作パネルに「用紙カセット 1 〜 4 をセットしてください」と表示されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は

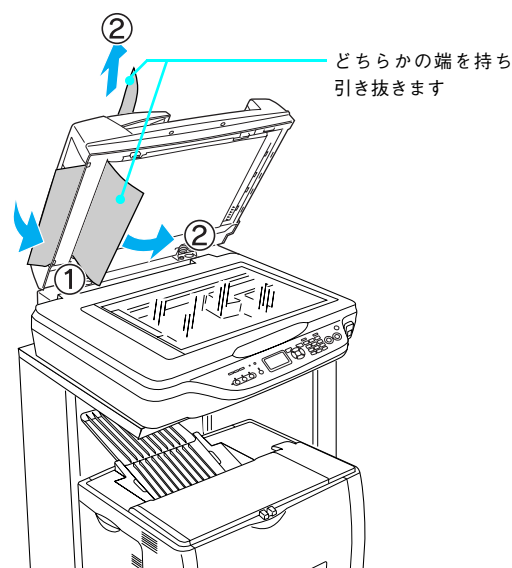
オートドキュメントフィーダで原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

オートドキュメントフィーダに詰まった用紙が見つからないのに「原稿台の原稿を取り除いてください」エラーが表示された場合は、[▶] ボタンを押してエラーを解除してから一旦原稿カバーを開け閉めしてください。

1 原稿カバーを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。

- 給紙口（左側）用紙が詰まっている場合は、本ページの手順 2 へ進みます。
- 排紙口（右側）用紙が詰まっている場合は、次ページの手順 2 へ進みます。

給紙口（左側）で詰まった場合

2 ①左側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。

- カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
- 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。

3 左側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。

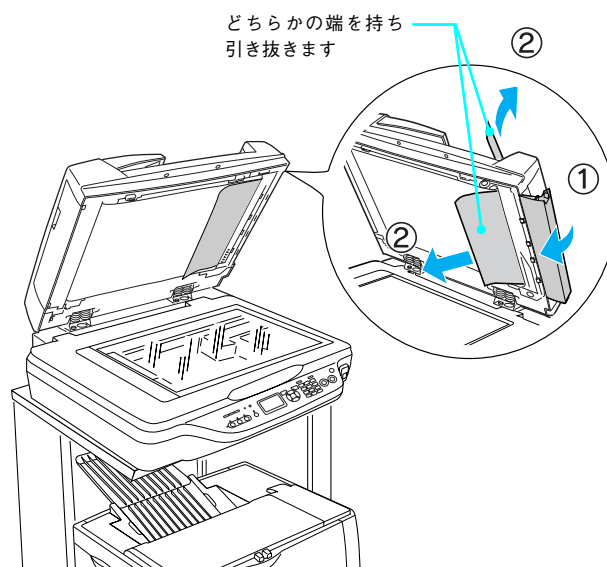
4 [▶] ボタンを押します。

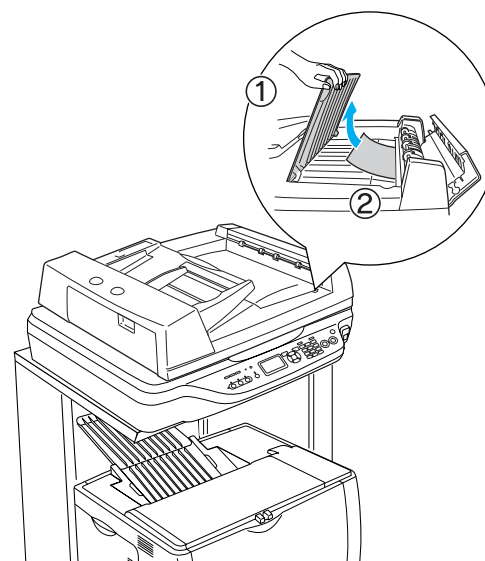
以上で給紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

排紙口(右側)で詰まった場合

2 **①右側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。**

原稿が破れて取れなくなった場合は、手順 3 へ進みます。

> **参考**
> - カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
> - 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。

3 **右側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。**

4 **①上面のカバーを開けて②原稿をゆっくり引き抜きます。**

5 **上面のカバーを閉じます。**

6 **[▶] ボタンを押します。**

以上で排紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

印刷 / コピーのトラブル

ここでは、コンピュータから本機を使用する際のトラブルも一部説明していますが、詳細は、『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。

印刷 / コピーできない

トラブル状態	対処方法
電源が入らない	**電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？** 電源コードを本機とコンセントに、確実に差し込んでください。 **コンセントに電源は来ていますか？** コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。 **正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？** コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。 コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

以上 3 点を確認の上で［電源］スイッチをオン（ I ）にしても電源が入らない場合は、販売店またはサービスコールセンターへご相談ください。

トラブル状態	対処方法
ブレーカが動作してしまう	**ブレーカの定格は十分ですか？** ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機に専用配線を用意してください。
本機がエラー状態になっている	**操作パネルにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？** ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。 ☞本書 169 ページ「ワーニングメッセージ」 ☞本書 160 ページ「エラーメッセージ」

トラブル状態	対処方法
印刷できない	**インターフェイスケーブルが外れていませんか？** 本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。 **インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？** インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や仕様に合ったケーブルか確認します。 ☞本書 112 ページ「オプションと消耗品の紹介」 **ネットワーク上の設定は正しいですか？** • ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、本機またはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。 • 同梱の『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル）を参照して、ネットワークの設定を確認してください。 **コピーモードからプリントモードに切り替えていませんか？** コピーモードからプリントモードへの切り替えに時間がかかることがあります。 コピーした直後に印刷を実行した場合は、しばらくそのままお待ちください（約 3 分）。
メモリ関連のエラーが発生する	**本機のメモリ容量は十分ですか？** 本機のメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。以下のいずれかの方法でエラーを回避して印刷できる場合があります。 • カラー印刷では、データの保存（圧縮）形式を変える（例：JPEG 形式のような非可逆圧縮を使用し、データ容量を減らす）。 • 使用していないインターフェイスを［使わない］に設定する。 ☞本書 203 ページ「ホスト I/F 設定」 上記の方法でメモリエラーを回避できない場合は、メモリの増設をお勧めします。メモリエラーを回避できる場合があります。

トラブル状態	対処方法
給排紙されない	**本機の底面より小さな台の上に設置していませんか？** 本機の底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。本機の設置場所を確認してください。 **本機は水平な場所に設置されていますか？** **本機の下にはさまれている物はありませんか？** 設置場所が水平でなかったり、本機の下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。本機の設置場所の環境を再確認してください。 **本機で印刷可能な用紙を使用していますか？** 印刷可能な用紙を使用してください。 ☞本書 244 ページ「用紙関係」 **セットする前に用紙をさばきましたか？** 複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。 **用紙カセットが本機に正しくセットされていますか？** 用紙カセットを正しくセットしてください。 ☞本書 22 ページ「用紙カセット（標準カセット 1）に用紙をセットする」 **給紙ローラが汚れていませんか？** 給紙ローラをふいてください。 ☞本書 151 ページ「給紙ローラを清掃する（正常に給紙できないとき）」 **はがき、封筒、厚紙の先端が下向きに反っていませんか？** 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。 **用紙ガイドは正しい位置にセットされていますか？** 用紙カセットの用紙ガイドは、A4 と Letter の位置が近く間違いやすいです。セットした用紙に合わせて正しい位置にセットしてください。
紙を取り除いてくださいエラーが解除されない	**詰まった用紙をすべて取り除きましたか？** カバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、販売店またはサービスコールセンターにご連絡ください。

トラブル状態	対処方法
用紙を二重送りしてしまう	**用紙どうしがくっついていませんか？** 用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。 **はがきや封筒の先端が下向きに反っていませんか？** 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。 **本機に合った用紙を使用していますか？** 用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。 ☞本書 244 ページ「用紙関係」
用紙がカールする	**正しい印刷面へ印刷していますか？** 特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。
定着部での用紙詰まりが連続して発生する	**定着ローラが汚れている可能性があります。** 以下の手順で定着ローラを清掃します。 ① 詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。 ② [ストップ / クリア] ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。 ③ A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。 用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。 ④ 本機に A4 サイズの印刷用紙を 5 枚以上セットします。 ⑤ プリンタドライバの設定を以下のようにします。 用紙種類：[厚紙] を選択 用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択 部単位印刷：[5] を指定 ⑥ ③で作成したデータを印刷します。 上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。

思い通りにコピーできない

トラブル状態	対処方法
メモリ不足のエラーが出る	**オートドキュメントフィーダから連続カラーコピーまたは部単位コピーしていませんか？** オートドキュメントフィーダからの連続カラーコピーまたは部単位コピーで、かつ高精細の場合はエラーが表示（メモリ不足）され、コピーが中止されます。 カラーコピーを数回に分けるか [カラー原稿] を変更する、または本機にメモリを増設してメモリ容量の合計が 256MB 以上になるようにしてください。

トラブル状態	対処方法
原稿とコピー結果が異なる **読み取り範囲が異なる**	**セットできる原稿サイズを確認しましたか？** 本機でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。 • B5 ＜ 182 × 257mm ＞ • A4 ＜ 210 × 297mm ＞ • B4 ＜ 257 × 364mm ＞ • A3 ＜ 297 × 420mm ＞ • はがき＜ 100 × 148mm ＞ **印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？** 用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 5mm はコピーされない場合があります。ただし、［全面コピー］機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。 詳細については、以下のページを参照してください。 ☞本書 34 ページ「印刷保証領域」 ☞本書 38 ページ「全面コピー」 **［原稿タイプ］を選択しましたか？** 取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーすることができます。 ☞本書 53 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」
色合いが異なる	**原稿が薄い色で印刷されていませんか？** 薄い色の原稿や、文字や写真がかすれていたりする場合、きれいに取り込めない場合があります。 ［濃度］の設定を変更することで、きれいに取り込める場合があります。 ☞本書 53 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」 **コピーの色合い設定を調整しましたか？** コントラストと RGB カラーバランスを設定することによって、コピーの色合いを調整できます。 ☞本書 53 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」 **コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？** コピーで使用できる印刷用紙は次の通りです。 • 普通紙（コピー用紙、再生紙） • 上質紙 上記以外の用紙（厚紙やコート紙など）には、コピーできません。 **カラーキャリブレーションを行いましたか？** カラーキャリブレーションを行うことで、正確なカラーコピーが行われるように調整することができます。以下のページを参照してください。 ☞本書 217 ページ「コピーの色合いを調整する（カラーキャリブレーション）」

きれいにコピーできない

トラブル状態	対処方法
原稿とコピー結果が異なる	**セットできる原稿サイズを確認しましたか？** 本機でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。 • B5 ＜ 182 × 257mm ＞ • A4 ＜ 210 × 297mm ＞ • B4 ＜ 257 × 364mm ＞ • A3 ＜ 297 × 420mm ＞ • はがき＜ 100 × 148mm ＞ **印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？** 用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 5mm はコピーされない場合があります。ただし、［全面コピー］機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。 詳細については、以下のページを参照してください。 ☞本書 34 ページ「印刷保証領域」 ☞本書 38 ページ「全面コピー」 **［原稿タイプ］を選択しましたか？** 取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーすることができます。 ☞本書 53 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」 **コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？** コピーで使用できる印刷用紙は次の通りです。 • 普通紙（コピー用紙、再生紙） • 上質紙 上記以外の用紙（厚紙やコート紙など）には、コピーできません。

ファクスのトラブル

日付時刻の表示がおかしい / 発信元情報が印字されない

トラブル状態	対処方法
送信したファクスなどの日付時刻表示が設定した数値と違った表示になる	**長時間（10 日程度）電源を切った状態にしておくと、日付時刻の設定がリセットされます。** この場合は、下記を参照して正しい日付と時刻を設定し直してください。 本書 201 ページ「プリンタ設定の項目一覧」－「デバイス設定」－「日付時刻設定」
送信したファクスなどに発信元の情報が印字されない	**発信元記録機能がオンになっていますか？** 操作パネル［各種設定］ボタン - ［ファクス設定］ - ［送信設定］ - ［発信元記録］を［する］に設定してください。 本書 205 ページ「ファクス設定の項目一覧」-［送信設定］-［発信元記録］ **発信元名を登録しましたか？** 発信元名の登録方法は、以下のページを参照してください。 本書 80 ページ「発信元名の登録方法」

原稿通りにファクスが送信できない

トラブル状態	対処方法
思い通りに取り込めない	**原稿の取り込み設定をしていますか？** 送付する際の濃度との画質を指定します。文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。また、原稿に合わせて画質を設定してください。 本書 63 ページ「ファクス番号を入力して送信する」手順 5
ゴミのようなものが入る	**原稿台が汚れていませんか？** 原稿台を清掃してください。 本書 148 ページ「外装をきれいにする」
思った通りに送信できない	**原稿を縦置きにセットして送信していませんか？** ファクス送信時は、原稿を縦置きにセットすると正常に送信できません。原稿は横置きにセットしてください。 本書 61 ページ「ファクス送信」

ファクスが受信できない

トラブル状態	対処方法
受信できない	**［回線種別］を設定してありますか？** お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能の初期設定」 **［ダイヤル種別］を設定してありますか？** お使いの電話回線に合わせて「プッシュボタン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能の初期設定」 **［受信モード］を確認しましたか？** 外付電話機を指定回数の呼び出し、本機が応答してファクスデータを受信する［自動切替］と、外付電話機の呼び出しを行わず、本機が自動的に応答してファクスデータを受信する［ファクス専用］と、外付電話機の呼び出し音を鳴らし続ける［電話専用］の着信モードがあります。 ［TAM］は、留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替えるモードです。 ☞本書 71 ページ「受信モードについて」
印刷用紙が 2 枚に分割される、縮小される	**印刷用紙サイズより大きいファクスデータを受信していませんか？** 印刷用紙サイズより大きいファクスデータを受信した場合、本機は 2 枚の印刷用紙に分割、または縮小して 1 枚の用紙に収まるように調整します。 ☞本書 72 ページ「受信できる原稿サイズ」

ファクスが送信できない

トラブル状態	対処方法
ダイヤルできない	**［回線種別］を設定してありますか？** お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能の初期設定」 **［ダイヤル種別］を設定してありますか？** お使いの電話回線に合わせて「プッシュボタン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能の初期設定」

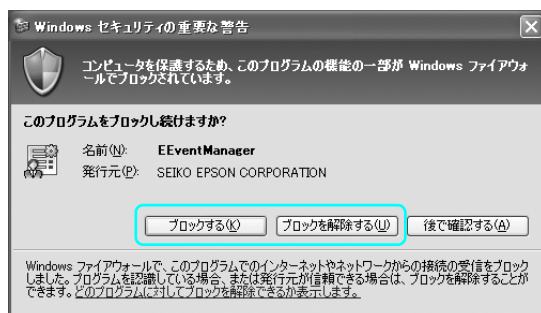
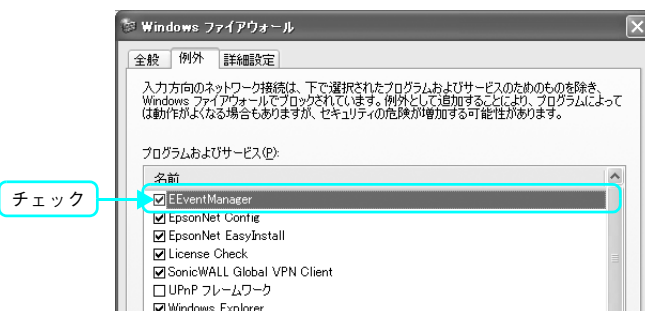
EPSON Speed Dial Utility から宛先が登録できない

トラブル状態	対処方法
EPSON Speed Dial Utility（宛先登録ツール）が起動できない	**EPSON Speed Dial Utility とプリンタドライバがインストールされていますか？** 登録には、EPSON Speed Dial Utility 以外にもプリンタドライバが必要です。
USB 接続で 宛先登録ができない	**USB ケーブルは正しく接続されていますか？** 本機とコンピュータがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。 **EPSON Speed Dial Utility の［設定］で［通信経路設定］は、「USB」になっていますか？** EPSON Speed Dial Utility の［設定］の［通信経路設定］が「USB」になっていることを確認してください。 **印刷中またはファクス送受信中ではないですか？** 本機が印刷中またはファクス送受信中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。
ネットワーク接続で 宛先登録ができない	**ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？** 本機とコンピュータに、それぞれネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 **EPSON Speed Dial Utility の［設定］で［通信経路設定］は、「Network」になっていますか？** EPSON Speed Dial Utility の［設定］の［通信経路設定］が「Network」になっていること、本機の IP アドレスが正しく設定されているかを確認してください。 本書 79 ページ「設定の確認」 **本機のネットワークインターフェイスが正しく設定されていますか？** 本機のネットワークインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。 『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル） **印刷中またはファクス送受信中ではないですか？** 本機が印刷中またはファクス送受信中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。

スキャンのトラブル

操作パネルでスキャンできない

トラブル状態	対処方法
保存先のコンピュータが見つからない	**保存先のコンピュータは起動していますか？** 保存先のコンピュータが起動していることを確認してください。 **保存先のコンピュータがネットワーク環境の場合、ネットワークにログオンしていますか？** 保存先のコンピュータがネットワークにログオンしていることを確認してください。 **本機に接続されているコンピュータに、EPSON Scan（スキャナドライバ）と、アプリケーションソフトの「EPSON Creativity Suite」と「PageManager For EPSON」（Windows のみ）をインストールしてありますか？** 本機の操作パネルで操作してスキャンしたデータを直接保存するには、本機に接続されているコンピュータに、スキャナドライバの EPSON Scan と、専用のアプリケーションソフトウェア「EPSON Creativity Suite」と「PageManager For EPSON」（Windows のみ）をインストールする必要があります。 ☞本書 96 ページ「操作パネルでスキャンするために」 **「PageManager For EPSON」（Windows のみ）のライセンスシリアル番号の入力は済んでいますか？** 「PageManager For EPSON」は、インストール後、ライセンスシリアル番号の入力をしないと起動しません。 以下の手順で「License Manager」を起動して、シリアル番号を入力してください。 ① [スタート] - [プログラム（または [すべてのプログラム]）] - [Page Manager For EPSON] - [License Manager] をクリックします。 ② シリアル番号を入力して、[OK] をクリックします。 **「PageManager For EPSON」（Windows のみ）の同一ライセンスシリアル番号を複数のコンピュータで使用していませんか？** 「PageManager For EPSON」のライセンスシリアル番号は、1 ユーザまでです。複数のコンピュータで同一のライセンスシリアル番号を使用することはできません。 **ご利用の環境に複数のネットワークが存在していませんか？** ネットワーク環境が複数存在すると、操作パネルにコンピュータの名称が表示されないことがあります。不要なネットワークを [無効] に設定してください。

保存先のコンピュータが見つからない	**Windows XP の Service Pack2 をご使用の場合で、[EEvent Manager] を Windows ファイアウォールでブロックしていませんか?** Windows XP の Service Pack2 をお使いの場合、スキャンに必要なアプリケーションをインストールして再起動した際に表示される以下の画面で、[ブロックする] をクリックするとそのコンピュータは本機の操作パネルに表示されません。 その場合は、[コントロールパネル] − [Windows ファイアウォール] の [例外] タブで [EEventManager] にチェックを付けてください。

[カラー]または[モノクロ]ボタンを押してもスキャンが始まらない

トラブル状態	対処方法
スキャンが始まらない	**「PageManager For EPSON」(Windows のみ) を使用していませんか?** 保存先のコンピュータで、すでに「PageManager For EPSON」を使用している場合、操作パネルの [スタート] ボタンを押してもスキャンが始まらないことがあります。保存先のコンピュータの状態を確認してください。 **保存先のコンピュータで EPSON Scan を使用していませんか?** 保存先のコンピュータで、すでに EPSON Scan を使用している場合、操作パネルの [スタート] ボタンを押してもスキャンが始まらないことがあります。保存先のコンピュータの状態を確認してください。

スキャンしたデータを保存できない

トラブル状態	対処方法
保存先のコンピュータのハードディスクに保存できない	**保存先コンピュータのハードディスクの空き容量は十分ですか？** 保存先コンピュータのハードディスクの空き容量を確認してください。 **保存先のコンピュータがスリープモード、または電源が切れていませんか？** スキャンデータを保存先のコンピュータに送信するまでに、コンピュータがスリープモード、または電源切れている可能性があります。保存先のコンピュータを確認してください。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まず本機の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

操作パネルでステータスシートの印刷とコピーができますか？

『セットアップガイド』（紙マニュアル）-「動作確認」

できる　　　できない

エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は本書の巻末に記載されています。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認のうえ、ご連絡ください。

故障している可能性があります。

- 保守契約をされている場合は、保守契約店にご相談ください。
- 保守契約をされていない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはサービスコールセンターへ修理をご依頼ください。依頼先は、本書巻末に記載されています。
  保守サービスのご案内は、以下のページを参照してください。
  本書 236 ページ「保守サービスのご案内」

本機の製造番号は以下のページを参照してご確認ください。
本書 241 ページ「製造番号の表示位置」

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、次のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス：http://www.epson.jp/

8 付録

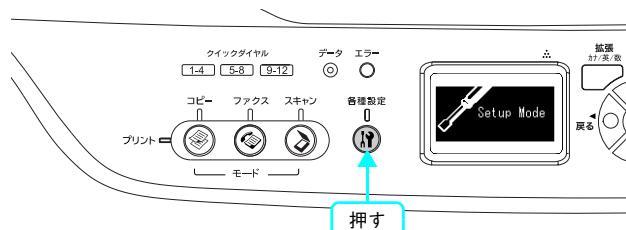
操作パネルでの設定一覧やサービス・サポート、仕様を説明します。

操作パネルによる設定 / 確認

ここでは、操作パネルでの設定変更方法 / 確認方法と設定項目と設定値について説明します。

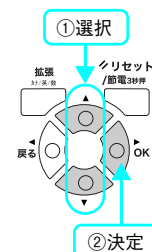
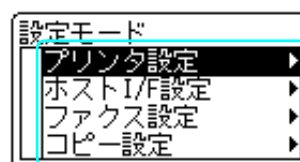
設定を変更する

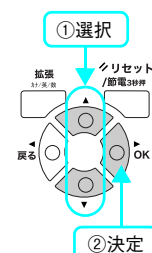
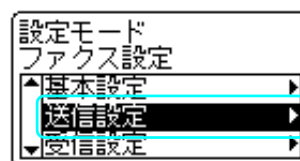
1 **［各種設定］ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

2 **設定を選択します。**

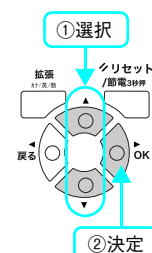
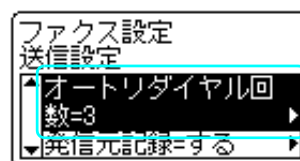
［▲］または［▼］ボタンを押して設定を選択してから、［▶］ボタンを押します。

設定モード
プリンタ設定
ホストI/F設定
ファクス設定
コピー設定

設定	説明
プリンタ設定	プリンタに関する設定を行います。
ホストI/F設定	本機のインターフェイスに関する設定を行います。
ファクス設定	ファクスに関する設定を行います。
コピー設定	コピーに関する設定を行います。
管理者設定	本機のシステム情報の確認と、管理者パスワードの設定を行います。

3 **［▲］または［▼］ボタンで変更する設定分類を選択してから、［▶］ボタンで決定します。**

<例>送信設定

4 **［▲］または［▼］ボタンで項目を選択してから、［▶］ボタンで決定します。**

［◀］ボタンを押すと前画面に戻ります。

<例>オートリダイヤル回数

以上で設定変更の手順は終了です。

プリンタ設定の項目一覧

（__：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
プリンタ情報	ステータスシート印刷	ー
		現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
	画像確認シート印刷	ー
		エコ印刷モード中に、カートリッジ内のトナーが無くなってかすれが発生していないか、感光体の寿命ですじが発生していないか、などの確認ができます。
	ネットワーク情報印刷	ー
		標準のネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。
	シアン（C）トナー	E □□□□□□ F ～ E ＊＊＊＊＊＊ F トナーの残量、感光体ユニット、転写ユニット、定着ユニット残量を 7 段階で表示します。
	マゼンタ（M）トナー	
	イエロー（Y）トナー	
	ブラック（K）トナー	
	感光体ライフ	
	転写ユニットライフ	
	定着ユニットライフ	
	延べ印刷枚数	0 ～ 99999999 プリンタを購入してから現在までに印刷した累計枚数を表示します。
	カラー印刷枚数	
	B/W 印刷枚数	
給紙装置設定	MP トレイサイズ	A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形 0 号、長形 3 号
		MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。
	カセット 1 サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B
		標準の用紙カセット 1 の［用紙サイズ設定］ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
	カセット 2 ～ 4 サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B
		オプションの増設カセットユニット（型番：LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）装着時のみ表示され、［用紙サイズ設定］ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
	MP トレイタイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHP シート、ラベル
		MP トレイにセットした用紙タイプを設定します。同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
	カセット 1 タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき
		標準の用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
給紙装置設定（続き）	カセット 2 ～ 4 タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき
		オプションの増設カセットユニット（型番：LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）装着時のみ表示され、オプションの用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
デバイス設定	表示言語	日本語、English
		液晶ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
	節電時間	5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分
		印刷待機時の消費電力を節約できます。最後の動作が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、ウォーミングアップを行ってから、動作を開始します。
	MP トレイ優先	する、しない
		［給紙装置］の設定が［自動選択］、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
	用紙サイズフリー	On、Off
		［用紙を交換してください xxxxx yyyy］のエラーを表示するかしないかを設定します。
	自動エラー解除	する、しない
		［オーバーランエラー］、［用紙を交換してください xxxxx yyyy］、［メモリ不足で印刷できません］、［指定された用紙は両面印刷できません］、［メモリ不足で両面印刷できませんでした］、［指定と違うサイズの用紙に印刷しました］のエラーが発生した場合、自動的にエラーを解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
	LCD コントラスト	0 ～ 7 ～ 15（1 刻み）
		液晶ディスプレイに表示される文字の濃度を設定します。
	日付時刻設定（FAX モデルのみ）	YYYY/MM/DD HH:MM （YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日、HH: 時、MM: 分）
		現在の時刻を設定します。
	日付表示フォーマット（FAX モデルのみ）	YY/MM/DD、DD/MM/YY、MM/DD/YY （YY: 西暦、MM: 月、DD: 日）
		日時の表示フォーマットを選択します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
プリンタリセット	ワーニングクリア	ー
		操作パネルの液晶ディスプレイに表示されているすべてのワーニングメッセージ（「FAX 印刷紙サイズ確認」と消耗品など交換部品に関するもの以外）を消します。
	全ワーニングクリア	ー
		操作パネルの液晶ディスプレイに表示されている「FAX 印刷紙サイズ確認」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。
	リセット	ー
		プリンタをリセットします。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。
	リセット オール	ー
		プリンタをリセットオールします。電源を入れた直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。
	設定初期化	ー
		プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。

ホスト I/F 設定

本項目は本機の電源再投入で有効になります。

分類	設定項目	設定範囲
USB I/F 設定	USB I/F	使う、使わない
		USB インターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	USB SPEED	HS、FS
		USB インターフェイスの動作モードを選択します。お使いの機器に対応したモードを選択してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

分類	設定項目	設定範囲
ネットワーク設定	ネットワーク I/F	使う、使わない
		ネットワークインターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	IP アドレス設定	パネル、自動、PING
		TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
	IP	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（192.168.192.168）
		TCP/IP の IP アドレスを設定します。
	SM	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.0）
		TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
	GW	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.255）
		TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
	AppleTalk	On、Off
		ネットワーク接続時にAppleTalk接続を有効にするかどうかを選択します。
	MS Network	On、Off
		ネットワーク接続時にMS Network接続を有効にするかどうかを選択します。
	Bonjour	On、Off
		ネットワーク接続時にBonjour接続を有効にするかどうかを選択します。
	Link Speed	自動、100 Full、100 Half、10 Full、10 Half
		データ転送速度 / 通信方式を設定します。
USB ホスト設定	USB ホスト	使う、使わない
		USB ホストインターフェイスを使用するかしないかを選択します。

ファクス設定の項目一覧

分類	設定項目		設定範囲
基本設定	回線種別		PSTN、PBX
			電話回線の種別を選択します。通常は［PSTN］を電話交換機などがある環境の場合に［PBX］を選択します。
	ND 回線接続		する、しない
			ナンバーディスプレイ回線への接続を行うかどうかを選択します。ただし、通信相手の番号を取得、表示する機能はありません。
	外線切り替え番号		0～9、*、#、なし
			［回線種別］で［PBX］を選択した場合、外線に接続する際に入力するダイヤル番号を選択します。
	ダイヤル種別		プッシュボタン、10PPS、20PPS
			プッシュ回線かダイヤル回線か選択します。
	自局設定	名称	EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使用して、［名前］を登録します。
		番号	テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号（20 桁）を入力します。［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力できます。
	スピーカ音量		OFF、1、2、3
			電話回線使用時の音量を調整することができます。
	ファクスレポート印刷言語設定		日本語、English
			ファクスレポートを印刷する際の言語を選択することができます。本書 214 ページ「ファクスのレポート機能を設定する」
送信設定	オートリダイヤル回数		0～3～10
			送付先の機器が通話中などで接続できない場合、指定時間待った後、再びダイヤルする回数を設定します。
	発信元記録		する、しない
			送付データの上部に、年月日 / 曜日 / 時間 / 発信元名 / 自局番号 / ページ数（分数表示）を入れます。
	優先原稿サイズ		なし、A3、B4、A4、A4、B5、B5
			ファクスの送信時、原稿サイズを［自動］に設定した状態で、本機が検知できないサイズの原稿が給紙されたときに、［優先原稿サイズ］のサイズを適用して送信します。［なし］を選択した場合は、エラーが発生します。

分類	設定項目		設定範囲
受信設定	給紙口		自動、MP トレイ、カセット 1 ～ 4
			出力用紙をどの給紙装置から給紙するか選択します。［自動］に設定すると受信した原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
	両面印刷		しない、する
			ファクスを受信する際、両面 / 片面印刷を選びます。
	受信モード		［自動切替］：指定した時間、外付電話機を呼び出してから、本機が応答してファクスデータを受信します。
			［ファクス専用］：外付電話の呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴ってから、自動的にファクス受信を開始します。
			［電話専用］：外付電話機を呼び出し続けます。ファクス受信は行いません。
			［TAM］：留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替わる機能です。
	外付電話呼出時間		1 ～ 10 ～ 99 秒
			［受信モード］で［自動切替］を選択した場合に、本機に接続されている電話機の呼び出し秒数を設定します。呼び出し秒数を過ぎると、本機が自動的に応答してファクスデータを受信できる状態にします。
	自動縮小		する、しない
			［する］を選択すると、受信したファクスデータが印刷範囲を超えていた場合に自動的にデータを縮小して印刷範囲内に収めます。 ［しない］を選択すると、受信したファクスデータは元サイズのまま印刷されます。この場合、受信ファクスデータが切れて印刷されることがあります。
	エコ印刷確認		する、しない
			エコ印刷モード中に受信ファクスを印刷する場合、トナーまたは感光体のエラーメッセージを表示する頻度を設定します。 ［する］を選択すると、ファクス受信のたびにエラーメッセージを表示します。 ［しない］を選択すると、印刷枚数 100 枚（プリント、コピー出力含む）ごとにエラーメッセージを表示します。
宛先登録	短縮ダイヤル設定	番号	短縮ダイヤルの登録 / 変更 / 削除を行います。
		名称	
		読み仮名	
	クイックダイヤル設定		クイックダイヤルの登録 / 変更 / 削除を行います。
	宛先設定全削除		する、しない
			全短縮ダイヤル情報を一括クリアします。

分類	設定項目	設定範囲
通信管理設定	通信管理レポート	しない、する
		通信管理レポートを印刷します。［する］にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。
	送信レポート	常時、エラー時のみ、なし
		送信結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを印刷します。［エラー時のみ］にすると、送信できないときにのみレポートを印刷します。 ただし、グループ送信結果はレポートとして印刷されません。
	同報レポート	常時、エラー時のみ、なし
		グループ送信の結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを印刷します。［エラー時のみ］にすると、送信できないときにのみレポートを印刷します。
詳細設定	ポーズ時間	長、中、短
		ファクス宛先番号にポーズ記号 " － " を入力したときのポーズ時間を設定します。 通常は変更しないでください。
	回線特性	1、2
		本機と接続する電話回線の電圧特性を設定します。ファクスモードに切り替えた際に［外付け電話使用中］の表示が出てしまう場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	トーン時間	長、中、短
		ダイヤル種別＝プッシュボタンのときにダイヤルトーンを発する間隔を設定します。ファクス送信先の番号が正しいのに正常につながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	トーン間隔	長、中、短
		ダイヤル種別＝プッシュボタンのときにダイヤルトーンを発する間隔を設定します。ファクス送信先の番号が正しいのに正常につながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	V34 機能	On、Off
		スーパー G3（V.34）機能を使用した高速なファクス通信を優先的に使用します。回線の状態によりスーパー G3 機能を利用した高速な通信でエラーが発生する場合に［Off］に設定すると改善されることがあります。 通常は変更しないでください。
	着信レベル 1	高、中、低
		ファクス着信時の信号レベルを設定します。本項目はファクス受信モードが自動切替、電話専用、FAX 専用に設定されている場合に限り有効です。 通常は変更しないでください。

分類	設定項目	設定範囲
詳細設定 （つづき）	着信レベル 2	高、中、低
		ファクス着信時の信号レベルを設定します。本項目はファクス受信モードが TAM に設定されている場合に限り有効です。 通常は変更しないでください。
	送出レベル	高、中、低
		本機からのファクス信号の送出レベルを設定します。 通常は変更しないでください。
	通信詳細レポート	常時、エラー時のみ、なし
		通信管理レポートとは別に、1 件ごとに通信内容の詳細なレポートを出力します。本機能は主に通信障害の発生時にエラーの内容を確認するために利用する機能です。 通常は変更しないでください。
ファクス動作設定	標準値設定	－
		現在の設定値を標準値（本機を立ち上げた際に表示される初期設定値）として登録します。
ファクス工場出荷時設定	工場出荷時設定	－
		ファクス設定を工場出荷時の設定に戻します。
	ファクスメモリ 2 クリア	する、しない
		受信して印刷待ちのファクスジョブを削除します。受信中、印刷中は実行できません。

コピー設定

分類	設定項目	設定範囲
コピー動作設定	高圧縮設定	する、しない
		コピーを行う際に、印刷可能な枚数または部数を増やすために、元データの圧縮処理を行うかどうかを選択します。
コピー標準値設定	標準値設定	－
		現在の設定値を初期値（本機の電源を入れたときに表示される初期設定値）として登録します。
カラーキャリブレーション	開始	カラーコピー画質の調整を行います。
	工場出荷時に戻す	カラーコピー画質の設定を工場出荷時の設定に戻します。
コピー工場出荷時設定	工場出荷時設定	しない、する
		コピー設定を工場出荷時の設定に戻します。

分類	設定項目	設定範囲
システム情報	メインバージョン	−
	ファクスバージョン	本機のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します。
	MCU バージョン	
	シリアル No	−
		本機のシリアル No を表示します。
	メモリ	−
		本機に搭載されているメモリの容量を表示します。
	Mac アドレス	−
		本機のネットワークインターフェイスのMacアドレスを表示します。
管理者パスワード設定	パスワード設定	管理者パスワードを設定します。パスワードは 20 桁まで入力できます。
	パスワード制限	制限しない、I/F 項目のみ
		［I/F 項目のみ］を選択すると、［ホスト I/F 設定］の設定値を変更する場合にパスワードの入力が必要になります。［制限しない］を選択すると、本機のすべての設定項目の変更についてパスワードの入力は必要ありません。

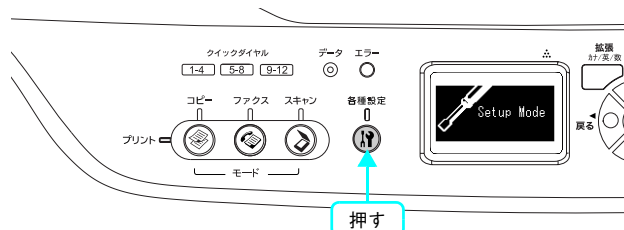
IP アドレスを操作パネルから設定

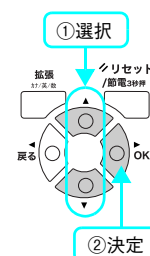
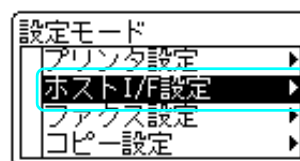
本機をネットワークで使用する際の IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスを、操作パネルから設定する方法を説明します。
なお、設定した IP アドレスは本機の電源を再投入することで有効になります。

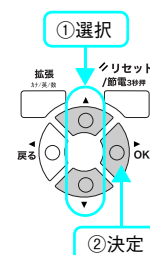
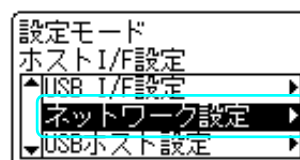
標準ネットワークインターフェイスを設定する

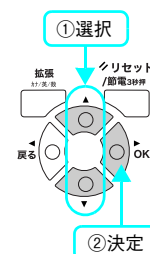
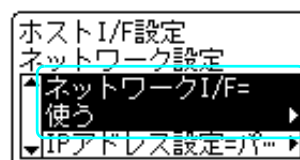
本機の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

1 **［各種設定］ボタンを押します。**

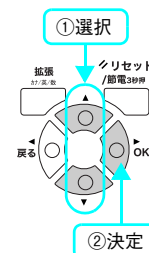
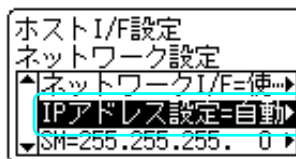
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 **［ホスト I/F 設定］を選択します。**

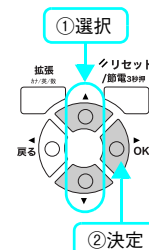
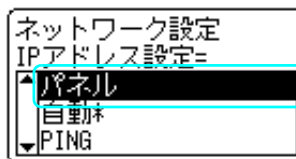
［▲］または［▼］ボタンを押して［ホスト I/F 設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 **［ネットワーク設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 **［ネットワーク I/F＝使う］が表示されていることを確認します。［ネットワーク I/F＝使わない］になっている場合は、以下の手順で設定を変更します。**

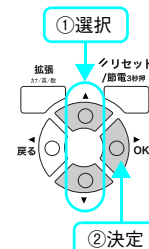
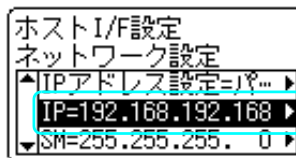
①［▶］ボタンを押します。
②［▲］または［▼］ボタンで［使う］を選択して、［▶］ボタンを押します。

5 ［IP アドレス設定 =xx］を選択します。

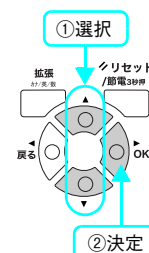
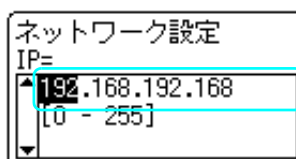
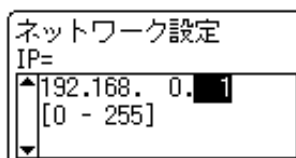
［▲］または［▼］ボタンを押して［IP アドレス設定 =xx］（xx は「自動」または「PING」）を選択してから、［▶］ボタンを押します。

［IP アドレス設定＝パネル］に設定されている場合は、手順 7 へ進みます。

6 ［パネル］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［パネル］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

7 ［IP］/［SM］/［GW］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［IP］/［SM］/［GW］からいずれかを選択してから、［▶］ボタンを押します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。 （初期設定：192.168.192.168）
SM	サブネットマスクを設定します。 （初期設定：255.255.255.0）
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。 （初期設定：255.255.255.255）

8 ［▲］または［▼］ボタンでアドレス番号を設定してから、［▶］ボタンで次の設定に移ります。

アドレス番号は、テンキー（ダイヤルボタン）を使って設定することもできます。

<例> 192.168.0.1 の場合

9 ［各種設定］ボタンを押します。

操作パネルの表示が［プリントモード］になります。

以上で操作パネルでの IP アドレス設定は終了です。

本機の状態や設定値を印刷するには

本機の現在の状態や設定値を印刷したものをステータスシートといいます。また、本機のファクスの状況を印刷するレポート機能があります。

ステータスシートを印刷すると、本機の現在の状態を確認できます。次の場合に、ステータスシートを印刷してください。

- 本機の動作に異常がないかを確認する場合
- 本機の現在の設定を確認したい場合
- 本機にオプションを取り付けた場合（取り付けたオプションが正しく認識されると、ステータスシートの印刷内容にそのオプションが追加されます）

ファクスのレポート機能では、以下のレポートやリストを印刷します。

- 送信レポート
- 同報レポート
- 通信管理レポート
- 短縮ダイヤルリスト
- ファクス設定リスト
- メモリジョブ情報

ステータスシートには、モノクロ印刷されるカタカナ表記の簡易ステータスシートとカラー印刷される日本語表記の標準ステータスシートの 2 種類があります。操作パネルからは簡易ステータスシートが印刷できます。

ステータスシートの印刷

1 ［各種設定］ボタンを押します。

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［プリンタ設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［プリンタ情報］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ情報］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［ステータスシート印刷］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ステータスシート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。

5 ステータスシートが印刷されたか確認します。

ステータスシート

*** EPSON LP-M5600 ｽﾃｰﾀｽｼｰﾄ ***　　2006/10/24 15:00

ﾌﾟﾘﾝﾀｼﾞｮｳﾎｳ		Part Numbers
ｼｱﾝ(C)ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ	E******F	LPCA3ETC4C/LPCA3ETC5
ﾏｾﾞﾝﾀ(M)ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ	E******F	LPCA3ETC4M/LPCA3ETC5
ｲｴﾛｰ(Y)ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ	E******F	LPCA3ETC4Y/LPCA3ETC5
ﾌﾞﾗｯｸ(K)ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ	E***** F	LPCA3ETC5K/LPCA3ETC5
ｶﾝｺｳﾀｲ ﾗｲﾌ	E******F	LPCA3KUT5
ﾃﾝｼｬﾕﾆｯﾄﾗｲﾌ	E******F	
ﾃｲﾁｬｸﾕﾆｯﾄﾗｲﾌ	E******F	
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽ		LPCA3HTB3
ﾉﾍﾞｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ	61	
ｶﾗｰｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ	52	
B/Wｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ	9	
ｷｭｳｼｿｳﾁ ﾒﾆｭｰ		
MPﾄﾚｲﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4	
ｶｾｯﾄ1ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4	
MPﾄﾚｲﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ	
ｶｾｯﾄ1ﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ	
ﾌﾟﾘﾝﾀｾｯﾃｲ ﾒﾆｭｰ		
ﾋｮｳｼﾞｹﾞﾝｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ	
ｾｯﾃﾞﾝｼﾞｶﾝ	60Min	
MPﾄﾚｲﾕｳｾﾝ	ｼﾅｲ	
ﾖｳｼｻｲｽﾞﾌﾘｰ	Off	
ｼﾞﾄﾞｳｴﾗｰｶｲｼﾞｮ	ｼﾅｲ	
LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ	7	
USB I/F ｾｯﾃｲ ﾒﾆｭｰ		
USB I/F	ﾂｶｳ	
USB Speed	HS	
ﾈｯﾄﾜｰｸI/F ｾｯﾃｲ ﾒﾆｭｰ		
ﾈｯﾄﾜｰｸI/F	ﾂｶｳ	
IPｱﾄﾞﾚｽｾｯﾃｲ	ﾊﾟﾈﾙ	
IP	10.8.167.194	
SM	255.255.255.0	
GW	10.8.167.1	
AppleTalk	On	
MS Network	On	
Bonjour	Off	
Link Speed	ｼﾞﾄﾞｳ	
USBﾎｽﾄ ｾｯﾃｲ ﾒﾆｭｰ		
USBﾎｽﾄ	ﾂｶｳ	
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ		
ﾒｲﾝﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	00.21	
ﾌｧｸｽﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	92.07	
MCUﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	0000000016	
LUTﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	00.02	
ｼﾘｱﾙNo.	GXG0108677,TQ00015065	
ﾒﾓﾘ	256MB	
ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ	USB,ﾈｯﾄﾜｰｸ	
MACｱﾄﾞﾚｽ	000048D13812	
LAN HW Revision	01.00	
LAN FW Revision	02.40	
ｷｭｳｼｿｳﾁ	MPﾄﾚｲ,ｶｾｯﾄ1,ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄ	

以上でステータスシートの確認は終了です。

ファクスのレポート機能を設定する

ここでは、ファクスのレポート機能について説明します。

パワーオフレポート

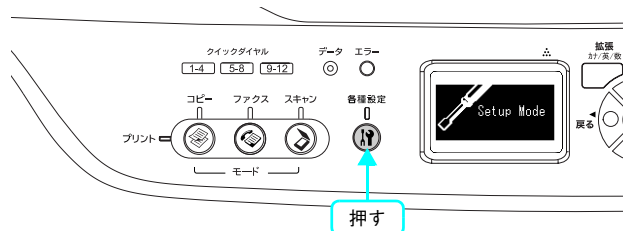
本機の電源を切った際、メモリ上に未処理の蓄積データがあった場合、次回電源投入時に消失した情報のレポートを出力します。

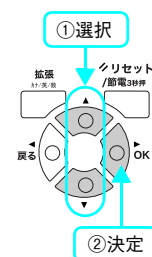
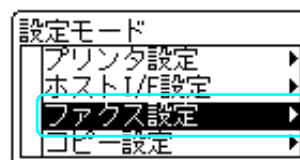
通信管理レポート、送信レポート、同報レポートの設定

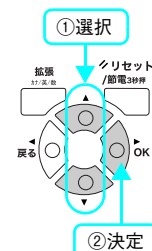
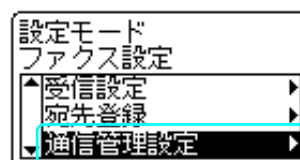
ファクスのレポート機能を設定します。

レポート名	説明
通信管理レポート	送受信結果を 50 件ごと印刷します。
送信レポート	送信結果を自動で毎回、またはエラー時に印刷します。
同報レポート	同報送信結果を自動で毎回、またはエラー時に印刷します。

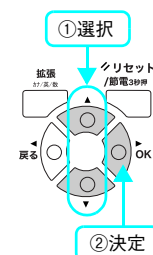
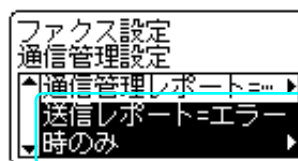
1 **［各種設定］ボタンを押します。**

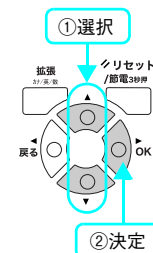
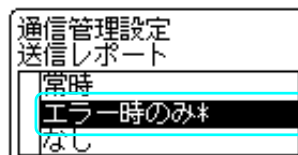
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 **［ファクス設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 **［通信管理設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［通信管理設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 設定する項目を選択します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して項目を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

［送信レポート］選択時

5 設定値を選択します。

［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して設定項目を選択してから、［ ▶ ］ボタンを押します。

項目名	設定値
通信管理レポート	通信管理レポートを印刷します。［する］にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。
	しない、する
送信レポート	送信結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを出力します。「エラー時のみ」にすると、送信できないときにのみレポートを出力します。
	常時、エラー時のみ、なし
同報レポート	同報送信の結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを出力します。「エラー時のみ」にすると、送信できないときにのみレポートを出力します。
	常時、エラー時のみ、なし

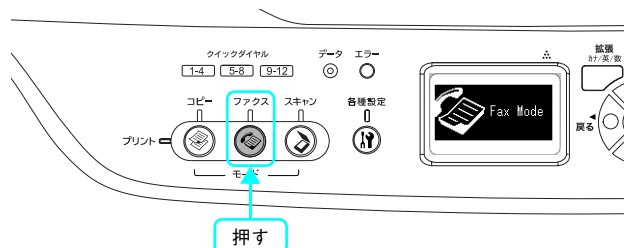
以上で通信管理レポート、送信レポート、同報レポートの設定は終了です。

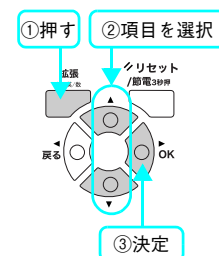
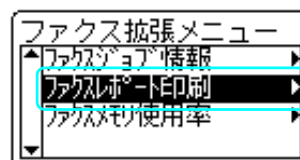
各種ファクスレポートを印刷する

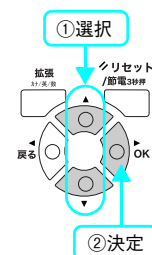
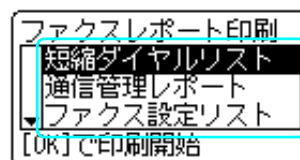
次のレポートを印刷することができます。

- 通信管理レポート
- クイックダイヤル、短縮ダイヤル、グループ登録リスト
- ファクス設定リスト
- メモリジョブ情報

1 ［ファクス］ボタンを押します。

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 ［拡張］ボタンを押してから、［ファクスレポート印刷］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクスレポート印刷］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 印刷したいリストの項目を選択します。

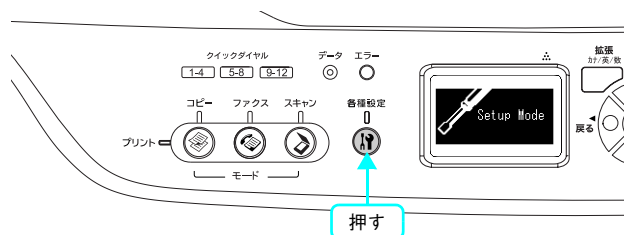
［▲］または［▼］ボタンを押して選択してから、［▶］ボタンを押します。
データランプが点滅して、レポートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。

以上で各種ファクスレポートの印刷は終了です。

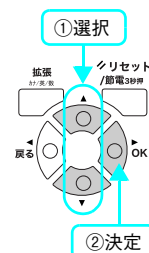
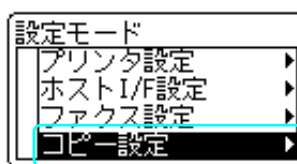
コピーの色合いを調整する（カラーキャリブレーション）

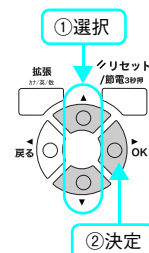
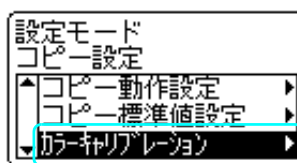
原稿とコピー結果の色合いが大きく異なる場合に、カラーキャリブレーションを行うと正確なカラーコピーが行えるように調整することができます。

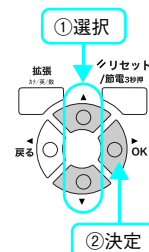
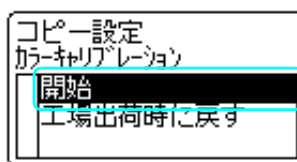
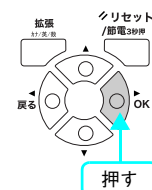
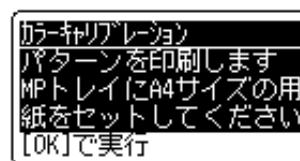
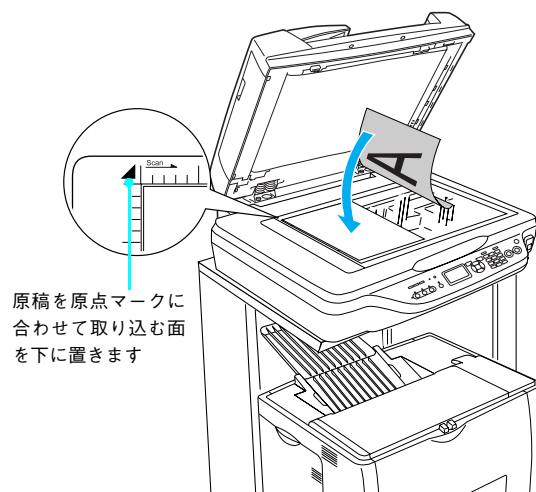
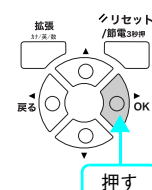
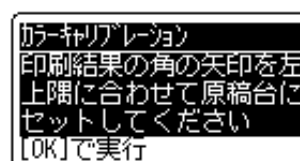
！注意　エコ印刷モードでカラーキャリブレーションを行わないでください。エコ印刷モードではカラーキャリブレーションパターンを正しく印刷できないため、カラーキャリブレーションを正しく行うことができません。エコ印刷モードでカラーキャリブレーションを行ってコピーの色合いがおかしくなった場合は、以下の手順 4 で［工場出荷時に戻す］を実行してください。

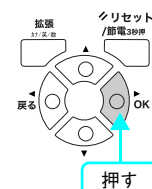
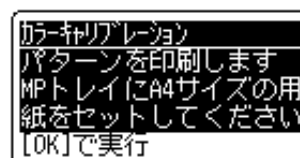
1 ［各種設定］ボタンを押します。

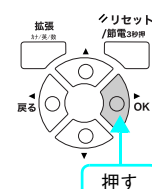
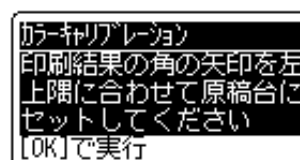
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［コピー設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［カラーキャリブレーション］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［カラーキャリブレーション］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［開始］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［開始］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 右の画面が表示されたら､MPトレイにA4サイズの紙をセットして、［▶］ボタンを押します。

6 カラーキャリブレーションパターンが印刷されたら､印刷結果の角の矢印を原稿台の左上隅に合わせて置きます。

7 右の画面が表示されていることを確認して、［▶］ボタンを押します。

8 色合わせの確認のため､再度カラーキャリブレーションパターンを印刷します。

右の画面が表示されたら MP トレイに A4 サイズの紙をセットして［▶］ボタンを押します。

9 印刷されたキャリブレーションパターンを手順 6 同様に原稿台に置きます。

10 右の画面が表示されていることを確認して、［▶］ボタンを押します。

11 カラーキャリブレーションが正常に終了すると、手順 4 の画面が表示されます。

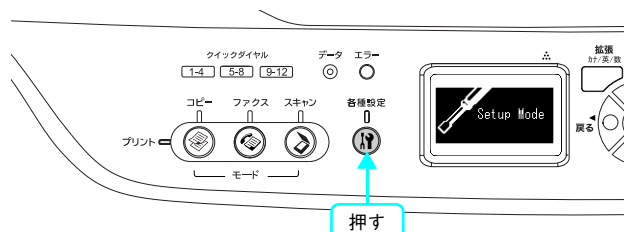
手順 8 の画面が表示された場合は、再度手順 8 ～ 10 を繰り返します。

以上でコピーの色合いの調整は終了です。

設定のリセット方法

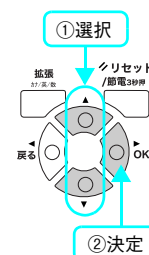
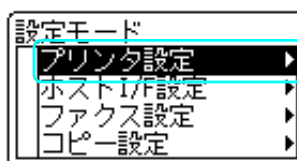
本機の操作パネルで設定した各設定（プリンタ設定 / ファクス設定 / コピー設定）を、工場出荷時の設定に戻すことができます。

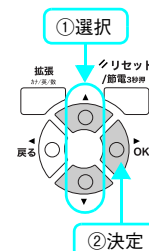
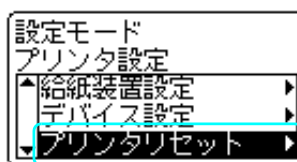
プリンタ設定をリセットする

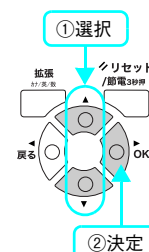
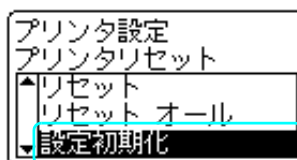
ここでは、プリンタ設定のリセット方法について説明します。

1 ［各種設定］ボタンを押します。

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［プリンタ設定］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［プリンタリセット］を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［プリンタリセット］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［設定初期化］を選択します。

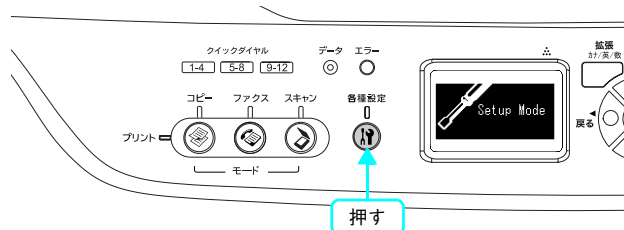
［▲］または［▼］ボタンを押して［設定初期化］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

本機が再起動します。

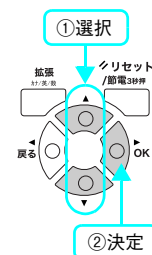
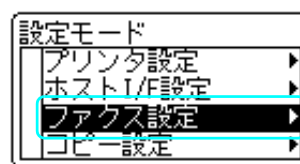
以上でプリンタ設定のリセットは終了です。

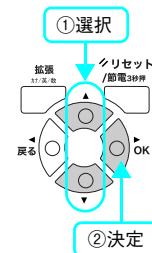
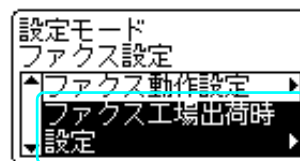
ファクス設定をリセットする

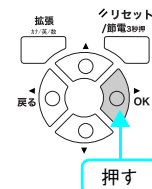
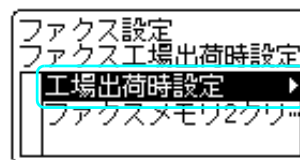
ここでは、ファクス設定のリセット方法について説明します。

1 **［各種設定］ボタンを押します。**

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 **［ファクス設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 **［ファクス工場出荷時設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス工場出荷時設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 **［工場出荷時設定］を実行します。**

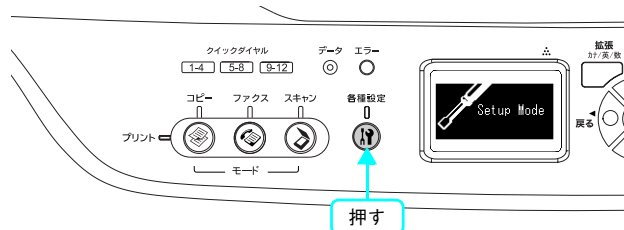
［工場出荷時設定］を確認してから、［▶］ボタンを押します。

本機が再起動します。

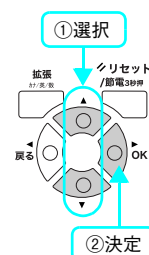
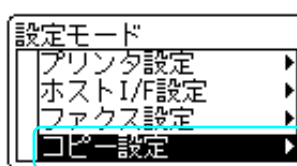
以上でファクス設定のリセットは終了です。

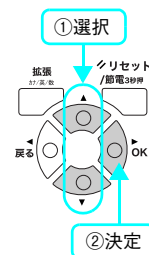
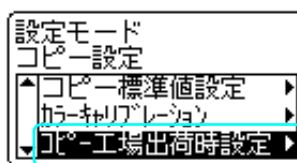
コピー設定をリセットする

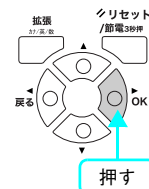
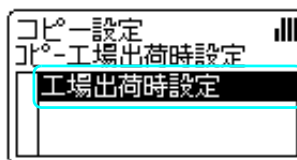
ここでは、コピー設定のリセット方法について説明します。

1 **［各種設定］ボタンを押します。**

［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 **［コピー設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 **［コピー工場出荷時設定］を選択します。**

［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー工場出荷時設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 **［工場出荷時設定］を実行します。**

［工場出荷時設定］を確認してから、［▶］ボタンを押します。

本機が再起動します。

以上でコピー設定のリセットは終了です。

電子マニュアルの見方

本製品に添付されているEPSONソフトウェアCD-ROMには、電子マニュアル『ソフトウェア機能ガイド for Windows』/『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDFマニュアル）および『ネットワーク設定ガイド』（PDFマニュアル）が収録されています。

- 『ソフトウェア機能ガイド for Windows』/『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDFマニュアル）には、コンピュータと接続して、印刷、スキャンする方法、プリンタドライバやスキャナドライバの詳細な機能説明や困ったときのさまざまな事例とその対応など、本機をご使用いただくために必要な情報が掲載されています。『ソフトウェア機能ガイド for Windows』/『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDFマニュアル）に掲載されている情報（もくじ）については以下のページを参照してください。
☞ 本書227ページ「『ソフトウェア機能ガイド for Windows』のもくじ」
☞ 本書228ページ「『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』のもくじ」

- 『ネットワーク設定ガイド』（PDFマニュアル）は、ネットワーク経由の印刷に関する詳細な機能説明やユーティリティの使い方、困ったときのさまざまな事例とその対応などが掲載されています。『ネットワーク設定ガイド』（PDFマニュアル）に掲載されている情報（もくじ）については以下のページを参照してください。
☞ 本書229ページ「『ネットワーク設定ガイド』のもくじ」

電子マニュアルは、PDF（Portable Document Format）ファイルとして収録されております。このPDFファイルを開くには「Adobe® Acrobat® Reader®」や「Adobe® Reader®」などのPDF閲覧ソフトウェアが必要です。
☞ 本書223ページ「Windowsでの電子マニュアルの見方」
☞ 本書225ページ「Mac OS X 10.2.8以降での電子マニュアルの見方」

- Mac OS Xの「プレビュー」アプリケーションでもご覧いただけます。
- 電子マニュアルの文書形式はPDF 1.4です。これらのPDFマニュアルをご覧いただくには、Acrobat Reader 4.0以上またはAdobe Readerが必要です。本製品に添付されているEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMには、Windows版のAdobe Readerが添付されています。それ以外のAcrobat ReaderまたはAdobe Readerが必要な場合には、アドビシステムズ株式会社のホームページの情報をご覧ください。
- PDFファイルを開くと、画面左側に［しおり］があります。［しおり］の各タイトルをクリックすると、該当ページを直接開くことができます。また、調べたい語句を検索して、直接その掲載箇所へ移動することもできます。画面表示が小さい場合は、表示を拡大してご覧ください。また、すべてのページを印刷したり、必要なページだけを印刷したりしておくと、いつでもすぐに調べることができるので便利です。操作方法について詳しくは、PDF閲覧ソフトウェアの［ヘルプ］をご覧ください。

Windows での電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF マニュアル）と『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル）はプリンタソフトウェアなどとともにコンピュータにインストールされます。ローカル接続の場合は、Windows の［スタート］メニューから［プログラム］－［EPSON］－［EPSON ソフトウェア機能ガイド］または［EPSON ネットワーク設定ガイド］をクリックしてご覧ください。ネットワーク接続の場合や、ネットワーク上の共有プリンタをお使いの場合は、サーバ上にインストールされますので管理者の方にお尋ねください。

ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。

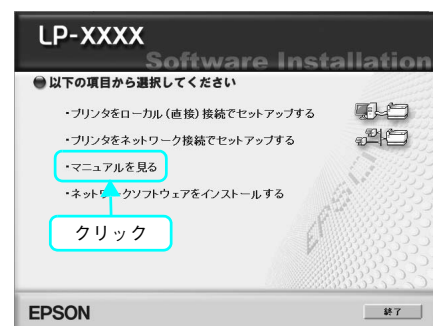
- Acrobat Reader や Adobe Reader をお持ちでない場合は、手順 4 で［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックし、［選択画面］の順にクリックしてから［AdobeReader］だけを選択してインストールしてください。
- 電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

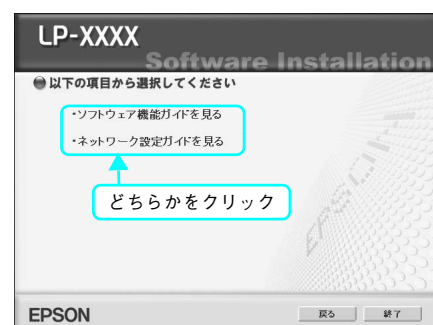
1 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。

2 しばらくして右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。

右の画面が表示されないときは
［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

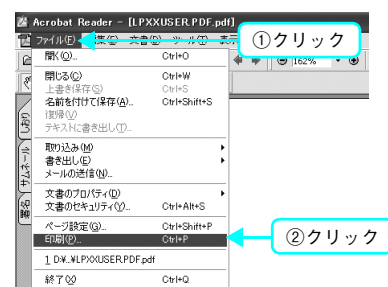
3 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して、［同意する］をクリックします。

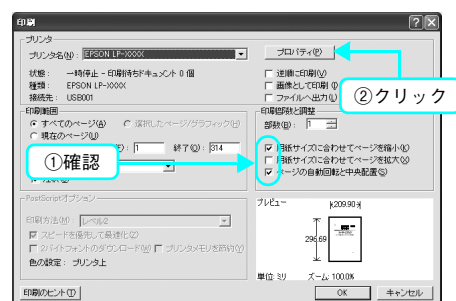
4 ［マニュアルを見る］をクリックします。

5 ［ソフトウェア機能ガイドを見る］または［ネットワーク設定ガイドを見る］をクリックします。

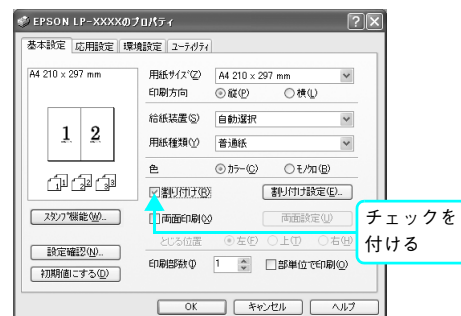
『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF マニュアル）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル）が表示されます。

電子マニュアルの印刷方法

『ソフトウェア機能ガイド for Windows』(PDF マニュアル)または『ネットワーク設定ガイド』(PDF マニュアル)を開いたら、以下の手順に従って印刷できます。

1 **本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。**

2 **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。**

3 **[用紙サイズに合わせてページを縮小](または[用紙サイズに合わせる])がチェックされていることを確認して、[プロパティ]をクリックします。**

画面の内容や項目の名称、設定方法は、お手持ちの Acrobat 製品のバージョンにより異なります。

4 **[基本設定]タブの[割り付け]にチェックを付けます。**

「ソフトウェア機能ガイド」(PDF マニュアル)や『ネットワーク設定ガイド』(PDF マニュアル)を A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。

5 **[OK]をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で印刷の手順は終了です。

Mac OS X 10.2.8 以降での電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』(PDF マニュアル) と『ネットワーク設定ガイド』(PDF マニュアル) はプリンタソフトウェアなどとともに Mac OS にインストールされます。デスクトップ上の以下のアイコンをダブルクリックしてご覧ください。

- ［EPSON ソフトウェア機能ガイド for Mac OS］
- ［EPSON ネットワーク設定ガイド］

ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。

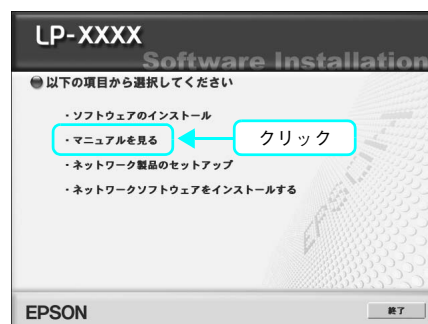
電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

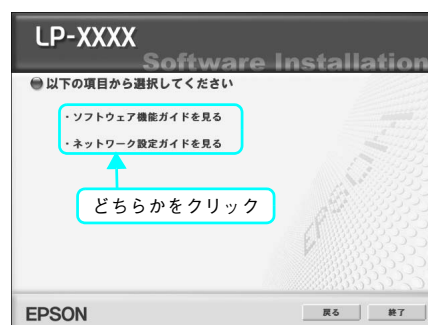
1 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

2 **インストーラ(Mac OS X 用)を起動します。**

3 **右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して、［同意する］をクリックします。**

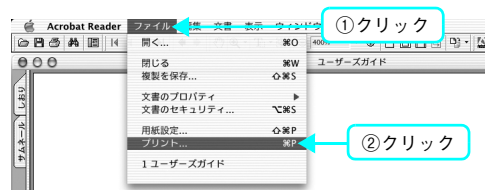
5 **右の画面が表示されたら［マニュアルを見る］をクリックします。**

6 **［ソフトウェア機能ガイドを見る］または［ネットワーク設定ガイドを見る］をクリックします。**

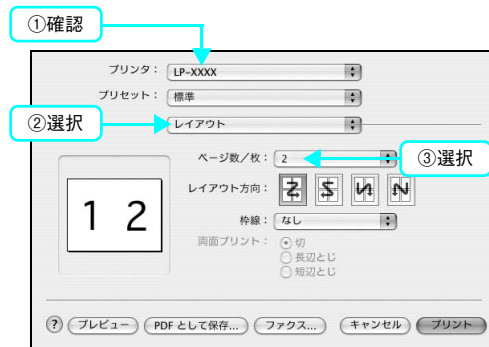
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』(PDF マニュアル) または『ネットワーク設定ガイド』(PDF マニュアル) が表示されます。

電子マニュアルの印刷方法

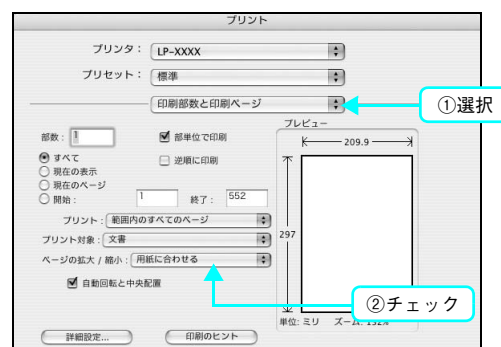
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF マニュアル）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル）を開いたら、次の手順に従って印刷できます。

印刷できない場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］にお使いのプリンタ（LP-M5600）が追加されているか確認してください。

1 **本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。**

2 **［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。**

3 **［プリンタ］にお使いのプリンタ（LP-M5600）が選択されていることを確認し、［レイアウト］を選択して、［ページ数 / 枚］を［2］に設定します。**

- ［プリンタ］に［LP-M5600］が選択されていないときは、［LP-M5600］を選択します。
- 『ソフトウェア機能ガイドfor Mac OS』（PDFマニュアル）や『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル）は、A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。

4 **［印刷部数と印刷ページ］を選択し、［ページの拡大 / 縮小］リストで［用紙に合わせる］を一覧から選択します。**

画面は、Acrobat Reader を使用した場合です。Adobe Acrobat 製品をご使用でない場合は、手順 5 へ進みます。

5 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

以上で印刷の手順は終了です。

電子マニュアルのもくじ

『ソフトウェア機能ガイド for Windows』のもくじ

困ったときは

付録

『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』のもくじ

印刷の基本操作

便利な機能

プリンタドライバ情報

使用可能な印刷用紙とセット方法

困ったときは

付録

スキャンの基本操作

便利な機能

EPSON Scan 情報

困ったときは

付録

『ネットワーク設定ガイド』のもくじ

ご使用の前に

設定の前に

コンピュータのネットワーク設定

ネットワークインターフェイスの設定

ダイヤルアップルータ使用時の注意

プリンタドライバのインストール

EpsonNet Print の使い方

EpsonNet Config（Web）の使い方

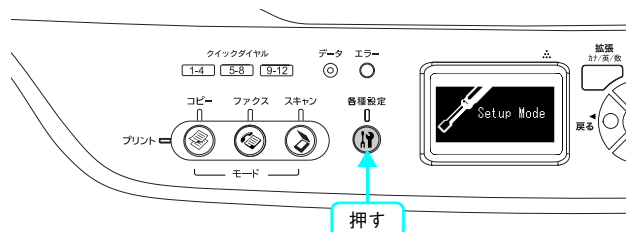
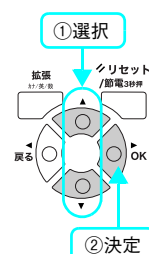
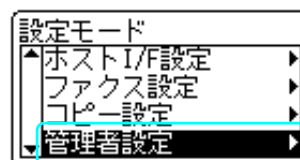
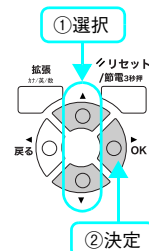
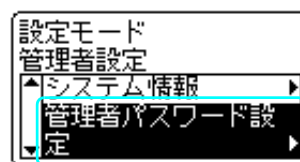
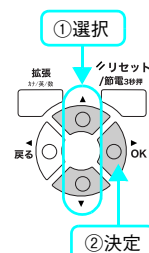
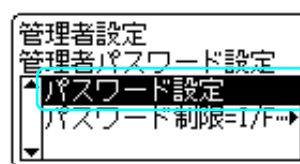
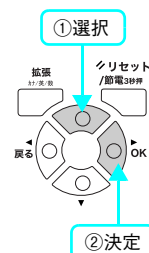
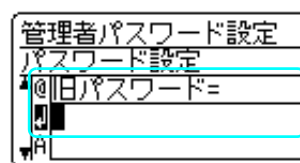
困ったときは

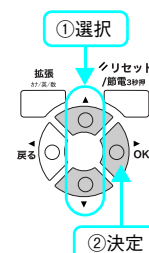
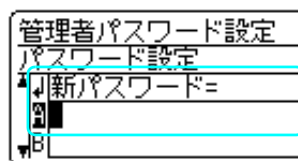
その他の便利な機能の紹介

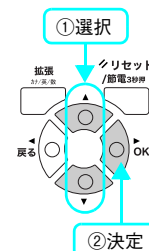
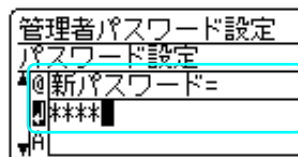
付録

管理者パスワードを設定する

本機では、［設定モード］の［ホスト I/F 設定］の設定値を変更する場合の管理者パスワードを設定することができます。管理者パスワードを設定すると、［ホスト I/F 設定］の設定値を変更しようとした場合に、パスワードの入力が必要になります。
ここでは、管理者パスワードの設定方法について説明します。

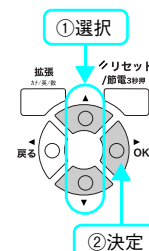
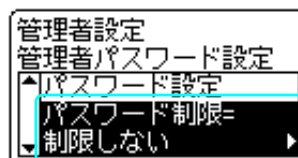
1 ［各種設定］ボタンを押します。
［各種設定］ランプが点灯して、設定モードになります。

2 ［管理者設定］を選択します。
［▲］または［▼］ボタンを押して［管理者設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

3 ［管理者パスワード設定］を選択します。
［▲］または［▼］ボタンを押して［管理者パスワード設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

4 ［パスワード設定］を選択します。
［▲］または［▼］ボタンを押して［パスワード設定］を選択してから、［▶］ボタンを押します。

5 旧パスワードを入力します。
初期設定ではパスワードなしになっているため、［▲］ボタンを 1 回押して、画面の状態で［▶］ボタンを押します。

6 新パスワードを入力します。

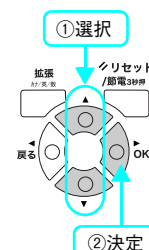
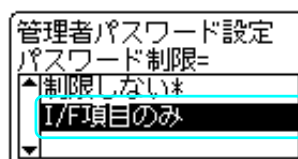
［▲］または［▼］ボタンを押して入力したいパスワードの文字を選択して、［▶］ボタンを押します。

7 パスワードを入力し終えたら、［▲］または［▼］ボタンを押して図のように［↲］を選択して、［▶］ボタンを押します。

- 入力できるパスワードは 20 桁までです。
- 入力を間違えた場合は、［◀］キーを押すと入力した文字を 1 文字削除して戻ります。

8 再度新パスワードを入力します。

手順 7 の作業を繰り返します。

9 設定したパスワードを入力して、最後に［↲］を選択して［▶］ボタンを押します。

10 ［▲］または［▼］ボタンを押して［パスワード制限＝制限しない］を選択して、［▶］ボタンを押します。

11 ［▲］または［▼］ボタンを押して［パスワード制限＝ I/F 項目のみ］を選択して、［▶］ボタンを押します。

パスワードは、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と EpsonNetConfig（Web）、本機の操作パネルでの設定で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合やパネル設定を行う場合は、パスワードの管理に注意してください。

以上で管理者パスワードの設定は終了です。

ワンタッチ節電モードのご紹介

ワンタッチ節電モードとは

本機の操作パネルを操作することにより、直ちに節電モードに移行させることができる機能です。
本機は最後の動作が終了してから一定時間（設定した時間）が経過すると節電モードに入ります（初期設定は 60 分）。節電モードに入ると、待機時の消費電力を節約することができます。

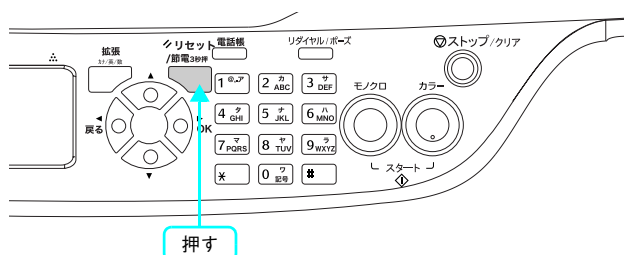
ワンタッチ節電モードの使用方法

1 操作パネルの［リセット / 節電 3 秒押］ボタンを約 3 秒間押します。

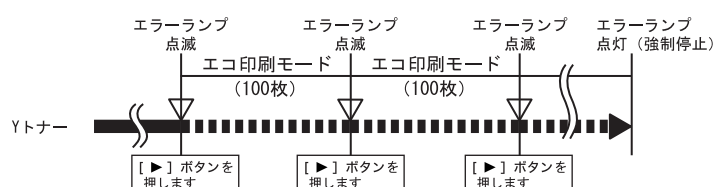
本機が節電モードに入ります。

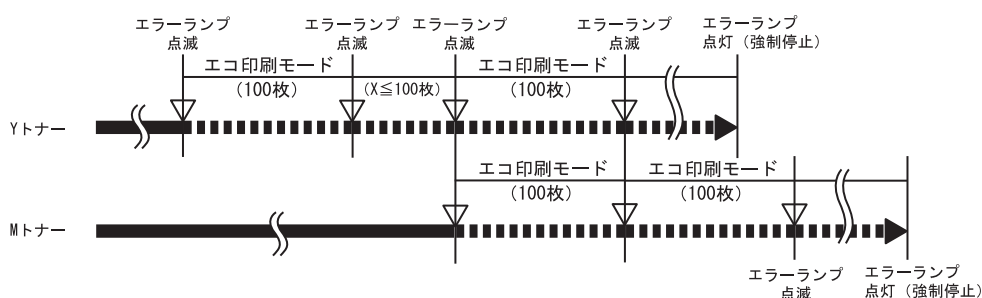
参考

下記の場合、節電モードは解除されます。

- 本機の電源を再投入した。
- 本機に印刷データが送られた。
- ［コピー］ボタンを押した。
- A カバーまたは D カバーが開けられた。

エコ印刷モードのご紹介

エコ印刷モードとは、消耗品の寿命を通知するメッセージが表示されたときに、その交換時期を先送りして印刷を継続することで、よりいっそう経済的にプリンタを運用することができるモードです。エコ印刷モードは以下のようなイメージで運用されます。

<例>Yトナーカートリッジの場合

カラーモードで複数のトナーカートリッジの残量が少なくなった場合は、トナーカートリッジ交換のエラーメッセージ（エラーランプ点滅）が表示されて［ ▶ ］ボタンを押したところから印刷ページのカウントを始めます。

<例>Y・Mトナーカートリッジの場合

エコ印刷モードでの印刷にはお客様のご理解が必要です

エコ印刷モードは、消耗品の寿命を通知するエラーメッセージ表示時に設定することが可能です。ただし、以下の使用上の制限があり、お客様自身が印刷結果から消耗品の交換時期を判断することになりますので、この点を十分にご理解いただいた上で、消耗品の適切な交換を行ってください。

- エコ印刷モードで印刷を行うと、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、何も印刷されないなど印刷品質が悪化することがあります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。
- エコ印刷モードは、消耗品の交換時期を延長することが可能ですが、過度に延長することで製品が故障に至ることがないよう、印刷途中であっても強制的に停止することがあります。その場合は、消耗品を交換してください。

エコ印刷モードで運用するときは、必ず新しい消耗品を準備した上で進めてください。

エコ印刷モードの使用方法

消耗品のエラーメッセージが表示されたときにエコ印刷モードへ移行できます。

1 エラーメッセージの表示（エラーランプ点滅）

＊＊＊＊トナーを交換して ください	最良の印刷品質が提供できなくなったときに、消耗品を交換していただくためのメッセージです。
感光体ユニットを交換して ください	「＊＊＊＊」にはトナーの色 Y/M/C/K が表示されます。

2 エコ印刷モードへの移行

エコ印刷モードに移行する場合 ［ ▶ ］ボタンを押してください（エコ印刷モードに入ります）。

エコ印刷モードに移行しない場合 最良の印刷品質を継続するために、消耗品を交換してください。

3 エコ印刷モードで利用中

エコ印刷モードに移行するとパネル表示が変わります（ワーニングメッセージになります）。

＊＊＊＊トナーが交換時期 （エコ印刷モード）	最良の印刷品質が提供できなくなる前に、新しい消耗品を準備していただくためのメッセージです。
感光体ユニットが交換時期 （エコ印刷モード）	「＊＊＊＊」にはトナーの色 Y/M/C/K が表示されます。

「＊＊＊＊トナーを交換してください」の状態からエコ印刷モードに移行したときは、続けて 100 ページ印刷できます（ただし、100 ページ分の印刷品質は保証できません）。

4 エコ印刷モードの継続

累計で 100 ページ分の印刷が終了すると、再び手順 1 の状態（エラーランプが点滅して「＊＊＊＊トナーを交換してください」のメッセージが表示される）になって、プリンタが停止します。

エコ印刷モードでの印刷を継続する場合 ［ ▶ ］ボタンを押してください（エコ印刷モードを継続します）。

エコ印刷モードでの印刷を継続しない場合 交換指示が出されている消耗品を交換してください。

5 プリンタの強制停止

- 製品の機能が満足できなくなる段階になると、印刷途中でもプリンタは強制的に停止します。
- パネルには「＊＊＊＊トナーを交換してください」または「感光体ユニットを交換してください」と表示され、エラーランプが点灯し続けます（エコ印刷モードに移行が可能な状態では「点滅」しています）。この状態になると印刷を継続することができなくなります。この場合は、必ず消耗品の交換を行ってください。

感光体ユニットの交換時に、使用済み感光体ユニットの再装着はしないでください。感光体ライフ（寿命）のカウントが正しくできなくなります。

参考

- エコ印刷モードによる印刷を途中で止めたいときは、［ ▶ ］ボタンを押してから［ストップ / クリア］ボタンを押してください。
- エコ印刷モードは本機の電源を切ると解除されます。次に電源を入れたときには消耗品交換のエラーメッセージが表示されますので、エコ印刷モードの使用方法の手順に従ってください。
- カラーモードの場合、エコ印刷モード中に画像確認シートを印刷することで、トナーカートリッジの印刷品質への影響状態を判断することができます。印刷された画像確認シートをご覧いただき、感光体ユニットの交換、または印刷品質が悪化している色のトナーカートリッジを交換することをお勧めします。

サービス･サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.epson.jp/

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設*してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

* 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ
「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』から［ユーザー登録「MyEPSON」アシスタント」をインストールし、起動することで簡単にご登録いただけます。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。受付時間や電話番号など詳細は、『活用ガイド』（紙マニュアル）巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです（東京・大阪)。受付時間や所在地など詳細は、『活用ガイド』（紙マニュアル）巻末の一覧表をご覧ください。

コンピュータスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.epson.jp/

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年)、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書裏表紙をご覧ください）
  受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊消耗品（トナー、用紙）などは、保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 故障した製品をお持込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料+技術料＋部品代 修理完了後そのつどお支払ください

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外をとわず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
  （年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.epson.jp/

仕様

総合仕様

環境基本仕様

消費電力	最大	1190W
	電源オフ時	0W
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
回収リサイクル体制	使用済みトナーカートリッジの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下のページを参照してください。 本書 236 ページ「保守サービスのご案内」	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	

電気関係

定格電圧		AC100V ± 10%
定格電流		13A
周波数		50/60Hz ± 3Hz
消費電力	最大	1190W
	カラー	平均 396W（原稿台にセットしての連続コピー）
	モノクロ	平均 726W（原稿台にセットしての連続コピー）
	待機時	平均 124W（ADF モデル /FAX モデル） 平均 115W（ベースモデル）
	低電力モード時	平均 26W（ADF モデル /FAX モデル） 平均 23W（ベースモデル）

環境使用条件

動作時	温度	：10 〜 35 度
	湿度	：20 〜 80%（ただし結露しないこと）
	気圧	：（高度）76kPa 以上（2500m 以下）
	水平度	：プリンタ部：傾き度 1 度以下 スキャナ部：傾き度 5 度以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：設置面より上方 300mm、左側方 650mm、右側方 200mm、前方 830mm、後方 220mm
保存・輸送時	温度	：0 〜 35 度
	湿度	：15 〜 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

RAM	標準	：128MB（ベースモデル）、192MB（ADF モデル /FAX モデル）
	オプション増設時	：最大 576MB（2 ソケット）
インターフェイス	標準	：USB2.0、USB1.1 10Base-T/100Base-TX

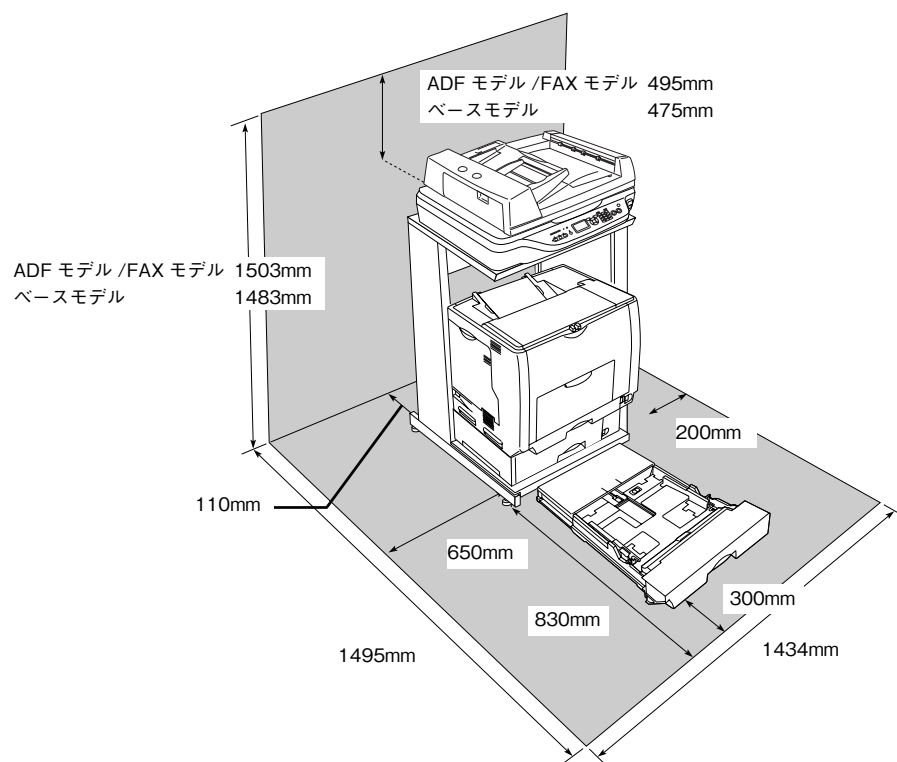
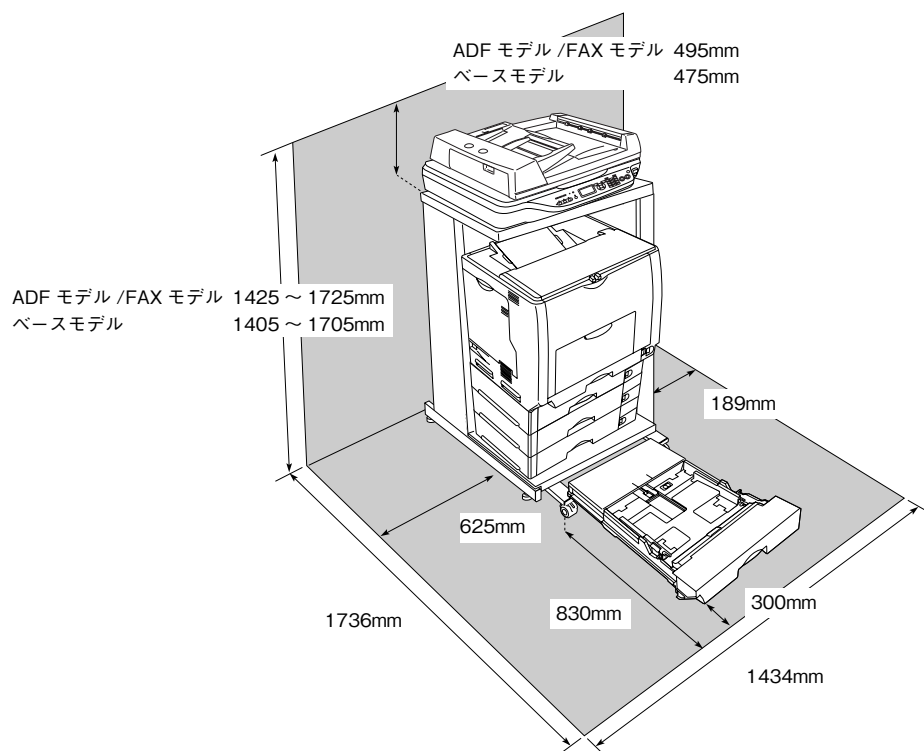
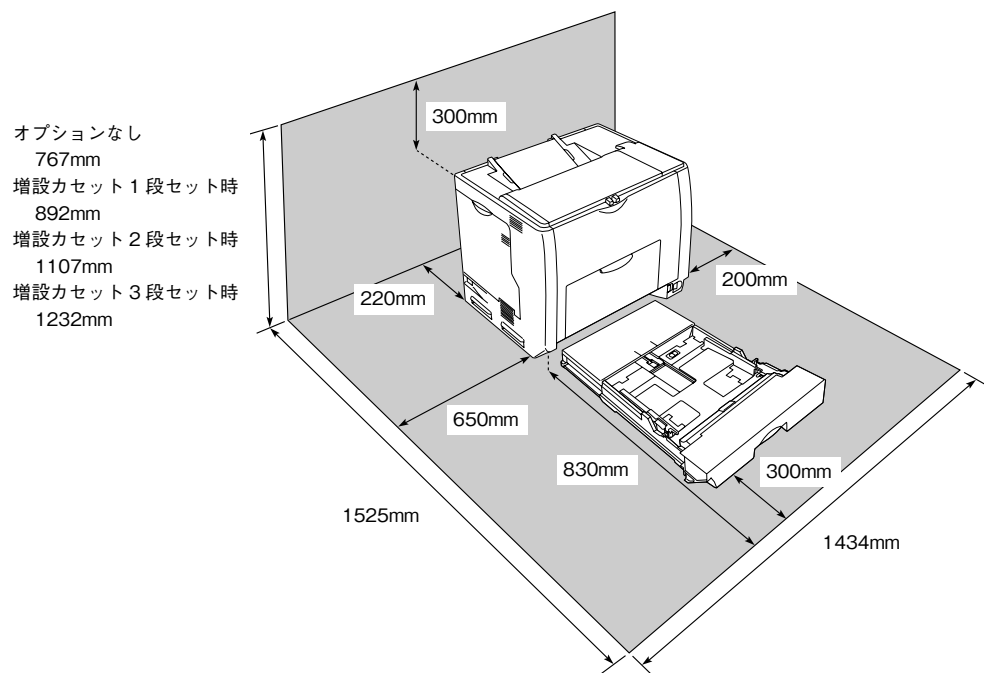
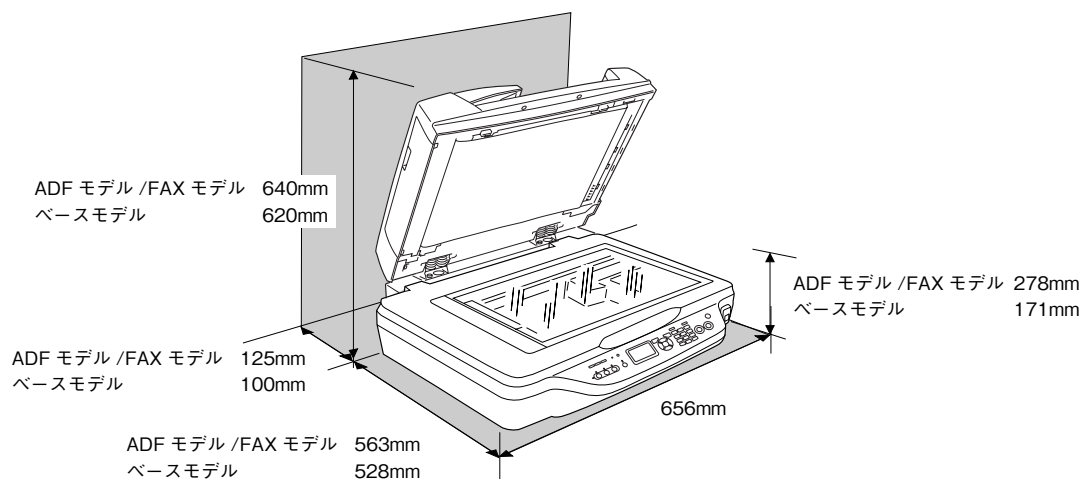
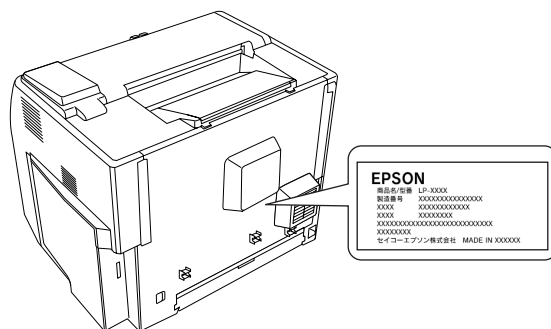
外形寸法 / 質量

	ベースモデル	ADF モデル /FAX モデル
プリンタ部外形寸法	幅 584mm ×奥行き 475mm ×高さ 467mm （小数点以下四捨五入）	
質量	約 45.2kg（消耗品を含まない）	
スキャナ部外形寸法	幅 656mm ×奥行き 528mm ×高さ 171mm （小数点以下四捨五入）	幅 656mm ×奥行き 563mm ×高さ 278mm （小数点以下四捨五入）
質量	約 14.5kg	約 26.3kg

オプションの増設カセットユニット外形寸法 / 質量

外形寸法 （小数点以下 四捨五入）	LPA3CZ1CU2：幅 569mm ×奥行き 378mm ×高さ 129mm LPA3CZ1CT2 ＊[1]：幅 569mm ×奥行き 466mm ×高さ 142mm LPA3CZ1CC2 ＊：幅 569mm ×奥行き 578mm ×高さ 219mm
質量	LPA3CZ1CU2：約 6kg LPA3CZ1CT2 ＊[1]：約 7kg LPA3CZ1CC2 ＊[2]：約 11kg

設置スペース

専用ラック（LPMRACK2）を使用する場合

専用スキャナスタンド（CSCBN8A）を使用する場合

プリンタ部を自由に配置する場合

スキャナ部を自由に配置する場合

製造番号の表示位置

プリンタ仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式 1 成分トナー電子写真方式
解像度	600dpi ＊1
プリント速度	600dpi ：40.0 枚 / 分（A4、モノクロ片面印刷時）＊2 10.0 枚 / 分（A4、カラー片面印刷時）＊2
ウォームアップ時間	90 秒（温度 22 度、湿度 55%、定格電圧にて）
ファーストプリント	モノクロ片面印刷 ：13.3 秒（A4）/14.3 秒（A3） モノクロ両面印刷 ：17.8 秒（A4）/20.3 秒（A3） カラー片面印刷 ：19.3 秒（A4）/20.3 秒（A3） カラー両面印刷 ：31.3 秒（A4）/32.3 秒（A3）
稼働音（本体のみ）	待機時 ：約 39dB 稼働時 ：約 56dB（モノクロ連続コピー時）

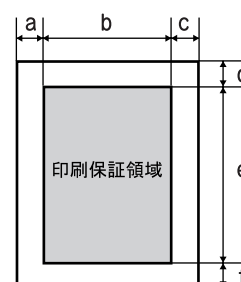
＊1 dpi：25.4mm ｛1 インチ｝ あたりのドット数（Dots Per Inch）

＊2 印刷中に、良好な画質を得るための画像調整（calibration) を自動的に行うことがあり、そのために上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着器の安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

排紙容量	最大 250 枚（EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 82g/m^2）
用紙の種類	普通紙 64 ～ 90g/m^2 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド 特殊紙 ラベル紙、郵便はがき、往復郵便はがき、封筒、OHP シート、厚紙（91 ～ 163g/m^2）、不定形紙

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。

用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。

定期交換部品

- 製品寿命を全うするために定期交換部品の交換が必要になる場合があります。
- 製品が故障に至ることがないよう、印刷途中であっても想定交換時期に達した場合は動作を停止します。
- 定期交換部品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社サービスエンジニアが実施します。
- 交換時期が近づくと操作パネルに警告が表示されます。その際は早めに販売店、またはサービスコールセンターまでご連絡ください。
- 定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。

定期交換部品	交換の目安＊1	交換メッセージ
定着ユニットおよびクリーニングテープ＊2	約 80,000 ページ	定着ユニットを交換してください
転写ユニット	約 80,000 ページ	定着ユニットを交換してください

＊1　A4 普通紙連続印刷時。印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。使用環境、用紙の種類、電源の頻繁な入切により印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。また、前記条件により、メッセージが出る前に交換が必要になる場合があります。

＊2　定着ユニットと同時交換になります。

用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

給紙方法		用紙種類		用紙サイズ （ ）内は操作パネルでの表記	紙厚	容量＊1
標準装備の給紙装置	MP トレイ	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	64 ～ 90g/m^2	150枚＊2
		特殊紙	郵便はがき	はがき	190g/m^2	50 枚＊2
			往復郵便はがき	W はがき		
			封筒＊3	洋形 0 号、長形 3 号	75 ～ 90g/m^2	15 枚＊2
			ラベル紙	A4	91～163g/m^2	50 枚＊2
			厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	91～163g/m^2	75 枚＊2
			不定形紙	幅：98.5 ～ 297.0mm 長さ：148.0 ～ 431.9mm	64 ～ 90g/m^2	150枚＊2
					91～163g/m^2	75 枚＊2
			EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	A4	100g/m^2	60 枚＊2
	用紙カセット	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m^2	250枚＊4
オプション	増設カセットユニット（LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m^2	500枚＊5

＊1 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大セット枚数表示までです。最大セット枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

＊2 セットできる枚数は、使用環境によって異なります。総厚 17mm までセット可能です。

＊3 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

＊4 セットできる枚数は、使用環境によって異なります。総厚 27mm までセット可能です。

＊5 セットできる枚数は、使用環境によって異なります。総厚 53mm までセット可能です。

排紙容量	最大 250 枚（EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 64g/m^2）

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ			MP トレイ（標準）	用紙カセット 1（標準）	用紙カセット＊1（オプション）	両面印刷	用紙のセット方向
A3		297.0 × 420.0mm	○	○	○	○	縦長
A4		210.0 × 297.0mm	○	○	○	○	横長
A5		148.0 × 210.0mm	○	×	×	×	縦長
B4		257.0 × 364.0mm	○	○	○	○	縦長
B5		182.0 × 257.0mm	○	○	○	○	横長
Letter（LT）		8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	○	○	○	横長
Half-Letter（HLT）		5.5 × 8.5 インチ（139.7 × 215.9mm）	○	×	×	×	縦長
Legal（LGL）		8.5 × 14.0 インチ（215.9 × 355.6mm）	○	○	○	○	縦長
Executive（EXE）		7.3 × 10.5 インチ（184.2 × 266.7mm）	○	×	×	○	横長
Government Legal（GLG）		8.5 × 13.0 インチ（215.9 × 330.2mm）	○	×	×	○	縦長
Ledger（B）		11.0 × 17.0 インチ（297.4 × 431.8mm）	○	○	○	○	縦長
Government Letter（GLT）		8.0 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm）	○	×	×	○	横長
F4		210.0 × 330.0mm	○	×	×	○	縦長
不定形紙		用紙幅98.5～297.0mm 用紙長148.0～431.9mm	○＊2	×	×	×	登録した用紙サイズの向き＊3
郵便はがき		100.0 × 148.0mm	○	×	×	×	縦長
往復郵便はがき		148.0 × 200.0mm	○	×	×	×	縦長
OHP シート		A4：210.0 × 297.0mm	○	×	×	×	横長
ラベル紙		A4：210.0 × 297.0mm	○	×	×	×	横長
封筒＊4	洋形 0 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	×	横長
	長形 3 号	120.0 × 235.0mm	○	×	×	×	縦長

○：使用可能　×：使用不可能

＊1 オプションの増設カセットユニットに装着する用紙カセットから給紙できる用紙サイズを表します。

＊2 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

＊3 不定形紙の用紙のセット方向は、登録した用紙サイズ（用紙長 / 幅）によって異なります。

＊4 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

スキャナ仕様

型式	フラットベッド型カラーイメージスキャナ
走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサ	カラー CCD 4-line CCD（RGB_BW）
最大有効領域	297 × 432mm（11.7 × 17.0 インチ）
最大有効画素	7020 × 10200 画素（600dpi）
最大原稿サイズ	A3、B（Ledger）
階調	各画素各色 16bit（入力）、1bit/8bit（出力）
読み取り速度	モノクロ：0.64msec/line（300dpi 時） カラー：1.9msec/line（300dpi 時）

オートドキュメントフィーダ仕様

方法	ページ送り AFF
最大原稿サイズ	A3、B（Ledger）
最大セット可能原稿枚数	A4（80g/m^2）：100 枚
原稿紙質量	50 ～ 127g/m^2
原稿紙種	レーザープリンタ用紙、インクジェット用紙、普通紙、再生紙など
原稿スタック	フェイスアップ
原稿合わせ	原稿片側合わせ（読み取り原点側）
原稿サイズ検知	B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3

コピー仕様

		カラー（A4/300dpi）	モノクロ（A4/300dpi）
ファーストコピー		25 秒	12 秒
コピー速度	マルチコピー （1 枚の原稿を複数枚コピー）	10 枚 / 分	40 枚 / 分
	連続コピー （オートドキュメントフィーダ使用時）	9 枚 / 分	16 枚 / 分

ファクス仕様（FAX モデルのみ）

Model		EU-96
対応回線		PSTN（加入電話回線）、PBX（自営構内回線）
通信速度		33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps （自動フォールバック）
プロトコル		G3、G3ECM
送受信モード	カラー	RGB 各 8 ビット送受信
	モノクロ	モノクロ 1 ビット送受信
画像圧縮方法	カラー	JPEG
	モノクロ	MH、MR、MMR
送受信走査線密度	カラー	200 × 200［dpi］
	モノクロ	8x15.4、8x7.7、8x3.85［dot/mm］
原稿サイズ	カラー	B5、A4、B4、A3
	モノクロ	
印刷用紙サイズ	カラー	B5、A4、B4、A3
	モノクロ	
設計認証	T A04-0646001	

索引

よ

り

ろ

わ

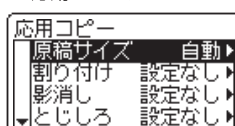
操作パネル設定項目一覧

コピーモード

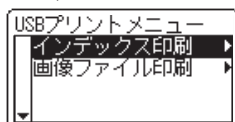
<基本コピーメニュー>

項　目	設　定　値	
濃　度	-3〜0〜3	
用　紙	自動、C1xx、C2xx*、C3xx*、C4xx*、MP A3、MP B4、MP A4、MP B5、MP A5、MP はがき	
倍　率	定形倍率	141%(A4→A3/B5→B4)　122%（A4→B4） 115%（B4→A3/B5→A4）　100%（等倍） 86%（A3→B4/A4→B5）　81%（B4→A4） 70%（A3→A4/B4→B5）
	任意倍率	25%〜400%
	自動倍率	
両　面	片面→片面、片面→両面、両面→両面、両面→片面、片面→両面上下とじ、両面上下とじ→片面	
画　質	モノクロ原稿	文字・写真、文字、写真、高精細
	カラー原稿	文字・写真、文字、写真、高精細
	コントラスト	-3〜0〜3
	背景除去	-2〜0〜2
	モアレ除去	-2〜0〜2
	カラーバランス（R、G、B）	-3〜0〜3

<応用コピーメニュー>

*オプションの増設カセットユニット装着時に表示されます。

項　目	設　定　値	
原稿サイズ	自動、A3横*、B4横、A4縦*、A4横、B5縦、B5横、A5縦、A5横、はがき縦、はがき横	
割り付け	割り付け	しない、する
	順序	1→2、2→1
	原稿サイズ	A3、B4、A4、A4、B5、B5
	偶数回転	しない、する
影消し	影消し	しない、する
	中央幅	0mm〜20mm〜40mm
	枠幅	0mm〜20mm〜40mm
とじしろ	とじしろ	しない、する
	とじしろ位置	上、下、左、右
	とじしろ幅	0mm〜10mm〜30mm
ページ連写	ページ連写	しない、する
	順序	左→右、右→左
	原稿サイズ	A3、B4、A4、B5
全面コピー	しない、する	
ソート	する、しない	

プリントモード

<基本コピーメニュー>

項　目	設　定　値	
インデックス印刷	用紙サイズ	A4、A3、B4、B5
	両面印刷	片面、両面長辺とじ、両面短辺とじ
画像ファイル印刷	ファイル選択	全部選択、全選択解除、1〜999
	用紙サイズ	A4、A3、B4、B5
	割り付け設定	なし、2面、4面、8面
	両面印刷	片面、両面長辺とじ、両面短辺とじ
	ファイル名印刷	する、しない

ファクスモード

項　目	設　定　値
濃度	-3〜0〜3
原稿サイズ	自動、A3*、B4、A4*、A4、B5、B5
画質	ドラフト、標準、高精細、写真
ADF両面	片面、両面
ポーリング受信	しない、する
海外送信モード	しない、する

*1［拡張］ボタンを押すと表示されます。

表示一覧
受信ジョブ詳細

表示一覧
短縮ダイヤルリスト
通信管理レポート
ファクス設定リスト
ファクスメモリジョブ情報

スキャンモード

項　目	設　定　値
ファイル形式	PDF、TIFF、JPEG
原稿サイズ	自動、A4、A4、A3、B4、B5、B5
ADF両面	片面、両面
解像度	96dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi
原稿タイプ	文字、文字･写真、写真
濃　度	-3〜0〜3

項　目	設　定　値
ファイル形式	PDF、TIFF、JPEG
原稿サイズ	A4、A4、A3 、B4 、B5 、B5
ADF両面	片面、両面

設定モード

項　目	表示一覧・アクション
ステータスシート印刷	ステータスシートを印刷する
画像確認シート印刷	画像確認シートを印刷する
ネットワーク情報印刷	ネットワーク情報を印刷する
シアン（C）トナー	シアントナー残量を表示する
マゼンタ（M）トナー	マゼンタトナー残量を表示する
イエロー（Y）トナー	イエロートナー残量を表示する
ブラック（K）トナー	ブラックトナー残量を表示する
感光体ライフ	E******F
転写ユニットライフ	E******F
定着ユニットライフ	E******F
延べ印刷枚数	0〜99999999
カラー印刷枚数	0〜99999999
B/W印刷枚数	0〜99999999

項　目	表示一覧
MPトレイサイズ	A4、A3、A5、B4、B5、はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形0号、長形3号
カセット1サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B
カセット2サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B
カセット3サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B
カセット4サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B
MPトレイタイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHPシート、ラベル
カセット1タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき
カセット2タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき
カセット3タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき
カセット4タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき

項　目	表示一覧
表示言語	日本語、English
節電時間	5分、15分、30分、60分、120分、180分
MPトレイ優先	する、しない
用紙サイズフリー	On、Off
自動エラー解除	する、しない
LCDコントラスト	0〜7〜15
日付時刻設定	YYYY/MM/DD HH:MM
日付表示フォーマット	DD/MM/YY、MM/DD/YY、YY/MM/DD

表示一覧
ワーニングクリア
全ワーニングクリア
リセット
リセットオール
設定初期化

項　目	表示一覧
USB/IF	使う、使わない
USB SPEED	HS、FS

項　目	表示一覧
ネットワークI/F	使う、使わない
IPアドレス設定	パネル、自動、PING
IP	0.0.0.0〜255.255.255.255
SM	0.0.0.0〜255.255.255.255
GW	0.0.0.0〜255.255.255.255
Apple Talk	On、Off
MS Network	On、Off
Bonjour	On、Off
Link Speed	自動、100Full、100Half、10Full、10Half

項　目	表示一覧
USBホスト	使う、使わない

項　目	表示一覧・アクション
回線種別	PSTN、PBX
ND回線接続	しない、する
外線切り替え番号	0~9、＊、＃、しない
ダイヤル種別	プッシュボタン、10PPS、20PPS
自局設定	名称
	番号
スピーカ音量	OFF、1、2、3
ファクスレポート印刷言語設定	日本語、English

項　目	表示一覧
オートダイヤル回数	0~3~10
発信元記録	する、しない
優先原稿サイズ	なし、A3、B4、A4、A4、B5、B5

項　目	表示一覧
給紙口	自動、MPトレイ、カセットX
両面印刷	する、しない
受信モード	自動切換、ファクス専用、電話専用、TAM
外付電話呼出時間	1~10~99
自動縮小	する、しない
エコ印刷確認	する、しない

項　目	表示一覧
短縮ダイヤル設定	01~200: 名称XXXX、番号YYYY、読み仮名XXXX
クイックダイヤル設定	1～4 ：名称XXXX、番号YYYY
	5～8 ：名称XXXX、番号YYYY
	9～12：名称XXXX、番号YYYY
宛先設定全削除	はい、いいえ

項　目	表示一覧
通信管理レポート	する、しない
送信レポート	常時、エラー時のみ 、なし
同報レポート	常時、エラー時のみ 、なし

項　目	表示一覧
ポーズ時間	長、中、短
回線特性	1、2
トーン時間	長、中、短
トーン間隔	長、中、短
V34機能	On/Off
着信レベル１	高、中、低
着信レベル２	高、中、低
送出レベル	高、中、低
通信詳細レポート	常時、エラー時のみ、なし

表示
標準値設定

項　目	表示一覧
工場出荷時設定	しない、する(未印刷データは消去されます)
ファクスメモリ2クリア	しない、する(未印刷データは消去されます)

<コピー設定>
設定モード
コピー設定
コピー動作設定
コピー標準値設定
カラーキャリブレーション
<コピー動作設定>
コピー設定
コピー動作設定
高圧縮設定=する
項　目
表示一覧
高圧縮設定
しない、する
<コピー標準値設定>
コピー設定
コピー標準値設定
標準値設定
表示
標準値設定
<カラーキャリブレーション設定>
コピー設定
カラーキャリブレーション
開始
工場出荷時に戻す
アクション
カラーキャリブレーションを開始
<コピー工場出荷時設定>
設定モード
コピー設定
コピー標準値設定
カラーキャリブレーション
コピー工場出荷時設定
項　目
表示一覧
工場出荷時設定
しない、する
<管理者設定>
設定モード
管理者設定
システム情報
管理者パスワード設定
<システム情報>
管理者設定
システム情報
メインバージョン=
01.00
ファクスバージョン=
項　目
表示一覧
メインバージョン
XX.XX
ファクスバージョン
XX.XX
MCUバージョン
XXXXXXXXXX
シリアルNo
JN*OXXXXXX
メモリ
XXXMB
MACアドレス
XXXXXXXXXXXX
<管理者パスワード設定>
管理者パスワード設定
パスワード設定
旧パスワード=
項　目
表示一覧
パスワード設定
実数20桁
パスワード制限
制限しない、I/F項目のみ

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

レーザ製品の表示について

本プリンタは、レーザの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザ製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザは内部にありお客様が被爆することはありません。

オゾンについて

レーザープリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/m^3）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネットFAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI光ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、（042）511-2949におかけくださいますようお願いいたします。
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570ー090ー090　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100【受付時間】月～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI光ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、下記番号におかけくださいますようお願いいたします。
インフォメーションセンター：042-585-8580
購入ガイドインフォメーション：042-585-8444
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2006. 3

410803600

Printed in Japan 06.xx-xx　XXX

EPSON　LP-M5600シリーズ　活用ガイド